

令和8年 第7回 川口市教育委員会定例会

日 時 令和8年4月24日(金)
午後1時30分
場 所 川口市教育委員会室

日 程

1 開 会

2 点 呼

3 前回会議録の承認

- (1) 第6回川口市教育委員会定例会会議録

4 教育長報告

- | | | |
|-------------------------------|---|--|
| (1) 5月行事予定について | — | 1 |
| (2) 3月市議会定例会の概要について | — | 3 |
| (3) 学校施設開放事業について | — | 当日1 |
| (4) 小中学校の施設改修について | — | 当日2 |
| (5) (仮称)神根総合運動公園整備事業について | — | 当日3 |
| (6) 令和7年度学校自己評価のまとめについて | — | 112 |
| (7) 令和7年度川口市立高等学校卒業者の進路状況について | — | 199 |
| (8) 令和8年度川口市立高等学校入学者選抜結果について | — | 201 |
| (9) 令和8年度川口市学校図書館司書について | — | 202 |
| (10) 令和8年度川口市教育相談支援員について | — | 204 |
| (11) 令和8年度川口市特別支援教育こども支援員について | — | 206 |
| (12) 令和8年度ほっとルーム支援員について | — | 209 |
| (13) 令和8年度川口市外国人児童生徒支援員について | — | 210 |
| (14) 川口市立学校におけるいじめ問題の現状について | — | 当日4 Ⓜ |

5 協議事項

- (1) 6月市議会案件について — 当日5 Ⓜ

6 議案の審議

- | | | |
|-----------------------------------|---|-----|
| 議案第34号 川口市社会教育委員を委嘱することについて | — | 211 |
| 議案第35号 川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて | — | 213 |

7 その他

8 閉 会

教育長報告（1）

令和8年5月 行事予定表

日	曜日	時間	行事等	場所	主管課・機関
1	金	15:00	令和8年度川口市養護教諭部会総会	601大会議室	学校保健課
2	土				
3	日		憲法記念日		
		9:30	開館記念日無料公開	科学館	科学館
4	月		みどりの日		
5	火		こどもの日		
6	水		振替休日		
7	木		関東地区都市教育長協議会総会（～5月8日）	ホテルメトロポリタン 高崎	教育総務課
8	金		令和8年度埼玉県学力・学習状況調査（小5・中2）	各校	指導課
9	土				
10	日	9:30	高校生海外派遣事業第二次選考	中央ふれあい館	指導課
11	月		水上自然教室最初隊（鳩ヶ谷中）	水上少年自然の家	学務課
			学校訪問	舟戸小学校	指導課
		13:30	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
12	火		大貫海浜学園最初隊（鳩ヶ谷小）	大貫海浜学園	学務課
		8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
		18:00	第19回川口ツアーデーマーチ実行委員会	メディアセブン	スポーツ課
13	水		令和8年度埼玉県学力・学習状況調査（小4・中1）	各校	指導課
14	木		学校訪問	戸塚小学校	指導課
			学力向上訪問	青木中央小学校 幸町小学校	指導課
		9:00	第76回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（～5月15日）	高知県立県民文化ホール	教育総務課
15	金		令和8年度埼玉県学力・学習状況調査（小6・中3）	各校	指導課

令和8年5月 行事予定表

日	曜日	時間	行事等	場所	主管課・機関
16	土				
17	日				
18	月		学校訪問	戸塚西中学校	指導課
		8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
19	火	10:00	埼玉県南部地区教育委員会連合会理事会及び定期総会	朝霞市博物館	教育総務課
		10:00	月例校長協議会	青木会館	学務課
20	水	8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
		13:30	教育委員会定例会	教育委員会室	教育総務課
21	木	13:00	埼玉県市町村教育委員会連合会総会	狭山市市民会館	教育総務課
		8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
22	金	8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
23	土				
24	日	8:00	市指定無形民俗文化財「安行原の蛇造り」	安行原	文化財課
25	月		学校訪問	芝小学校	指導課
		8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
26	火		科学館休館日（館内整理日）	科学館	科学館
			学校訪問	幸並中学校	指導課
		8:45	人事評価当初申告教育長面談	2502会議室	学務課
27	水	10:00	市立学校長会議	2601会議室	学務課
28	木	14:00	南部教育長会議・教育長協議会	浦和合同庁舎	教育総務課
29	金	13:00	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会	上越文化会館	教育総務課
30	土				
31	日				

3月市議会定例会の概要について

川口市教育委員会

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (教育政策室)	
<p><質問概要></p> <p>稲川 和成 議員 (自民)</p> <p>9 地域クラブ活動の推進について</p> <p>(1) 地域クラブ活動推進の目的について</p> <p>(2) 地域展開のスケジュールについて</p>	<p><答弁概要></p> <p>(教育長)</p> <p>A 地域クラブ活動の推進は、生徒が継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の確保や多様なニーズへの対応等を主な目的とし、同時に教職員のやりがいと負担軽減の両立にも資する取り組みである。継続的な活動機会の確保や多様なニーズへの対応については、受け皿となる地域クラブの体制整備を進めており、現在71種類、221の団体が、中学生の活動への協力を賛同いただいている。また、教職員のやりがいと負担軽減については、指導を望む教職員を、地域クラブの指導者として認定していく一方、参加については任意とすることで、その両立を実現すべく準備を進めている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 国のガイドラインにおいては、令和8年度から13年度が改革実行期間とされ、この期間に、原則休日の全ての部活動において地域展開を目指すとされている。国の方向性を踏まえ、本市においては、令和9年9月の新人戦終了後を目途に、休日の活動を地域クラブ活動として展開するが、その後、令和13年度までに、更なる協力団体の拡充や、実際の運営状況を踏まえた運営体制の改善を行い、令和13年度には自立した体制が確立するよう、段階的に執り進めていく。</p>

<p>(3) 統括する組織設立に向けた取り組みについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 令和9年9月の活動開始へ向け、より多くの協力団体や指導者及び活動場所を確保し、安全・安心な地域クラブ活動を安定的に運営していくためには、統括・調整を担う組織の設立が不可欠であると考えている。本市においては、令和8年度中に、市が支援する統括組織の設立を進め、令和9年度の活動開始へ向けた人材確保や活動場所の確保等、課題解決に向けた取り組みを、統括組織と市が連携して進めていく予定である。</p>
<p>(4) 地域クラブや指導者を認定する制度の構築について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 国が定めたガイドラインにおいては、生徒が地域クラブ活動に安心して参加でき、生徒の健全な育成に資する活動が実現されるようにするため、国が示した設定要件に基づき、各自治体が地域クラブや指導者を認定する制度の実施が例示されている。本市においては、統括組織の設立と同様、令和8年度中に、地域クラブや、教員も含めた指導者に関する認定制度を構築し、人材バンクシステムと連携して運用するとともに、指導者の質の確保を目的とした研修システムの構築も進めることで、適切な地域クラブ活動が展開できるよう、着実に準備を進めていく。</p>
<p>1 1 小中学校の適正規模・適正配置の詳細について</p> <p>(1) 学校再編に向けた今後の行程について</p>	<p>(副教育長)</p> <p>A 今後の行程については、通学時間等の基準の設定や統廃合の検討を行う際の基準の見直しに加え、義務教育学校や公共施設との複合化等、今後の学校再編を見据えた内容を盛り込んだ、川口市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の改定を、今月中に完了する。4月以降については、改定した方針に基</p>

<p>(2) 学校再編の対象となり得る地域や学校について</p>	<p>づき、適正規模・適正配置の具体的な手法を示す学校再編計画のほか、地域別の再編推進プランの作成を進め、令和9年9月にそれぞれを策定した上で、令和12年の計画実施を目指し、引き続き、迅速かつ的確に取り組んでいく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 学校再編の対象については、児童生徒数の推計のほか、学校施設の更新時期等を総合的に勘案し、小規模の学校や施設更新を迎える学校等から手掛ける必要があるものと考えており、具体的な地域や学校再編の手法等については、学校再編計画や地域別の推進プランの中で示せるよう進めていく。また、改定した基本方針の統廃合等に関する基準に当てはまる学校については、令和12年を待たずに、学校関係者や保護者に加え、地域の方々などに可能な限りの情報を提供し、意見や提案などを踏まえ、地域性に即した対応を進めていく。</p>
<p>12 新たな学校施設開放事業について</p> <p>(1) 市民に対する周知について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 市民に対する周知については、これまで連合町会長会議や、関係スポーツ団体の会議に加え、市立学校長会議などにおいて、説明を行ってきた。また、規則をはじめとする関係例規及び利用の詳細についてのマニュアルなどを市のホームページに掲載し、周知に努めている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A これまで学校長は、自校の学校施設開放において、利用団体との調整や周辺住民への配慮など、多くの負担を担っていた。今後は、</p>
<p>(2) 学校長の役割について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A これまで学校長は、自校の学校施設開放において、利用団体との調整や周辺住民への配慮など、多くの負担を担っていた。今後は、</p>

<p>(3) 小・中学生が利用する際の利用料金の軽減対策について</p>	<p>教育委員会が主体となって統一した制度を運用し、学校施設開放事業の責任の多くを担うことにより、学校長は学校施設の管理者としての役割に変わりなく、負担の軽減が図られるものと考えている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 減免の取扱いについては、本市スポーツ施設及び公民館の減免の取扱いとの整合性を図ることを原則とし、団体構成員の2分の1以上が小・中学生であれば減額対象としている。また、小・中学生が中心となって活動する団体のうち、中学校部活動改革に関わり、地域クラブ活動の推進に資するスポーツ少年団などの団体については、一定の条件を満たした上で、必要な手続きのもと、免除対象としている。具体的には、文部科学省が示す部活動のガイドラインにおいて、適切な活動時間は週1 1時間程度であることから、週1 2時間までの活動については、免除対象としている。</p>
<p>(4) 町会・自治会が利用する際の利用料金の軽減対策について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 町会・自治会が利用する場合の減免の取扱いについては、連合町会が行う運動会や文化祭等の季節催事のほか、川口市レクリエーション協会及び川口市スポーツ推進委員協議会等が主催する大会の予選会などは免除対象としている。また、町会・自治会が年間事業計画に位置付けた地域振興に資する取組みとして利用する場合は減額対象とするものである。なお、継続的に行う趣味・体育レクリエーション活動等は除かれるものとしている。</p>

<p>最上 祐次 議員（青嵐）</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 子どもを第一に考えた部活動の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の方針について伺いたい <p>8 地域の課題について</p> <p>(3) 学校施設の利用について</p> <p>ア 使用料の減免に関する適用条件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団等の適用条件について <p>イ 朝7時からの利用規定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝利用の際の苦情処理等について 	<p>（教育長）</p> <p>A 本市の方針について、まずは、長期休業中を含めた平日には、これまで通り部活動を継続するとともに、休日は、教職員がリーダーシップをとる地域クラブの設置も進めていく。また、地域の団体の協力をいただき、部活動にはない種目についても環境整備を進めるとともに、設置するクラブや協力団体の一覧を、令和8年度中に市民の方々へ公表できるようにするなど、情報発信も強化していく。さらに、今後、児童生徒に対して再度アンケート調査を実施し、どのような目的・内容の活動を希望するのか具体的な意見も聞き、可能な限り子どもたちが望む活動が実現できるよう、取り組んでいく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 学校施設の使用料に関する減額及び免除の適用条件については、川口市長から事務委任を受け、教育委員会で詳細な規定を定めたところである。その内容は、学校施設においても本市スポーツ施設及び公民館の減免基準に整合性を図ることを原則としている。さらに、スポーツ少年団等が利用する際には、一定の条件を満たした上で、必要な手続きのもと、週12時間までは免除対象とした。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 学校施設の利用時間については、「川口市学校施設開放事業に関する規則」を制定し、現況の利用状況等を考慮した上で、午前7時からとしたところである。各学校の開始</p>
--	---

<p>前原 博孝 議員（自民）</p> <p>5 小学校水泳指導の在り方について</p> <p>(1) 水泳授業及び施設の在り方の検討の進捗状況について</p>	<p>時間については、近隣住民への配慮等、それぞれの状況に応じ、午前9時からとすることができるものとしたことに加え、騒音、路上駐車など、近隣住民への迷惑行為を抑止するための注意事項を作成し、利用団体に遵守を求め、周知徹底を図っていく。なお、苦情処理等については、教育委員会が中心となり、当該学校から状況等を聞き取り、対応していく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 令和7年7月に設置した川口市立小中学校水泳の授業及び施設の在り方検討委員会において、これまで4回の会議を開催し、水泳授業及び施設の状況と対応のほか、他の自治体の民間のスイミングスクールや屋内プールの活用に加え、一般開放の取り組みなどの情報を共有し、研究を進めてきた。その結果、本市の現況を踏まえ、1学校1プールを継続することが難しいことを共通認識とした上で、更に議論を深めているところである。今後は、水泳の授業及び施設の在り方について、多角的かつ短期、中長期的な視点で検討し、令和8年8月を目途に基本方針を策定していきたいと考えている。</p>
--	---

<p>石橋 俊伸 議員（公明）</p> <p>3 令和9年9月から実施する部活動の地域展開について</p> <p>(1) モデル事業の実施状況と検証について</p> <p>(2) 指導者の確保と質の担保について</p>	<p>（学校教育部長）</p> <p>A 今年度のモデル事業については、サッカー、陸上競技、吹奏楽など、11種目13団体の協力のもと、大きな事故やトラブル等無く、活動が終了した。</p> <p>参加した生徒や保護者の方々からは、「一人ひとり丁寧に指導していただいた」「他校の生徒とも交流の輪を広げることができた」「自分の学校の部活動にはない、本当にやりたい活動ができた」などの感想をいただいた。</p> <p>一方で、学校施設の鍵の開錠や、部活動との日程重複などが課題として挙げられたことから、今後の改善に繋げていく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 指導者については、次年度、人材バンク制度を導入し、教職員を含めた地域人材を掘り起こし、その確保を進めていく。</p> <p>また、質の担保については、市が認定するクラブとして、教職員が指導の中心となるクラブの設立を進めることに加え、人材バンクに登録した方に対しては、事故防止や各種ハラスメント防止、救急法等の内容を踏まえた本市独自の研修を教育委員会が中心となって実施することで、生徒や保護者が安心して参加できる活動となるよう、準備を進めていく。</p>
---	---

<p>(3) 保護者の費用負担について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 費用負担に関しては、参加者から参加費を集める受益者負担を原則とするが、市が認定する地域クラブについては、国のガイドラインが示す、月3,000円程度を目安に、参加費が可能な限り低廉な金額となるよう取り組んでいく。</p> <p>また、経済的に困窮する世帯への支援については、令和9年度以降の国の補助制度の活用について、検討を進めていく。</p>
<p>(4) 今後の方向性について</p> <p>・今後の方針と新たな価値の創出について</p>	<p>(教育長)</p> <p>A 今後については、まずは、部活動の教育的意義を継承すべく、長期休業中も含めた平日には、部活動を継続するとともに、休日は、指導を望む教職員が中心となって指導する地域クラブの設置を進めていく。</p> <p>また、新たな価値を創出する地域クラブとして、地域の団体の協力のもと、学校の枠を越えた生徒同士の交流や、より専門的な指導、部活動にはない種目など、生徒の多様なニーズに応えられるよう、環境を整備していく。</p> <p>さらには、教職員の関わり方として、土日祝日の指導については希望者のみとし、やりがいと心身の健康の両立を図ることで、学校教育活動全体を通して子ども達へよりよい教育を実現できるよう、取り組んでいく。</p>

<p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>5 増加する外国人児童生徒への対応について</p> <p>(4) 通訳を担う児童への配慮</p> <p>・多言語を理解している児童が、そうでない友達と教員の間立ち、書類作成などの手伝いをするが見受けられるが、その児童に依存しない体制づくりができないか</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 多言語を理解している児童が、日本語と母国語を用いて、友達や教員の間立ち、通訳をはじめとする支援を行う場面があることは認識している。</p> <p>そのような機会が児童にとって過度な負担とならないよう、関係団体と協働し、通訳と共に編入学時に必要な書類作成を行う場を設けるなど、児童の教育環境に配慮するよう努めていく。</p>
<p>ふじしま ともこ 議員 (共産)</p> <p>3 子どもが安心して学べる環境を作るために</p> <p>(3) 部活動について</p> <p>ア 当事者である子ども達の声聞く場を</p> <p>イ (仮称) Kawaguchi City Clubの立ち上げについて</p> <p>・KCCの活動と部活動との連携や地</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 地域クラブ活動の具体的な推進にあたり、当事者である子ども達の声聞くことは大変重要であるものと捉えている。</p> <p>こうしたことから、児童生徒対象のアンケート調査を再度実施するとともに、広く意見を聞く機会として、市民向けタウンミーティングを有効活用するなどし、活動を望む種目や活動内容等についての意向を聞き、子どもたちにとってよりよい活動となるよう推進していく。</p> <p>(教育長)</p> <p>A 今後設立を予定している、仮称Kawaguchi City Club (KCC) においては、平日の部活動と連動した活動が可能な、教職員主導の「直営クラブ」に加え、</p>

<p>域クラブが目に見えるような準備を進めてほしい。</p> <p>ウ 地域展開後の大会参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の合同チームでも県大会等に参加できるのか <p>松本 英利 議員（自民）</p> <p>7 学校教育について</p> <p>(3) 川口市立小中学校在り方審議会の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の審議内容や審議会が果たすべき役割について尋ねる 	<p>生徒の多様なニーズに対応可能な、既存の地域クラブ主導の「加盟クラブ」を設置するなど、生徒の選択肢が広がるよう準備を進めている。</p> <p>なお、今後は、新たに設立するKCC所属クラブや、市内協力団体を取りまとめ、令和8年度中に、生徒・保護者をはじめとした市民の方々に公表できるよう、執り進めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 中学校体育連盟や吹奏楽連盟主催の大会やコンクールについては、参加規程に基づき、引き続き、学校単位の部活動として、また、複数校の部活動で構成される合同チームとして参加することが可能であり、合同チームが県大会等の上位大会へ出場することも可能である。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 同審議会の今後については、学校再編に向けた考え方の整理や具体的な手法等に関する審議を計画しており、今後、4回程度の審議会を経て、令和8年12月に学校再編計画に関する答申がなされる予定である。</p> <p>今後も、同審議会において、将来の小中学校の在り方、ひいては、持続可能な地域社会の構築に資する教育環境の在り方について、子ども達を第一とした活発な審議がなされることを期待しているところである。</p>
--	--

<p>(要望)</p> <p>本市の小中学校の教育環境の在り方について、子ども達を第一に考え、着実に進めていただきたい。</p> <p>碓 康雄 議員 (新風)</p> <p>5 教育について</p> <p>(1) 学校の適正規模・適正配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が無駄にならないように再編する必要があるが、現時点での学校再編計画の策定状況と内容について尋ねる <p>(2) 部活動の地域展開について</p> <p>ア 現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組と教職員の指導者としての見込み <p>イ 次年度の取り組みについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 将来的な学校再編を見据え、適正規模・適正配置の検討を進めるなか、4月以降、具体的な手法等を示す学校再編計画のほか、地域別の再編推進プランの作成に取り組んでいく。計画の作成にあたって、学校施設に関連する諸計画との連携を図りながら執り進め、策定までの間は、安全面を最優先とした施設の整備を行うとともに、策定後については、計画に基づく効率的・効果的な学校再編に努めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 今年度については、13団体の協力のもと、活動したモデル事業の実施や、保護者をはじめとした市民向けの説明会である「地域ミーティング」の開催、今後の方向性をまとめた保護者用リーフレットの配布と説明動画の上映などを実施した。</p> <p>また、教職員へのアンケート調査から、小学校14%、中学校23%、人数換算では小・中併せて約400名程度の教職員が、地域クラブでの指導を望んでいる状況である。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 次年度については、モデル事業の規模拡大に加え、地域クラブを統括する組織の設</p>
---	--

<p>ウ 今後のスケジュールについて ・令和9年度以降のスケジュールについて</p>	<p>立、人材バンク制度の導入・運用及び、研修プログラムと指導者認定制度の構築など、地域展開へ向けた具体的な準備を進めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 今後のスケジュールについては、次年度の準備を経て、令和9年9月の新人戦終了後を目途に、休日の活動を地域クラブ活動として展開していく。</p> <p>また、令和10年度以降も、国の補助制度を活用するなどして、活動に協力していただける地域人材や団体の確保を継続して行い、生徒の活動機会と選択肢の更なる拡大が実現できるよう、取り組んでいく。</p>
--	--

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (教育総務課)	
<p><質問概要></p> <p>稲川 和成 議員 (自民)</p> <p>8 小学校体育館への空調機設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのように進めるのか <p>松本 進 議員 (公明)</p> <p>10 教育問題について</p> <p>(1) 小学校体育館への空調機設置事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度対象校の選定理由と今後の整備計画を教えて欲しい 	<p><答弁概要></p> <p>(市長)</p> <p>A 小学校体育館への空調機設置については、子どもたちに安全安心な教育環境を提供することや、避難所としての機能向上の観点から、早急に整備を進める必要があると考えている。</p> <p>このため、令和8年度当初予算案では、7校分の実施設計に係る費用を計上し、国の補助金の対象期間である令和15年度末までの整備を予定していたが、一日も早い設置に向けて、4年以内に実施設計を完了し、順次工事が進められるよう、計画の見直しを担当部局に指示したところである。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 小学校体育館への空調機設置にあたっては、空調機の熱源として電気、都市ガス、プロパンガスの3方式を採用し、体育館が避難所にもなることから、これらの熱源が市内10地区に偏らないよう、令和8年度の対象校は既に設置した中学校体育館の空調機の熱源を考慮し、まずは選定したものである。</p> <p>今後の整備については、4年以内に実施設計を完了し、順次工事が進められるよう計画していく。</p>

<p>(要望)</p> <p>本市は学校数が多いので工事費も大変だが、国の補助も有効に活用して進めていただきたい。</p> <p>最上 祐次 議員 (青嵐)</p> <p>4 教育について</p> <p>(4) 小学校体育館の空調機整備の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の設置計画を、早めるよう見直すべきではないか。 	<p>(教育総務部長)</p> <p>A 小学校体育館への空調機設置については、子どもたちに安全安心な教育環境を提供するうえで、スピード感を持って取り組むべき事業であると考えている。</p> <p>令和8年度当初予算案では、7校分の空調機設置に係る実施設計を計上し、国の補助金の対象期間である令和15年度末までの整備を予定していたが、今後は、4年以内に実施設計を完了し、順次工事が進められるよう、計画していく。</p>
<p>(要望)</p> <p>子どもたちの運動の場である体育館の安全安心な教育環境の確保や、避難所として避難者の2次的被害が起きることのないよう、早急に取り組んでいただきたい。</p> <p>金子 幸弘 議員 (共産)</p> <p>4 川口市の教育について</p> <p>(3) 小学校体育館への空調機設置を急ぐこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を前倒しして設置して欲しい 	<p>(市長)</p> <p>A 小学校体育館への空調機設置については、子どもたちに安全安心な教育環境を提供することや、避難所としての機能向上の観点から、早急に取り組む事業であると考えている。</p>

<p>前原 博孝 議員（自民）</p> <p>10 地域の問題について</p> <p>(3) 新郷南小学校のフェンス改修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事はどうなっているのか。 <p>碓 康雄 議員（新風）</p> <p>5 教育について</p> <p>(4) 小学校体育館の空調機設置について</p> <p>ア 来年度予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度予算の内容について <p>イ 今後のスケジュールについて</p>	<p>このため、国の補助金の対象期間である令和15年度末までの整備を予定していたが、今後は、4年以内の実施設計を完了し、順次工事が進められるよう、計画の見直しを担当部局に指示したところである。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 学校施設の改修については、児童生徒が安全安心に学校生活を送れるよう、計画的に進めているところである。</p> <p>新郷南小学校南西側フェンス改修については、令和8年度に実施できるよう検討していく。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 令和8年度当初予算案においては、本町小学校、前川東小学校、木曾呂小学校、芝富士小学校、安行東小学校、戸塚綾瀬小学校、辻小学校の7校分の実施設計委託料として、3,999万6,000円を計上している。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 今後の整備計画については、4年以内の実施設計を完了し、順次工事が進められるよう計画していく。</p>
--	---

<p>(要望)</p> <p>小学校空調機設置完了の見込みを早期に示していただきたい。</p> <p>岡本 さゆり 議員 (無所属)</p> <p>6 保育所及び小中学校の老朽化対策と断熱改修について</p> <p>(1) 最も築年数が経過した施設及び築年数について</p> <p>イ 小中学校について</p> <p>(2) 老朽化の現状の把握について</p> <p>イ 小中学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように把握しているのか <p>(3) 今後の建替え・改修スケジュールについて</p> <p>イ 小中学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替えや改修のスケジュールを教えてください <p>(4) 窓・外壁などの断熱性能向上について</p> <p>イ 小中学校について</p>	<p>(教育総務部長)</p> <p>A 最も築年数が経過した小学校の校舎は、飯仲小学校の普通教室棟で築68年、中学校では、十二月田中学校の普通・特別教室棟で築70年である。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 小中学校の施設については、法令に基づき点検を実施し、結果を確認している。</p> <p>また、毎年、各小中学校に施設整備に関する要望の調査を実施しているほか、現状を確認するため、直接学校に赴くなど、日頃から、老朽化などの状況の把握に努めている。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 建替えは、現在、十二月田小中学校を予定しており、令和8年度から9年度にかけて実施設計を行う予定である。</p> <p>改修については、建物や設備の劣化状況を把握した後、学校からの要望なども合わせ、総合的に判断し、実施時期を決定している。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 学校施設の断熱性や気密性を向上させ</p>
--	--

<p>・重要性を認識しているのか</p> <p>(5) 既存の施設と仮園舎の断熱対策について</p> <p>イ 小中学校について</p> <p>・対策を講じる考えはあるのか</p> <p>(要望)</p> <p>子どもたちの生活・学習環境の改善や省エネルギーの観点から、老朽化の改修工事と同時に断熱改修をお願いしたい。</p>	<p>ることは、児童生徒の快適な教育環境に繋が り、また、エアコンの冷暖房効率が上がるこ とで機器への負荷の軽減や、光熱費の削減に 繋がるものと、その重要性を認識している。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 校舎の断熱改修は、特に教室の改修につ いては、学校活動への影響が多となり、大 規模改修は難しい現状である。</p> <p>このことから、現在、断熱性能をあげる対 策として屋上防水工事を実施する際、遮熱効 果がある部材を使用したり、窓からの日差し を遮るカーテンの設置や遮熱フィルムを貼 付するなど、学校施設の状況に応じた対策を 講じている。</p>
---	--

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (生涯学習課)	
<p><質問概要></p> <p>前原 博孝 議員 (自民)</p> <p>4 臨機応変な公民館運営について ・公民館の飲食を伴う利用について</p> <p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>2 川口市子ども読書活動推進計画について (1) 公民館等の社会教育施設の取り組みについて ・読書環境の整備について</p>	<p><答弁概要></p> <p>(市長)</p> <p>A 公民館は、市民の教養の向上や相互のつながりを維持するうえで、欠かせない施設であると考えている。これまで多くの方から「公民館で食事をしながら交流を深めたい」などの声を直接聞いてきた。一方で、公民館は、社会教育施設であるため、引き続き飲酒は禁止とするが、市民の交流を深める場として、より柔軟に利用できるよう、飲食のルールの緩和について担当部局に指示したところである。今後も、市民が利用しやすい公民館になるよう取り組んでいく。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 公民館等の図書コーナーや図書室は読書や調べものなどの学習を行う場であり、また、子どもの読書に対する興味や関心を引き出す場となる重要な施設と認識している。公民館によっては児童書や絵本が少ない、または、古いなど、図書コーナーの環境に差がある状況であることから、今後は、図書館と連携して、古くなった本を入れ替えるなど図書の充実に努め、子どもや保護者などの利用者が読書を楽しめる環境の整備に取り組んでいく。</p>

<p>碓 康雄 議員（新風）</p> <p>3 人と人がつながるまちづくりについて</p> <p>(3) 公民館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の活性化について 	<p>(市長)</p> <p>A 公民館活動を活性化するためには、まずは、より多くの方々に利用いただくことが必要であると考えている。このことから、現在実施しているSNSなどを活用した講座情報の発信や自宅でも受講できるオンライン講座の更なる充実を図り、若年層や現役世代の方々を含めた新たな利用者の確保に努めていく。さらに、公民館の利用要件の緩和など、利用しやすい環境を整えるよう、担当部局に指示したところである。</p> <p>今後も、生涯にわたる学びや地域のつながりを支える公民館活動のさらなる活性化が図られるよう取り組んでいく。</p>
---	---

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(文化財課)
<p><質問概要></p> <p>金子 幸弘 議員 (共産)</p> <p>4 川口市の教育について (1)見沼代用水東縁について イ 歴史的価値について認識が高まるようにするには</p>	<p><答弁概要></p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 見沼代用水東縁については、文化財センター「郷土資料館」での展示や講座等の中で取り上げるとともに、小学4年生を対象とした「オンライン社会科見学」において、見沼代用水東縁からライブ配信を実施するなど、郷土の歴史への理解を深める事業を行っているところである。</p> <p>見沼代用水は、令和元年に世界かんがい施設遺産として埼玉県内で初めて登録されるなど、改めてその価値が認識されていることから、今後も、様々な事業を通じて、その歴史的価値を発信していきたいと考えている。</p>	
<p>碓 康雄 議員 (新風)</p> <p>8 市制施行100周年に向けた取り組みについて ・川口市史の続編を編さんしてはどうか</p>	<p>(教育総務部長)</p> <p>A 市史の編さんは、郷土の歴史や文化、先人たちのこれまでの歩みを次の世代に確実に伝えるという、自治体としての責務を果たすものであるとともに、市民の郷土愛を育むという役割を担うものであると考えている。今後の市史編さん事業については、多くの関係者や関係機関のご協力により取り組む必要があることから、編さん事業を開始する時期を見極めたうえで、事業が開始されるまでの間、資料の収集及び保管を適切に行っていく。</p>	

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (中央図書館)	
<p><質問概要></p> <p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>2 川口市子ども読書活動推進計画について</p> <p>(2) バリアフリー図書の書棚「りんごの棚」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークを活用したりんごの棚の設置を <p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>10 地域に関する課題</p> <p>(2) 横曽根公民館・横曽根図書館の供用開始に係わって</p> <p>イ 駅前に本の返却ポスト設置を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西川口駅をはじめ市内の駅前に返却ポストを 	<p><答弁概要></p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A りんごのシンボルマークを活用した「りんごの棚」の設置については、特別な配慮を必要とする子どもたちが楽しく読書に親しめる環境を提供し、障害や読書アクセシビリティへの理解につながるものと認識している。このことから、今後、中央図書館に設けているバリアフリー図書コーナーにシンボルマークを掲げ、さらに図書の充実に努めるとともに、各図書館においても棚の設置に向けて取り組んでいく。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 駅前に本の返却ポストを設置するためには、雨や風の影響を受けず利用者が自由に出入りできる場所及び回収時の駐車スペースの確保が必要となる。</p> <p>また、週5日の定期的な回収を行うための人員や車両を確保すること、返却ポストにゴミ等を入れられる事例が他市で多発していること等、費用面や管理面で課題があることから、現状では難しいものと考えている。</p>

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (スポーツ課)	
<p><質問概要></p> <p>松本 進 議員 (公明)</p> <p>8 スポーツの賑わいで健康寿命の延伸について</p> <p>(2) 川口マラソンを活かした元気な高齢者の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 70歳以上のランナーに対して参加料の割引を導入してはどうか <p>(3) 埼玉県屋内50m水泳場を活用した水泳イベントの開催について</p>	<p><答弁概要></p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 川口マラソン大会は、昨年12月の開催で43回を数え、参加されるランナーの皆様には、本大会の継続的な開催が、日々の運動の動機づけとなり、健康づくりの一助となっているものと認識している。</p> <p>参加料については、大会運営に必要な費用として負担いただいていることから、現時点では割引は難しいものと考えているが、今後も高齢者を含めた多くの方々に参加いただける大会となるよう、関係団体と連携して取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 現在、(仮称)神根総合運動公園内に建設中の埼玉県屋内50m水泳場は、多くのアスリートや国内主要大会の開催等に活用されると同時に、市民の皆様にも利用いただける施設となる予定である。</p> <p>このことから、本施設を活用した水泳イベントの開催についても埼玉県をはじめ、関係機関と協議していきたいと考えている。</p>

<p>最上 祐次 議員 (青嵐)</p> <p>6 活気のあるまちづくりについて (2) スポーツでまちの活性化をすることについて</p> <p>(要望) 今後は、本市ゆかりの選手が、大きな大会に出場された際は、市民への周知として、市役所本庁舎や川口駅のペDESTリアンデッキへ懸垂幕や横断幕を設置し、大きく宣伝してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>A 現在、整備を進めている(仮称)神根総合運動公園は、本市の新たなスポーツ振興の拠点として、スポーツ人口の拡大や競技力の向上につながるものと大いに期待をしているところである。</p> <p>また、これまで多くの本市ゆかりの選手が世界的な大会において活躍されており、子どもたちのみならず多くの市民の皆様にも夢や希望を与えているものと考えている。このことから、選手への支援を継続し、市民の皆様へのPRにも力を入れていく。</p> <p>今後も、市民の皆様それぞれの目的に応じてスポーツに親しむことができる環境づくりを積極的に進めていく。</p>
---	---

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(庶務課)
<p><質問概要></p> <p>稲川 和成 議員 (自民)</p> <p>10 教員の人材確保について (2) 駐車使用料の徴収廃止による待遇改善について</p> <p>(要望)</p> <p>教員の待遇改善や学校の事務の負担軽減にもつながるものと考えている。</p> <p>教職員の人材不足が少しでも解消され、その結果、本市の児童生徒への教育の充実がさらに図られるよう要望する。</p>	<p><答弁概要></p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市の教員等が学校に通勤用自動車を駐車する場合は、「市有施設への職員等の通勤等による自家用自動車の駐車に関する基本方針」に基づき、現在、駐車使用料を徴収しているところである。</p> <p>その一方で、本市では、教員の人材確保に苦慮しており、教員の待遇改善や負担軽減のほか、教員の働き方改革、人材不足解消等の観点から、令和8年度から学校施設に係る駐車使用料を無料とする予定である。</p>	

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (学務課)	
<p><質問概要></p> <p>稲川 和成 議員 (自民)</p> <p>10 教員の人材確保について (1) 教員確保に向けた取り組みの現状について</p> <p>前原 博孝 議員 (自民)</p> <p>6 小学校5年生校外教育の大貫海浜学園の運営について (1) 現状と今後の在るべき姿について</p>	<p><答弁概要></p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市では、臨時的任用教員説明会・パーティーチャー相談会の実施や大学への訪問、公共施設や駅などのポスター掲示による広報活動を行い、一人でも多くの人材を確保できるよう努めている。</p> <p>さらに、常勤の教員の確保が難しい場合は、非常勤の教員を任用することで、人員不足による学校教育への影響を少しでも軽減できるよう努めている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 現在の施設は、築43年を迎え、老朽化に加え、高齢化や人口減少による現地委託職員の人材不足等、安定した運営が課題となっている。さらに、気候や周囲の環境変化等により、これまでのような自然体験という本来の目的を達成することが難しい現状である。こうした状況を踏まえ、校外教育の在り方検討委員会での検討結果や、現状を考慮し、大貫海浜学園での校外教育は令和10年度末をもって終了することとしている。</p> <p>今後の在るべき姿については、新しい施設においても宿泊を伴った自然体験活動を通じて、豊かな学びを得られるよう、準備を取</p>

<p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>5 市民サービスの向上について</p> <p>(3) 放課後児童クラブの学校休業日の平日の利用時間を早めることについて</p>	<p>り進めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市放課後児童クラブの学校休業日の平日の開室時間については、多くの小学校の登校時間である8時からであり、保護者が出勤前に児童を預けることが難しいケースがあることは把握している。</p> <p>一方、放課後児童支援員の人材確保等が課題となっていることから、開室時間を早めることについては、他市の事例を調査しつつ、利用保護者のニーズを把握するためのアンケートを実施するなど、引き続き検討していく。</p>
<p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>5 増加する外国人児童生徒への対応について</p> <p>(3) 通常学級における教員欠員への対応</p> <p>・令和8年度に定数化される日本語指導教員を欠員が生じた通常学級へ柔軟に運用することは可能か。</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 現在、通常学級においては代員をあらかじめ充てる制度等を有効活用することで教員の欠員をなくし、子どもたちの教育環境を整えているところである。</p> <p>令和8年度から日本語指導教員が定数化されることに伴い、本市では初期指導拠点校を拡充し、日本語指導を行うための環境整備の向上を図ることとしている。</p> <p>今後においても、通常学級に年度途中の欠員が生じた場合に、日本語指導教員を通常学級へ柔軟に運用することが県の配置要項では想定されていないことから、その都度県教育委員会と連携を図りながら適切な対応に</p>

<p>(5) 学校ごとの受け入れ調整 ・特定の学校に集中する状況を是正するための方策について</p> <p>ふじしま ともこ 議員 (共産)</p> <p>3 子どもが安心して学べる環境を作るために</p> <p>(1) 正規教員を増やすこと</p> <p>(2) 臨時的任用教員から正規教員への選考方法について</p>	<p>努めていきたいと考えている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市では、児童生徒の居住地を基に就学する学校を指定しており、現時点において国籍等の理由による学区調整は行っていない。</p> <p>一方で、一部の学校における外国人児童生徒の在籍数の集中への対応については、慎重な検討が必要であることから、今後、日本語指導全体の仕組みを構築する中での課題としていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市としては、産休・育休等の代替として、正規教員を配置できる正規化特配という新しい制度を活用し、これまで臨時的任用教員が代員を担ってきたところに多くの正規教員を配置することで、欠員を可能な限り減らす予定である。</p> <p>今後も、積極的に正規教員を採用することで、欠員が生じることのないよう県教育委員会に働きかけていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 埼玉県の教員採用選考試験については、臨時的任用教員のこれまでの経験や、過去2年の結果をもとに、筆答試験の一部免除や、一次試験の免除が認められている特別選考の受験区分が設けられている。</p> <p>本市としては、現行の選考方法は適切であると捉えているが、臨時的任用教員の経験は、本市にとっても大切な財産になることと</p>
--	---

	<p>認識していることから、よりよい選考方法について、県教育委員会に働きかけていく。</p>
--	--

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(指導課)
<p><質問概要></p> <p>松本 進 議員 (公明)</p> <p>10 教育問題について</p> <p>(4) 学校プール授業の民間委託について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校2校の選定理由と具体的な内容について <p>(要望)</p> <p>プール施設までの移動には、安全な歩行空間を確保するよう要望する。</p> <p>また、将来的には、県の50m屋内水泳場の活用も視野に入れ、周辺に民間プール施設のないエリアでは貸し切りバスを利用した場合の経費を試算するなど、プールの改修工事費用と比較検討したうえで、市内の全学校でプールの民間委託ができるよう要望する。</p>	<p><答弁概要></p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A モデル校の選定については、学校水泳施設の老朽化により修繕等が必要な学校で、かつ、民間スイミングスクール施設が徒歩圏内にある学校としたものである。</p> <p>モデル事業の1回あたりの実施時間は、準備運動を含め60分間とし、十分な活動時間を確保するとともに、徒歩による移動時間と更衣時間を合わせた2単位時間続きの授業を4回実施する計画としている。</p> <p>指導の役割分担として、専門のインストラクターが児童の水泳指導を行い、教員は、全体の把握と安全管理に加え、インストラクターと情報を共有しながら、児童への適切な評価を行うこととしている。</p>	

<p>(5) 学びの多様化学校の開校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の入学予定人数と転入学を判断する基準について 	<p>(教育長)</p> <p>A 各学年の転入学予定人数については、新中学1年生が13名、2年生が5名、3年生が7名の合計25名となる予定である。</p> <p>また、芝園学園中学校では人との関わりの中で学ぶ力を育むことを大切にしていることから、対面での教育活動を基本としている。このことを踏まえ、転入学の判断基準については、教育支援センター及びプレスクールの生活において安定して登校できていることや本人と保護者両者に転入学の意思が確認できることなどとし、最終的には専門家を交えた転入学検討委員会を開催して、総合的に判断しているところである。</p>
<p>(6) 小中高生の自殺対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール端末を活用した「心の健康観察」の試行の成果と、今後どのように自殺対策に取り組んでいくか 	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 「心の健康観察」の試行については、教職員が児童生徒の心の声を受け止め、組織的な相談につなげることができた等の成果があった。このことから、今年度より、全小中学校において「心の健康観察」の実施を開始したところである。</p> <p>今後も、大切な命を守り抜くために、教職員が児童生徒の心の変化を適切に捉えて、組織的な対応を実施する等、自殺予防の取り組みが全校で推進されるよう、市立学校長会議や生徒指導担当学校訪問等を通じて、各学校に指導していく。</p>
<p>最上 祐次 議員 (青嵐)</p> <p>4 教育について</p> <p>(2) 学校図書館の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書環境作りの工夫・充実について 	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 児童生徒が、自発的・主体的に学校図書館を利活用するために、学校図書館の環境を整えることは、重要であると認識している。</p>

<p>(3) 主権者教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権者教育について市の見解とジュニア議会の再開について <p>5 安心づくりについて</p> <p>(2) 地域防災力の強化について</p> <p>イ 中学生の防災訓練参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳩ヶ谷中学校のように地域と協力して防災力を高める学校を増やしてほしい 	<p>現在、各学校では、学校図書館司書や司書教諭等が中心となって、児童生徒の図書への興味・関心を高める掲示物の工夫や図書委員によるおすすめの本の紹介、ポップ作り等に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、学校長のリーダーシップのもと、児童生徒が進んで読書に親しめる、居心地の良い魅力ある学校図書館作りの推進に向けて各学校と連携し、積極的に取り組んでいく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 主権者教育に関しては、「中高生未来を拓くふれあいトーク」を実施しており、参加した生徒から「市長の話は興味深いものが多く、質問に対して、優しく的確に答えてくれた」といった声もあった。一方、ジュニア議会については、議会の実体験を通して市政の仕組みを学ぶ場として実施されていた。</p> <p>今後の在り方については、双方の事業の成果を検証し、主権者教育の一層の推進が図られるよう、関係部局と協議していく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 地域防災力の向上という観点から、鳩ヶ谷中学校の取り組みは大変意義深いものと認識している。教育委員会としても、市立学校長会議等の場で好事例として共有し、その取り組みの重要性について周知していく。</p> <p>今後も、地域と学校が継続的に連携し、児童生徒が地域の一員として防災に主体的に関われるよう、関係機関と協力しながら取り組みを推進していく。</p>
---	--

<p>前原 博孝 議員（自民）</p> <p>5 小学校水泳指導の在り方について (2) 小学校水泳指導の民間委託の今後の方向性について</p> <p>6 小学校5年生校外教育の大貫海浜学園の運営について (2) 新たな運営方策について</p>	<p>（学校教育部長）</p> <p>A 水泳指導の民間委託については、多くの効果が見込める一方で、移動時間等の課題も考えられることから、令和7年度から局内で本格的な議論を進めてきた。そのような中、一つの選択肢として、令和8年度に、水泳施設が老朽化している学校のうち、民間スイミングスクールが徒歩圏内にある元郷小学校と原町小学校の2校において、民間委託のモデル事業を実施する予定としたものである。</p> <p>今後は、モデル事業を通して得られる様々な効果と課題を検証し、拡充も視野に入れつつ、さらに検討を重ねていく。</p> <p>（教育長）</p> <p>A 新たな運営方策としては、本市小学校52校を受け入れられること、児童の活動内容や安全面が確保されていること、併せて費用面が高額にならないことなどを条件に代替地を検討してきた。</p> <p>その結果、経済的・業務的負担や安全面、施設の受け入れ実績等を勘案して、福島県にある「国立那須甲子青少年自然の家」が宿泊学習を行う施設として適切であると判断した。</p> <p>今後は令和9年度より先行実施するモデル校での実施状況を踏まえ、施設関係者とも協議を重ねながら、全校実施に向けた具体的な運用方法を精査していく。</p>
--	---

<p>青山 聖子 議員（自民）</p> <p>5 増加する外国人児童生徒への対応について</p> <p>(1) 日本語初期指導の拠点校拡充 ・拠点校の増設はあるのか。また、拠点校化により、日本語未習得のまま通常学級に編入する児童は減るのか。</p> <p>(2) 日本語指導に係る保護者負担 ・教材費相当分について、対象児童生徒の保護者に一定の負担を求めたい。</p> <p>(6) 国庫補助の活用 ・事業を分割するなどして、国庫補助と特別交付税を組み合わせ、財源の選択肢を広げることについて。</p>	<p>（教育長）</p> <p>A 令和8年度、日本語初期指導教室を増設し、小学校14校、中学校2校に拠点校を設置する。また、日本語が分からないまま通常学級に編入することがないように、編入前に外国人児童生徒とその保護者に対し学校説明会を行い、日本語初期指導の必要性の有無を確認した後、月1回に統一した初期指導開始日から、在籍校や近隣の拠点校に通級して、確実に日本語初期指導を受けるよう外国人の保護者に対して指導する。</p> <p>今後も外国人児童生徒に限らず、すべての児童生徒が円滑に学校生活を送ることができるよう川口独自の教育環境の整備に努めていく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 国際人権規約を踏まえ、外国人の子どもには義務教育への就学義務はないものの、就学を希望する場合には、日本国憲法や教育基本法に基づいて日本人児童生徒と同様に無償で受け入れることとなっている。</p> <p>さらに、教科書の無償配布及び就学援助を含め、日本人と同一の教育を受ける権利を保障するとされていることから、外国人児童生徒の保護者にのみ消耗品の一部を負担させることは困難であると捉えている。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 増加する外国人児童生徒の日本語指導、支援体制を充実させるため、国庫補助の活用も含め財源の選択肢を広げることは重要であると認識している。</p>
---	---

<p>ふじしま ともこ 議員（共産）</p> <p>1 障害者の居場所を減らさず選択肢を増やす市に</p> <p>(4) 川口市内に新たな特別支援学校の設置を県に求めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害の特別支援学校も十分ではなく、肢体不自由児の特別支援学校もないため、特別支援学校の設置を求めてほしい 	<p>そのため、引き続き文部科学省の「帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業」の継続や、補助増額等の拡充を注視するとともに、この事業を活用している他の自治体の取り組み等も参考に、財源のあり方について関係部局と連携し研究していく。</p> <p>(市長)</p> <p>A 本市では、これまで肢体不自由児の通学にかかる児童生徒・保護者の負担軽減や知的障害特別支援学校の過密化を早急に解消するため、市内への新たな特別支援学校の設置について、要望を続けてきた。しかし、令和7年3月に策定された「埼玉県特別支援教育推進計画」の中に本市への特別支援学校の設置は示されておらず、大変残念な思いである。</p> <p>そのため、私は、引き続き、粘り強く、肢体不自由と知的障害の特別支援学校を併置することなどを県に提案しながら、本市への特別支援学校の設置が、可能な限り早期に実現するよう強く働きかけていく所存である。</p>
<p>松本 英利 議員（自民）</p> <p>7 学校教育について</p> <p>(1) 学びの多様化学校の開校にあたり新たに学びを始める子どもたちに対する教育と支援について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 芝園学園中学校では、15人程度の少人数でクラスを編成することで、心の安定を図りながら生徒一人ひとりに寄り添い、安心して学校生活を送ることができるよう、個に応じた支援を充実させていく。</p>

<p>(2) 特別支援学級について</p> <p>ア 設置数について</p> <p>イ 設置の考え方について</p> <p>ウ 本市の取り組みについて</p> <p>・特別支援教育の充実に向けた研修を含めた人材の育成・確保はどうしているのか</p>	<p>また、集団での学校生活や体験的な学習を通じて、家族以外の人とふれ合う経験を積み重ねること、個々の学習状況に応じて支援を行うことなど、子どもたちの社会的自立に向けて、柔軟に学ぶことができる特色ある教育活動を進めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 特別支援学級の設置数については、毎年新設校の設置に努め、設置数は着実に増加している。令和8年度は、芝中央小学校に新設を予定しており、これにより、小学校40校、中学校18校となり、特別支援学級設置率は約74%となる見込みである。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 特別支援学級の設置については、対象児童生徒数の推移や学校施設等の状況に加え、教職員の人材の育成と確保状況などを総合的に勘案し、全校設置も含め、計画的に取り組んでいるところである。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 特別支援教育の充実に向けた教職員の人材育成を目的として、本市独自に「特別支援教育理解研修会」を実施するほか、年次研修の中で、関係機関や専門家による質の高い特別支援教育に関わる研修を実施している。</p> <p>また、来年度より校内支援を推進する管理職を対象とした研修会も実施し、組織体制の充実を図るとともに、担い手の裾野を広げるため、特別支援学級担当者を広く募る取り組みも進めていく。</p>
--	---

<p>(要望)</p> <p>教職員の人材の育成や確保と併せ、特別支援学級の全校設置に向けて、確実に取り組みを進めることを要望する。</p> <p>碓 康雄 議員 (新風)</p> <p>5 教育について</p> <p>(3) 特別支援学校の誘致について</p> <p>・今まで芝園中の跡地に限らず検討するという話はあったが、その後肢体不自由や知的障害の特別支援学校の設置についてはどのような話になっているか</p> <p>(要望)</p> <p>市長の県議会議員としての経験なども踏まえ、積極的に県に働きかけるよう改めて要望する。</p> <p>岡本 さゆり 議員 (無所属)</p> <p>1 川口市で起きている差別問題について</p> <p>(5) 子どものいじめ対策について</p> <p>ア 差別的言説や社会的風潮が、児童生徒間のいじめに影響している可能性について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 市内への特別支援学校の誘致については、通学の利便性や環境の面からも本市の児童生徒にとって必要なものと認識しており、現在も継続して県と協議を行っているところである。</p> <p>今後も引き続き「埼玉県特別支援教育推進計画」に特別支援学校の設置が位置づけられるよう、粘り強く県との協議を継続していく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 昨今の外国人に関する社会的風潮等が、いじめなど児童生徒の言動に、影響を及ぼしかねないことを危惧している。さらに、日々の学校生活の中で発する言葉などが、無意識のうちに人を傷つけてしまう可能性がある</p>
---	---

<p>イ 外国にルーツを持つ児童生徒や家族を孤立させないための取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国にルーツを持つ子ども及び保護者への相談体制について <p>ウ 多文化共生に関する学校での取り組みについて</p>	<p>ことから、相手の立場に立って考える姿勢を育む指導がこれまでに増して重要であると捉えている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 相談体制については、国籍に関わらず教育相談員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図り、学校内の人間関係への不安に対して適切に対応できるよう、整備充実に努めている。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 学校における多文化共生の取り組みについては、文化や人々の生き方には多様性があり、その違いを認め合いながら生きることを目的として人権教育を行っている。また、ALTとの交流等による異文化理解や、相手を尊重することの大切さに気づくことをねらいとした道徳科での学習等を行っているところである。</p>
---	--

令和8年3月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 (学校保健課)	
<p><質問概要></p> <p>松本 進 議員 (公明)</p> <p>10 教育問題について</p> <p>(2) 学校調理室の空調整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理室に空調を整備すべきと考えるが、市はどのように考えているか <p>(要望)</p> <p>学校調理室の空調整備については、労働環境改善のため、効率の良い設置方法も含め、検討するよう要望する。</p> <p>(3) 学校施設への浄水器の設置について</p>	<p><答弁概要></p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 給食調理室の空調整備については、設置スペースの確保や大規模な電気工事を要するなど様々な課題があるものと認識している。一方で、昨今の夏場における暑さは大変厳しく、調理室の環境改善は重要な課題の一つと捉えていることから、引き続き、関係部局と調整を図っていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 熱中症予防の対策として、冷水を補給することは有効であると認識していることから、現状は、必要に応じて水筒を持参して対応しているところである。</p> <p>浄水器の設置については、残留塩素が除去された水を、長時間飲み切らないでいた場合、菌の増殖など衛生面の懸念や、リース料などコスト面の課題もあることから、浄水器も含め、引き続き調査研究していく。</p>

<p>金子 幸弘 議員 (共産)</p> <p>4 川口市の教育について (2) 中学校でも市独自に学校給食の無償化を</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 中学校の学校給食費を本市独自で無償化することについては、多額の財源を安定的に確保していく必要があることから、教育委員会としては、現時点での実施は難しいと認識している。</p>
<p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>3 子供子育て施策のさらなる充実について (2) 学校給食について ア 令和8年度の学校給食費について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 令和8年度の学校給食費については、米の値上がり等により主食費が未だに上昇しており、現在の給食費の単価では、給食の質や量の確保が困難となることから、主食費上昇分を増額改定し、小学校では月額4,942円の学校給食費を5,220円に、中学校では月額5,842円を6,202円に、それぞれ改定する予定である。</p>
<p>イ 小学校給食費に係る国によるいわゆる「給食無償化」への対応</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 小学校給食費に係る国による「いわゆる給食無償化」への対応については、令和8年度の小学校の学校給食費は月額5,220円を予定しているため、国の支援の基準額である月額5,200円を超過することとなる。このことから、超過分については、子育て世帯の家計への影響を鑑み、保護者負担が発生しないよう、本市独自で公費負担することで、令和8年度の小学校の学校給食費を無償とする予定である。</p>

<p>ウ 学校給食の質の向上について</p> <p>・学校給食費改定の過程で、給食の充実についての審議はなされていたのか。</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A この度の学校給食費の改定にあたっては、川口市教育委員会からの諮問を受けた川口市学校給食運営審議会において、成長期にある子どもたちに栄養バランスのとれた豊かな学校給食を実施することを念頭に、審議が行われたものである。</p> <p>教育委員会としては、給食の充実は子どもたちの心身の健やかな成長に繋がるものであるという同審議会による答申の趣旨を踏まえ、引き続き学校給食の充実に鋭意努めていきたい。</p>
<p>エ 保護者・児童への意識調査の実施</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 給食の献立は、学校長や教諭等から構成される献立委員会において、児童の様子や意見なども踏まえ決定している。一方、小学校の保護者や児童への意識調査の実施については、学校給食の質の向上を図る上で、有効な取り組みの一つであると認識している。</p> <p>実施に際しては、調査方法や調査内容等、考慮すべき点もあることから、他の自治体の取り組みを参考に検討していきたい。</p>
<p>オ 中学校給食費に係る主食費相当分の公費負担拡大について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 中学校給食費に係る主食費相当額の公費負担拡大については、学校給食費のうち、子どもたちのエネルギー源となる、米飯などの主食に係る部分を公費負担することが、限られた財源の中で、保護者の経済的な負担軽減につながる最善の策であると考えている。このことから、価格上昇分を含めた主食費相当額の公費負担を実施するべく、令和8年度当初予算に所要の額の計上を行ったところである。</p>

<p>岡本 さゆり 議員（無所属）</p> <p>5 小中学校給食への自校調理方式導入について</p> <p>(1) 給食の残食率の低減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校調理方式の方が適温で提供できるため、残食率の低減が期待できると考えるが、自校調理方式が残食率の低減に与える効果について、市はどのように認識しているか <p>(2) 食育推進に与える効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校調理方式の方が、調理の様子が身近に感じられ、栄養教諭や調理員による指導も行いやすいため、食育の推進に与える効果が高いと考えるが、市はどのように認識しているか。 <p>(3) 災害時に果たし得る役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校調理室は避難所における炊き出し拠点として温かい食事の提供に寄与できると考えるが、防災機能強化の観点から自校調理室をどのように位置づけているか。 	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 調理方式別の残食率については、調査を実施していないことから把握していないが、適温による提供のみならず、献立の嗜好や量など様々な要因によって変化するものと捉えている。こうしたことから、調理方式によって一概に評価することは困難であると認識している。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 学校における食育については、学校栄養教員を中心に、全ての教員が学校教育活動全体を通じて行っているところである。自校調理方式においては、調理作業を身近に感じることができるものと考えているが、調理方式による食育効果に差異はないものと認識している。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 災害時における学校の役割としては、学校教育活動の早期再開に取り組むことが最優先であり、避難所への食料の供給は被災者が直ちに食することができる現物としていることなどから、自校調理室を活用することは想定されていないものと承知している。一方で、各学校は避難所として指定されていることから、ライフラインの復旧や人材、食材の確保等、調理可能な諸条件が整い次第、災害対策本部の求めに応じて、可能な範囲で対応することとされている。</p>
---	--

<p>(4) 学校の改築計画に合わせて給食調理室設置を検討することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、自校調理方式の学校を増やしていくべきと考えるが、市はどのように考えているか。 <p>(要望)</p> <p>今後の建替えを一つの契機として、自校調理方式の拡充に向けた前向きな検討を強く要望する。</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 自校調理室を新たに設置することについては、現在のところ計画はないが、施設の老朽化や少子化の進行に伴う児童生徒数等の減少に対して、持続可能な学校給食の実施体制が求められているところである。今後における学校給食の調理方式については、重要な研究課題としており、引き続き、検討していきたいと考えている。</p>
---	--

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 教育総務課

質 疑	応 答
<p>議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目</p> <p>第19款 寄付金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目</p> <p>第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費補正の内</p> <p>1 変更 第10款 教育費 第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業</p> <p>第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業</p> <p>2 廃止 第10款 教育費 第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第3条第3表 繰越明許費補正の内</p> <p>1 追加 第10款 教育費 第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 中学校改築事業</p> <p>2 変更 第10款 教育費 第3項 中学校費 中学校改修事業</p> <p>第4条第4表 地方債補正の内</p> <p>2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業</p>	<p>仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業 十二月田小学校改築事業 十二月田中学校改築事業 小学校改修事業 小学校改築事業 中学校改築事業 中学校改修事業</p>
<p>< 質 疑 ></p> <p>(今田 真美 委員)</p> <p>99ページ、2項小学校費、1目学校管理費、 14節工事請負費の改修工事費、101ページ、 3項中学校費、1目学校管理費、14節工事請負 費の改修工事費において、トイレ改修工事を行う</p>	<p>(教育総務課長)</p> <p>小学校は、戸塚小学校、神根東小学校、中居小学 校、中学校は、上青木中学校、八幡木中学校を予定 している。</p> <p>改修内容については、和式トイレを洋式トイレに</p>

質 疑	応 答
<p>のはどこの学校でどのような改修か教えてほしい。</p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>① トイレの改修内容を詳しく教えてほしい。</p> <p>② 予定しているトイレの改修を行うと、洋式化率は何%になるのか。</p> <p>③ 99ページ、2項小学校費、1目学校管理費、14節工事請負費の改修工事費、101ページ、3項中学校費、1目学校管理費、14節工事請負費の改修工事費において、LED改修工事を行う学校を教えてください。</p> <p>④ 99ページ、2項小学校費、3目学校建設費、12節委託料、101ページ、3項中学校費、3目学校建設費、12節委託料の実施設計等委託料において、どのような内容なのか。また、見直した理由を教えてください。</p>	<p>変えるような単発の修繕ではなく、トイレ全体を改修するものである。</p> <p>(教育総務課長)</p> <p>① 床の乾式化や排水管などを含む、トイレの部屋全体を改修するものである。</p> <p>② 洋式化率については小学校は、令和8年1月31日現在、67.3%のところ工事を行うことで68.4%、中学校は、令和8年1月31日現在、74.6%ところ76.6%になる見込みである。</p> <p>③ 小学校については、上青木小学校、東本郷小学校、東領家小学校、中学校については、神根中学校、鳩ヶ谷中学校を予定している。</p> <p>④ 十二月田小・中学校の校舎の建替えによる実施設計を予定していた。</p> <p>基本設計の完了後、特別支援学級などの教室増の見込みや、水泳授業及びプールの施設をどうするのかという課題がでたことから再度検討し、実施設計を行うことにしたため、1年間延期したも</p>

質 疑	応 答
<p>⑤ 十二月田小・中学校の校舎を建替える理由は何か教えてほしい。</p> <p>⑥ 特別支援学級の教室増や、プール施設の在り方の問題は、十二月田小・中学校だけなのか、それとも学校全体の問題なのか教えてほしい。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者全員にて可決。</p>	<p>のである。</p> <p>⑤ 校舎の老朽化により建替えるものである。</p> <p>⑥ 学校全体の中での課題ではあるが、十二月田小・中学校の実施設計を行うにあたり直面した課題である。</p>

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 生涯学習課

質 疑	応 答
<p>議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目</p> <p>第19款 寄付金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目</p> <p>第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費補正の内</p> <p>1 変更 第10款 教育費 第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業</p> <p>第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業</p> <p>2 廃止 第10款 教育費 第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第3条第3表 繰越明許費補正の内</p> <p>1 追加 第10款 教育費 第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 中学校改築事業</p> <p>2 変更 第10款 教育費 第3項 中学校費 中学校改修事業</p> <p>第4条第4表 地方債補正の内</p> <p>2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(荻野 梓 委員)</p> <p>地域学校協働活動推進事業が減額とのことだが、減額理由と事業の内容について教えて欲しい。</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>地域学校協働活動推進事業については、一部、国の補助金で事業を実施しているが、クマが出没した自治体の登下校の安全対策を優先し配分されたため、補助金が減額となったことに伴い、事業費を減</p>

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 779 405 817">< 討 論 ></p> <p data-bbox="215 848 284 887">なし。</p> <p data-bbox="215 987 405 1025">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 1057 469 1095">起立者全員にて可決。</p>	<p data-bbox="815 295 1043 333">額したものである。</p> <p data-bbox="815 365 1410 678">なお、この事業費は、主に放課後子供教室の委託料や、学校応援団の消耗品費などに充てているが、放課後子供教室の委託料は減額せず、事業に影響のない範囲で、学校応援団の消耗品費などを減額したものである。</p>

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 中央図書館、スポーツ課

質 疑	応 答
<p>議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目</p> <p>第19款 寄付金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目</p> <p>第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費補正の内</p> <p>1 変更 第10款 教育費 第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業</p> <p>第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業</p> <p>2 廃止 第10款 教育費 第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第3条第3表 繰越明許費補正の内</p> <p>1 追加 第10款 教育費 第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 中学校改築事業</p> <p>2 変更 第10款 教育費 第3項 中学校費 中学校改修事業</p> <p>第4条第4表 地方債補正の内</p> <p>2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p>	

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 406 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 470 398">起立者全員にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 庶務課

質 疑	応 答
議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)	
第1条第1表 歳入歳出予算補正の内	
△ 歳出の部 第10款 教育費	
△ 歳入の部	
第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目	
第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目	
第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目	
第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目	
第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目	
第19款 寄付金	
第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目	
第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目	
第23款 市債 第1項 市債 第8目	
第2条第2表 継続費補正の内	
1 変更 第10款 教育費	第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業 第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業
2 廃止 第10款 教育費	第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業 第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業
第3条第3表 繰越明許費補正の内	
1 追加 第10款 教育費	第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業 第3項 中学校費 中学校改築事業
2 変更 第10款 教育費	第3項 中学校費 中学校改修事業
第4条第4表 地方債補正の内	
2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(荻野 梓 委員)</p> <p>予算説明書99、101ページ、2項小学校費及び3項中学校費、17節備品購入費の教材備品購入費において、GIGAスクール端末の契約差金で大幅に減額となっているが、購入台数が変わ</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>予定していた購入台数は確保されており、児童生徒用端末の単価が予定していた税込5万5,000円よりも安価な税込3万4,408円で購入できたことが減額の要因である。また、端末の単価が下が</p>

質 疑	応 答
<p data-bbox="188 297 778 398">っているのか、単価が下がっているのか、理由も含めて教えてほしい。</p> <p data-bbox="188 645 379 678">< 討 論 ></p> <p data-bbox="212 712 284 745">なし。</p> <p data-bbox="188 857 379 891">< 採 決 ></p> <p data-bbox="212 925 467 958">起立者全員にて可決。</p>	<p data-bbox="818 297 1409 544">った要因は、令和7年度に開始した共同調達により、Windows端末を使用する県内市町村と端末を共同で調達したことが要因であると考えられる。</p>

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 学務課

質 疑	応 答
議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)	
第1条第1表 歳入歳出予算補正の内	
△ 歳出の部 第10款 教育費	
△ 歳入の部	
第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目	
第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目	
第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目	
第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目	
第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目	
第19款 寄付金	
第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目	
第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目	
第23款 市債 第1項 市債 第8目	
第2条第2表 継続費補正の内	
1 変更 第10款 教育費	第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業 第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業
2 廃止 第10款 教育費	第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業 第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業
第3条第3表 繰越明許費補正の内	
1 追加 第10款 教育費	第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業 第3項 中学校費 中学校改築事業
2 変更 第10款 教育費	第3項 中学校費 中学校改修事業
第4条第4表 地方債補正の内	
2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>① 予算説明書97ページ、5目放課後児童対策費、13節使用料及び賃借料の建物等借上料において、支払開始日が変更になったとのことだが、その理由は何か。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>① 青木中央小学校放課後児童クラブにおいて、プレハブの工期が延長となったことにより未執行となるものである。主な理由としては、計画通知に時間を要したこと、建設業における働き方改革で土</p>

質 疑	応 答
<p>② 建て替え中は、放課後児童クラブはどこにあるのか。また、建て替え後は、どのような放課後児童クラブになるか。</p> <p>< 討 論 > なし。</p> <p>< 採 決 > 起立者全員にて可決。</p>	<p>日、夜間の作業時間が厳格化されたことなどによるものである。</p> <p>② 建て替え中は、学校と協議のうえ特別教室等を借用して、校舎内において保育している。また、これまでの100人規模のものから、建て替え後は150人規模のプレハブとなる予定である。</p>

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)	
第1条第1表 歳入歳出予算補正の内	
△ 歳出の部 第10款 教育費	
△ 歳入の部	
第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目	
第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目	
第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目	
第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目	
第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目	
第19款 寄付金	
第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目	
第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目	
第23款 市債 第1項 市債 第8目	
第2条第2表 継続費補正の内	
1 変更 第10款 教育費	第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業 第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業
2 廃止 第10款 教育費	第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業 第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業
第3条第3表 繰越明許費補正の内	
1 追加 第10款 教育費	第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業 第3項 中学校費 中学校改築事業
2 変更 第10款 教育費	第3項 中学校費 中学校改修事業
第4条第4表 地方債補正の内	
2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(荻野 梓 委員)</p> <p>① 予算説明書95ページ、3目教育指導費について、部活動指導員の採用人数が見込みを下回ったとの説明があったが、見込みの人数と実配置人数は、また、実績が見込みを下回った理由は、</p>	<p>(指導課長)</p> <p>① 26名の配置予定であったが、年度当初に県から補助金が減額となる旨の通知があったことを受け、配置人数を4月時点で採用が決定していた21名にしたものである。</p>

質 疑	応 答
<p>② 同じく、4目教育研究所費について、「ほっとルーム支援員の8名分が配当留保となっていた」との説明があったが、配当留保とはどのような事情によるものか。</p> <p>(今田 真美 委員)</p> <p>予算説明書95ページ、3目教育指導費のうち、目の説明「部活動指導員配置事業」について、先ほどの質疑によると、見込みに対し実配置人数が5名ほど少なかったとのことだが、子どもたちへの影響はないのか。</p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>予算説明書95ページ、4目教育研究所費のうち、目の説明「不登校児童生徒支援事業」について、配当留保の8名はどのような業務を行う予定であったのか。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p>	<p>② 県費の加配教員によって運営されている校内教育支援センター「ほっとルーム」において、令和7年度に万が一加配教員がつかなかった場合、市費によるほっとルーム支援員を配置できるよう、8名分の予算を確保したものである。結果、加配教員がついたことから、配当留保分を減額することとなった。</p> <p>(指導課長)</p> <p>年度途中に学校現場から追加で4名分の配置希望があったが、先程の説明のとおり、県補助金が減額となることにより希望に沿った配置ができなかった。そのため、全く影響がないとは言えない。</p> <p>(指導課長)</p> <p>ほっとルーム支援員は、自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分のペースで学習・生活し、個々の社会的自立を目指すことを目的として設置された校内教育支援センター「ほっとルーム」を拠点とし、不登校児童生徒の支援を行うものである。</p>

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 406 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 470 398">起立者全員にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 学校保健課、川口市立高等学校

質 疑	応 答
<p>議案第1号 令和7年度川口市一般会計補正予算(第10号)</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第4目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目</p> <p>第19款 寄付金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第7目</p> <p>第22款 諸収入 第5項 雑入 第1目</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費補正の内</p> <p>1 変更 第10款 教育費 第6項 社会教育費 仮称西川口・横曽根公民館建設事業 神根西公民館改築事業 横曽根図書館建設事業</p> <p>第8項 体育費 北スポーツセンター改築事業 仮称神根総合運動公園建設事業</p> <p>2 廃止 第10款 教育費 第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第3条第3表 繰越明許費補正の内</p> <p>1 追加 第10款 教育費 第2項 小学校費 小学校改修事業 小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 中学校改築事業</p> <p>2 変更 第10款 教育費 第3項 中学校費 中学校改修事業</p> <p>第4条第4表 地方債補正の内</p> <p>2 変更 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p>	

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 406 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 470 398">起立者全員にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育政策室

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>① 部活動は、教育的価値の大きいものであり、子どもたちの成長にもつながるものである。部活動のこれまでの在り方は、今後の休日の地域クラブ活動の中でも、生かされていくのか。</p>	<p>(教育政策室長)</p> <p>① 休日の地域クラブ活動の中でこれまでの在り方を生かしていくとともに、今後も平日は勤務時間内で部活動を継続していく。</p> <p>また、休日の地域クラブ活動として、まずは、指導を望む教員が指導者の中心となるクラブの設立準備を進めている。</p>

質 疑	応 答
<p>② これまでどおり、教員が顧問として運営していくのは、やはり難しいものなのか。</p> <p>③ なぜ令和9年9月なのか。</p> <p>④ なぜ、川口市は勤務時間内で部活動を実施しているのか。</p>	<p>部活動の教育的価値を継承しつつ、生徒の選択肢の幅が広がるよう、地域の協力団体の力も借りながら、受け皿を整備していく。</p> <p>② 部活動は本来、「自主的活動」という位置づけでありながらも、実質は業務と同等のものであり、これまで教員の献身的な活動によって支えてきたという面がある。部活動を業務として勤務時間外に命じることは本来できないものである。子ども達のためにも教職員の心身の健康をしっかりと守ることは、市や管理職の大事な役割であると考えている。</p> <p>③ 国は、令和8年度からを本格的な実行期間とし、この取組に関する予算を大幅に増額した。</p> <p>これを機会とし、公費負担を十分に投じる中で保護者の負担を抑えつつ段階的に進めていきたい。</p> <p>④ 学校では、時間割を工夫し、教員の勤務時間内でも活動時間が確保できるようにすることで、今まで教員の献身的な勤務で支えていた部活動を、今後も持続可能な形で適正に維持していくためである。</p> <p>また、12月に出された国のガイドラインの中でも、「部活動の在り方」について、「教員を顧問</p>

質 疑	応 答
<p>⑤ 疲弊している教員が増えているのか。</p> <p>⑥ 地域クラブで指導を望む教員は、どのぐらいいるのか。</p> <p>⑦ 地域の協力団体は、どのぐらいあるのか。</p> <p>⑧ 予算説明書の343ページ、6項社会教育費1目、社会教育総務費の目の説明に、「学校施設開放事業」とあるが、予算計上の内訳は。</p> <p>⑨ システム開発・保守委託料はどのようなもの</p>	<p>に命じる場合は、勤務時間内で活動するなどの工夫をし、負担が過度にならないようにする」という内容が明記されたためである。</p> <p>⑤ 埼玉県全体で精神疾患による休職者は、令和5年度に378人おり、年々増加傾向である。 教員の志願者数は減り続け、なり手が不足しているため、休職になった教員がいても、代替りの教員が入らないこともある状況である。</p> <p>⑥ 小学校教員14%、中学校教員23%である。人数換算では、小・中併せて約400名程度である。</p> <p>⑦ 現時点で、221団体で種目の種類は71種類である。</p> <p>⑧ 金額が多いものから順に、345ページ、12節委託料のシステム開発・保守委託料に1億1,112万7,000円、10節需用費の修繕料に3,399万7,000円、その他事業の遂行に必要なパートタイム会計年度任用職員に関わる報酬等で237万4,000円である。</p> <p>⑨ 利用団体と学校の利便性の向上のため、学校施設の利用申請システム及び当該システムに連</p>

質 疑	応 答
<p>を予定しているのか。</p> <p>⑩ 鍵管理システムとはどういうものなのか詳しく説明してほしい。</p> <p>⑪ そのようなシステムの構築に国で補助する制度はないか。</p> <p>(後藤 留美 委員)</p> <p>① 学校施設の使用料に関する条例の可決前後で、どのように市民の声を聞いて、仕組みの詳細をどのような経緯で決めたのか。</p>	<p>動する鍵管理システムを導入することを予定している。</p> <p>⑩ 施設管理の適正化と利便性の向上に資するもので、施設を管理する学校職員と施設を利用する団体が、直接相對することなく鍵の貸し借りを可能とするシステムである。学校施設の利用申請システムにより発行された暗証番号またはQRコードにより解除できるキーボックスを学校の正門付近等に設置する予定である。</p> <p>⑪ 内閣府地方創成推進事務局から交付される「地域未来交付金」により、システム構築費用の1/2が補助される制度があり、市全体の申請を企画経営課で一括申請する予定で、予算説明書69ページ、16款国庫支出金、2項国庫補助金、7目地域未来交付金、1節地域未来交付金のうち、7,256万円が補助される予定である。</p> <p>(教育政策室長)</p> <p>① 学校施設開放事業に関する規則は2月4日開催の第2回教育委員会定例会で議決され、その後減免など要綱について制定したところである。</p> <p>仕組みの詳細にかかる調査については、学校施設管理者である学校長に行ったところである。</p>

質 疑	応 答
<p>② 市民にアンケートなどを実施しなかったのか。</p> <p>③ 市民へのアンケートを実施しなかった理由は。</p> <p>(要望)</p> <p>活動時間の制限などを定めているが、幼少期からオリンピック選手を目指すような競技性が高い指導を希望する方もいる、埼玉県ジュニアアスリート事業のようなシステムも今後考えてほしい。</p> <p>(今田 真美 委員)</p> <p>① 地域クラブ活動推進事業において、子ども達に対しこれまでにアンケートをとったのか。</p> <p>② 令和8年度に実施する子ども達等へのアンケートについて、主な内容と規模は。</p>	<p>② 利用団体に対するアンケートは実施していないが、施設管理者である学校長に対して調査を行った。</p> <p>③ 学校施設開放については、社会教育法上、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放することとなっていることから、学校長に調査をしたところである。</p> <p>(教育政策室長)</p> <p>① 令和6年にアンケートを実施している。</p> <p>② 内容については、各団体に対し、実際に中学生を受け入れてもらえるか意思確認をし、子ども達については、実際に地域クラブに参加するか等、今後統括組織を立ち上げるにあたり、より具体的な内容を中学生及び今後中学生となるであろう小学生とその保護者に対し実施する。</p>

質 疑	応 答
<p>(幡野 茂 副委員長)</p> <p>① 部活動地域移行実証事業等委託料は、令和7年度には13団体であったが、令和8年度は何団体を予定しているのか。</p> <p>② 部活動地域移行モデル事業補助金は、今後創設する統括組織へ助成と聞いているが、創設の予定はいつなのか。</p> <p>③ 委託料は1団体10万円と聞いているが、50団体とのことであれば、予算の残りは何に使われるのか。</p> <p>④ 予算説明書345ページ、10節需用費の修繕料の主な用途は。</p> <p>⑤ 12節委託料のシステム開発保守委託料は学校施設開放の予約システムのことか。</p> <p>⑥ 鍵管理システムはすでに導入しているのか。</p> <p>⑦ 鍵管理システムは、令和8年度はまだ付かないのか。</p>	<p>(教育政策室長)</p> <p>① 令和8年度は50団体を予定している。</p> <p>② 8月を予定している。</p> <p>③ 委託料は吹奏楽部には1団体110万円を3団体、その他の団体には1団体10万円、ポータルサイトのシステム運営費として約400万円を想定している。</p> <p>④ 学校施設開放に関わり、夜間照明の操作盤の修繕を予定している。</p> <p>⑤ 学校施設申請システムと鍵管理システムである。</p> <p>⑥ 鍵管理システムは令和8年度中にシステムを導入・構築し、令和9年4月から運用予定である。</p> <p>⑦ 令和8年度はこれまでどおりの鍵の受け渡しとなる。</p>

質 疑	応 答
<p>⑧ 夜間照明操作盤修繕の内容は。</p> <p>⑨ 今後新たに夜間照明を設置した場合はどのようにするのか。</p> <p>(稲川 和成 委員)</p> <p>学校施設の開放事業について、ある団体が元旦から大晦日まで使用し、その団体が使用料を免除するよう署名活動をしていると聞いている。</p> <p>教育委員会は条件を満たせば週12時間まで免除にする等対応されるが、そもそもこの学校施設開放の取り組みは、その団体により変わったのではないかと考えるが真実はどうか。</p> <p>(要望)</p> <p>行政は公平公正が原点であり、学校は在籍する児童生徒のものであることから、児童生徒を最優先としなければならない。教育委員会で、そのような団体が二度と発生しないよう学校長とよく調整をしていただきたい。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p>	<p>⑧ 現在17校に設置している夜間照明は、コイン式とスイッチ式の2つが設置されているが、鍵管理システムに連動したものとした。</p> <p>⑨ 同様の操作盤を設置する。</p> <p>(教育政策室長)</p> <p>学校施設開放について、様々な情報が寄せられており、一部の学校では、利用団体の偏りが生じているとのことから、公平公正なものとするため新たな仕組みを構築したところである。</p>

質 疑	応 答
<p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わることについては、保育の継続性と専門性の確保がされないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p> <p>また、学校の施設使用料は、学校は教育の場であり同様の理由により反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%</p>	

質 疑	応 答
<p>である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、より良い取り組みにつながるよう努めて欲しい。同じく、部活動の地域展開は、地域の団体や指導者に加え、教員の力も借りて、生徒の休日の活動機会を確保するとともに、部活動の教育的意義を継承した活動も続けられるようにするものである。</p> <p>また、少子化や、時代の変化に伴う多様なニーズがある中で、今まで以上に活動の選択肢を広げることで、生徒の自己実現にもつながる取組である。国の補助制度もあることから、その活用により保護者負担を抑えつつ、着実に推進してほしいと思う。</p> <p>「学校施設開放事業」において、施設を利用す</p>	

質 疑	応 答
<p> るためのシステムを導入することは、初期投資として国の補助を受けて行われるものであることに加え、市民サービスの向上と学校の負担軽減のほか、施設の適切な管理に資するものであり、賛成である。 </p> <p> (本橋 慎吾 委員) </p> <p> 青嵐会は部活動地域展開に反対を表明している。よって地域クラブ活動推進事業に関わる経費は反対する。 </p> <p> (後藤 留美 委員) </p> <p> 部活動の地域移行に関しては国の事業であり、将来の負担軽減も踏まえて行われるものである。本市が受け皿となる団体のうち、教師以外の指導者の出会いで、子どもたちのやる気がさらに引き出せることも期待する。環境を整えるため丁寧に進行することを要望し賛成する。 </p> <p> (今田 真美 委員) </p> <p> 部活動の地域クラブ活動事業に関し、チルドレンファーストで慎重に進めるべきであるが、子どもを置きざりにしているように感じることから反対する。 </p>	

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 406 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 438 398">起立者多数で可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 教育総務課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務(令和9年度分) 奨学資金利子補給金(令和8年度融資分)</p> <p>奨学資金融資損失補償(令和8年度融資分) 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(本橋 慎吾 委員)</p> <p>① 予算説明書331ページ、3項中学校費、1目学校管理費、14節工事請負費の改修工事費に関わり、建替えの際にLED照明を導入したのはいつからか教えてほしい。</p>	<p>(教育総務課長)</p> <p>① 建替えによりすべてLED照明にした学校は平成28年に改築した幸町小学校が最初である。</p>

質 疑	応 答
<p>② LED照明の耐用年数の認識と更新の際の懸念を教えてください。</p> <p>③ 耐用年数が近くなったLED照明が故障した際、個別修理や全体交換の判断について教えてください。</p> <p>④ 予算説明書321ページ、目の説明、「小学校体育館空調機設置事業」に関わり、熱源を電気、都市ガス、プロパンの3方式にした理由を教えてください。</p> <p>⑤ 令和8年度予算に計上している学校を選定した理由を教えてください。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p>	<p>② 通常、約4万時間で、耐用年数は、10年から15年と認識している。</p> <p>改築の際にLED照明にした数校以外の学校は、令和8年度から改修工事を行い、耐用年数からすぐに故障することは考えにくいため、現在、課題として捉えていない。</p> <p>③ 故障した際は、個別対応していく考えである。</p> <p>④ 小学校体育館は避難所にもなることから、災害の際に空調機を使用できるように、熱源が偏らないよう電気、都市ガス、プロパンの3方式を選定したものである。</p> <p>⑤ 避難所になることから、空調機が安定的に使用できるよう、中学校26校に設置している熱源とのバランスや、地域に偏りが生じないように選定したものである。</p>

質 疑	応 答
<p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 生涯学習課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算 第1条第1表 歳入歳出予算の内 △ 歳出の部 第10款 教育費 △ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目 第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目 第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目 第3項 委託金 第4目 第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目 第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金 第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目 第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入 第23款 市債 第1項 市債 第8目 第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費 第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業 第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業 第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業 第3条第3表 債務負担行為の内 放課後児童クラブ業務(令和9年度分) 奨学資金利子補給金(令和8年度融資分) 奨学資金融資損失補償(令和8年度融資分) 小学校改修事業改修工事費 中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務 高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費 朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務 第4条第4表 地方債の内 学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 > (松本 英利 委員) 予算説明書49ページ、11節公民館使用料や 12節中央ふれあい館使用料などの使用料の改定 により、教育施設の使用料が今年度の予算と比較 し増額となっているが、公民館等の維持管理費に かかる公費負担分は、令和7年度と比較しどのよ うになったのか。</p>	<p>(生涯学習課長) 公民館等の維持管理費にかかる公費負担分は、 令和7年度97.5%、令和8年度97%と、約 0.5%の減となった。料金改定により、公民館 等の使用料が1,147万6,000円の増とな ったが、維持管理費も約1億7,800万円増と なり、公費負担分の減は、わずかとなった。</p>

質 疑	応 答
<p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>予算説明書49ページ、11節公民館使用料や12節中央ふれあい館使用料など、教育施設の使用料改定により、令和7年度予算と比較して影響額を教えてください。</p> <p>(幡野 茂 副委員長)</p> <p>予算説明書345ページ、2目公民館費、10節需用費の修繕料の内容について、教えてください。</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>使用料を改定した教育施設全体で、令和7年度予算と比較し、3,474万4,000円の増額となっている。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>公民館の維持補修に係る修繕の経費である。</p>
<p>< 討 論 ></p>	
<p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p>	
<p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収</p>	

質 疑	応 答
<p>入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 文化財課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p>	

質 疑	応 答
<p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 中央図書館

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務(令和9年度分) 奨学資金利子補給金(令和8年度融資分)</p> <p>奨学資金融資損失補償(令和8年度融資分) 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>予算説明書353ページ、13節使用料及び賃借料の電子図書を購入するための情報サービス使用料と、17節備品購入費の図書購入費だが、それぞれ減額されている。これまでは合計で1億円予算計上していたが、新年度は合わせて2,000万円減額している理由を知りたい。</p>	<p>(中央図書館長)</p> <p>予算の確保が厳しい状況であるので、これまで以上に適正かつ有効に予算を執行することに努めるため、図書資料の選書を改め節減を図るものである。</p>

質 疑	応 答
<p>(要望)</p> <p>図書館で本を購入することは大事なことの のでできるだけ予算を確保するよう努力してほし い。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館な ど、使用料の増額の影響が示された。受益者負担 を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入 は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか 3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施 設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込 まれることから、一定程度の受益者負担は必要で ある。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がさ れていることを踏まえれば、教育施設の使用料収 入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 科学館

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p>	

質 疑	応 答
<p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収入の予算は妥当であるため、賛成する。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

教育総務部 スポーツ課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務(令和9年度分) 奨学資金利子補給金(令和8年度融資分)</p> <p>奨学資金融資損失補償(令和8年度融資分) 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(荻野 梓 委員)</p> <p>① 予算説明書369ページ、目の説明「青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認更新事業」として2億1,234万7,000円が計上されているが、詳細を教えてください。</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>① 日本陸上競技連盟から競技場の公認を受けている。公認期間は5年間であり、現在の公認が令和9年9月で期間満了となることから、更新に向けて、令和8年度中に走路等の補修工事や備品購入を実施するものである。</p> <p>内訳としては、走路等の補修工事費として、</p>

質 疑	応 答
<p>② 同じく「青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認更新事業」について、他の自治体ではスポーツ振興くじ助成金を活用している例がまま見受けられるが、この事業に充てられる国や県の補助金があれば教えてほしい。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>歳入の使用料においては、公民館や文化会館など、使用料の増額の影響が示された。受益者負担を前提に計上された使用料の予算に反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>教育施設の一つである公民館等の使用料収入は、使用料改定後も施設の維持管理費のわずか3%である。維持管理に必要な経費は増加し、施設の老朽化が進み、今後も多額の更新費用が見込まれることから、一定程度の受益者負担は必要である。</p> <p>また、他市との均衡を図るなど一定の配慮がされていることを踏まえれば、教育施設の使用料収入の予算は妥当であるため、賛成する。</p>	<p>1億9,993万6,000円、写真判定装置や砲丸などの備品購入費として1,241万1,000円である。</p> <p>② 国や県の補助金については、調べた範囲では見当たらなかったことから、本市においても、スポーツ振興くじ助成金を交付申請しているほか、市債を充当する予定である。</p>

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 406 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 470 398">起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 庶務課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改築工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(本橋 慎吾 委員)</p> <p>予算説明書325ページ、2項小学校費、1目 学校管理費の小学校体育館のエアコン工事につい て、電気、都市ガス、プロパンガスのランニング コストは、</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>空調機のランニングコストについて、電気、都 市ガスは、体育館のみのメーターが分かれていな いため、把握はできない。</p> <p>一方で、プロパンガスについては、東中学校が 約140万円、西中学校が約80万円と年によっ て、また、学校によって差異はあるものの、概ね</p>

質 疑	応 答
<p>(荻野 梓 議員)</p> <p>予算説明書325、331ページ、小学校費、中学校費の17節備品購入費の教材備品購入費について、これはGIGAスクール端末の購入費が含まれると思うが、それぞれの購入台数及び単価を教えてください。また、これに対する国や県の補助にあたる歳入の項目を教えてください。</p>	<p>数十万円から数百万円の範囲となっている。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>GIGAスクール端末の購入台数について、小学校で9,500台、中学校で5,500台、合計1万5,000台となっている。単価については、端末の本体とケース等を含めて、税込5万5,000円を想定している。端末の購入費については、県から補助金が交付される予定で、予算説明書81ページ、公立学校情報機器整備事業費補助金にて、購入費用の2/3が補助される見込みとなっている。なお、GIGAスクール関連の国の補助金に関しては、予算説明書69ページ、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金にて、GIGAスクールのネットワークの改善に係る補助金が出る予定である。</p>
<p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>予算説明書320ページ、2項小学校費、326ページ、3項中学校費において、1校あたりの学校配当予算額と令和7年度の比較について教えてください。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>小学校費は、令和7年度の学校配当予算額が2億2,866万4,303円に対し、令和8年度の学校配当予算額が2億3,218万2,623円で、351万8,320円の増額となっている。</p> <p>小学校費の1校当たりの平均予算額は、令和7年度が439万7,390円に対し、令和8年度が446万5,050円で、6万7,660円の増額となっている。</p>

質 疑	応 答
<p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わることについては、保育の継続性と専門性の確保がされないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課</p>	<p>中学校費では、令和7年度の学校配当予算額が1億2,473万5,360円に対し、令和8年度の学校配当予算額が1億2,548万140円で、74万4,780円の増額となっている。</p> <p>中学校費の1校当たりの平均予算額は、令和7年度が479万7,514円に対し、令和8年度が482万6,159円で、2万8,645円の増額となっている。</p>

質 疑	応 答
<p>後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、より良い取り組みにつながるよう努めて欲しい。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 学務課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>①放課後児童クラブ利用料について、いくら値上げするのか。</p> <p>②改定額の根拠は。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>①月額7,000円から9,000円に改定する。</p> <p>②放課後児童クラブの事業費に係る国の考え方として、事業費の1/2を利用者負担とし、残りの1/6ずつを国・県・市で負担するという考え</p>

質 疑	応 答
<p>③使用料改定の使途は。</p> <p>④近隣市における使用料の状況は。</p> <p>(今田 真美 委員)</p> <p>放課後児童クラブ事業委託料に係り、支援員の処遇改善とは、具体的に何を実施するのか。</p>	<p>方がある。</p> <p>現在の本市放課後児童クラブにおいて、支援員の質の向上や、十分な子どもの居場所環境を確保するには、最大で1万4,000円以上の利用者負担が必要となる。</p> <p>他方、急激な利用料の増額は保護者の負担となることから、今般の改定は9,000円に留め、今後物価や人件費の高騰を踏まえ、時機を見て見直しを検討していく。</p> <p>③ハード面においては、空き教室の改修などの施設整備、インターネット環境の整備等に活用していく。</p> <p>ソフト面においては、常勤支援員の確保、職員の処遇改善、研修の充実など、質の向上に活用していく。</p> <p>④川越市1万1,000円、越谷市1万500円、さいたま市1万円、戸田市7,800円、朝霞市1万円、草加市8,800円である。</p> <p>(学務課長)</p> <p>従来より実施している月額9,000円相当の処遇改善に加え、支援員の経験年数に応じた処遇改善及び延長利用を実施している放課後児童クラブ職員の処遇改善を実施するもの。</p>

質 疑	応 答
<p>(荻野 梓 委員)</p> <p>放課後児童クラブ事業委託料に係り、令和7年度比約2億5千万円の増だが、その内訳を。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>要配慮児童の加配においては、従来加配対象としている特別支援学級児童に加え、通級指導教室に通う児童と、A・Bプランを策定している児童も加配対象に加え、約1億円の拡充を図る。</p> <p>処遇改善においては、キャリアアップ処遇改善事業及び処遇改善等事業の実施により、約1億円の拡充を図る。</p> <p>加えて、放課後児童クラブ事業委託の受託事業者事務局職員の人件費についても、新たに育成支援体制強化事業として国庫補助を活用し、4,600万円の拡充を図る。</p>
<p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>①放課後児童クラブ事業委託料に係り、令和8年度から委託先を変更するクラブはあるか。ある場合、どの事業者へ変更するのか。</p> <p>②放課後児童クラブ利用料について、値上げによる影響額は。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わることにについては、保育の継続性と専門性の確保</p>	<p>(学務課長)</p> <p>①新郷東小クラブと朝日西小クラブであり、それぞれ川口市社会福祉協議会からNPO法人子ども支援ホームへ変更となる。</p> <p>②歳入として約1億6千万円の増となる。</p>

質 疑	応 答
<p>がされないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、より良い取り組みにつながるよう努めて欲しい。</p>	

質 疑	応 答
<p data-bbox="188 297 379 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 470 398">起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>①予算説明書71ページ、16款国庫支出金、3項委託金、4目教育費委託金、1節「生成AIパイロット校事業委託金」が新規で計上されているが概要は、</p>	<p>(指導課長)</p> <p>①文部科学省による令和8年度生成AIパイロット校事業への応募を、現在2校が希望していることから予算措置を行っているものである。事業内容としては、学校現場における生成AIの活用について、成果・課題の検証や事例の創出・普及を行うことを目的としたものである。</p>

質 疑	応 答
<p>②応募を希望している学校はどこか。</p>	<p>②辻小学校と榛松中学校である。国からの指定が受けられたとしても、どちらか1校となる見込みである。</p>
<p>③予算説明書315ページ、1項教育総務費、3目教育指導費のうち、目の説明「小学校水泳指導民間委託モデル事業」について、概要は。</p>	<p>③小・中学校のプール施設の老朽化等の課題に対し、今年度より教育委員会内に「小中学校水泳の授業及び施設の在り方検討委員会」が設置された。本委員会での検討を踏まえ、新たな水泳授業の実施方法の一つとして、小学校水泳指導の民間委託をモデル事業として実施し、効果や課題について検証を行うものである。</p>
<p>④対象校はどこか。</p>	<p>④元郷小学校と原町小学校である。</p>
<p>⑤対象校の選定理由は。</p>	<p>⑤どちらもプール施設の大規模な改築等を必要としていること、また、徒歩圏内に受け入れ可能な民間スイミングスクールがあることである。</p>
<p>⑥民間委託は今後、他の学校にも展開していくのか。今後の見通しを教えて欲しい。</p>	<p>⑥プール施設がまだ新しい学校や、民間スイミングスクールが近隣にない学校もあるため、モデル事業の成果と課題を「小中学校水泳の授業及び施設の在り方検討委員会」にかけて検証するとともに、市内各校の状況を勘案し、今後の方向性については他の方法も含め複合的に検討を行っていく。</p>

質 疑	応 答
<p>⑦予算説明書315ページ 3目教育指導費 11節役務費のうち「人材派遣手数料」について、 外国語指導助手の人材派遣契約を新たにプロポー ザルにより実施するとの説明があったが、詳しく 聞きたい。</p>	<p>⑦外国語指導助手の派遣業務について、プロポー ザル方式により事業者の選定を行っており、3年 間の長期継続契約としている。現行契約が令和7 年度末で満了となることから、令和8年度から令 和10年度までの派遣事業者の選定について、プ ロポーザルを実施するものである。</p>
<p>⑧予算額が増加しているが、配置人数等の拡充予 定はあるのか。</p>	<p>⑧予算の範囲内において、配置人数を小学校で2 名増、配置日数を小学校で1名あたり15日増、 中学校で10日増とする予定である。</p>
<p>⑨予算説明書315ページ 3目教育指導費に おいて、令和7年度まで目の説明にあった「学力 向上支援事業」がないが、事業がなくなったのか。</p>	<p>⑨同事業については、ほぼ予算をかけずに実施で きていることから、予算上の事業を設定する必要 性が低いと考え、令和8年度から廃止としたもの である。</p> <p>なお、学力向上に係る取り組みは、引き続き、 実施方法等の改善を図りながら継続していく。</p>
<p>⑩実施内容について、令和7年度からの変更点は あるのか。</p>	<p>⑩これまでの「理科オリンピック」の内容に社会 科を加え、小学校高学年を対象とした「理社オリ ンピック」(名称仮)を実施する。これにより、 教科横断的な問題や、川口市に関する内容をテー マとした問題を設定することができ、理科・社会 科への興味関心を高めることができると考えて いる。</p>

質 疑	応 答
<p>①学力向上に係る取り組みは継続しているが、予算上の事業を廃止して、費用面での支障はないのか。</p> <p>(本橋 慎吾 委員)</p> <p>①予算説明書327ページ、3項中学校費、1目学校管理費のうち、目の説明「芝園学園中学校運営費」に関わり、各学年の転入学申請者数及び転入学予定者数は。</p> <p>②入学者の選考基準は。</p> <p>(今田 真美 委員)</p> <p>①予算説明書315ページ、1項 教育総務費、3目 教育指導費のうち、目の説明「地域クラブ</p>	<p>①「学力向上支援事業」としては、これまで、本市が独自で実施する取り組みのための参考図書購入費や問題用紙代などを消耗品費として計上していたが、ここ数年はインターネットや印刷室の活用等により予算を使わずに実施できている。</p> <p>なお、理社オリンピックの表彰盾のみ、「その他教育指導費」の消耗品費で購入する予定だが、金額としては1万円程度である。</p> <p>(指導課長)</p> <p>①転入学申請者数は、小学6年生が16名、中学1年生が5名、中学2年生が10名、合計31名である。うち、転入学予定者数は、小学6年生が13名、中学1年生が5名、中学2年生が7名、合計25名である。</p> <p>②第一に、児童生徒及び保護者に入学の意思があること、第二に、学びの多様化学校のプレスクールや、その前段となる教育支援センターに安定的に通えていることなどを基準とし、転入学検討委員会において専門家の意見も聞きながら総合的に判断しているところである。</p> <p>(指導課長)</p> <p>①学校部活動については、平成28年度から部活動指導員を配置している。</p>

質 疑	応 答
<p>活動推進事業」について、各学校で実施している部活動に対し、指導員を配置するということではできないのか。</p> <p>②地域クラブ活動という形ではなく、学校に配置している指導員をより拡充していくという考えはないのか。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わることについては、保育の継続性と専門性の確保がされないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p>	<p>②部活動指導員の配置は、県補助金の交付を受け実施しているものであるが、令和7年度においては予算上26名を配置予定であったところ、年度当初に県から補助金が減額となる旨通知があったため、当初の見込み通り配置ができなかったという実状がある。理由は県の予算に対し市町村からの申請件数が多かったことによるものと聞いているが、このような状況もあり、大幅拡充は難しい状況である。</p>

質 疑	応 答
<p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、より良い取り組みにつながるよう努めて欲しい。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 学校保健課

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務（令和9年度分） 奨学資金利子補給金（令和8年度融資分）</p> <p>奨学資金融資損失補償（令和8年度融資分） 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わる</p> <p>ことについては、保育の継続性と専門性の確保が</p>	

質 疑	応 答
<p>されないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、より良い取り組みにつながるよう努めて欲しい。</p>	

質 疑	応 答
<p data-bbox="215 297 405 331">< 採 決 ></p> <p data-bbox="215 365 469 398">起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年3月市議会定例会)

学校教育部 川口市立高等学校

質 疑	応 答
<p>議案第18号 令和8年度川口市一般会計予算</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算の内</p> <p>△ 歳出の部 第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部 第14款 分担金及び負担金 第1項 負担金 第3目</p> <p>第15款 使用料及び手数料 第1項 使用料 第9目 第2項 手数料 第7目</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第6目、第8目</p> <p>第3項 委託金 第4目</p> <p>第17款 県支出金 第2項 県補助金 第8目 第3項 委託金 第6目</p> <p>第18款 財産収入 第1項 財産運用収入 第2目 第19款 寄附金</p> <p>第20款 繰入金 第1項 基金繰入金 第6目、第7目</p> <p>第22款 諸収入 第3項 貸付金元利収入 第5項 雑入</p> <p>第23款 市債 第1項 市債 第8目</p> <p>第2条第2表 継続費の内 第10款 教育費</p> <p>第2項 小学校費 十二月田小学校改築事業</p> <p>第3項 中学校費 十二月田中学校改築事業</p> <p>第7項 学校保健費 新学校給食センター整備事業</p> <p>第3条第3表 債務負担行為の内</p> <p>放課後児童クラブ業務(令和9年度分) 奨学資金利子補給金(令和8年度融資分)</p> <p>奨学資金融資損失補償(令和8年度融資分) 小学校改修事業改修工事費</p> <p>中学校改修事業改修工事費 大貫海浜学園調理等業務 水上少年自然の家調理等業務</p> <p>高等学校アリーナS棟空調機設置工事費 里公民館改修工事費</p> <p>朝日公民館改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務</p> <p>第4条第4表 地方債の内</p> <p>学校施設等整備事業 社会教育施設等整備事業 体育施設等整備事業 教育債借換債</p>	
<p>< 質 疑 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p> <p>339ページ、4項高等学校費、3目定時制 高等学校運営費、10節需用費の消耗品費が減 額された理由を教えてください。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>(ふじしま ともこ 委員)</p>	<p>(川口市立高等学校事務長)</p> <p>募集停止による生徒数の減に伴い、これらに係 る経費を減額したことによるものである。</p>

質 疑	応 答
<p>反対の立場から討論する。</p> <p>放課後児童クラブ事業の委託業者が2校変わることは、保育の継続性と専門性の確保がされないと判断する。</p> <p>また、新年度から定時制の生徒募集を停止することは、行政として教育の機会を確保することに反し、生徒募集を再開すべきであると考えため、反対する。</p> <p>(松本 英利 委員)</p> <p>15款使用料及び手数料1項使用料9目教育使用料に関わり「放課後児童クラブ利用料」について、放課後の子どもの豊かな時間、安全・安心な居場所を確保していくための、ハード面としての施設の整備をはじめ、支援員の増強など、放課後児童クラブの質の向上のための必要な財源である。</p> <p>物価や人件費が高騰する中、引き続き放課後児童クラブの質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>10款教育費1項教育総務費3目教育指導費に関わり、「学力向上に係る取り組み」は、予算をかけずに工夫して実施しているとのことや、令和8年度以降はさらに実施方法等の改善を図りながら継続していくとのことである。予算上の事業としては廃止とする件も含め、今後の方向性として、よりよい取り組みにつながるよう努めて欲</p>	

質 疑	応 答
<p>しい。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者多数にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年 3月市議会定例会)

教育政策室、学校教育部 庶務課、川口市立高等学校

質 疑	応 答
議案第69号 専決処分の承認について（民事調停について）	
<p data-bbox="204 568 395 602">< 質 疑 ></p> <p data-bbox="221 636 458 669">(稲川 和成 委員)</p> <p data-bbox="204 705 782 878">本年2月9日の調停成立に至るまで、なぜこれほど時間がかかったのか、経緯を教えてください。</p> <p data-bbox="204 1263 395 1296">< 討 論 ></p> <p data-bbox="229 1332 300 1366">なし。</p> <p data-bbox="204 1469 395 1503">< 採 決 ></p> <p data-bbox="229 1538 485 1572">起立者全員にて可決。</p>	<p data-bbox="849 636 1166 669">(川口市立高等学校事務長)</p> <p data-bbox="831 705 1422 1153">平成30年より高等学校整備の過程において、工事の支障となるため、相手方に対し工作物等の撤去を求め、売却の提案について一度同意を得た。その後、進展に至らず、毎年2回程度郵送で伺いを立てていたが、一向に回答がないことから、今回、議会の承認をいただき、調停成立となったものである。</p>

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年 3月市議会定例会)

学校教育部 庶務課

質 疑	応 答
議案第46号 川口市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者全員にて可決。</p>	

環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和8年 3月市議会定例会)

学校教育部 庶務課

質 疑	応 答
議案第47号 川口市奨学資金条例の一部を改正する条例	
<p>< 質 疑 ></p> <p>なし。</p> <p>< 討 論 ></p> <p>なし。</p> <p>< 採 決 ></p> <p>起立者全員にて可決。</p>	

令和7年度 学校自己評価重点目標シ—卜綴

川口市教育委員会学校教育部学務課

令和7年度学校評価のまとめ(達成度)

【小学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	36	61	1	0	98
教育課程	37	62	0	0	99
開かれた学校づくり	50	45	0	0	95
教職員の資質向上	36	63	1	0	100
施設・設備等の管理	45	39	0	0	84

【小学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	36.7	62.3	1	0	100
教育課程	37.4	62.6	0	0	100
開かれた学校づくり	52.6	47.4	0	0	100
教職員の資質向上	36	63	1	0	100
施設・設備等の管理	53.6	46.4	0	0	100

基準

A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	変化の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

【中学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	21	35	4	0	60
教育課程	16	38	3	0	57
開かれた学校づくり	24	31	3	0	58
教職員の資質向上	20	37	3	0	60
施設・設備等の管理	26	25	2	1	54

【中学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	35	58.3	6.7	0	100
教育課程	28	66.7	5.3	0	100
開かれた学校づくり	41.4	53.4	5.2	0	100
教職員の資質向上	33.3	61.7	5	0	100
施設・設備等の管理	48.1	46.3	3.7	1.9	100

【高等学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	1	2	0	0	3
教育課程	1	2	0	0	3
開かれた学校づくり	2	1	0	0	3
教職員の資質向上	1	3	0	0	4
施設・設備等の管理	0	4	0	0	4

【高等学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	33.3	66.7	0	0	100
教育課程	33.3	66.7	0	0	100
開かれた学校づくり	66.7	33.3	0	0	100
教職員の資質向上	25	75	0	0	100
施設・設備等の管理	0	100	0	0	100

【幼稚園】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	3	2	0	0	5
教育課程	3	2	0	0	5
開かれた学校づくり	4	1	0	0	5
教職員の資質向上	4	1	0	0	5
施設・設備等の管理	4	1	0	0	5

【幼稚園】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	60	40	0	0	100
教育課程	60	40	0	0	100
開かれた学校づくり	80	20	0	0	100
教職員の資質向上	80	20	0	0	100
施設・設備等の管理	80	20	0	0	100

【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	61	100	5	0	166
教育課程	57	104	3	0	164
開かれた学校づくり	80	78	3	0	161
教職員の資質向上	61	104	4	0	169
施設・設備等の管理	75	69	2	1	147

【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	36.7	60.2	3.1	0	100
教育課程	34.8	63.4	1.8	0	100
開かれた学校づくり	49.7	48.4	1.9	0	100
教職員の資質向上	36.1	61.5	2.4	0	100
施設・設備等の管理	51	46.9	1.4	0.7	100

*参考(令和6年度)

	A	B	C	D	計
組織運営	43.9	52.4	3.1	0.6	100
教育課程	32.1	66.1	1.8	0	100
開かれた学校づくり	42.8	56.5	0.7	0	100
教職員の資質向上	42.3	56.5	1.2	0	100
施設・設備等の管理	54.2	44.4	1.4	0	100

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	
本町小	組織運営		<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な学校運営のため、「改善」をキーワードに、児童の教育活動の充実とともに教職員の業務改善を図り、組織的に「魅力ある学校づくり」を行う。 □不登校児童（傾向含む）や外国籍児童、特別な支援を要する児童等、個別の課題に応じた支援を充実させるとともに、家庭や関係機関等との連携を深め、どの児童も安心して過ごせる学校づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○持久記録会の大幅な変更をはじめ、学校行事や各教育活動において組織的に取り組み成果を上げた。 ○改善策を効果的に実行し、今後ともつながる「持続可能な」学校運営ができた。【学校評価（教職員）「P D C Aのもと」A B 1 0 0 %、A評価6 %向上（R 6比）】 □子どものよさを認める等、積極的な生徒指導に基づいた学級経営ができるようになつてきた。 □関係機関等との連携も通年でできた。 ・不登校対策について、変化の兆しが見える児童もいるもの全体としては大きな成果を上げられていない。 ・いじめ認知の感度を高くしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多様な環境にある児童への対応を継続していってほしい。 ・不登校やいじめ等について、今後とも十分気を配り丁寧な対応を願う。 	A
	教育課程		<ul style="list-style-type: none"> ○市教育委員会委嘱研究2年目の本発表の機会を生かし、「令和の日本型学校教育」の理論に基づいた教育課程を実践する。 ○週時程を29時間から28時間に変更した教育課程について、効果の検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員が一丸となり研究本発表を開催し研究の充実を図れた。また、研究と関連付けながら全国や県字調の結果を分析活用できた。 ○週28h時程について実施と検証を重ね、概ね効果的に実施できた。【児童アンケート発表・話し合い100%向上（R6比）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が一丸となって取り組んでいることは素晴らしい。 ・教職員や保護者の評価が昨年度より向上しているところに成果を感じた。 ・考える力などのよさに育成していくが、先生方の教える方も難しくなっていくと思う。 ・P D C Aサイクルのもと、長期的な視線で取り組んでほしい。 	A
	開かれた学校づくり		<ul style="list-style-type: none"> ○学校の様子を積極的に発信し学校の教育活動に理解を深めていた。 ○あおぎり応援団に取り入れ、連携して児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○またよりHP等による情報発信を推進できた。【保護者A評価4%向上】 ○保護者による教育活動の補助、地域教材、人材の活用等を積極的に推進し、開かれた学校づくりができた。【保護者A B評価95%】 ※地域の活用…樹木一歩探検、中央図書館見学、錫杖寺見学と講話、川口神社探検等 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも学校公開や行事等を通じて保護者や地域との連携を図ってほしい。 ・連絡アプリを来年度から変更することだが、今後もよりよいツールを活用し必要な情報を確実に伝達してほしい。 ・あおぎり応援団等地域との連携はよい。しかし、学校に関わっていない人にとっては学校の様子かわかりにくい。 	A
	教職員の資質向上		<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修やそれぞれのライフステージに応じた研修の機会を生かし、個々が課題意識を持ち、自己の教師力を高める。 □学校としての業務改善を引き続き推進するとともに、教職員一人ひとりがワークライフマネジメントを意識した業務改善により、時間外在職等時間を減少させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2年間の委嘱研究により全体的な授業改善につながり授業力の向上が図れた。【学校評価（教職員）授業改善A B 1 0 0 %、A評価32 %向上（R 6比）】 ○各主任が示範授業を行い、相互の授業力向上に寄与した。 □個々の状況に応じて積極的にワークライフマネジメントを実践した。また、他の職員も積極的に協力し働きやすい環境づくりを行った。 □研究発表の年だったが、意識的に業務改善の方策を推進できた。 ・在職等時間は減少傾向だがまだ道半ばである。来年度も引き続き取り組みを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の学校評価が昨年度より向上したところに成果があったことを強く感じられた。 ・アンケートの「自ら手本となる…」の項目で保護者の評価が低かったのが気になる。 ・効率化を図り時間外在職時間を削減しつつ質を落とさぬよういってほしい。 ・勤務時間の減少と子どもたちと交わることが多いのが残念。 ・資質向上には適切な勤務時間や休息が大事である。限られた時間の中で資質向上に期待する。 ・盗撮やセクハラ等を指導しなければならぬとかなんとも悲しいものである。 	<p>A</p> <p>B</p>
	施設・設備等の管理		<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の安全管理を徹底し、施設の不備による児童・教職員の事故をゼロにする。 ○児童の安全を最優先にした施設管理及び安全教育を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○給食室をはじめ修繕が必要な箇所の対応やインターフォン子機設置・教室へのカーテンの設置等、必要性を考慮し重点的に対応した。 ○事務職や各学年の会計担当等が連携を図り、会計事故防止を継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が頻繁に活動する場所も含め安全を最優先としてほしい。 ・施設の修繕等について、行政とも連携を図っていくとよい。 ・校内の点検を毎月ローテーションで行っていると感じ安心した。 ・情報機器等の更新やスキルのアップデートは常に必要と感ずる。 	A

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
幸町小	組織運営	重点目標 ○教職員個々の資質・能力・経験や長所を生かすという視点を常にもちながら人材育成を行うとともに、全教職員が同じ方向を向き、全教職員が一枚岩となる「チーム幸町」をつくる。	重点目標の達成状況 ○学年主任研修会を実施してミドリリーダールの育成を継続的にを行い、組織として機能する土台づくりを行った。 ○ミドリリーダールによる若手の育成においてより一層、見届け、確認を行う必要がある。	B	・幸町小は若手教員がとても多いので着実に育成してください。
	教育課程	○見直しと振り返りのある授業実践や個に応じた指導の充実を通して、学力低位層児童に着実に学力を身に付けさせ、より一層の学力向上を達成する。	○更なる学力低位層への支援を充実させ着実に学力を身に付けさせる必要がある。 ○学力向上プランに基づき授業改善をより一層図り、児童主体の授業を実践していく。 ○学力だけでなく、校内研究を通して道徳授業の充実を図っていく。	B	・学力低位層の児童に学力を身に付けさせる努力を今後も続けてほしい。
	開かれた学校づくり	○学習支援・環境整備・安全・安心の見守りに対して学校応援団の活動を充実させることで、より一層充実した教育活動を実現する。	○保護者による図書ボランティアの方々为主体的に取り組み、読み聞かせ等の活動が充実した。 ○学習支援による学校応援団の活動を充実させる必要がある。	B	・なかなか人材を新たに発掘するのは難しいのではないかと。地域で協力できることは進んで行います。
	教職員の資質向上	○風通しの良い職場づくりを実現させ、当事者意識を高める倫理確立に係る研修を充実させることを通じて事故を起こさない、起こさせない学校をつくり、学校事故0を達成する。 □各学力調査結果を踏まえ、見直しと振り返りのある日々の授業実践や研究委嘱を通して道徳の授業の実践力を向上させるため、計画的・継続的・組織的な取り組みを充実させる。 ◇「凡事徹底」を軸に共通理解・共通行動を徹底するとともに、教職員が積極的に児童に寄り添い、児童一人ひとりが安心して、自己有用感があふれる学校づくり及び学級づくりを実現させる。	○学校事故0を達成したが、集金した現金の管理において課題が残った。 ○研修で教職員の意識を高め、自分事として捉えるよう継続的に指導していく。 ○コミュニケーションを充実させ、風通しの良い職場づくりを実現できた。 □夏季休業中を利用して、各学力調査等の分析、課題の共有を行った。 □学力低位層個々に着目し、組織的に対応して着実に学力を向上させていく。 □より一層、朝の体力向上の活動の充実を図る ◇年間を通してたてわり活動を充実させることができた。 ◇廊下歩行や返事等、当たり前のことを徹底していく。 ◇日常の委員会活動の更なる充実を目標し、児童に自己有用感を高める。 ○校内掲示板の担当及び担当の主任を明確にし、校内全体の環境整備を行う。 ○児童による黙動清掃が定着してきた。 ○水回り等の細かな部分の清掃の徹底など、週課表の改善により清掃時間の確保を行う。	B	・現金の取り扱いには十分気を付け、目標の学校事故0を常に目指してほしい。 ・縄跳びの取り組みを積極的に進めているが、今後も継続的に進めてください。 ・今の時代、異年齢による活動が少ないため、学校で積極的に取り組むことはよいことです。
	施設・設備等の管理	○常に安心・安全な生活環境をつくるともに、学びにつながる教室掲示及び校舎内掲示を充実させ、豊かな学習環境をつくる。	○校内掲示の細かな部分の清掃の徹底など、週課表の改善により清掃時間の確保を行う。	B	・環境はとて大切で、これからも環境美化に努めてください。

令和7年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
		重点目標	重点目標の達成状況	
仲町小	組織運営	○個々の仕事の量的・質的なバランスの均等化を図り、教員一人の負担を軽減して、質のよい教育活動を展開させる。	○一人一主任としたことで、初めての学年主任となった教員や初任者でも、適切な業務量の取り組みを行うことができた。	・よく取り組んでいると思われる。
	教育課程	○2学期以降の教育課程の進行管理を確実に行う。	○1学期末からの全面校庭封鎖に伴い、教育課程を修正するとともに、屋上を開放したり、学区の仲町中学校の校庭や横曽根公民館の体育館など地域と連携したりして実施することができた。	・体育授業の確保はどのような現状になっているのか心配だったが、工夫して実施できているので安心した。
	開かれた学校づくり	○保護者の理解を得て、鮮度のよい情報を発信していく。	○年度当初の個人情報取扱いについて、同意書の書式を改定したことで理解を得られた。	・学校が取り組んでいる良い取り組みや結果も発信することで、保護者はより安心感を持つだろう。 ・先生一人ひとりが様々なことについて、保護者に説明できるようになっている必要がある。
	教職員の資質向上	○1コマ40分授業を定着させる。	○研修や日々の実践により、全教職員が1コマ40分を意識した授業を再構築できた。	・教職員がかなり意識して取り組んでいる。 ・自分たちは、紙ドリルしか知らない世代なので、タブレット学習がどのようなことなのか、支障の有無が分からない。
	施設・設備等の管理	○新校舎建設のための工事中でも、安全に学習できる環境を保持する。	○臨時、定期安全点検において、工事の影響と思われることは無い。	・体育の外の授業をどのようにしていか心配であった。

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (技 術)
			年 度 目 標	年 度 評 価	
上青木小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○校長の学校経営方針に基づきながら、教職員の学校経営参画を高める組織的、機動的な組織運営を構築させる。【教職員 学校評価 実度 9割以上】</p> <p>□温かい、心の通う学級経営を推進し、児童一人ひとりに寄り添う教育活動の実践を実現させる。【不登校支援 100%、新規不登校児童ゼロ】</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>【教職員 学校評価 87.6%達成】</p> <p>○全教職員が学校運営への参画意識をもち、組織的に活力ある学校づくりを実現する目標を掲げ推進した。</p> <p>○1人1改革を奨励して、意識させ、97.5%達成できた。</p> <p>【新規不登校児童 1名】</p> <p>□温かい、心の通う学級経営の推進を各担任のポトムアップで実施し、担任と児童一人ひとりの信頼関係を築くことができた。</p> <p>□一人ひとりの児童の状況に合わせて丁寧な対応をし家庭との連携も進めた。</p>	A	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (技術)</p> <p>・学校に新設された「ほっとルーム」のような「場」がいろいろあるところにあると良い。(子どもの居場所) せひ、ほっとルームの有効活用をしてほしい。</p> <p>・不登校には子が主体的に行かない場合と保護者が行かせない場合の2種類あると思うが、アプローチの仕方が違ってくるので考えて支援し方が良い。</p>
	教育課程	<p>OPDCAサイクルに基づき教育計画の作成、教育課程の管理の徹底とともに、学力・体力・徳力の調和のとれた「上小」子を育成する。【学力調査及び新体力テストの結果が昨年年度以上】</p> <p>□学校課題研究とおした本校の学力向上を実現する。【児童満足度 9割以上】</p>	<p>【教職員 学校自己評価 94.3%達成】</p> <p>○教職員の学校の週計画表を提出させ、必ず指導助言をしを管理することができた。</p> <p>○1家庭学習の手引きを保護者に直接説明、実施してきた。</p> <p>○読書、道徳、体育行事、外遊びは各担当を中心に全校で取り組むことができた。</p> <p>【児童の「できた」を実感する満足度 94%達成】</p> <p>□全教員1人1回公開授業を実施し、他の教員からの指導助言を仰いで指導法の工夫改善を進めた。</p> <p>□様々な教科でタブレット端末の積極的活用を進めた。特に図工の鑑賞では全学年がタブレットの活用をした。</p>	A	<p>・家庭学習でもタブレットは使っているのか？すべての家庭にタブレットを使う環境があるのか？</p> <p>・タブレットを使った授業に驚いた。とても良い。個人が作ったものを画面共有して授業をしているところが素晴らしい。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○「学校」「家庭」「地域」との連携・協働を進め、「応援しがいのある学校」をつくる。【保護者満足度 9割以上】</p> <p>□学校運営協議会を計画的に開催して、協議内容を充実させる。【学校運営協議会委員満足度 9割以上】</p>	<p>【保護者満足度 94%達成】</p> <p>○学級通信や学年だよりへの指導助言は確実に行うとともに、HPについては週1回以上の更新はできた。</p> <p>○デジタルネットワークの導入をし、順調に活用できた。保護者満足度も大幅に上がった。</p> <p>【学校運営協議会委員満足度 100%達成】</p> <p>□年間3回の会議を実施することができた。</p> <p>□本校の学校課題を明確にし、委員の方々に提示するとともに、意見をいただくことで学校経営の一助とするすることができた。</p>	A	<p>・地域には紙媒体で手紙等を配布してもらっているが、学校はデジタルネットワークを導入したことによりバーバーレス化が進んで良かったのではないかな。</p> <p>・生活科の学習で昔遊びをしようとしたが、本来は家庭でやることではないかな。公園で元気に遊んでいる子どもを見るのが、とても良いことである。遊ぶ中で、友達関係や助け合うこと、思いやりを学び、体力向上にもつながる。</p> <p>・地域としても、子どもたちを育成するために協力している。</p>
	教職員の資質向上	<p>○教職員一人ひとりが教育公務員として相応しい態度の醸成を図ること、自らの生き方に充実感を感じることができることにより資質向上を実現する。【教職員 学校評価 8割以上】</p> <p>□職務の厳正を図り、教職員事故防止を徹底させる。【教職員事故ゼロ】</p> <p>◇教職員一人ひとりのよさを生かすためにも、働き方改革を推進させる。【教職員満足度 9割以上】</p>	<p>【教職員 学校評価 86.3%達成】</p> <p>○全ての教員に対し、人事評価システムに基づき授業観察を校長、教頭が一緒に、一人ひとりに学級経営、教科指導等に関する指導助言をフィードバックして指導力の向上を進めた。</p> <p>□学校の教職員事故に関する研修会を年間20回以上(2月10日現在)実施するとともに、自分ごととらえられるような研修内容を設定して実施した。</p> <p>【教職員満足度 68.3%達成】</p> <p>◇行事の削減と授業時数の見直しにより、教職員の授業以外の時間で学級・学年の事務処理を行う時間が確保できたことで、ゆとりをもって業務に当たることができた。</p> <p>◇管理職による人事評価面談等で教職員一人ひとりとワークライフバランスに関する意見交換を行い、教職員一人ひとりに業務遂行に係る意識の変革を図ることができた。</p>	B	<p>・先生方が、新しい時代に合った学習を進めるために様々な方法で授業をしていて素晴らしい。研修等も大変であろう。</p> <p>・教職員事故に気をつけてほしい。</p> <p>・特になし</p>
	施設・設備等の管理	<p>○会計事務の適正な執行・管理を実施する。【会計事故ゼロ】</p> <p>□安心・安全を保障した教育活動を展開するための環境維持を確実に行う。【施設・設備事故ゼロ】</p>	<p>【会計事故ゼロ達成】</p> <p>○教材費集金のキャッシュレス化導入を実現させ、順調に運営できた。</p> <p>○PTAの協力を得、確実な監査を実施することにより、会計事故ゼロを達成することができた。</p> <p>○教材費未納の保護者へは、繰り返し催促を行ったり担任から支払いのお断りを繰り返すことでも未納ゼロを達成した。</p> <p>【施設・設備事故ゼロ達成】</p> <p>□毎日管理職が校内を巡回し、施設設備の点検確認をするともに、全教職員で毎月安全点検をすることで、施設設備の危険箇所や破損、不具合の早期発見、修繕を行うことができた。</p>	A	<p>・特になし</p> <p>・トイレや水道など、学校生活に欠かせない場所が老朽化により多くの修繕が必要になってきていることは悩ましいことである。どうか予算をつけてもらい、支障がないように環境を整えてもらえないものなのか。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	学 校 標 準	年 度 評 価	進 成 度	
		重点目標	重点目標の達成状況			
元郷小	組織運営	○目指す学校像「のちを大切に」のありたい学校像を児童の行動目標へと具現化する。 □生徒指導・教育相談の充実という学校課題に対する共通理解・共通指導致向を基づく組織的対応を実現する。	○職員会議、職員集会や講話朝会で「のちの大切にする あいのある学校」について伝え、目指す学校像に向け、教職員それぞれの取り組みに運動させることができた。 □生徒指導委員会を中心に、いじめや不登校の未然防止のために共通理解・共通指導致向を基づく組織的対応ができた。	B	・職員全員の力、組織の力で学校を運営していくこと。 ・多岐に発生する問題、課題に、ときには時間をかけずに対応、解決していく必要がある。 ・事業を参考にして、未然防止にいかにつなげていくか。	
	教育課程	○人との関わり、体験活動から得られる児童の主体性や、やさしさを見ることが実感することなどで自己有用感を育てる。 □障害理解教育・人権教育を通して他者理解を深め、児童の受容力の幅を広げる。	○目指す学校像に向けた日々の実践の中で、振り返る場面を多くの人との関わりや体験活動から何が得られたかを客観的に捉えることができるようになってきた。 □人権教育や道徳教育、交流活動の確かな実施で、児童の受容力の幅が広がった。	B	・児童の様子を見て、お互いに助け合おうと、協調性があるところとよい。 ・児童だけでなく若手教職員を含め、個性を認め、伸ばし、互いに尊重していくために、半歩、一歩ずつでも前進させていくことが大事である。	
	開かれた学校づくり	○地域人材や保護者によって実施されている活動や日々の学校の様子を情報発信することで、学校、家庭、地域の連携体制を確立する。 □学校運営協議会、PTA会議を通して、学校の在り方についての意見を求め、地域に根差した学校づくりを実現する。	○学校で行われている活動や日々の様子については、特に、学年からの発言に力を入れ、学校ホームページ、学級からのお知らせで各家庭、地域に伝えるようにした。 □学校の在り方について、保護者や地域の方々の意見をもとに、PTA活動の在り方について協議を進めることができた。	A B	・地域・社会も多様化、高齢化で学校運営について理解すれども、協力等なかなかできないやむを得ない諸々の事情がある。行政、市教委は具体的な地域共生の成功例を示してはどうか。 ・コンソーシアムは、開かれた学校づくりとしての誇りである。	
	教職員の資質向上	○学校課題研究「粘り強く学ぶ児童の育成」を基盤とした授業力、指導力の向上を実現する。 □心身ともに健康で、高い倫理観を備えた教職員集団を形成する。	○研究主任を中心に授業研究部、家庭学習推進部の2本を柱に共通理解・共通指導致向で実践を積み上げ、個々の授業力指導力が向上した。 □教職員事故ゼロ、長期病休者、休職者ゼロ状態を維持できている。また、倫理確立・全体研修を計画通り実施し、定期的に自己による行動確認ができています。	A A	・教職員、学校に関係する現場は、常に健康で働けた倫理観を備える集団が理想だが、現実には限られた時間内で十分に対応できない状態ではないか。 ・高き志が、入り口で頓挫しないようにしてほしい。 ・若手の教諭はキャリアから、まだ対応能力がついていないので、未熟な保護者への対応は難しい。	
	施設・設備等の管理	○教職員による定期安全点検だけでなく、平日頃からの危機管理意識を向上させる。 □教育環境の整備・充実のため計画的・効果的に予算を執行する。	○定期点検を教職員事故防止の観点から実施できるように、点検のポイントを周知徹底して行うことができた。また、管理職による校内巡回を行うことで、職員の危機管理意識が高まった。 □当初の計画に沿って、予算執行を行ってきたが、まだ、執行できていない修繕箇所がある。	A B	・限られた予算の中で、執行順を十分考慮して行ってほしい。 ・突発的な施設等の不具合発生を含む現場、児童への影響度合いを見極めて、優先順位をつけていくこと。 ・災害時の避難先である学校が、避難に耐えられるようにしておくことが大切である。雨漏り修繕、トイレのリニューアル等早々の対応が必要である。	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況		
飯塚小	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標の具現化に向け、教職員とともに、元気、活気、勢いがあり、笑顔いっぱい、まごころいっぱい学校の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート 「教職員は笑顔とまごころで接している」96.4% ○いじめ重大事態0件 ○運営委員会年間10回実施 ○生徒指導委員会を毎月実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価妥当である。 ・昨年度の反省に基づき、着々と計画を進めたところは評価できる。 ・重点目標は達成されていると感じる。
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の児童・地域の実態を踏まえた教育課程の編成及び確実な実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○週案の作成及び周知100% ○道徳論語制、全学年実施 ○教科担任制、3年生以上実施 ○ノートとタブレットの併用 ○アールの新設に伴う、体育の年間指導計画の修正 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気できちんと授業が行われていると感じる。 ・道徳の授業で独自の取り組みを実施してよい。 ・計画通り実施できたことは素晴らしい。
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域と目指す学校像を共有するとともに、その力を結集し、誰もが誇れる学校の実現。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート 「学校は積極的に情報を提供している」92.9% ○保護者への教育活動の公開8回 ○保護者アンケート 「登校見守り等に参加している」86.7% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報を提供していると感じる。 ・学校公開について、地域の方々にも学校内を見学する機会があり、よいと思う。 ・保護者との連絡を密にするともに、地域との連携もよくできていた。
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上を目指した日々の授業の質の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート 「教員は理解できるように授業を行っている」93.8% ○全学年研究授業を実施 ○指導主事の招聘4回 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価妥当である。 ・研修を充実させ、学校全体の指導力アップは工夫されている。 ・他校の授業視察をどのように取り入れていかが課題であると思う。
	施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備における学校事故が発生しない安全体制の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート「学校は子どもの安全面や健康面に配慮している」96.4% ○施設・設備における重大事故0件 ○教職員による安全点検、学校運営協議会委員による安全点検全て実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と予算が限られている中で、管理をとても頑張っていると思う。 ・いくつかの設備が古くはたっているので予算をつけてもらった方がよい。 ・古い校舎だが、しっかりと清掃に力を入れ、工夫して使用している。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価	重 点 評 価	連 成 度	
		重点目標	重点目標の達成状況			
芝小	組織運営	<p>○委嘱研究発表の機会を捉えて、教科部会を活性化させて若手教員の育成を重点に組織力を向上させる。</p> <p>□配慮の必要な児童の支援方法を明確化し支援を充実させる。</p>	<p>○良好な信頼関係と職員の一チームワークを構築できた。研究主任を中心に委嘱の教科部会の機動力が向上している。</p> <p>□報告型から協議型の校内支援委員会が定着している。配慮の必要な児童の支援や家族の背景を捉えに関わり方を全教員が意識し、教育活動に反映させることができた。</p>	<p>・若い教員の育成を時代に合わせたやり方で進めてください。</p> <p>・人員の補充のない「まっとうルーム」の開設は、必要性は理解できるが、働き方改革との矛盾を感じる。</p> <p>・配慮の必要な児童の背景を共有し個に合わせた支援をお願いします。</p>	A	
	教育課程	<p>○系統性を意識した学力・規律ある態度・体力を相互に関連させながら、質の向上を図る学習指導を目指す。</p> <p>□発達支持的生徒指導を推進する。</p>	<p>○研究委嘱の内容を意識し、教科の特性を活かした授業が展開されるようになってきた。</p> <p>□自己肯定感の高まりは、異学年でも数値として表れている。</p> <p>・児童会の活動が、充実し子どもたちが生き生きと活動している。</p>	<p>・根気強く全体もパルアップに努めてください。授業の工夫は、わかりやすくされています。</p> <p>・調べ学習で使用できる教材を一冊でも多く蔵書し、情報を常に新しくできるように検討したい。</p> <p>・自発的な児童会活動ができていると思います。</p> <p>・高学年が、低学年の子に声をかけています。縦割りの活動の成果だと思います。</p> <p>・地域行事に参加、お手伝いをしてくれる子どもが多いと感じています。</p>	B	
	開かれた学校づくり	<p>○芝小学校サポートチームの立ち上げと実働。</p>	<p>○学校運営協議会の意見を反映させた美化活動は実施することができた。</p> <p>・地域との連携は良好である。</p>	<p>・芝小サポートチームがより定着することを期待します。先生に過度な負担がかからないように進めてください。</p> <p>・学校での子どもたちの様子や、担任の先生と直接話ができる機会があると保護者は安心します。</p> <p>・活動のメリットが伝わることで活動の定着につながればと思います。</p>	B	
	教職員の資質向上	<p>○系属委嘱の機会を捉える。教職員とのコミュニケーションを積極的に図り、キャリア段階に応じた育成を推進する。</p> <p>□働き方改革のために、生徒指導力を向上させる。</p>	<p>○コミュニケーションの高い教職員集団である。若手が進んで研修に参加し、児童に還元できるように活動している。さらに互いを高め合う組織になれるようにしたい。</p> <p>□教員全員が働き方改革を意識して業務にあたっている。</p> <p>11月末見込み 月 4 5 時間以内 28 / 30 人 年 3 6 0 時間以内 29 / 30 人 年休取得状況 平均 17.8日</p>	<p>・授業のよいところの共有をお願いします。</p> <p>・現場の効率化と教育委員会の支援強化をお願いします。</p>	A	
施設・設備等の管理	<p>○安全・安心で心ある教育環境を実現する。(フェールの改修工事を含む)</p>	<p>○相互点検による安全点検は、担当が工夫をし電子化に向けて動いた。</p> <p>・避難訓練や不審者対応訓練を警察・消防と連携して美のある訓練となった。</p> <p>・あたたかい掲示物が増えている。</p>	<p>・安心安全な学校であってほしい。</p>	A		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
新郷小	組織運営	<p>○児童一人ひとりの「居場所」づくりを行い、児童が「進んで学べる」、保護者が「共に歩める」学校づくりを実現する。</p> <p>□「一人」で背負わない「生徒指導・教育相談」的体制を構築し、独自の関係機関早見表を作成、活用し全教職員の知識と実践力向上を実現する。</p>	<p>○「一人」で背負わない「初期対応は複数として生徒指導・教育相談の組織的体制を構築し、児童、保護者への複数対応を徹底することができた。</p> <p>□本校独自の関係機関早見表を作成、周知するなどして全教職員の知識と実践力向上させるとともに、問題に対して迅速、適切に対応することができた。</p>	<p>A</p>	<p>・児童一人ひとりの「居場所」づくりのために、教員が「一人で背負わず」に教育活動を行うこと、「関係機関早見表」を作成、活用するなど、とも評価できる。</p> <p>・特別な配慮が必要な児童については、保護者とともに関係機関との連携を進め、協力しながら活動していくことが重要である。</p> <p>・組織で助け合える取り組み、周りでフォローし合いながら活動を進めることは継続してもらいたい。校長を中心に、先生方が同じ方向で学校運営を進められている様子が見られ、これからますます良い学校になると思った。</p>		
	教育課程	<p>□各種学力・学習状況調査のデータ分析を生かして、個別最適な支援による授業改善を行うとともに、非認知能力を高める声かけや支援を行う。</p> <p>◇自己肯定感や自己有用感等非認知能力を高める学級経営、教育活動及びICTを活用しながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するための質の高い教育課程の設定と授業改善を実行し、学力向上を実現する。</p>	<p>□主幹教諭等を中心に、県学調等のデータ分析により、個々の伸びや課題を具体的に引き出し、教育活動に生かすことができた。</p> <p>◇研究推進委員会を中心に、グループごとに「自分中心」となる研究を行い、一人一授業や講師を招聘した授業研究により授業改善を実行することができた。</p>	<p>A</p>	<p>・教員の研究会実施等、大いに評価できる。児童が「覚える」ことは、子どもたちの中に「引き出し」を多く作ることとなる。「つめ込み教育」も必要な面がある。授業を参観し、「つめ込み」過程が工夫されていて感心した。</p>		
開かれた学校づくり	<p>○保護者、地域、外部機関等の教育力を持続可能な形で取り入れ、「本物に触れる」教育活動を確立する。</p> <p>□地域、保護者、関係機関と学校の課題を共有しながら「安心・安全」な学校づくりを実現するために、家庭や地域に積極的に情報を発信する。また、アンケート結果等から見出した改善方策等を周知する。</p>	<p>○地域の店や施設に訪問したり、地域の方々等をゲストティーチャーとして招聘したりするなど、継続可能な実施方法で「本物に触れる」教育活動を確立することができた。</p> <p>□主幹教諭を中心として週1回程度、ホームページで学校の教育活動を情報発信することができた。また、各学年からの情報発信も適切に行うことができた。</p>	<p>A</p>	<p>・ゲストティーチャーを招く等の取り組みや、校外授業で地域と触れ合う活動は大いに評価できる。</p> <p>・「本物に触れる」ことが大事である。体験は子どもたちの目を輝かせる。引き続き活動を進めてほしい。</p> <p>・学校HPやアプリもこまめに更新し、学校の活動内容も広く公開できていて、保護者も安心できるだろうと考える。</p>			
教職員の資質向上	<p>○研修及び学校研究を軸としながら、全教員で授業力の向上を進め、学力を高めるとともに児童の非認知能力（自己肯定感、自己効力感等）を育成する。</p> <p>□児童、保護者、地域に信頼される、高い倫理観をもつ教職員集団を形成する。</p>	<p>○教職員のキャリア段階に応じた指導力向上に向け、定期的、継続的に教職員の授業観察や面談を行うことができた。また、県や市の指導主事を計7回招聘し指導・助言を得ながら研究を進めることができた。</p> <p>□時節に応じた事例研修や報道内容に基づく研修、研修プログラムの実践を行うことで、教職員事故0を達成することができた。</p>	<p>B</p>	<p>・研修や研究を重ね、教員一人ひとりが研鑽を積んでいる様子が伺えて頼もしい。</p> <p>・業務内容が多岐に渡り、労働時間の短縮が難しい状況が向える。教科分担任の他に、特別な配慮が必要な児童の心のケア等を担う人材を配置することはできないか。</p> <p>・先生方の目標が高いこと、自分への評価が厳しいことが分かる。自分自身を誉めてあげてほしい。</p>			
施設・設備等の管理	<p>○高い危機管理に基づいた安全な学校づくりを実現する。</p> <p>□優先順位を見越めた予算運用と予算執行状況の定期的な確認を実施する。</p>	<p>○名担当による日常の安全点検で発見した危険箇所を即時対応できた。また、町会合同の避難所開設会議を本校で行い、町会防災担当者とともに非常時に迅速に対応できる体制を整えられた。</p> <p>□予算執行について複数で確認し、計画に基づいた執行を適切に行うことで、会計事故0を達成することができた。</p>	<p>A</p>	<p>・施設・設備等は県や市がどれだけ力を入れていくか大きいのではないが、適切な予算配分をお願いしたい。</p> <p>・限界はあるが、一つ一つ進めてほしい。</p> <p>・死角におおむねとも気を付けていく必要がある。</p>			

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況		
神根小	組織運営	<p>○各主任によるプラスワンの提案 ○充実した研修による指導力の向上</p> <p><input type="checkbox"/>生徒指導・教育相談の充実</p>	<p>○学校の状況を考え新しく工夫した提案が12本あった。 ○大学教授、市教委指導主事実践的な研修を計画通り実施することができた。校内から講師を募り研修を行うことができた。</p> <p><input type="checkbox"/>学期1回以上いじめ、人権等に焦点をあてた授業を行うことができた。 <input type="checkbox"/>「ほっとルーム」を活用した取組の組みを推進することができた。</p>	<p>・働き方改革を意識することは重要である。プラスワンの提案は、組織を活性化させる。 ・組織的な対応が良い。 ・提案の内容を知りたい。 ・1,2本の提案は評価できる。 ・いじめの未然防止や人権尊重の授業を継続して欲しい。 ・不登校児童への支援も継続してほしい。 ・いじめについては、些細なことでも留意していただきたい。 ・いじめの減少は先生方の努力の結果です。</p>	<p>・働き方改革を意識することは重要である。プラスワンの提案は、組織を活性化させる。 ・組織的な対応が良い。 ・提案の内容を知りたい。 ・1,2本の提案は評価できる。 ・いじめの未然防止や人権尊重の授業を継続して欲しい。 ・不登校児童への支援も継続してほしい。 ・いじめについては、些細なことでも留意していただきたい。 ・いじめの減少は先生方の努力の結果です。</p>
	教育課程	<p>○各教科において子ども同士が聞きあえる授業を展開できるようにする。</p>	<p>○大学の教授を招聘して3回研修会を実施した。職員が全員公開授業を行い指導助言をいただいた。焦点授業を3回実施し子どもの学び方についての協議会を実施した。講師の教授からは、子ども同士の共同が進んでいると評価していただいた。</p>	<p>・「学びの共同体」が導入されて児童の主体的に学ぶ姿勢が備わってきたと感じます。 ・子どもたちが関わりながら学べる体制の効果が期待されます。 ・子どもたちの意欲の授業を増やしてください。 ・対話的な学びを通して学習意欲の高まりに期待します。 ・職員のスキルアップのためにも授業は継続して欲しい。 ・先生方の研修も子ども同士の共同化への効果が期待できます。 ・SNS教育で子どもたちから犯罪の被害をなくしましょう。 ・町会としては、登下校等見守りを継続する。 ・保護者に学校生活員でもらうことが、学校と家族の隔たりを無くすることにつながると思う。 ・学校応援団では、学校と連携を取って様々な活動ができた。読み聞かせ、図書館まつり、本の修繕、花壇の花植え、園芸委員の指導、防犯協力、草刈等、学校にあった活動を続けていく。 ・学校応援団のメンバーに在校生の保護者が少ないことが課題。 ・学校応援団との連携協力が素晴らしいと思う。 ・運動会を地域にPRできること良い。 ・共働きも増え保護者の参加の呼びかけの工夫も必要と感じる。特に懇談会は担任の先生の話が聞ける良い機会として保護者に浸透していくことに期待したい。</p>	<p>・「学びの共同体」が導入されて児童の主体的に学ぶ姿勢が備わってきたと感じます。 ・子どもたちが関わりながら学べる体制の効果が期待されます。 ・子どもたちの意欲の授業を増やしてください。 ・対話的な学びを通して学習意欲の高まりに期待します。 ・職員のスキルアップのためにも授業は継続して欲しい。 ・先生方の研修も子ども同士の共同化への効果が期待できます。 ・SNS教育で子どもたちから犯罪の被害をなくしましょう。 ・町会としては、登下校等見守りを継続する。 ・保護者に学校生活員でもらうことが、学校と家族の隔たりを無くすることにつながると思う。 ・学校応援団では、学校と連携を取って様々な活動ができた。読み聞かせ、図書館まつり、本の修繕、花壇の花植え、園芸委員の指導、防犯協力、草刈等、学校にあった活動を続けていく。 ・学校応援団のメンバーに在校生の保護者が少ないことが課題。 ・学校応援団との連携協力が素晴らしいと思う。 ・運動会を地域にPRできること良い。 ・共働きも増え保護者の参加の呼びかけの工夫も必要と感じる。特に懇談会は担任の先生の話が聞ける良い機会として保護者に浸透していくことに期待したい。</p>
教職員資質向上	<p>○年間超過勤務時間360時間以上0</p> <p><input type="checkbox"/>教育公務員としての自覚ある行動を取れるようにする。(教職員事故0)</p>	<p>○年間超過360時間以下の教員の割合は、令和7年度約8割。</p> <p><input type="checkbox"/>倫理確立研修会は目標回数の8割を実施した。会計年度職員対象の研修は目標回数に届かなかった。</p>	<p>・職員の仕事の健康が子ども達にとって良い影響を与えると考えることから目標達成に向けて継続して欲しい。 ・教職員の超過勤務の改善を早く整えられることを期待します。 ・定時退勤ワークの取り組みは良いことだと思います。 ・働き方改革が求められ残業時間が軽減されたことは好ましい。 ・世間では教員の不祥事が続いており充分に自制して欲しい。倫理確立研修会は適切です。</p>	<p>・職員の仕事の健康が子ども達にとって良い影響を与えると考えることから目標達成に向けて継続して欲しい。 ・教職員の超過勤務の改善を早く整えられることを期待します。 ・定時退勤ワークの取り組みは良いことだと思います。 ・働き方改革が求められ残業時間が軽減されたことは好ましい。 ・世間では教員の不祥事が続いており充分に自制して欲しい。倫理確立研修会は適切です。</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○施設事故0</p>	<p>○施設事故は0件であった。校内・外巡回は毎日実施し、その都度修繕を行った。 ○業者による遊具の設備点検および校内・外の施設修理工を2カ所実施した。 ○教室の採光ため、樹木の伐採を実施した。</p>	<p>・施設事故ゼロが達成できたことは、評価できる。今後も継続ことに期待する。 ・体育館に空調設備を備えて欲しい。(防災上の避難所としても) ・図書室の本整備、また、読み聞かせ等を充実していることについて大変感嘆しています。学校応援団との連携を継続し教育環境が益々充実されることを期待します。 ・新校舎と旧校舎の設備の差が気になります。 ・体育館の空調設備をお願いします。</p>	<p>・施設事故ゼロが達成できたことは、評価できる。今後も継続ことに期待する。 ・体育館に空調設備を備えて欲しい。(防災上の避難所としても) ・図書室の本整備、また、読み聞かせ等を充実していることについて大変感嘆しています。学校応援団との連携を継続し教育環境が益々充実されることを期待します。 ・新校舎と旧校舎の設備の差が気になります。 ・体育館の空調設備をお願いします。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (技 師)	
		年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	連 成 度
青木北小	組織運営	<p>○校務分掌組織を再構成し、プロジェクトチームとしての役割も加え、組織として活動を行う。</p> <p>□教職員一人ひとりの得意を生かしたブラッスラの提案で教育活動を盛り上げる。</p> <p>◇不登校児童をこれ以上増やさない工夫と、不登校児童への支援率を10.0%とする。</p>	<p>○プロジェクトチームが組織として機能し、チーム内で役割分担をしながら適切に活動することができた。[学力]では校内研修に力を入れ、学力調査の向上があった。</p> <p>□一人ひとりのよさを生かした提案等を実施できた。仕事に対する温度差があり、主体的な活動が難しい面もあったが、チャレンジとやり抜く気持ちは教職員にも育っていた。</p> <p>◇新たな不登校を生み出さなかつた。外部機関との連携を図るとともに、保護者や児童と向き合って迅速に初期対応を行った結果、登校を促すことができた。</p>	<p>・方策をもとに目標が達成できたことは、何より児童の成長につながったことと喜ばしく思います。</p> <p>・いろいろと工夫して運営をされていますので、今後の評価が楽しみです。</p> <p>・不登校を生まない取り組みの充実をさらに期待いたします。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>
	教育課程	<p>○教科担任制で担当した教科の徹底した教材研究により、負担軽減と授業力向上を図る。</p> <p>□朝のスキルアップタイムを授業と連携させることでより効果的な学習を確立する。</p>	<p>○教科担任制では教材研究の時間の確保、教師の授業力の向上等大きな成果があった。会議時間の適切な活用と授業内容の精選により教育課程編成も適切に行えた。</p> <p>□スキルアップタイムをもっと学期から国語科に特化し、さらに国語力を高めるよう研修を進めている。これにより、来年度の年間指導計画が変更により現任作成中である。</p>	<p>・多国籍児童の多い中ででの授業の進め方は難しいものがあると思います。</p> <p>・国語力を高める研修を進めてください。</p>	<p>A</p> <p>A</p>
開かれた学校づくり		<p>○HPを毎日更新することで、学校での活動の様子をリアルに伝え、保護者や地域との連携を図る。</p> <p>□児童一人ひとりに地域の一員としての意識を高めるとともに、本物を学ぶ体験活動を行う。</p>	<p>○HP作成にあたって校内研修を行い、各学年での更新頻度を高めることができた。保護者や地域の視点を生かしたHPづくりについては次年度の課題となっている。</p> <p>□地域の皆さまの協力により昔遊びの計画ができた。また、体験的な学習の機会も例年以上となり、外部の方々からの刺激が児童には大きな成果として表れている。</p>	<p>・何らかの形でふれあいの場がもてること、大切なことと思います。</p> <p>・昔遊びができたことは、参加してくださった地域の方々も喜んでおりました。</p>	<p>B</p> <p>A</p>
	教職員の資質向上	<p>○教科主任が主宰する研修会を実施し、教職員一人ひとりが意欲的に参加しながら授業力を高めさせる。</p> <p>□全教職員で目指す児童像の実現に向けて校内研究組織を確立し、GRITを伸ばす教育について全教職員で研究を深めることで児童の学力を向上させる。</p> <p>◇保護者との連携を深めるとともに、児童理解を深め、教育相談の視点をもった温かい学級経営、教科経営を実現する。</p>	<p>○OGIGASクラスウェア端末の活用が今年度充実した実施ができた。授業研究会を実施し、教員同士の学びを深めた。管理職による授業観察での助言を行い、自信をつけさせた。</p> <p>□講師を招聘しての理論研修を行い、現在の国語教育について全教職員で学びを深めた。GRITについての研修も深まり、学力向上に向けての授業改善を実施している。</p> <p>◇教育相談研修を重ね、保護者対応、児童理解について学びを深めた。特に個人面談前の保護者面談対策には若手教員が実践力として身につけて、有意義であった。</p>	<p>・先生方の課題が多い中で毎日、先生方自身がゆとりのある日々を過ごせますように。</p> <p>・家庭でも希薄になってきていると感じる心の育成。心の育みや学びに向かう意欲を育てる取り組みを期待いたします。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>
施設・設備等の管理		<p>○図書への予算を拡充し、ボランティア等と連携しながら学校図書館を潤いのある場にする。</p> <p>□安全点検を随時行いながら、修理修繕のための予算を確保し、適宜修繕を行う。</p>	<p>○図書館のバーコード化の完成、図書ボランティア等との連携の教材により、充実した図書の活動ができた。また、予算配分も適切に行い、掲示の充実も図った。</p> <p>□計画に基づく予算配分を行ったが、修繕箇所が多く、予算以上の支出とおつてしまった。小さな老朽化を見逃さない目を意識し、安全点検も適切に実行できた。</p>	<p>・図書館の利用は国語力の向上につながりますので、充実を今後とも願います。</p> <p>・老朽化に伴う対応は学校ではなく、市で行うべきだと思います。</p> <p>・児童の安全との兼ね合いは難しいと思いますが、よろしく願います。</p>	<p>A</p> <p>B</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
領家小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○2年目となる学校経営方針よさをとめ合う領家小にいろいろプランを全職員共通理解のもと、より一層推進する。</p> <p>□教職員のキャリア段階に応じた学校運営参画意識及び実践力を向上させる。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○学方向上、チーム性向上、指導力向上といった今年度の学校経営上の重点について会議の場や校長室などで周知してきた。各教員の自己評価シートには当初面談において学校の経営方針に基づき目標・方針を記入するよう助言した。</p> <p>□教科等主任について教職員の得意やキャリア段階に応じて意図的に命課し、適宜指導・助言を行った。</p> <p>□主任としての力量を向上した教職員もいたが、全体的に更なる力量の向上を求めたい。</p>	B	<p>・組織運営は、方向性の異なるペパルを同じ方向のペパルへもっていくのが基本である。</p> <p>・校長の方針を教頭、主任、教員への全員が同じ方向に向けて行動で実勢へつなげることが最重要である。</p> <p>・組織は人と人とのつながりである。トップダウンとボトムアップをうまく併用して組織のレベルアップへつなげる。</p> <p>・各職員に、課題のブレークダウンとフォローが実践されていると考える。評価Cは辛いのではない。</p>
	教育課程	<p>○主体的対話的で深い学びの授業実践及び読み書き算の基礎的な活動を学校全体で継続的に行うことにより学力を向上させる。</p> <p>□楽しく意欲的に運動できる体育授業及び体育的活動の充実、体育的行事の改善により体力を向上させる。</p> <p>◇道徳科の授業を核とした道徳教育を充実させ、児童の道徳的実践力を育成する。</p>	<p>○多くの教員が、領家小学校学びのスタンダードの継続を意識した授業展開を実施した。</p> <p>○音読、詩の暗唱に取り組めた。</p> <p>○多くの教員がGIGAスクール端末を必要に応じて活用できた。</p> <p>□新体力テストの結果から体力向上が見られた学年がある。</p> <p>□年間を通じた体育的取り組みを実施できた。3学期の業間の時間に長なわとび8の字とびに取り組む時間を新たに設けた。</p> <p>□更にご道徳的実践力の向上が図れるよう道徳の授業を中心とした道徳教育に注力したい。</p>	B	<p>・領家小学校のスタンダードの継続を基本として、教員同士の協働を推進していくことで成果につながると思う。総合的には組織運営に関わっていると見える。</p> <p>・体力テストの各要素の1年生から6年生までの経過が把握できてから素晴らしいと思う。</p> <p>・思いやりへの心は基本である。それぞれの立場で思いやりへの心をほぐし、人の気持ちの分かる子にすることでいじめは減ると考える。</p> <p>・徳力の向上は学校だけでは難しい点もあると思う。家庭・地域の取り組みが重要と考えるが1つづきが気になる。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会の活性化と学校運営への具現化を行う。</p> <p>□学校の教育活動等の意図を積極的に情報発信する。</p> <p>◇保護者・地域との連携をより一層強化する。</p>	<p>○学校運営協議会において、学校の状況、課題点、経営方針等を説明し、委員の方からは建設的な意見を多くいただいた。</p> <p>□委員の方の意見を職員に周知し、学校運営の改善に生かすことができた。</p> <p>□学校によりは保護者や地域の方々が少ないでも興味をもつような挨拶文や時節に応じた情報を掲載した。個人情報に配慮しながらホームページの更新にも努めた。</p> <p>□音楽会の運営を改善し、多くの保護者が最後まで参観することができた。</p> <p>◇児童会活動と連携させ、気持ちのよいあいさつを励行した。取り組み期間をすぎても継続できるようにしたい。</p> <p>◇スクールガードに新たな対応要請を加えることができた。家庭科の授業で保護者の方々の協力を得た。</p>	B	<p>・学校運営協議会で多くのことを教えていただいた。</p> <p>・毎月の学校だまりを楽しみにしている。子どもたちの声が聞かえると安心と元気をもらえる。</p> <p>・音楽会を2部制にしたことは、他学年の演奏を聞くことができ新鮮だった。全体の入れ替えの回数が一度だけとなり、落ち着いて聞くことができた。</p> <p>・子どもたちの成長は、1に家庭、2に学校、3に地域である。立場は違えど、子どもを思い育てることは、共通認識であるといえる。</p> <p>・児童会の挨拶運動の継続を願う。気持ちのよい挨拶ができる雰囲気を広げてほしい。児童会と教員との連携を密にしてほしい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○校内の課題研究や若手教員の研究授業を実施することができた。</p> <p>○人事評価制度の運用に関連して、全ての教員の授業を年2回、45分間、管理職が参観し、指導、助言した。</p> <p>○引き続き教員のキャリア段階に応じた指導力向上に努める。</p> <p>□倫理確立研修の実施、教育情報の提供により、教育公務員としての意識を向上させた。</p>	<p>○校内の課題研究や若手教員の研究授業を実施することができた。</p> <p>○人事評価制度の運用に関連して、全ての教員の授業を年2回、45分間、管理職が参観し、指導、助言した。</p> <p>○引き続き教員のキャリア段階に応じた指導力向上に努める。</p> <p>□倫理確立研修の実施、教育公務員としての意識を向上させた。</p>	C	<p>・教員の人事異動は避けられないが、ベテランと経験の浅い教員のバランスが重要である。人を育てるためには相応の期間が必要である。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○施設設備の安全管理を工夫・徹底するとともに、老朽化箇所については計画的に修繕を進める。</p> <p>□GIGAスクール端末をばしめとした情報機器、情報を適切に管理する。</p>	<p>○安全点検に基づいて、危険箇所や修繕箇所を計画的に改善することができた。</p> <p>○外部の方に運動場遊具等の安全点検をしていただいた。</p> <p>□GIGAスクール端末は、毎月の点検により適切に管理した。</p> <p>□個人情報取扱ものの紙ベースから電子へ変更することができた。</p> <p>□引き続き、机上の整理を徹底していく。</p>	A	<p>・領家小と東領家小は統合する必要がある。領家小学校を新築校舎にすれば、地区において理解されると考える。</p> <p>・昇降口の施設はとも安心である。校内に入る時のネームプレートが活用されていないように思う。</p> <p>・紙からタブレットへの変化はすばらしいが、反面心配な面もある。</p> <p>・GIGAスクール端末を毎日持ち帰らなくなったので、活用が見えつらくなった。必要があれば、高学年だけでも持ち帰ってもよいのではないかと。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園)自己評価		学校(幼稚園)関係者評価(抜粋)
		年度目標	年度評価	
舟戸小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○校内分掌組織がP D C Aサイクルで積極的かつ組織的に取り組めるようにする。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○教職員による学校評価「目指す学校像の実現に向けて、全教職員が積極的かつ組織的に取り組んでいる」は97%であった。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p> <p>・特になし</p>
	教育課程	<p>○学習規律を定着させ、良好な人間関係の中で落ち着いて授業を進められるようにする。</p>	<p>○保護者による学校評価「学力の向上」81%、「徳力の向上」89%、「体力の向上」85%であった。</p>	<p>B</p> <p>・朝に挨拶ができないことは覆る時間が遅いことと関係があるのかもわからない。 ・保護者も挨拶ができるようになるよとい。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校・学年の様子や連絡等をホームページやメールで発信していく。</p>	<p>○保護者による学校評価「学校は家庭や地域に教育活動を積極的に公開したり、情報を発信したりしている」は84%であった。</p>	<p>B</p> <p>・特になし</p>
	教職員の資質向上	<p>○教育公務員として高い意識をもたせる。</p>	<p>○ボトムアップによる倫理確立委員会が計画的に実施できた。</p>	<p>A</p> <p>・特になし</p>
	施設・設備等の管理	<p>○安全面から優先順位をつけて施設・設備等を管理する。</p>	<p>○警杖を40本、さまた「不動産」2本新規購入し、不審者侵入に備えての対応を強化することができた。</p>	<p>A</p> <p>・グラウンドの安全管理で協力できることがあれば言ってほしい。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
十二月田 小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○学年や分掌による組織的対応により、多くの課題を解決することができた。 ○体育部会や特別活動部会等は、組織的に対応することができた。今年度は、国語や算数、社会科部会も主任を中心に新規事業を実施できた。 ○分掌主任 1 年目には、前年度の主任を副主任に据え、2 年間で目安に担当するサイクルを確立したので、円滑に運営できた。 ◇児童間のトラブルが大幅に減少した。キヤッパアローズ「考えて！決めて！伸ひろ十二月田っ子」で、研究が日常生活にも広がった。 ◇全学級が落ち着きのある学級経営を実現。 ◇心の解消率 100%。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>	<p>・今年度からの新規事業（国算タイム・ポイント等）について、先生方の専門性を生かした取り組み（教科担任制等）や学力課題に応じた取り組み（習熟度学習等）を進めているところは大変よい。 ・数年をサイクルとし主任等の経験を積むことは組織運営として大切な視点だと感じる。若くてはつらつとした先生方が多くてよい雰囲気だと感じる。 ・「先生 = 権威のある人」という価値観ではない今、自己指導能力として自分で決めるという経験を大切にしていることはとてもよい。</p>
	教育課程	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を推進し、質の高い授業実践を通して、学力を向上させる。 □ 3 年から 6 年生と 2 年生の一部の教科で、教科担任制を実施。授業を教回繰り返せ、その教科を中心に取り組みることにより、質が向上。 □ 教科担任制により、学年の児童を学年の教員が把握でき、問題に組織で対応することができた。 ◇ 2 月 14 日現在、531 名(62.6%)の児童が、自主学習ノート 1 冊以上提出。3 月まで、さらに増やせるように提出を促す。 ◇ 2 月 14 日現在、職員室前の掲示板に、優れた取り組みのバ 1 3 1 回掲示済。学朝会でも 3 名の児童を登壇させ、発表を行った。 ○ 学校運営協議会や保護者アンケート、教職員アンケートの声を学校運営に反映できた。 ○ 保護者連絡アプリの本格運用 1 年目ではあるが、報告・連絡・相談が、とても円滑にいった。 □ P T A の体制を大幅に変更して 2 年目になり、円滑に運営ができてきた。 □ P T A の協力により、多くの学校行事を円滑に実施することができた。 ◇ P T A の協力を得て学校行事を大きな問題なく実施できた。P T A 会費の減額等、様々な工夫により会員の確保にも繋げることができた。 ◇ 執行部の役割を細分化して負担の軽減を図ったが、協力者を増やせなかった。 ○ 6 年次までの若手職員には、経験年数や前年度の学級経営の状況を鑑みて、適材適所に配置することができた。 ○ 1 校目の本校で、低中高を経験させるとともに、主要な校務分掌主任を経験させることができた。 □ 学年では、ベテランの主任、副主任を中心に、学年の役割を計画的に分担することができた。 □ 学年と校務分掌を通じて、様々な職員構成により、多くのことを伝承することができた。</p>	<p>B</p>	<p>・不登校や登校しづかりのみられる児童への対応が丁寧でよい。特に、なまなまルールでの対応や保護者への丁寧な連絡がよい。 ・「教科担任制は、色々なクラスの先生が一人の子を多面的に見られるというのとはともよい。自主学習を頑張っている児童を称賛しているのも励みになっている。 ・自主学習ノートの取り組みは、家庭の協力が不可欠。子どもの取り組み状況を適切に保護者に伝え巻き込んで取り組んでほしい。 ・広報紙あゆみが保護者連絡アプリでの配信のみになったことで、地域の方々は見られなくなってしまう。個人情報保護やペーパーレス化、PTA 活動の縮小など様々な観点から精査し、地域の方々に学校の様子をどう伝えていくかを検討してほしい。 ・ P T A があるから豊かな活動ができ、それで子どもが育っていることを親世代に伝えていく必要がある。 ・ P T A も、ある程度の強制力をもって募集をかけないと人が集まらない。立候補に頼るのは限界がある。町会の運営とも似ているところがある。 ・若い先生方が多いのは、よいことだと思う。先生と児童の距離が近くて温かい雰囲気になっていく。 ・現場でベテラン職員の経験等が伝承されるような組織づくりを期待したい。</p>
開かれた学校づくり	<p>○ 学校運営協議会の皆様からのご意見や学校評価等、家庭や地域のご意見を学校運営に生かし、地域に根差した学校づくりを実現する。 □ 1 家庭 1 役の推進により、学校行事等を連携なく実施する。 ◇ 中堅職員やベテラン職員は、自己の役割を自覚し、若手職員の育成に努める。 ○ 若手教職員の成功体験を通じて、仕事における自己有用感を高める。 □ 中堅職員やベテラン職員は、自己の役割を自覚し、若手職員の育成に努める。</p>	<p>B</p>	<p>・倫理確立委員会、不祥事防止研修において、KYトレーニングやヒヤリハット事業の共有を進めているとのこと。内容を充実させ、事故の再発防止に努めてほしい。 ・北校舎の老朽化を心配している。</p>	
教職員の資質向上	<p>○ 安心・安全な環境を維持継続し、学校の瑕疵による事故を根絶する。 □ 教育環境の整備、充実のため、計画的に予算を執行する。</p>	<p>B</p>		

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
飯中小学校	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○教職員に校務(主任)分掌に自信を持たせ、学校経営参画意識を強く持たせる。</p> <p>□学年主任会を開催し、ミドルリーダーを育成する。</p> <p>◇不登校児童への対応を組織で取り組み、不登校児童数を減らす。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○年3回以上、面談を実施することができた。</p> <p>○主任の役割に不安がある教員が2%→34.6%に減少。</p> <p>□ミドルリーダーが学級経営及び授業技術等のポイントを苦手教員に向けて講義することができた。学校経営参画意識が100%となった。</p> <p>◇昨年度24人→12人に減少。今月の状況と次月の計画を毎月できなかつた。教員アンケート「組織的に対応している」80.8%であった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みに対し大いに評価します。自信をもっていたと思います。 ・ミドルリーダーの育成を実行してください。 ・先生方の社会的・教育的立場の重みを大切にして基本的な挨拶などを徹底してほしいと希望します。 ・学校経営参画意識100%は素晴らしい。 ・新人や若手の先生方の目標や教師像が学校の基本方針にそえるように考えてほしい。 ・教員同士が切磋琢磨し、自己研鑽を積み、自己のスキル向上をして児童に反映していただくことを期待したい。 ・不登校児童の減少は評価できます。先生方の取り組み、頑張りの結果だと思います。欠席日数から不登校人数にカウントされない不登校予備軍の人数や取り組みを知りたい。一人ひとりに寄り添ってほしい。 ・主任児童委員の対応が不可欠。地域の方でも民生委員経験者や現民生員も協力できると良い。 ・困っている家庭や子どもたちに二言の声かけと心配りをお願いしたい。教員になることもある。 ・地域との連携を持続可能なものとしていただき。年間行事が多いので見直しも必要。 ・中学校進学後の学力格差や中一ギャップ、小さいほうが良いと思う。外国籍児童にも。 ・校外学習で学ぶ社会性、学校外での対人の挨拶や礼儀を学ぶ機会はとも大切と思う。 ・いなかフェアイルに参加協力していただき先生方と直接つながる機会をもてることは地域の方や保護者との関係強化につながっていくと思う。 ・地域の会議等で議題を掲げて学校行事に協力できる所は実行していけたら良いと思う。
	教育課程	<p>○全学年、未履修を0にする。</p> <p>□年間指導計画を見直し、地域の実態に即し、創意を生かした教育課程を編成・実施していく。</p>	<p>○未履修0。授業観察、月末の授業実施時数の確認を行った。</p> <p>□年間を通して検討してきた。他教科との関連性や地域の特色を生かした単元を計画していく。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯中町の歩き方」小冊子。学校のシステムが網羅されていてわかりやすく役に立っている。 ・「コトモン」のことを詳しく知りたいと思った。 ・緊急メール・コトモンの活用は有効と思う。実際の配信の内容を見てみたい。 ・校内研修の実施、大いに評価する。今後もお互いを高め合っていたきたい。 ・4月当初から、先生方の成長が(人としての子どもたちへの声かけ等)嬉しいと思う。 ・校長先生の積極的な行動力には感謝の気持ちです。教頭の的確なスピーディーな対応に会議も充実感を感じている。 ・不祥事二コースは大きなきかけになっていると思う。 ・点検箇所の担当を変えて複数での点検は形骸化を防ぐためにも良いと評価する。 ・施設の設備の老朽化は改善していく困難はあるものの安全が保たれれば大切に使うということになければと思う。 ・教室内の机・椅子、担任の机の乱雑さが気になった。 ・学校として様々な工夫をしたのが教室移動等をしていっていることは満足している。 ・体育館の照明の暗さが気になっている。 ・校舎も古くなっていくため大変だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・特になし
開かれた学校づくり		<p>○学校、児童及び教職員を適切に評価する。</p> <p>□全家庭に飯中小学校のまわりを周知する。</p> <p>◇学校のお知らせや地域の情報、不審者情報等を保護者に迅速に知らせる。</p>	<p>○新しく招待給食を計画・実施。協議委員会の方々から日頃から、児童の様子を見ていただくことができた。</p> <p>□冊子発行のおかげで学校への問い合わせが減少した。</p> <p>◇天候・不審者、学校行事前日等、適時に発信することができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に参加のお知らせはきめ細かく充実していて参加しやすくて大変良いと思う。 ・読み聞かせの活動等で学校へ行ったり時、児童の挨拶が少なくなつた様を感じた。登校時の"あいさつ"の声かけに返ってくるのは半数近く。交わらない児童が増えている。あいさつの指導をしていただければと思う。 ・今後も地域と子どもたちの距離が縮まる活動をお願いします。 ・外国籍の家庭への周知についてはどうなっているのか、問い合わせ減少は効果の表れだと評価します。 ・有効活用できる充実した内容で題名も楽しさがわいてくる。 ・『飯中町の歩き方』小冊子。学校のシステムが網羅されていてわかりやすく役に立っている。 ・コトモンのことを詳しく知りたいと思った。 ・緊急メール・コトモンの活用は有効と思う。実際の配信の内容を見てみたい。 ・校内研修の実施、大いに評価する。今後もお互いを高め合っていたきたい。 ・4月当初から、先生方の成長が(人としての子どもたちへの声かけ等)嬉しいと思う。 ・校長先生の積極的な行動力には感謝の気持ちです。教頭の的確なスピーディーな対応に会議も充実感を感じている。 ・不祥事二コースは大きなきかけになっていると思う。 ・点検箇所の担当を変えて複数での点検は形骸化を防ぐためにも良いと評価する。 ・施設の設備の老朽化は改善していく困難はあるものの安全が保たれれば大切に使うということになければと思う。 ・教室内の机・椅子、担任の机の乱雑さが気になった。 ・学校として様々な工夫をしたのが教室移動等をしていっていることは満足している。 ・体育館の照明の暗さが気になっている。 ・校舎も古くなっていくため大変だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・特になし
	教職員の資質向上	<p>○組織的・計画的な研修の実施。</p> <p>□校長が全教員の授業を指導する。教室訪問・授業観察を計画的に進め、適切な指導と見聞けを行う。</p> <p>◇倫理確立研修の実施や職員集会以教職員事故二コースを知らせ、教育公務員としての自覚と使命感を強く持たせる。</p>	<p>○校内研修を通して「授業改善」に取り組み、児童の学力を向上することができた。61.5%となった。</p> <p>□できる限り、毎日全学級を訪問することができた。また、45分の授業を観察し、教員に指導助言をすることができた。</p> <p>◇教員アンケートでは、「教職員不祥事のニュースを自分事としてとらえることができた」が100%であった。教育公務員としての自覚を強く持たせることができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の実施、大いに評価する。今後もお互いを高め合っていたきたい。 ・4月当初から、先生方の成長が(人としての子どもたちへの声かけ等)嬉しいと思う。 ・校長先生の積極的な行動力には感謝の気持ちです。教頭の的確なスピーディーな対応に会議も充実感を感じている。 ・不祥事二コースは大きなきかけになっていると思う。 ・点検箇所の担当を変えて複数での点検は形骸化を防ぐためにも良いと評価する。 ・施設の設備の老朽化は改善していく困難はあるものの安全が保たれれば大切に使うということになければと思う。 ・教室内の机・椅子、担任の机の乱雑さが気になった。 ・学校として様々な工夫をしたのが教室移動等をしていっていることは満足している。 ・体育館の照明の暗さが気になっている。 ・校舎も古くなっていくため大変だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・特になし
施設・設備等の管理	<p>○安全点検の形骸化を防ぐ。</p> <p>□全教職員が学校の不備箇所や修繕が必要な箇所を知る。</p>	<p>○安全点検の仕方を改善することができた。複数での見回りを実施し、不審物の有無の確認もすることができた。</p> <p>□大きな不備・修繕がなかった。新たな設備の導入等を全教職員に周知することができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の実施、大いに評価する。今後もお互いを高め合っていたきたい。 ・4月当初から、先生方の成長が(人としての子どもたちへの声かけ等)嬉しいと思う。 ・校長先生の積極的な行動力には感謝の気持ちです。教頭の的確なスピーディーな対応に会議も充実感を感じている。 ・不祥事二コースは大きなきかけになっていると思う。 ・点検箇所の担当を変えて複数での点検は形骸化を防ぐためにも良いと評価する。 ・施設の設備の老朽化は改善していく困難はあるものの安全が保たれれば大切に使うということになければと思う。 ・教室内の机・椅子、担任の机の乱雑さが気になった。 ・学校として様々な工夫をしたのが教室移動等をしていっていることは満足している。 ・体育館の照明の暗さが気になっている。 ・校舎も古くなっていくため大変だと思いますが、よろしくお願ひします。 ・特になし 	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	学校 (幼稚園)		自己評価		学校 (幼稚園)		関係者評価 (抜粋)	
	領域	年度目標 重点目標	学 校 標 準	年 度 評 価	重点目標の達成状況	年 度 評 価	達成度	
並木小	組織運営	<p>○組織を再構築する。</p> <p>□組織間の連携を強化する</p>	<p>○組織体制を明確にしたことは、各組織活動を活性化することに繋がった。 リーダーを分散させることにより仕事の偏りを解消することができ、リーダーの活躍の機会が増えた。</p> <p>□提案の際の一連の流れはある程度定着してきたが、各部員の自覚が足りず、学年会での十分な検討が行われなかったことが多少みられた。</p>	<p>○組織体制を明確にしたことは、各組織活動を活性化することに繋がった。 リーダーを分散させることにより仕事の偏りを解消することができ、リーダーの活躍の機会が増えた。</p> <p>□提案の際の一連の流れはある程度定着してきたが、各部員の自覚が足りず、学年会での十分な検討が行われなかったことが多少みられた。</p>	<p>○組織体制を明確にしたことは、各組織活動を活性化することに繋がった。 リーダーを分散させることにより仕事の偏りを解消することができ、リーダーの活躍の機会が増えた。</p> <p>□提案の際の一連の流れはある程度定着してきたが、各部員の自覚が足りず、学年会での十分な検討が行われなかったことが多少みられた。</p>	<p>○組織体制を明確にしたことは、各組織活動を活性化することに繋がった。 リーダーを分散させることにより仕事の偏りを解消することができ、リーダーの活躍の機会が増えた。</p> <p>□提案の際の一連の流れはある程度定着してきたが、各部員の自覚が足りず、学年会での十分な検討が行われなかったことが多少みられた。</p>	<p>○組織体制を明確にしたことは、各組織活動を活性化することに繋がった。 リーダーを分散させることにより仕事の偏りを解消することができ、リーダーの活躍の機会が増えた。</p> <p>□提案の際の一連の流れはある程度定着してきたが、各部員の自覚が足りず、学年会での十分な検討が行われなかったことが多少みられた。</p>	<p>・ミドルリーダーを育成することで仕事の偏りが減少し、働き方改革に繋がると感じた。</p> <p>・同調は組織の活性化においてはマイナスだと考える。各々否定しない意見の交換によって新しい発想が出て楽しい運営ができたかと考える。</p> <p>・良好。</p>
	教育課程	<p>○日課表のさらなる変更が必要が精査する。</p> <p>□話し合って折り合いをつけられる児童を育てる。</p>	<p>○教職員、保護者の学校評価から、日課表について大きな検討事項がないことを確認した。</p> <p>□外部講師を招聘し、全3回(学活1、国語2)の研究授業を実施した。授業改善が図られ、教職員の授業づくりの良い影響がもたらされた。</p>	<p>○教職員、保護者の学校評価から、日課表について大きな検討事項がないことを確認した。</p> <p>□外部講師を招聘し、全3回(学活1、国語2)の研究授業を実施した。授業改善が図られ、教職員の授業づくりの良い影響がもたらされた。</p>	<p>○教職員、保護者の学校評価から、日課表について大きな検討事項がないことを確認した。</p> <p>□外部講師を招聘し、全3回(学活1、国語2)の研究授業を実施した。授業改善が図られ、教職員の授業づくりの良い影響がもたらされた。</p>	<p>○教職員、保護者の学校評価から、日課表について大きな検討事項がないことを確認した。</p> <p>□外部講師を招聘し、全3回(学活1、国語2)の研究授業を実施した。授業改善が図られ、教職員の授業づくりの良い影響がもたらされた。</p>	<p>○教職員、保護者の学校評価から、日課表について大きな検討事項がないことを確認した。</p> <p>□外部講師を招聘し、全3回(学活1、国語2)の研究授業を実施した。授業改善が図られ、教職員の授業づくりの良い影響がもたらされた。</p>	<p>・外部講師を招いての研究授業は実践的な研修であり今後も続けてほしい。</p> <p>・全体的に児童が落ち着いて学校生活を送っているように感じる。多様性(外国籍・特別な支援等)を学ぶ環境があるので児童が将来この経験がよかったですと思えるような並木小を望む。</p> <p>・全員の児童が同じではないので個々の能力を見つけ、勉強が苦手でも運動は得意ならば思い切り褒めて主役にして、先生が1日にクラスの児童一人ひとりに一言声掛けをしてもらえたら子どもたちはそれだけで明日も頑張ろうと思つたのではないかと。</p>
開かれた学校づくり	<p>○中学校区での課題、不登校、日本語指導、特別支援教育等における連携を強化する。</p> <p>□家庭や地域への適切な情報発信を進める。</p>	<p>○3校合同で、①引き渡し訓練、②教職員研修会、③生徒指導主任連絡会、④不登校児童生徒保護者向け講演会を実施した。</p> <p>○並木中学校と日本語指導教員の情報連絡会を行った。</p> <p>□学校運営協議会を計画的に実施し、協議内の意見を学校運営に生かした。</p> <p>□連絡アプリは保護者の意見を聞きながら適切に運用した。個人面談等も計画的に実施し、家庭との連携強化を図った。</p>	<p>○3校合同で、①引き渡し訓練、②教職員研修会、③生徒指導主任連絡会、④不登校児童生徒保護者向け講演会を実施した。</p> <p>○並木中学校と日本語指導教員の情報連絡会を行った。</p> <p>□学校運営協議会を計画的に実施し、協議内の意見を学校運営に生かした。</p> <p>□連絡アプリは保護者の意見を聞きながら適切に運用した。個人面談等も計画的に実施し、家庭との連携強化を図った。</p>	<p>○3校合同で、①引き渡し訓練、②教職員研修会、③生徒指導主任連絡会、④不登校児童生徒保護者向け講演会を実施した。</p> <p>○並木中学校と日本語指導教員の情報連絡会を行った。</p> <p>□学校運営協議会を計画的に実施し、協議内の意見を学校運営に生かした。</p> <p>□連絡アプリは保護者の意見を聞きながら適切に運用した。個人面談等も計画的に実施し、家庭との連携強化を図った。</p>	<p>○3校合同で、①引き渡し訓練、②教職員研修会、③生徒指導主任連絡会、④不登校児童生徒保護者向け講演会を実施した。</p> <p>○並木中学校と日本語指導教員の情報連絡会を行った。</p> <p>□学校運営協議会を計画的に実施し、協議内の意見を学校運営に生かした。</p> <p>□連絡アプリは保護者の意見を聞きながら適切に運用した。個人面談等も計画的に実施し、家庭との連携強化を図った。</p>	<p>○3校合同で、①引き渡し訓練、②教職員研修会、③生徒指導主任連絡会、④不登校児童生徒保護者向け講演会を実施した。</p> <p>○並木中学校と日本語指導教員の情報連絡会を行った。</p> <p>□学校運営協議会を計画的に実施し、協議内の意見を学校運営に生かした。</p> <p>□連絡アプリは保護者の意見を聞きながら適切に運用した。個人面談等も計画的に実施し、家庭との連携強化を図った。</p>	<p>・中学校区での研修は地域の課題を共有し、指導力の強化にもつながる。</p> <p>・並木小は地域に開かれていると感じる。面倒な場面もあると思うが、多くの目や耳が届く環境づくりを願う。</p>	
教職員の資質向上	<p>○新たなテーマを設定し、校内研究を通して指導力を高める。</p> <p>□教職員事故0を達成する。</p>	<p>○研究の焦点化を図ることができ、より良い授業を実践していくことの意識化が図られた。</p> <p>□教職員個々の自己有用感の高まりを顕著に見届けることはできなかった。</p> <p>□倫理確立委員会及び研修は計画的に実施され、その方法も自分事として捉えられるような工夫がみられた。</p>	<p>○研究の焦点化を図ることができ、より良い授業を実践していくことの意識化が図られた。</p> <p>□教職員個々の自己有用感の高まりを顕著に見届けることはできなかった。</p> <p>□倫理確立委員会及び研修は計画的に実施され、その方法も自分事として捉えられるような工夫がみられた。</p>	<p>○研究の焦点化を図ることができ、より良い授業を実践していくことの意識化が図られた。</p> <p>□教職員個々の自己有用感の高まりを顕著に見届けることはできなかった。</p> <p>□倫理確立委員会及び研修は計画的に実施され、その方法も自分事として捉えられるような工夫がみられた。</p>	<p>○研究の焦点化を図ることができ、より良い授業を実践していくことの意識化が図られた。</p> <p>□教職員個々の自己有用感の高まりを顕著に見届けることはできなかった。</p> <p>□倫理確立委員会及び研修は計画的に実施され、その方法も自分事として捉えられるような工夫がみられた。</p>	<p>○研究の焦点化を図ることができ、より良い授業を実践していくことの意識化が図られた。</p> <p>□教職員個々の自己有用感の高まりを顕著に見届けることはできなかった。</p> <p>□倫理確立委員会及び研修は計画的に実施され、その方法も自分事として捉えられるような工夫がみられた。</p>	<p>・若手教職員を育てるために具体的な方策が図られている。</p> <p>・運動会や音楽会等を見学した際に児童の活躍と共に若手の先生方のほかつとした姿を目にした。事前の指導が行き届いていると感じた。教職員にも個性があるので画一的ではなく、長所を生かし研修を積むことが大切だと思う。いつも頑張っている先生方は誇りだ。</p>	
施設・設備等の管理	<p>○適切な管理により、古くても安全な施設・設備を維持する。</p> <p>□施設・設備による児童の重大事故0を達成する。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>○複数の目で、点検箇所を変えながら定期的に点検する体制が整った。</p> <p>□施設設備による重大事故の発生はなかったが、軽微なケガの発生はあった。点検により発見されたところから補修・修繕を行うことができた。</p>	<p>・自己有用感を高める。なかなか難しいところだと思う。子どもの身に付けたい自尊心も大切だと感じる。他の仲間の授業を見刺激を受けることもよいかなと思う。(ライフスキル)</p> <p>・日常の安全点検が確実に実施されており、方策が図られている。</p> <p>・施設の老朽化は並木小で解決できることではない。リスク管理を徹底し、小さな違和感を放置せず報告できる環境を整えてほしい。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域		学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	年 度 評 価	年 度 評 価	達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
	年 度 目 標	年 度 評 価					
	重点目標	重点目標の達成状況					
安行小	組織運営	<p>○組織の一員としての当事者意識を持った教員の育成と、中堅・ベテラン教員の力を融合させた組織づくり</p> <p>□教職員組織の活性化とサービスの徹底</p>	<p>○校長が示した学校経営方針に則じた指導が実施でき、教職員アンケートでは該当項目8割以上を達成している。特に、不登校児童数については、昨年に比し9人と組織的対応が効果をあげた。</p> <p>□年度当初異動者を中心に、前例踏襲打破に則った創意工夫ある取り組みが実施された。サービスの徹底の観点では、個人差があり個別の指導が必要である。</p>	A	<p>・全国的に不登校が問題となっているが、減少したことは、大きな成果である。</p> <p>・学校教育目標充実のため、その目的をしっかりと立て、校長指導の下、教頭、主幹、学年主任が心ひとつにあらゆる点において深く掘り込んで努力されているので、大変心強く感じている。</p> <p>・大切な児童期に同世代の仲間や先生方と社会生活を営むことは、将来の生きる力となる。これから子どもたちの居場所づくりをお願いしたい。</p>		
	教育課程	<p>○学力の向上と安心でき、居場所がある学校づくりを面談で進める。</p> <p>□心豊かな情操、粘り強く取り組む力を育成し、子どもに自信をもたせる。</p>	<p>○学力向上は、本校の最重要課題である。安行地区テスト、安行小テストを作成実施し、学力の見える化に取り組んだ。本校の子どもの実態にあった国語・算数の授業プログラム作成もプロジェクトを發足させた。</p> <p>□子どもに自信をもたせる点については、道半ばであり、認め、励まし、伸ばす意識を教職員個々に根付かせる必要がある。児童アンケートでは、よさや頑張りを認めてくれる項目が、前年比-5.34ポイントであった。</p>	B	<p>・生きる力は学力だけではなく、良いところを伸ばすことで苦手なことにチャレンジする気持ちも芽生えると思う。児童の皆さんの良いところ探しをしてもらいたい。</p> <p>・心豊かで素晴らしい子どもを育成するには、教職員の人格的感化が重要だと思つたので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>・学力面での能力の底さは気になるが、今後に期待している。</p>		
開かれた学校づくり	<p>○教育活動の見える学校づくり</p> <p>□学校応援団との連携</p>	<p>○学校HPの毎日更新を実施し、開かれた学校に取り組みしたが、保護者アンケートでは、88.5%と90%以上の達成ができた。</p> <p>□学校ボランティアの組織化の一步を踏み出すことができた。また、地域の教育力を積極的に活用した活動が各学年学期一回以上実施することができた。</p>	B	<p>・安行小まつり等多くの方が参加してよかった。</p> <p>・現在問題なのは、PTA組織の見直しにより保護者の学校に対する協力意識の希薄になりつつある点である。地域の人もこのことを憂慮している。これを良い方向に向けていく責任を感じている。</p> <p>・自らの意志で学校ボランティアを希望して下さることが一番の理想だと思つた。そのためにも、ボランティア活動の意義や内容を明確に伝えることでボランティアへの理解が深まるのではないかと。</p>			
	教職員の資質向上	<p>○校内研修のみならず、校外の研修会にも積極的に教職員を参加させ、あらゆる場と機会を生かした研究と修養を実施。学ぶことは真似ることの推進。</p> <p>□働き方改革 (在校等時間短縮) への強力な推進。</p>	<p>○市内を中心に、教職員を校外の研修会へと積極的に参加させた。また、研修内容の報告をさせ、校内での共有化を図った。</p> <p>□業務改善シートによる業務改善、ふれあいデー、リフレッシュデーの完全実施により、前年比平均で約10%の時間外勤務時間の縮減ができた。</p>	A	<p>・研修へ参加し、自分のスキルを磨くことも大切なことである。その研修で得た充実感をそれにとどめるのではなく、学校の子どもたちへしっかりと還元し、研修で得た満足感や達成感を子どもと一緒に味わえるようにしたい。</p> <p>・学校運営が大変な学校もあると聞く。担任の先生だけが抱え込むのではなく、学校全体の問題として取り上げ、早い時期に良い方向に舵をとってあげることが必要である。</p> <p>・大規模校であり教職員数も多いので、いろいろな性格の方もいるが、特に子どもに対する声のかけ方、指導方法は注意しながら対応してほしい。</p>		
施設・設備等の管理	<p>○定期、日常の安全点検を実施し、安心・安全な教育環境を維持する。</p>	<p>○施設・設備の取崩しによる事故0は、実現できた。施設の老朽化や校庭の草木など日常の安全点検は欠かせない。くすのきチャリーの増設改修は実施することができた。</p>	A	<p>・古い施設なので気になるところもあるが、とてもきれいに活用されていると思う。</p> <p>・日常の点検や早目の整備が安全につながっていると思う。先生方の目でいつもと違うを言葉に令和8年度も事故「0」を目指してほしい。</p> <p>・くすのきチャリーには、評価の高い作品だけでなく、より多くの子どもが飾られる場所であつてほしい。自分の絵が飾られるうれしさが自信となり意欲にもつながって行く。</p>			

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	
原町小	組織運営	○すべての子どもが学ぶ喜びを感じるという意味を全教職員で確実に共有し、組織的な活動で、目指す学校像を実現させる。 □各学級において児童一人ひとりが学級において自己有用感や所属感を感じられる学級経営を行う。 ◇児童との関係づくりを早急に構築し、個別に応じた支援を行う。	○全職員が授業の中でわかった「できた」と児童が実感する授業を多く行うことができたと。その結果児童の評価「授業・行事の中で喜びを感じることができたか」の質問に「できた」と答えた児童は94%だった。 □全学年で授業や行事等で意図的に褒めることを実施した結果、児童の評価「やってみようという気持ちになれたか」に、「なれた」とどちらかといえばなれたと答えた児童は96%だった。 ◇特別支援コーディネーターを中心に、SC、SSW、市の支援課等幅広い支援体制を十分に生かし、「不安の解消」に近づけることができた。	A	・授業を覗いていると、児童がとても楽しそうに取り組んでいる様子が分かった。今後も続けてほしい。 ・教師が褒めることで、児童には脳内での変化、体力の向上、学力の向上に期待ができると言われている。褒める方法には口頭のほかにシールやバッチなどのグッズがあると意欲につながると思う。 ・特別支援コーディネーターについては教員体制が良いだろう。市の予算でつけることができなにか。	
	教育課程	○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を進め、すべての子どもが主体的・対話的で深い学びから達成感を感じる授業を行う。 □PDCAサイクルを認識して、実態から方策、実施後に検証の繰り返しを行い、児童に適切な取り組みをしていく。 ◇各教科等での基礎基本を確実に身に着けさせる。 ○「目指す学校像」実現に向けて、学校・保護者・地域の絆を深め、同じ方向性をもって指導や支援を行う。 □充実した教育活動にするために、地域の教育力を生かす。	○どの教科においても、一人でじっくり考えたり自分に合った学習方法を選択する「個別最適な学び」とグループで意見交換して深めたり、認め合うことで自己肯定感を高めたりして「協働的な学び」を行った。 □ハネッセ学力調査の結果から、自己分析して、課題解決のための学習をGIGA-PCを利用して取り組んだ。その結果、学力が向上した。 ◇習熟度に個人差があり、個別支援で対応することが多かった。	A	・GIGAスクール端末におけるドリルでの取り組み以外に、達成したらポイントとなる仕組みがあると児童の励みになるのではないかと。	
	開かれた学校づくり	○「目指す学校像」実現に向けて、学校・保護者・地域の絆を深め、同じ方向性をもって指導や支援を行う。 □充実した教育活動にするために、地域の教育力を生かす。	○学校たよりは毎月配布し、ホームページは毎日更新することで、原町小学校の教育活動を紹介することができた。 □スクールガードや学習支援、行事の運営や縄跳び計測等様々な場面で保護者や地域の方々の協力を得ることができた。	B	・特になし ・特になし ・学校間連携や地域間連携が進められることが理想。学校地域連携として学校、保護者、地域が一体となって児童の育成に取組む活動を入れたい。来年度7月に全家庭参加自由の「水かけ祭り」を行うのはどうか。 ・特になし	
	教職員の資質向上	○豊かな心をほぐくむ教育を推進する。 □すべての児童を対象に、特別支援教育を行う。 ◇積極的な生徒指導による、はじめと規律のある学校づくりを行う。	○「いじめゼロ」を目指した児童会の活動の他、道徳教育において「他者を思いやる」気持ちを育てた。また、いじめアンケートや毎週行う振り返りに記入した内容を担任が確認していじめの芽を早期に発見し、解決に向かう取り組みを行った。 □児童の状態を全職員で共有し、組織的に関わって児童の困っている所の解決に取り組んだ。また、学校だけで対応が完結しないことは、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子育て相談課等外部機関と連携して取り組んだ。 ◇毎月の生徒指導会議で児童の様子を確認し、規律ある生活に向けて方策を変更して全職員で同じ指導ができるようにしていた。	A	・「学校たより」に「今月のいじめ相談件数」が表されていて、公開する姿勢が信用できる。今後どうすれば学校生活が楽しいものになるか」について、児童に作文を書かせる、または標語を書かせる活動を行い、すぐれた案にバッジなどの景品を渡す活動も良いと思う。 ・児童についてポイントを褒め様々を面をほめるようにして欲しい。	
	施設・設備等の管理	○落ち着いた学習できる環境をつくり、安全で安心できる学校にする。	○清掃活動は日課変更によって週3日のみになった。回数が減ったことでゴミがたまわらないように、清掃できる時間に集中して清掃している。	B	・特になし ・体育館へのエアコン設置はいつになるのか。	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	
前川小	組織運営	○若手教員を着実に伸ばすとともに、目指す学校像の実現に向けて校務分掌組織を活性化させ学校経営への参画意識を持たせること。中堅・ベテランも同じ方向を向き全教職員が一校岩となる「チーム前川 ONE TEAM」を作る。 □不登校、登校しぶり、いじめ等の案件に対し、組織で迅速な対応を行い、新規不登校0、不登校支援率、いじめ解消率100%を実現する。	○若手教員の指導力向上に向けて指導主事等を招聘しての研究授業を年間1、4回実施することができた。また、主幹教諭を中心とした理論研修も年間1、0回実施することができ若手教員からの研修満足度も100%であった。 □主幹教諭が中心となりながらアシスタントティーチャーとの連携を図ることで環境整備を含め適切な運営を行うことができ、不登校傾向の児童にとって安心して学べる場を構築することができた。	達成度 A	・教職員の表情がとても明るく雰囲気が良いことがよくわかる。また主幹教諭の学校経営に対する参画意識がすばらしい。 ・特になし	
	教育課程	○「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み、日々の授業の中で子どもたちの「わかった」「わかった」のつぶやきを増やし、児童自らが実感できる学力向上を実現する。 □特別活動における前川ハウススタイルを確立し、子どもたち一人ひとりのよさや成長に寄り添い、認めながら活気と笑顔にあふれる雰囲気を作ります。	○3年生以上における一部教科担任制は適切に実施することができた。また、埼玉県学力・学習状況調査の結果の分析に基づき本校児童の課題の解決に向けた方策を構築し、実践に繋げることができた。 □特別活動における学級活動(1)の授業の充実を図るとともに、縦断的・横断的の児童主体の活動を意図的、計画的に位置づけ特別活動における前川ハウススタイルの構築を行うことができた。	B A	・学力向上に向けてデジタルだけに頼らず、紙のドリル学習を復活させて「書くこと」を重視していたことは実態に即してよいと思う。 ・子どもたち発意の取り組みを実践し、成果をあげることは児童の自己肯定感の育成に繋がるものであり素晴らしい取り組みだった。	
	開かれた学校づくり	○学習支援・環境整備・安全・安心の見守りに対して保護者ボランティアや学校応援団の活動を充実させ、地域の教育力を積極的に導入するなど、「つながる力」をより一層充実させた教育活動を実現する。	○学校応援団の活動については主幹教諭を中心にコーディネーターとの連携を密にとりながら様々な場面において効果的に活用することができた。	B	・特になし	
	教職員の資質向上	○管理職による定期的な教室訪問、フィードバックを行うことを基盤としながら、お互いに授業を見合える機会を計画的に設けて教員の資質向上を図る。	○主幹教諭を中心として行った年間10回のステップアップ研修において校長、主幹教諭から学校経営及び学校運営に対して参画意識をもつための講義、演習を行った。また、夏季休業中にはベテラン教員からの指導方法の伝達研修を行った。	B	・学校行事において若手教員が自信をもって活躍している姿を頻繁に見ることができ、しっかりと育っていることを感じる。	
	施設・設備等の管理	○子どもが安心して学校生活を送ることができるようにきれいで居心地のよい潤いのある学校環境をつくる。	○教頭や安全主任、事務主査を中心に修繕が必要な箇所については即時対応を図ることができた。教科等備品の購入・廃棄についても各主任を中心に効果的に進めることができた。	A	・特になし	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重 点 目 標	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
戸塚小	組織運営	<p>○子どもに自信をもたせる指導、支援を職員が共通理解し、褒め、認めることを大切にやってきた。(教職員自己評価97%、保護者評価「子どもの学力や努力を認めている」95%、児童評価「仲良く」95%)</p> <p>○児童理解を基盤に、折れない児童の育成へ、全教職員で課題解決へ向かう学校づくり。</p>	<p>○子どもに自信をもたせる指導、支援を職員が共通理解し、褒め、認めることを大切にやってきた。(教職員自己評価97%、保護者評価「子どもの学力や努力を認めている」95%、児童評価「仲良く」95%)</p> <p>○日常的に報道相を確実に行っており、チームとして子どもの指導にあたり、家庭ともつながりを持ち、共に手立てを考えている。(保護者評価「悩みや相談に応じている」95%)</p>	<p>・日本の子どもの自己有用感が低いことを鑑みると、本校の85%は高い方であると思う。学校が子どもを積極的に褒め、自信を付けさせることに力を入れていることが分かる。今後さらに高めていければと思う。</p> <p>・子どもの自己有用感85%は高いと思う。学校・家庭・地域で良さを認めていることが分かる。</p> <p>・下校時の自己受け合いやふざけあいをする姿を見る。けんか、いじめにつながらないかと心配になるときがある。気づいたことは学校にも連絡、相談していく。</p> <p>・生徒アンケートの回収率95%には敬服する。まさに組織づくりが奏功しているものである。</p> <p>・生徒主導においてなるべく子どもに寄り添いながら児童、家庭、学校の3つからなる視点を大切に今後行ってほしい。</p>	<p>・日本の子どもの自己有用感が低いことを鑑みると、本校の85%は高い方であると思う。学校が子どもを積極的に褒め、自信を付けさせることに力を入れていることが分かる。今後さらに高めていければと思う。</p> <p>・子どもの自己有用感85%は高いと思う。学校・家庭・地域で良さを認めていることが分かる。</p> <p>・下校時の自己受け合いやふざけあいをする姿を見る。けんか、いじめにつながらないかと心配になるときがある。気づいたことは学校にも連絡、相談していく。</p> <p>・生徒アンケートの回収率95%には敬服する。まさに組織づくりが奏功しているものである。</p> <p>・生徒主導においてなるべく子どもに寄り添いながら児童、家庭、学校の3つからなる視点を大切に今後行ってほしい。</p>
	教育課程	<p>○児童の非認知能力の向上。特に自己効力感を高めることで、学力向上に波及させる。</p>	<p>○基礎基本については、各学力テスト結果を分析し、習熟徹底を図った。タブレットを使用した習熟問題も適宜活用した。(「計算や漢字の理解度」児童調査92%、保護者評価93%)</p> <p>○黙勤清掃は、特に浸透してきている。落ち着いた雰囲気も醸成できた。(教職員自己評価88%、児童評価89%)</p> <p>○各行事での達成感や、やり遂げる喜びが児童の姿や振り返りの感想、その後の生活、振り返りからも見取れた。(教職員自己評価「行事、認め合い、協調」100%、児童評価「助け合い、仲良く」95%)</p>	<p>・高学年が良い行いを下の学年に波及させていっているのは良い学校の条件である。今後も意図的に高学年を評価し、リーダーシップを発揮できるようにしていく。</p> <p>・黙勤清掃の取り組みやあいさつなどに、良くなっていることが分かる。校内の様子も整理が行き届き、授業も静かに落ち着いて行われている。凡事徹底の継続をお願いしたい。</p> <p>・黙勤清掃が、あたり前という認識が受け継がれていくことを期待する。</p>	<p>・高学年が良い行いを下の学年に波及させていっているのは良い学校の条件である。今後も意図的に高学年を評価し、リーダーシップを発揮できるようにしていく。</p> <p>・黙勤清掃の取り組みやあいさつなどに、良くなっていることが分かる。校内の様子も整理が行き届き、授業も静かに落ち着いて行われている。凡事徹底の継続をお願いしたい。</p> <p>・黙勤清掃が、あたり前という認識が受け継がれていくことを期待する。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校、保護者、地域間の連携を高めるための確実な情報の共有。</p>	<p>○学校HPについては、主幹教諭、情報部が中心にあり、学校、学年の取り組みを無理のない手順で発信できるシステムを整えた。保護者による学校評価「教育活動や方針を分かりやすく発信している」は93%を達成した。</p> <p>○地域の皆様からのご意見については、教職員全体に周知し、教育活動で取り入れている。</p> <p>□子どもたちが、地域の方に支えられてきていることを意識できるよう昇降口に放課後見守りの方々の指示を行い、適宜教員も声をかけている。</p> <p>□各学年の学習効果が高まるゲストティーチャーを招聘できた。</p> <p>□校外での挨拶については、今後年間重点目標として粘り強く指導をしていく必要がある。(児童評価「あいさつ」86%！)</p>	<p>・下校の安全見守りをしていくが、子どもたちのあいさつが大変素晴らしいと感じている。</p> <p>・下校時の保護者見守り体制については、PTAとしても協力していく。新しい具体案も提案していきたい。</p> <p>・安全については、やはり「自分の姿は自分で守ること」の指導が大切である。</p> <p>・情報発信は、いかに着力しながら良いものを継続して発信し続けることが大切になる仕事である。</p> <p>・学校は、地域のつながりに努力されていると思う。</p>	<p>・下校の安全見守りをしていくが、子どもたちのあいさつが大変素晴らしいと感じている。</p> <p>・下校時の保護者見守り体制については、PTAとしても協力していく。新しい具体案も提案していきたい。</p> <p>・安全については、やはり「自分の姿は自分で守ること」の指導が大切である。</p> <p>・情報発信は、いかに着力しながら良いものを継続して発信し続けることが大切になる仕事である。</p> <p>・学校は、地域のつながりに努力されていると思う。</p>
	教職員の資質向上	<p>○経験年数に応じた力を発揮する、心身共に健康な教職員集団づくり。</p>	<p>○分かりやすい授業づくりをするため研究を行った。(保護者評価「授業内容が理解できる」と言っている93%「児童評価「授業中夢中になって話し合いや作業をする86%」)</p> <p>○管理職からの年次に応じた指導の他、先輩教員からのアドバイスや学年間での教え合いが良くてできており、指導技術の向上や、子どもの些細な良い変化も喜び合う雰囲気が醸成されている。</p> <p>○校内授業研修では、研究の視点や指標をもとに、共通理解をもって臨んでいた。</p>	<p>・教職員のやりがいの向上は、指導スキルの向上にもつながる。先輩教員からのアドバイス、教員同士の交流などでも素晴らしいことである。そうした雰囲気は子どもの笑顔も作ることに繋がる。ぜひ、この良さを継続して欲しい。</p> <p>・教職員が、健康で高いスキルを磨いていることが理想である。</p> <p>・限られた時間の中でも教員間で話し合い、児童へのかわり方をはじめ研究においても成果を出していると思う。</p>	<p>・教職員のやりがいの向上は、指導スキルの向上にもつながる。先輩教員からのアドバイス、教員同士の交流などでも素晴らしいことである。そうした雰囲気は子どもの笑顔も作ることに繋がる。ぜひ、この良さを継続して欲しい。</p> <p>・教職員が、健康で高いスキルを磨いていることが理想である。</p> <p>・限られた時間の中でも教員間で話し合い、児童へのかわり方をはじめ研究においても成果を出していると思う。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○事故はゼロ。整然・整備された環境づくり。</p>	<p>○安全上、職員玄関扉や昇降口および北門の施設に関するルールを作成し、共通理解を図り実施できている。</p> <p>○修繕は計画的に実行できている。管理職による校内巡回のほか、毎月の安全点検は、ローテーションで複数の目による点検方法にし、教職員の意識を高めた。(保護者評価「施設設備の面での環境整備、安全安心配慮」87%！)</p>	<p>・整理整頓、「あるべき場所にあるべきもの」ができていて、継続して行っている。</p> <p>・園によって仕方がないところもあるが、エゴンの効率的な配りである。エゴンクリーニング等も含めて、検討をお願いしたい。</p> <p>・トイレ改修が、南校舎および北校舎の両方で行われるようお願いしたい。</p> <p>・学校として自力で達成できる課題と、予算がついてはじめて遂行できる課題とのギャップが特に大きい。</p>	<p>・整理整頓、「あるべき場所にあるべきもの」ができていて、継続して行っている。</p> <p>・園によって仕方がないところもあるが、エゴンの効率的な配りである。エゴンクリーニング等も含めて、検討をお願いしたい。</p> <p>・トイレ改修が、南校舎および北校舎の両方で行われるようお願いしたい。</p> <p>・学校として自力で達成できる課題と、予算がついてはじめて遂行できる課題とのギャップが特に大きい。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	連 成 度
		重点目標	重点目標の達成状況		
青木中央 小	組織運営	<p>Well-Beingな学校創りのために職員一人ひとりの持ち味を活かした組織マネジメントを行い、機動的かつ組織的な学校経営を行う。</p> <p>(学校評価：経営参画意識 95%)</p>	<p>〇目指す学校像(子ども・職員・保護者・地域が愛し誇りに思う青木中央小)に向けて、伝統である健康教育の取り組み、特色である研究推進等、本校のアイデンティティーをしっかりと保持できた。</p> <p>〇健康教育の取り組みについては(川口市より学校保健、学校給食、学校安全、学校歯科保健で優良学校、埼玉県より学校安全、学校歯科保健を受賞。</p>	<p>・本校の組織運営は、これまで大切に受け継いできた「健康教育」と「研究推進校」の二本柱を中心に、安定した運営を進めている。特に健康教育では、虫歯治療率100%の達成をはじめ、市の4部門での優良校表彰、県の2部門での優秀校表彰など、継続的に成果を上げている。これら成果は、学校の取り組みに加え、家庭の理解と協力が大きく寄与しており、その点が高く評価できる。また、学校のアイデンティティや校風をしっかりと維持しており、今後は受賞内容を見直し、保護者へより積極的に発信することで、児童の達成感や学校への誇りの醸成につなげてほしい。</p>	A
	教育課程	<p>〇教育課程の着実な実施と質の向上</p> <p>(学校評価児童：3大指標 算数が楽しい 90% 体力A+B+C=90%)</p> <p><input type="checkbox"/>4層構造を意識し、重層的支援を大切にした生徒指導を表現する。 (3大指標 支援率100%)</p>	<p>〇「非認知能力の育成」という教育のニーズに対して、理論研究、それに基づき授業実践研究など、教職員の努力のもと、成果を発表することができた。研究発表会では県外を含め約190名の来校者が盛り盛況であった。</p> <p><input type="checkbox"/>ほっとルームについては子ども支援員3名を割り振り、個々の児童の特性に合わせた支援をしている。</p>	<p>・研究推進校として取り組む「道徳教育」と「非認知能力の育成」は、本校の特色として高く評価できる。研究発表会には約190名が参加し、学校の教育活動への関心の高さを示した。授業参観では、児童がうなぎな話や話を聞く姿が印象的で、「数字では表せない力が育っている」「人間性の育成に力を入れている」と評価できる。一方で、ほっとルームの利用は依然として高い需要があるものの、支援員が配置されなくなった点については、市へ継続的に要望を出す必要がある。また、外国籍児童への理解・支援、音楽の楽器配置の公平性、廊下掲示物の統一感など、細かな改善点もあるが、全体として教育の質の高さが伺える。</p>	A
	開かれた学校 づくり	<p>〇「地域・保護者と共にある学校づくり」をめざし、保護者・地域との連携、協働を強化し、持続可能なネットワークを構築する。</p> <p>(学校評価：相談しやすい 9割)</p>	<p>〇昨年度より、毎朝の登校指導では、大変多数の地域の方がボランティアで見守りを行っている。学校と地域は非常に密接で良好な関係を築けている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校HPでの日常の教育活動の掲載、またドットコムを有効に活用しており、保護者との連絡、連携をしっかりと果たした。</p>	<p>・登下校見守りの活動や市との連携により、教職員の負担軽減に取り組んでいる点が評価でき、一方で、今年度は保護者対応の難しさが顕著で、カスタマー・ラズメントに該当する事案も発生した。「毅然とした態度で対応すべき」「民間と異なり関係が切れない難しさがある」「別室対応や窓口の一本化など、組織的な仕組みが必要」といった意見が寄せられた。学校と市が連携して対応している点には評価が集まり、今後は外部機関との協働を強化し、教職員が授業に専念できる環境づくりを進める必要がある。</p>	B
	教職員の資 質向上	<p>〇学び合いを大切にしながら指導力向上 (学び合い意識100%)</p> <p><input type="checkbox"/>Well-Beingな働き方改革を推進し、職員自身の健康と活力ある風通しのよい職場づくりの実現 (教職員事故根絶：ゼロ)</p>	<p>〇校内研究の取り組みが各教科の指導にも浸透しており、校内で共通理解を図り、共通指導を行うことで高い学力を維持できている。</p> <p><input type="checkbox"/>時間外在校時間の月平均が前年度36時間に対して本年度12月までで31時間と減少した。業務改善は地道ではあるがコツコツと着実に進んでいる。</p>	<p>・教職員の働き方改革は着実に進み、時間外勤務は平均1時間程度まで減少した。「日々のライフワークバランスを大切に」という管理職のメッセージが浸透し、5年前には過労死ラインに達する職員もいた状況から大きく改善した。朝の登校時間の変更についても保護者から大きな反対はなく、業務改善として一定の評価を得た。また、管理職が教室訪問を継続して行い、授業改善や教職員の成長につなげている。</p>	A
	施設・設備等 の管理	<p>〇「安全・安心」に視点をあいた安全管理の徹底 (施設事故 ゼロ)</p> <p><input type="checkbox"/>費用対効果の高い予算執行及び適切な文書管理</p>	<p>〇施設設備の事故については、皆無であったが、管理等の老朽化は教育活動に支障をきたしている。今後も計画的に、小規模修繕で対応をしていく必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>事務主査の校内の職員向けに「予算」について「予算」より「予算」の進捗状況や、教材教具の予算配当など適正に予算管理を行った。</p>	<p>・管理棟は築約60年が経過し、排水系統を中心に老朽化が進んでいる。市内の優先順位や施設の重要度に応じて改修が進むため、引き続き市へ要望を出す必要がある。授業参観では、音楽室や楽器などの設備の充実を評価する意見があった一方で、楽器の公平な行き渡り、掲示物の統一感などの改善点も挙がった。「先生が笑顔でいられる職場づくりが、子ども笑顔につながる」との意見があり、環境整備の重要性を改めて確認した。</p>	B

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
	年 度 目 標	年 度 評 価	評 価		
			重点目標	達成状況	
元柳香小	<p>年度目標</p> <p>重点目標</p> <p>○目指す学校の実現に全教職員で向かう組織づくり。</p> <p>□教職員の経験に応じた学校運営参画意識の育成。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○報告・連絡・相談・見届けを基盤に、目指す学校像実現へ全教職員で課題解決・改善にあたることができた。不登校支援への全員参加化・前向きな変容が実現。問題の継続案件なし。</p> <p>□教職員の学校運営参画に係る自己評価は94%達成。自己評価においては、個々のとらえ方に意識差も見られる。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・担任が産休予定の学級について、担任配置の方向性が早くに示せるとよい。欠員が多い現状として、学校にできることを任せていく。</p> <p>・学校評価の前年度比を示していただけると、もっと分かりやすくなると思う。</p>	
領域	<p>教育課程</p> <p>○ゆとりある確かな授業実践による学習保障。</p> <p>□学力と非認知能力を高める授業実践・教育活動の展開。</p>	<p>○教育課程を見直し、丁寧な周知に努め、進捗率を変更。授業計画にゆとりを持たせ、学習の保障はできている。</p> <p>□教科担任制における児童の学習満足度は87%。教科担任制による専門かつ複数での指導を通し、学力・非認知能力を高める授業改善と児童理解が進んだ。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・校長の読書への取り組みは、児童にとって大切だと考える。継続してほしい。</p> <p>・体力向上の課題に向けて何か出ないか、かつてはゴム段や馬乗り等の遊びの中で体力をつけることができていた。競争するような行事も必要になってくるのではないかと。</p> <p>・教科担任制については中学校と同じようにはできないと思うが、複数の教職員が児童と関わりをもつという点ではメリットがある。反面、デメリットもあると思われるので、メリット・デメリットをふまえて、今後児童のために研究を続けてほしい。</p>	
開かれた学校づくり	<p>○教育活動のさらなる「見える化」の推進・継続。</p> <p>□学校応援団・地域学習教材の活用と連携。</p>	<p>○方策に沿った取り組みにより目標達成。情報発信における保護者評価は98%。</p> <p>□地域人材を活用した学習活動を展開することができた。新たな連携協力を得ることもできた。学校応援団・ボランティアへの感謝の会を創出した。(3月実施)</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・地域やPTAとの連携における学校評価と、保護者・教職員の中には、そのつながりが少ないと考えている方がいらっしゃるのが見える。PTA関係者としてはこの数値を上げられるよう、学校と協力していきたいし、していただきたいと考える。</p> <p>・地域人材を生かした活動について、新たな連携協力はどのように築かれたのか。関わりを続けていく必要があると思う。</p> <p>・次年度、ふれあい給食の開催について考えているとのこと。以前は町会から学校へ参加者の名簿を渡していた。交流としては良いと考えるので、検討実施をしていただきたい。</p>	
教職員の資質向上	<p>○授業力、指導力を磨き高める教職員集団づくり。落ち着いた学級・学年の実現。</p> <p>□長期病休ゼロ。自身の健康を保つワークライフのマネジメントを推進。</p>	<p>○全教職員が校外での学びに参加。校内研修を通じた授業づくり、学年・学級づくりに向けた、教職員間の率先した学び合いが行われた。学級状況は全般的に落ち着いているが、学級差も見られる。</p> <p>□目標達成。組織・複数での課題対応・解決を促すため。教職員は問題を一人で抱え込むことなく、働き方を意識し、長期病休とならぬ健康を維持した。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・特になし</p>	
施設・設備等の管理	<p>○安全・安心で、美しい学びの環境づくり。</p> <p>□会計事故防止の徹底。</p>	<p>○安全教育と施設環境美化に係る保護者評価は93%達成。ほぼ達成しているが、コースロープ浮き上がりによる転倒事故が1件発生した。</p> <p>□規定に即り会計業務を遂行し、会計事故を防ぐことができた。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・避難訓練について、児童の避難場所及びそれに伴う保護者への引き渡しは校庭か体育館か。このことも、地域・保護者へ広く周知しておくのがよいのではないかと。</p>	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	達成度	
芝西小	組織運営	<p>重点目標 ○校長・教頭・教務主任・主任を中心とした組織的な教職員体制の構築。</p> <p>□ 自発的に学校運営に参画する人材の育成。</p> <p>◇いじめ対策への丁寧な対応と不登校児童への支援。</p>	<p>重点目標の達成状況 ○校長たよりや職員集会等を通して方針を周知し、都度対応。フォローし合って学校運営を行った。 (職員自己評価9割) □「元氣」「笑顔」「やる気」をキャッチフレーズにして2年目、児童・教職員に浸透した。教職員のホトトムスアップによる起案・提案増、参画意識の向上が見られる。 ◇いじめ認知から生徒指導事案を記録し、継続的に見守っている。再発防止のみならず未然防止にも努める。 ◇不登校支援委員会が支援方法を検討した。ほっとルームを活用しながら個々の状況にに応じて対応した。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・評価できる。 ・評価できる。 ・キャッチフレーズが浸透し、教職員の参画意識向上につながったのは、素晴らしい。 ・本校だけではなく地域の横のつながりでの取り組みができるよ。芝地区小中学校合同で不登校関連講演会を実施している。 ・本人の話をじっくり聞くと、家庭での対話が大事である。 ・いじめ問題は初動対応で取められることもある。 ・評価できる。 ・芝地区小中学校でも、日課表の見直しによる成果が出ている。 ・G I G A 端末の活用に伴い、修理等も発生する。余裕台数をもって対応したい。 ・書く活動も大切にしたい。 ・外国籍の転入児童は、日本語教室で日本語を習得してから学級で学習できるとよい。</p>
	教育課程	<p>○教育効果を上げる学校行事と教育計画の実施。</p> <p>□学力学習状況調査において、本校の学力の伸びが県平均の伸びを上回る。</p> <p>◇日々の体育授業を通して、児童の体力の向上を図る。【新体力テストでA～Cの児童・県(平均78.4%目標値85以上)及び本校昨年度(84.0%→3ポイント以上増)】</p> <p>○学校の教育活動の積極的な情報発信。</p> <p>□地域との連携活動の推進と学校応援団の活動の充実。</p> <p>◇地域の中学校との連携活動の充実。</p>	<p>○日課表の見直しや3年以上での学年内一部教科担任制を実施により教育効率・効果が増した。</p> <p>□調査の分析と家庭への文書配布により啓発した。</p> <p>□教員担任制の実施により成果が上がっている。(県学調：学力の伸び県平均以上、単元テスト：ほぼ達成)</p> <p>◇委嘱研究2年目、校内授業研究に指導主事を複数回招聘して実践を積み重ね、市内内外に研究の成果を発表。児童の体力と教師の指導力が向上。(新体力テストA+B+C90%達成・昨年度比+6.2)</p> <p>○電子配信を充実させ児童の様子が伝わるように努めた。(保護者評価9割弱)</p> <p>□人材を募り、各種ボランティア活動を実施した。新体制(芝西っ子サポーターズ)への本格移行した。</p> <p>◇小谷場中との教職員合同研修会、芝西中生徒による挨拶運動を実施した。市教委委嘱研究発表会では、芝西中の施設借用、教職員派遣と連携を取り運営した。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・概ね評価できる。 ・家庭教育は大事である。 ・概ね評価できる。 ・町会には、学校たよりを印刷し配布してもらっている。手に取り目を通すことができありがたい。 学校の様子(児童の活躍など)を町会の人たちのも紹介している。 ・概ね評価できる。 ・6年生が2月に中学校の授業を参観しに交流も昨年度から始まっている。今後も、小中連携を図っていく。</p>
教職員の資質向上	<p>○キャリアに応じた教師の資質向上とチームワーク力による、継承と実践力の向上。</p> <p>□学級経営や生徒指導、保護者対応などの職員研修を実施。</p> <p>◇働き方改革を推進し、自己の時間と健康の管理と教職員事故の防止。 【教職員事故0】</p>	<p>○年次研修や年2回の管理職授業訪問を実施した。指導助言を行い、指導力の向上につなげた。教員の育成については、キャリアステージに応じた指導力の向上を目指し、専門性を高められるように働きかけた。埼玉県優秀教員を輩出。</p> <p>□日常の管理職による教室訪問や教職員からの報告等から学習指導や生徒指導の様子を把握し、適時助言。</p> <p>◇どの職員も計画的に業務的に業務にあたり、大多数の職員が時間外勤務月45時間以内を達成した。</p> <p>◇研修等を実施した。 (教職員事故0)</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・評価できる。 ・概ね評価できる。 ・概ね評価できる。 ・教職員が時間内で勤務することは、当然のことである。業務は多いと思うが、勤務時間の中でできることを精査し、保護者がサポートしていいところは支援したい。</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○計画的・日常的な安全点検の実施と即時対応、計画的な修繕計画の立案。 【学校事故0】</p> <p>□危機管理マニュアルの修正と教職員への周知徹底。</p> <p>◇保護者連絡の電子化とお便り類のペーパーレス化。 ◇集金業務のシステム化。 【学校会計事故0】</p>	<p>○職員による日常の点検をこまめに行い、左記の緊急性の高い修繕箇所に対応した。 (学校施設事故0)</p> <p>○校舎は古いが、児童(は)つかりと黙動清掃を行っている。</p> <p>□マニュアルと会計業務を改善、情報機器の活用増加に伴う教職員の情報セキュリティの見直しを行った。</p> <p>◇スキル・スクベイクを導入して軌道に乗せ、電子化を推進した。加えて集金業務電子決済、業者QRコード決済の導入により、会計事故を防ぎ教員の業務改善にも繋がった。 (学校会計事故0)</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・概ね評価できる。 ・概ね評価できる。 ・避難訓練、不審者対応訓練などに引き続き取り組み児童の防犯・防災意識を養う。 ・評価できる。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	運 成 度	
芝南小	組織運営	○目指す学校像の実現に向け、主任を中心とした学年経営、校務分掌による教育活動の活性化を図るとともに、教職員個々のよさを発揮できる組織環境を整え、継続的な運営体制を構築する。	○教職員自己評価の該当項目【組織運営】A+Bの肯定的意見の割合98%となった。自己評価から教職員の組織運営への理解と参画意識の醸成ができていと感じた。また、管理職と主任等とのコミュニケーションを通じて、学校の課題を共有し、改善に向けた教育活動の計画立案実践に結びついている。	B	・特になし	
	教育課程	○児童や学校の実態に即した教育課程の編成に向け、実施状況を評価・改善することで教育活動の質の向上を図るとともに、社会に開かれた教育課程の編成を実現する。	○県学調の4・5・6年の国語、算数の結果は、いずれも県平均を少し下回った。また、新体力テストの結果A+B+Cの割合80.5%となった。	B	・特になし	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動を積極的に公開し、保護者・地域との連携、協働により、学校の教育力を向上させ、信頼される学校を実現するとともに、地域人材の積極的な活用により教育活動の充実を図る。	○学校HPアクセス数は、6月から教え、2月10日現在17,117回となった。また、本の読み聞かせや登下校の安全見守りなど定期的な活動から、書初め指導、揮毫、校外学習の見守り等の活動まで、保護者、地域の方の支援を受けて学校応援団の活動実績は、50回を超えている。	B	・特になし	
	教職員の資質向上	○教職員のチームワークを生かし、互いに切磋琢磨しながら学び合い、高め合える教職員集団を形成し、教職員の勤務規律の確立と健康の保持増進を目指し、教職員が元気で活力ある学校をつくる。	○教職員とのコミュニケーションを大切にしながら教職員の勤務状況及び健康状態の把握を行い、機を捉えた指導と倫理確立研修の充実を通して未然防止に取り組んできた結果、教職員事故ゼロ。教職員の月当たり時間外勤務80時間超の職員ゼロを継続している。	B	・特になし	
	施設・設備等の管理	○校内外の美化に努め、安全で潤いのある校内環境づくりを推進するとともに、課題に即した予算運用を行う。	○本年度の整備目標であった体育館階席と全教室のテレビの入れ替えを終えることができた。また、担当が中心となって、日常的および定期的な安全点検を実施し、現在、施設の瑕疵による事故0を継続している。	B	・特になし	

令和7年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	年 度 評 価
		重点目標	重点目標の達成状況	重点目標の達成状況	達成度
神根東小	組織運営	<p>○教職員一人ひとりのステーションに沿った対応力向上から目指す学校像を実現する。</p> <p>□地区校内教育支援センター運用を考慮し、全ての児童の学び保障支援を実現する。</p>	<p>○日常的な対話・共有を通して、個々の実態に沿った対応力向上に努めた。</p> <p>□生徒指導委員会において情報を共有し有効的対応に臨んだ。対応記録の可視化を進め、全教職員で組織的対応を進めた。</p>	<p>・保護者を含めた組織改善のため、学校評価の文言やアンケート方法を工夫する必要がある。</p> <p>・地域教育支援センター（北教育支援センター）の効果的活用をお願いしたい。</p>	B B
	教育課程	<p>○確実な教育課程の実施から、児童・職員が実感できる学力向上・体力向上を実現する。</p>	<p>○学校課題解決に向けての取り組みは数値結果を含めて学力対策研修を実施した。</p>	<p>・学力、体力の向上も大切だが、「徳力」の育成も大切である。一人ひとりが思いやりの心をもてるよう努めてほしい。</p>	B
	開かれた学校づくり	<p>○保護者・地域と「未来を考える学校」に向けた教育活動を展開し、学校理解者を増やす。</p> <p>□教職員及び保護者の業務改善のため、集金業務について解決策を実行する。</p>	<p>○状況に応じて学校からの教育情報発信を継続した。</p> <p>□ゆうちびを活用に向けた環境整備を進めた。</p>	<p>・教職員のタブレット端末の効果的な活用をお願いしたい。授業での活用では、辞書などアプリのよさも生かしてほしい。</p> <p>・口座振替について、次年度の導入が円滑に進むことを期待している。</p>	B A
	教職員の資質向上	<p>○学校運営に効果的な教育活動を推進しようとする教職員を育成する。</p> <p>□教育公務員としての当事者意識の醸成から教職員事故ゼロを表現する。</p>	<p>○個々の教職員のよさを見取り、年間を通して指導助言を継続した。</p> <p>□効果的な不祥事防止に向けた倫理確立委員会の継続実施及び関係情報伝達を行った。教職員事故ゼロ達成。</p>	<p>・教職員が楽しく分かりやすい授業を心がけて指導していることが素晴らしい。今後も、子ども達にとって魅力ある授業を続けてほしい。</p> <p>・本校から教職員事故ゼロだったことは大変嬉しいことである。今後も継続してほしい。</p>	B B
施設・設備等の管理	<p>○健康に係る衛生管理と、安全管理を確実に進める。</p> <p>□教育効果を高める備品の購入、適切な予算執行を行う。</p>	<p>○定期的な安全点検（事故防止）を行い、教室修繕を含めた安全面に配慮した施設修繕を実施した。来校者に「校舎内が明るくきれいですね」と褒めてもらうことが多かった。</p> <p>□関係職員と連携して配当予算に留意しながら計画的に予算執行を実施した。</p>	<p>・校舎内がきれいであることは、学校によりなどに掲載して積極的に広報していくとよい。</p> <p>・施設設備の修繕や備品等の整備は、積極的に市教委に働きかけていく必要がある。</p>	A A	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	運 成 度	
朝日東小	組織運営	○機動的、効率的な組織力を高め、チーム朝日東小の一員であることを意識させ、目指す学校像に迫る。 □教科担任制をさらに充実することで、教員の授業力向上、組織的生徒指導対応を充実させることで児童が安心して登校できる学校、教室環境をつくる。	○学年、プロジェクト年間だけでなく、全教職員で問題を共有し組織的に、迅速に対応することができた。 ○分掌主任への具体的な指導、声かけを実施、主任の主体性を高めることができた。 □教科指導のみならず生徒指導でも教科担任制のよさを発揮することができた保護者の学校評価においても9割の満足度を得ることができた。 □関係機関との連携を推進し、教育相談体制は充実した。	A	・分掌主任の主体性を高める取り組みは良いと思う。 ・児童のよき姿が見られると、達成したと思えるのかの具体的な姿を打ち出したい。 ・引き続き職員がやりがいをもってほしい ・教科担任制の充実は大変よい成果だと思う。 ・不登校傾向、問題行動のある児童の家庭との連携においてもチーム朝日東としての実践を続けてほしい。	
	教育課程	○学ぶ楽しさを感じ、学びを継続できる教科指導を充実させる。 □学びの素地を養い、進んで学習に取り組むとする児童を育成する。	○教科担任制の充実が保護者による学校評価においても9割の満足度を得ている。タブレットを意図的に効果的に活用した授業の積極的な導入は児童の学習意欲を向上させた。 ○分掌主任を中心に図書活動では「読書とゴ」の取り組みが昨年度の7倍の成果を上げた。また、体育的活動でも体力向上の取り組みを継続して実施することができた。	B A	・タブレットの活用で個人のペースで学習できるよさがある。 ・「わかった」「できた」を積み重ねる授業実践が求められる。 ・児童自らが動く実践はとても良いと思う。成功体験を積み重ねてほしい。 ・図書委員の活動による利用者増はすばらしい。	
開かれた学校づくり	○学校・家庭の面輪で児童を育成していることの関心を高め、学校、家庭の教育力を高める。 □児童自らが進んで地域に参加する、地域の未来を担う気概を持つようにする。 ◇家庭に寄り添う教育相談体制を充実する。	○「学校で学び、家庭でつづけ、地域で育む朝東っ子」のキーワードを広めることができたが、児童の活動を公開する「学校ホームページ」においては随時の更新ができず、その活用について次年度の課題となる。 □学校運営協議会では、必ず児童に活動の紹介場面を設定し、主体的に活動する様子を伝えてきた。地域と児童が強く関わりあえるよう、児童に地域へのアンケートの実施、地域行事の協力を広げることができた。 ◇毎月のSC、教育相談の充実、関係機関との積極的連携を推進し、家庭に寄り添うことができた。課題のある家庭については、引き続き、連絡をとり、協力体制の構築を目指していく。	B B B	・ホームページの充実が家庭でも求められているので計画的に実施するべき。 ・面輪を回すのは、学校、家庭が同じベクトルを向いていることが大切だが難しい面もある。 ・保護者の声を年2回程度聞いてみてはどうか。 ・スクリレを使い学校との距離は近いと思う。 ・郷土愛をなくむための取り組みを充実させていきたい。 ・民生委員も含め協力していく。 ・児童の特性をつかんでいきたい。		
	教職員の資質向上	○個々の職員の高さを認め、互いが学び合い、高めあえる職員を育成する。 □教育公務員としての自覚と責任をもち、家庭・地域、教職員からも信頼される教職員を育成する。	○1人ではない、1人にならないをモットーに全教職員が温かい職場環境づくりに関わることができた。 ○分掌主任を中心に児童が意欲をもって取り組める活動を推進することができた。 □夏季休業中の勤務日に参加する教職員、地域の取り組みを教職員に紹介、説明したり、児童の様子を紹介することで地域の取り組みに関心を抱く教職員を育成できた。 □互いに相談できる温かい職場環境を作ることができた。	A B	・不祥事を起こさないうちは当たり前。常に学び続ける姿を見せ続けてほしい。 ・教師と保護者、地域の連携が重要と思う。教員の地域交流を広げることで保護者との関係も築くことができると思う。	
施設・設備等の管理	○安心・安全な教育環境の整備と維持を徹底する。	○定期点検、日々の点検の情報を教頭、校務員と共有し、迅速に対応し、施設事故「0」を達成。また、職員玄関スロープ設置に伴う「プロダクト棚」卒業記念品」について、地域と連携することができた。	A	・壊れてからの修繕ではなく、耐用年数に応じた予防保全に努めてほしい。		

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
芝富士小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○職員一人ひとりのモチベーションを十二分に生かした学校経営を行う。 * 学校評価 (教職員) の該当項目 A+Bで100% □児童一人ひとりに寄り添った学校経営を行う。 * 不登校児童全員の道筋を決定。不登校児童数・欠席日数3割減。 * いじめ解消率100% * むし歯治療率70%</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>◆ 学校評価 (教職員) 97.5% ①学年配置や職務分掌は児童の実態や職員の希望・経験年数・得意分野等を考慮し育成の視点も加えて決定。②全職員との面談を年3回実施。前例を変える際は他校の情報と職員の意見を聞いて決定。 ◆ 不登校児童数・欠席日数10人620日→13人858日 (12月末の比較) ◇いじめ解消率100% ◆ むし歯治療率64.9% ①情報共有・組織対応と保護者との連携を重視。②SC-ICT支援員の活用による改善の余地あり。③講演や保健指導で啓発。</p>	B	<p>・芝富士小の良い点①挨拶がよくできる。②上級生が下級生の面倒をよく見る。③多文化共生が成功している学校である。</p>
	教育課程	<p>○教職員の授業力・学級経営力の向上を通して、児童一人ひとりの学力・体力を向上させる。 * 県学力 下位層・無回答1割減 4・5・6年の国算：昨年度の成績を超える * 体力力 A+B+Cで70%以上 □本校の実態に合った日本語教室の運営体制を確立する。</p>	<p>◆ 県学力：6年算数以外は県平均を下回る。◆ 体力A+B+C60.7% ①教科担任制・算数TT指導実施。国算道で研究授業各1回、全教員が一人一授業公開。②体育で自校体操。20分休みに持久走・縄跳び・体育委員による特訓講座を実施。 ①日本語が不十分な外国籍児童が多い上に、五月雨式に転編入があり、日本語教室の運営には大変苦慮している。かまユウムや卒級認定に関する検討を継続。</p>	B	<p>・体力向上：公園はボール禁止など禁止事項が多くて遊べない。市としてまわり回れる場所の確保を。学校を開放できないか→平日の放課後は開放している。土日は開放団体が利用。帰宅時刻を17:30に伸ばせないか→できない。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校と家庭・地域が一体となって子どもを育成する環境を実現する。 * 学校評価 (保護者・関係者) の該当項目 A+Bで95%</p>	<p>◆ 学校評価 (保護者) 93.5% ①学校たより・学級通信・HPで児童の様子を積極的に発信。②見守り、読み聞かせ・田畑果樹・環境整備等、日常的に地域の協力を得ている。③PTAボランティア制が年度混同なし。会費の見直しを検討中。</p>	A	<p>・土曜に児童の子たちが校庭で遊んでいるのを見た地域の住民が、勝手に敷地に入り込んで遊んでいると勘違いしたことがあった。このように、知らずに不満に思っている人もいる。 ・グリーンボランティアの活動は、ボランティアの人数が減ったこともあり、縮小せざるを得ない。環境委員会の活動に組み入れることも検討中。 ・民生委員会議の際、管理職だけではなく担任の参加もお願したい。担任との情報交換も必要ではないか。</p>
	教職員の資質向上	<p>○職員一人ひとりの危機管理意識を高め、事故ゼロを維持する。 * 職員事故ゼロ □「しほし笑楽幸 業務改善スタンダード」を推進し、職員にとって働きやすい環境をつくる。 * 時間外勤務80時間超の職員ゼロ * 時間外平均在校時間22時間以下</p>	<p>◇職員事故ゼロ ①職員会議・職員集会の際に計画的に事故防止研修を実施。②個々のアンガーマネジメントと手伝おう？「それではまずいよ」と言える職員室の雰囲気を引き続き醸成。 ◇45時間超1名。時間外在校時間の平均22:55 (12月末) ①出欠席はForms→スクリーンに変更予定。通知のデータ送付・ゆづちよ引き落としは継続。②時間外勤務の振替システム(チケット)の策行・利用が定着。</p>	B	<p>・教員の不祥事の報道は本当に許せない。どうしたらなくなるか。どんな取り組みをしているか。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○計画的な修繕の実施と安全な教育環境を維持する。 * 施設事故ゼロ * 校内の不要品ゼロ (3年計画) □予算運用と会計事務を適切に実施する。 * 会計事故ゼロ * 未納ゼロ</p>	<p>◇施設事故ゼロ ①毎月の安全点検：時折担当場所を変えたのは良かった。継続する。②図書のパッケージ管理：情報収集集中。予算が厳しい。③次年度、日本語教室の増設準備を進める。 ◇会計事故ゼロ ◆ 教材費・給食費未納数 ①転出入が大変多いが、学籍関係・教材費関係のミスが出ないようなシステムを構築。複数で慎重に対応中。②未納はスルーせず粘り強く対応中。</p>	B	<p>・図書のパッケージ管理を進められないか→予算の出どころがなく朝課している。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	達成度	
		重点目標	重点目標の達成状況		
前川東小	組織運営	<p>○「一人で背負わない」生徒指導・教育相談組織的体制を構築し、「関係機関早見表」を更新活用し、全教職員の知識と実践力向上を実現する。</p> <p>□児童が安心して学べる」保護者が「安心して任せられる」学校づくりを実現する。(不登校児童、特別な配慮が必要な児童支援率 10.0%)</p>	<p>○本校独自の「関係機関早見表」を活用し、具体的な連携先等を考慮しながら、複数で児童等への指導に生かした。</p> <p>□管理職への報告・連絡・相談・確認の連絡体制を確立した。</p> <p>□学年間、学年と主幹教諭、担任外等との連携により、教育課程の確実な実施等を図った。</p>	B	<p>・課題解決のため、組織的な対応は大変だが引き続き取り組んでほしい。</p> <p>・一人で背負わない体制を続けてほしい。全教職員が児童を見守っている姿勢がよい。</p> <p>・教職員の連携がとれている。チームワークよく中心となる先生がよく動いている。</p>
	教育課程	<p>○児童の非認知能力(自己肯定感、自己効力感等)を育成する。</p> <p>□ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現するための、質の高い教育課程の設定と授業改善を推進する。(児童・保護者の授業満足度 90%以上)</p>	<p>○研究推進委員会を中心に、講師を招聘した授業研究、ICTを活用した授業の展開等により、非認知能力育成を重点とした授業改善を実施した。</p> <p>□主幹教諭を中心に、県学力・学習状況調査等のデータ分析により、個々の伸びや課題を具体的に引き出し、教育活動に生かした。</p>	B	<p>・一つ一つの課題に丁寧に取り組み、多角的な視点からより深まっている。</p> <p>・非認知能力の充実があってこそ認知能力も向上していくものと思われる。自己肯定感向上に向けた取り組みも併せて期待する。</p> <p>・児童参加型の授業が浸透している。日本語指導がよく行き届いている。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○地域・保護者、関係機関と学校の課題を共有しながら「安心・安全」な学校づくりを実現するとともに、家庭や地域に積極的な情報を発信する。(保護者アンケート、学校関係者アンケート「相談しやすい学校」19.0%以上)</p> <p>□保護者、地域、外部機関等の教育力を持続可能な形で取り入れ、「本物に触れる」教育活動を実行する。</p>	<p>○学校とよりホームページ、アプリを用いて、適時適切に情報発信した。(保護者アンケート 90%以上達成)</p> <p>□4町会合同の避難所開設訓練、放課後子ども教室の運営により地域連携が大きく進んだ。</p> <p>□外部講師、地域人材を講師として、地域連携推進担当等を中心に継続可能な実施方法で「本物に触れる」教育活動を確立した。</p>	A	<p>・保護者アンケート回収率はどれくらいあったのか、また、結果をどのように使うのか具体的な展開してほしい。</p> <p>・ホームページの更新がタイムリーでとても良い。</p> <p>・放課後子ども教室(前川東小まなびひろ子クラブ)で、学校に足を運ぶ機会が増えて、町会の方の気持ちも、学校への期待も増したと思う。</p> <p>・地域との協力体制が窺われている。</p> <p>・毎年、開校記念日に児童から感謝の手紙をもらっている。子どもたちの考えがよくわかり、町会活動の参考になりたい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○職員のカリア段階に応じた指導力の向上を実現するとともに、高い倫理観を確立する。(教職員事故0の達成)</p> <p>□働き方改革を推進し、ワークライフバランスを実現する。(各教職員の在校総時間数、昨年の実績を下回ることの達成、月80時間以上0の達成)</p>	<p>○定期的に教職員の授業観察や面談を行った。また、時間に応じた事例研修を行い、教職員事故0を達成した。</p> <p>□リフレクソロジーの実施、超過勤務が常態化している職員と面談等により、ワークライフバランスを遂行した。(月超過80時間以上0人)</p>	A	<p>・若手の先生方が育っていると感じている。若手の学校経営参画によって組織は活性化する。</p> <p>・限られた日課の中、先生方は熱心に研究され、その取り組みが深まり、子ども達の熱い思いが感じられる。</p> <p>・引き続き校長の指導で教職員事故を防止してほしい。</p> <p>・週課表の設定、通知表の年2回配布等について、とても良い取り組みだと思ふ。</p> <p>・二期期制は児童に向き合う時間の確保、教職員のワークライフバランスにも繋がる。</p> <p>・先生方もワークライフバランスを大切に心身ともにリフレッシュしてほしい。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○高い危機管理に基づいた安全な学校づくりを実現する。(施設設備の瑕疵によるけが、事故0の達成)</p> <p>□効果的な予算執行及び会計事故防止を実行する。(会計事故0の達成)</p>	<p>○避難訓練の改善等、実績を想定してマニュアルを更新した。また、日常の安全点検で発見した危険箇所を即時対応した。</p> <p>□予算執行、会計業務を事務主任を中心に複数で適切に行うことで、会計事故0を達成した。</p>	B	<p>・校内が清潔に保たれている。施設を大切にしている思いが伝わってくる。児童の情操教育にも不可欠である。</p> <p>・災害時の拠点として備品の管理は重要である。</p> <p>・トレしをすべて洋式化する考え方はいいのか。</p> <p>・予算執行も大事だが修繕優先で引き続きお願いしたい。</p>
				A	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 評 価 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
	年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	連 成 度
	重 点 目 標	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
柳崎小	<p>○多様化する諸課題を解決するために、情報を共有しながらか職員一人ひとりの力を最大限に発揮できる組織づくりをする。</p> <p>□児童にとって安心安全な居場所づくりをする。</p>	<p>○ICT活用による業務効率化が進められ、目指す学校像の具現化に向けて、教職員一人ひとりの主体的な学校運営参加が見られるようになった。</p> <p>□学年内や教科担任による児童理解が図られ、継続的に一人ひとりに応じた対応ができるようになった。児童が安心して学べる空間と時間が広がっている。</p>	<p>○時代に合わせてICTを活用して、業務の効率化に努力していることが感じられた。</p> <p>・外国籍の児童の増加や保護者対応、地域との関係等、多様化している課題に対応しながら生徒指導に取り組む必要があり、教職員の負担が心配な部分である。</p> <p>・児童理解が進み、子どもたちと関わる機会や時間ができるとはよいことである。</p>	B
	<p>○「令和の日本型学校教育」柳崎小バージョンを構築して、児童も教職員もアクティブな教育活動に取り組む。</p>	<p>○日々の教育活動に使命感をもって臨むことができている。</p> <p>○教職員の意欲的な教材研究と自己研鑽の成果を見取ることができた。</p>	<p>・埼玉県の「学力保障プログラム事業」を推進して、子ども一人ひとりの伸び率は上がっていることなので地道に一步步つ学力向上に努力してほしい。</p> <p>・学習過程の工夫により、児童に達成感を味わわせ、自己肯定感を高めることは大事である。</p>	B
	<p>○地域や保護者との連携により「信頼される学校」「地域とともにある学校」をつくる。</p> <p>□中学校区の学校の連携を進め、児童生徒の健全育成に取り組む。</p>	<p>○学校運営協議会にPTA会長が加わったことで、保護者とのつながりがより深くなった。</p> <p>□地域や保護者のボランティアによる登下校の見守り活動が、埼玉県や川口市で評価され、優良が高として表彰された。</p> <p>□地区での授業研究会や校内研修は情報交流に留まらず、</p> <p>□中学校の生徒指導部会に参加して、小中連携した生徒指導の強化につながった。</p>	<p>・PTAも時代の流れとともに考え方も変化し、益々活動が活発になるので、知恵を絞って学校の協力関係を築いてほしい。先生方を応援する気持ちをもってほしい。</p> <p>・地域の方々、保護者の協力より子どもたちが安全に登下校できていることは、とても素晴らしい。これからも縁々ことを願っている。</p> <p>・特になし</p>	A B
	<p>○教育のプロとしての責任と自覚、使命感をもった教職員を育てる。</p>	<p>○日々の教育活動に使命感をもって臨むことができている。</p> <p>○教職員の意欲的な教材研究と自己研鑽の成果を見取ることができた。</p>	<p>・先生方の活気が感じられる。時代が変化し、業務も多岐にわたり、研修や教材研究等の時間確保は難しいが、学校全体がチームワークで質向上を目指してほしい。</p> <p>・難しい対応が求められる中、引き続き教職員による不適切な指導の再発防止と信頼回復に努めてほしい。</p>	B
	<p>○老朽化した施設設備を大切に使いながら、危機管理を徹底して、施設設備の事故ゼロにする。</p>	<p>○実践的な見直し議論され、学校全体で安全意識が向上している。</p> <p>○施設設備の改修や改善が効果的に図られた。</p>	<p>・古い建物だが、大事にきれいに使っていると思う。</p> <p>・児童に事故やけががないよう、安心して学校生活が送れるようお願いしたい。</p>	B

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	運 成 度	
		重点目標	重点目標の達成状況		
芝種ノ爪 小	組織運営	<p>○学校課題に対する共通理解・共通指導に基づく組織的対応を徹底する。</p> <p>□本校校訓「至誠」の具現化を実現する。</p>	<p>○全教職員の共通理解による組織的対応が定着しつつあり、一定の成果を上げているが、その一方で、取り組み方には個人差が大きく、個々の教職員の資質・能力の向上が実現への鍵となることを強く感じる。引き続き徹底していく。</p> <p>□本校校訓「至誠」の教職員への反映、行動規範としての「至誠」実現のため、校長室だよりに「校訓「至誠」を貫く」を不定期に掲載し、最大限活用した。しかし、未だ過半数である。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的対応が定着しつつあることがすばらしい。 ・全教職員の連携を強化し、意識向上に努めていただきたい。 ・前年度と比較すると、目に見えて成果を上げていると感じる。組織全体で児童の学力向上を進めてほしい。 ・日頃の対応を見て、継続的に取り組んでいることに感謝する。 ・保護者や地域との交流の機会を増やし、学校の取り組みを広く啓発する必要性を感じる。
	教育課程	<p>○児童の学力を見取るための標準化された学力検定の研究を継続するとともに、児童自身が学力の伸びを実感できる学力向上に資する取り組みを一層充実させる。</p> <p>□「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を推進し、本校の授業スタンダードとする。</p>	<p>○学力向上に向け、ICT利活用や授業改善を手立として取り組んだ。学力検定を学期末ごとに実施・分析した結果、全体的に学力向上の傾向を確認することができたが、学年による実態差が生じているのが現状である。</p> <p>□一単位時間の教室訪問を3回(2月に1回実施予定)実施した。フィードバックを実施し、各教職員の授業に活かすPDCAサイクルの確立を実現できたが、職員構成に大きな変化が生じた今年度は授業改善までに至っていない教員も少なからずいるのが現状である。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上という成果が表れている。 ・引き続き、わかりやすい授業とクラス全員への目配りをお願いしたい。 ・1日3回以上の教室訪問には頭が下がる。すばらしい。 ・授業参観の機会が増え、ありがたい。教材整備が進んでいることを実感する。 ・質の高い授業づくりに学校全体で取り組んでほしい。 ・職員構成に大きな変化が生じ、B評価でもすばらしいと思う。 ・授業参観時の児童の様子から、日頃から管理職が交流していることがわかる。
開かれた学校 づくり	<p>○学校・家庭・地域の協力体制・連携体制を確立する。</p> <p>□学校運営協議会のさらなる充実により、「地域とともに歩む学校づくり」地域に根差した学校づくりをより一層推進する。</p>	<p>○授業参観・懇談会を4回(3月に1回実施予定)、夏季休業中に個人面談を1回、学校公開を3回実施できた。日々のHPの更新により、迅速な学校情報の提供の継続、川口市・堺市内で発生した不審者情報の提供を継続できた。</p> <p>□学校運営協議会を年間4回(3月に1回実施予定)実施できた。学校運営協議会で得た意見、協議された内容については、様々な形をもって学校運営に反映できた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりが深い学校なので、地域情報も発信できる仕組みがあるとうれしく感じた。 ・様々な時間制限の中、よく対応していただいていると感じる。 ・「保護者アンケート」の回収率を上げてほしい。 ・幼稚園や児童センター、町会等との交流を増やしてみてもどうか。 ・A評価でもよいのではなか。 ・様々な意見がある中、よく検討していただけており、感謝する。 	
	教職員の資 質向上	<p>○学校課題研究と運動した日々の授業の質的向上により、個々の教職員の指導力向上を実現する。</p> <p>□心身ともに健康で、高い倫理観を備えた教職員集団の形成を実現する。</p>	<p>○研究主題「主体的・対話的で深い学び」の創造に向けてを設定し、2年が経過した。研究授業・授業研究会を設定し、課題解決のための手立てを検討、実践した。授業研究会は仮説検証のための協議を中心としたが、全教職員の共通理解までには至っていない。</p> <p>□引き続き、心身の不調により長期病休・病欠を克服取得した教職員はいなかった。倫理確立委員会、教職員事故防止研修会、短時間研修の継続により、教職員の危機意識、当事者意識の高まりを感じた。教職員事故ゼロを実現した。教職員の在職時間は増加傾向が見られた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・若手も中堅も、教員の学びが機会を増やす必要性があると思う。 ・全教職員の共通理解実現に向けて努力してほしい。 ・成果と課題を知ることができた。努力に感謝する。 ・教職員事故ゼロはすばらしい。 ・引き続き教職員事故ゼロ、在職時間減少への取り組みを継続してほしい。 ・在職時間の短縮が目的にならないようにしてほしい。 ・児童も多様化する中、教職員の苦勞も増えているように思う。
施設・設備等 の管理	<p>○教職員の「変化に気づく」危機管理意識を向上させる。</p> <p>□教育環境の整備・充実のため、計画的・効果的に予算を執行する。</p>	<p>○全教職員による定期・臨時・日々の安全点検を実施した。教室内の室温や換気・採光状況を確認した。加えて、熱中症・感染症対策を実施し、教職員の危機管理意識を高めることができたが、職員構成に大きな変化が生じた今年度は、教職員の意識に個人差を感じる。</p> <p>□管理職による1日3回以上の校内巡視により、修繕必要箇所の早期発見・即時対応を実現できた。限りの予算を計画的・効果的に執行できた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内の安全確保について教職員の尽力に感謝する。 ・全教室の鍵の設置には安心した。更衣室のドロッパーと不審物の点検について、引き続きお願いする。 ・校舎の老朽化は否めないが、様々な修繕を施されており、安心した。 ・事故なく1年を終えられたことがすばらしい。意識の高さを感じる。 ・限りの予算の中、よく対応していただいている。 ・教室棟のトイレの改修工事を検討していただきたい。 	
				A	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		運 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
新御香小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○若手教職員や経験の浅い教職員を中心に、教育力を向上させる。</p> <p>□ベテラン教職員と若手教職員を結びミドルリーダーを育成する。</p> <p>◇「個別最適を学び」に即した、授業改善に取り組む。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○年次研修や市教職員研修、市教委研究委嘱校の授業研究会等に、教職員を参加・派遣し、最新の教育情報の収集と、教職員個々の資力向上を進めることができた。校内研修において全教職員が授業を公開するとともに、全教職員で協議を重ねた上で全体授業研修に臨み、指導者より指導・助言を受けることで、学校全体の教育力向上につなげることができた。</p> <p>□校内研修を進めるにあたり、ベテラン教員が示範授業を行い、指導の進め方や児童との関わり方等を示すことで、若手教員が授業を進めていく手掛かりを得ることができた。また、ミドルリーダーが校内分掌の重要ポストを担うことで学校全体を見渡す視点が育ち、学校運営参画意識の向上につながった。</p>	B	<p>・教職員一人ひとりの役割を果たすため、ミドルリーダーの育成を進めてほしい。</p>
	教育課程	<p>○教育課程を円滑に実施する。</p> <p>□校内研修を計画的に実施し、学び合いを通じ、基礎・基本の定着に取り組む。</p> <p>◇「個別最適を学び」に即した、授業改善に取り組む。</p>	<p>○年間計画に基づいて学習が進められ、未履修は起きていない。学校行事の実施にあたり、昨年度の反省等を踏まえた提案がなされ、実施できている。</p> <p>□全教職員で取り組む校内研修体制が構築されつつあり、児童の語彙力の向上や、交流・対話を通して学び合いの活動を取り入れた授業づくりに取り組むことができた。</p> <p>◇中・高学年における教科担任制やローテーション道徳を実施し、より深い、丁寧な教材研究に基づき授業づくりに取り組むことができた。また、IGA端末等のICTの効果的活用を研究し、児童の学習意欲の喚起等につなげることができた。</p> <p>○保護者向け連絡帳アプリ「コトモン」を活用し、随時必要な情報を発信するとともに、校外学習の様子を画像付きで発信することができた。一方、学校ホームページの更新についての指摘を学校評価でいただいたので、教職員が取り組みやすい方法を検討し、改善していく。学校応援団については、団員数を維持し、学校応援団活動が円滑に取り組めるよう、体制整備に取り組んでいく。</p> <p>□計画的に学校運営協議会を開催し、いただいたご意見を学校経営に反映していくことができた。より多面的・多角的なご意見をいただいたり、熟議を重ねたりできるよう、開催方法について検討していく。</p>	A B B	<p>・円滑に教育活動が進められている様子が、図工の作品からも伝わり、今後の拡がりを感じた。</p> <p>・学校の丁寧な指導が、児童の発表の要から伝わった。</p> <p>・研修の在り方について、今後も検討を続けてほしい。</p> <p>・ICTやタブレットを活用する利点を、引き続き活かしてほしい。</p> <p>・児童のタブレット利用にあたり、インターネットの正しい関わり方について指導を続けてほしい。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○教育活動の様子を積極的に発信し、保護者や地域の理解、協力を得る。</p> <p>□学校と保護者・地域の架け橋として、学校運営協議会を活性化させる。</p>	<p>○保護者向け連絡帳アプリ「コトモン」を活用し、随時必要な情報を発信するとともに、校外学習の様子を画像付きで発信することができた。一方、学校ホームページの更新についての指摘を学校評価でいただいたので、教職員が取り組みやすい方法を検討し、改善していく。学校応援団については、団員数を維持し、学校応援団活動が円滑に取り組めるよう、体制整備に取り組んでいく。</p> <p>□計画的に学校運営協議会を開催し、いただいたご意見を学校経営に反映していくことができた。より多面的・多角的なご意見をいただいたり、熟議を重ねたりできるよう、開催方法について検討していく。</p>	B	<p>・特になし。</p>
	教職員の資質向上	<p>○当事者意識を醸成し、教職員事故を絶対起こさない。</p> <p>□時間外在校時間において、前年度比8%以上縮減を達成する。</p>	<p>○計画的に研修を実施することができおり、その研修を若手教員が担うことが多く、不祥事根絶に向けて当事者意識の醸成が進んでいる。また、県内を中心とした教職員による不祥事の情報発信を、継続して行っている。</p> <p>□現状、前年度比8%以上の時間外在校時間の縮減を達成している。また、教頭が中心となり、新たな負担軽減策が実行されている。県が定める目安の達成に向け、教職員からの意見や考えを吸い上げながら取り組みを継続していく。</p>	A B	<p>・特になし。</p> <p>・働き方改革も大事であるが、児童に主眼を置いて教育活動を進めてもらえると良い。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○安全点検に基づく施設・設備の改善に取り組み、児童の安心・安全な生活を保障する。</p> <p>□年間を見通した計画的な集金業務を行い、会計事故を起こさない。</p> <p>◇個人情報管理規定を見直し、情報管理を徹底する。</p>	<p>○盗難防止の視点も踏まえた各点検等を確実に実施し、危険箇所等の早期発見・早期対応に取り組むことができている。優先順位をつけて施設・設備の改善に取り組んでいるが、緊急対応や高頻な対応もあり、遅々として進まない現状がある。</p> <p>□今年度から集金代行業務アプリ「エンベイ」から「ゆうちょ銀行」振替方式に変更したが、保護者の協力もあり、大きな混乱もなく集金業務が遂行されている。より学校予算を効果的に活用すべく、保護者向け連絡帳アプリ後、より安価な「スクール」に変更し、今後運用していく。</p> <p>◇個人情報管理に留まらず、様々な校内規定の見直し・検討・改善に取り組むことができた。不祥事防止・根絶に向け、引き続き、全教職員に個人情報管理の必要性を説明し、徹底に取り組んでいく。</p>	B A B	<p>・工アコンの室外機を冷やす(影を作る)工夫をすると、熱中症対策につながる。</p> <p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (技 術)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況		
上青木南小	組織運営	<p>○改革、改革の視点を持ち、持続可能な質の高い教育活動を組織的に構築する。</p> <p>○改善、改革の視点を持ち、持続可能な質の高い教育活動を組織的に構築する。</p>	<p>○校務分掌の再編成、年間活動計画の立案、プロジェクト部会の活性化を通じ、教職員が学校運営参画意識を高めながら活動を進め、新規の取り組みにもつなげることができた。</p> <p>○自己評価面談、授業観察、研究授業、本発表等の研修を通じ、教職員の強みの共有と質の高い授業実践の継続を図ることができた。</p> <p>◎ 学校評価15 (教職員) 【学校運営参画意識 A + B 95.5% 昨年度比同率】【A 40.9% 昨年度比18.2%増】</p> <p>□生徒指導委員会での重点課題の共有、特別支援委員会での支援プランの作成等、校内支援体制の充実を図ることができた。</p> <p>□関係機関との連携により、家庭へのアプローチを行ったことで、継続した登校につなげることができた。</p> <p>□校内教育支援センターの運用の見直しを図り、教室を含め、複数体制での支援を行うことにより、支援体制の充実を図ることができた。</p> <p>◎【不登校・不登校傾向児童への支援率100%】</p>	<p>・極めて高いレベルで学校運営が行われている。特に積極的な外部講師による指導は大変有意義である。</p> <p>・目に見えないところの評価は難しいが、組織から成る横・縦の情報の共有・交換は大事であると思う。</p> <p>・校務分掌の再編成、プロジェクト部会の活性化等が学校運営参画意識の向上につながっていることが感じられた。数値にも表れている。</p> <p>・外国籍児童が増えていることもあり、不登校児童への対応は難しくなっているが、不登校児童数は学校運営評価のバロメーターの1つでもあり、校外の知見も活かし効果的な活動を継続してほしい。</p> <p>・今後も多様な支援方法を考え、実践してほしい。</p> <p>・PTAとして、不登校児童の解消に向けて支援できることがあれば協力していきたい。</p>	A
	教育課程	<p>○川口市教育委員会委員の学力向上の研究を軸に中間層児童をいかに授業の視点と努力調整方略を伸ばす視点を中心に児童目線の授業改善を推進し、その成果を市内外へ広く発表することができた。</p> <p>○同書教諭、学校図書館同書との連携により、学校図書館のレファレンス機能と読書環境を充実させ、学力向上につなげることができた。</p> <p>◎R7埼玉県学力・学習状況調査結果【全項目県平均値を上回る】</p> <p>◎ 学校評価20 (教職員) 【基礎的・基本的な学力の定着86.4% 昨年度比18.2%増】</p> <p>□研究授業、節範授業、プレゼン授業、日常的な教室訪問を中心に授業観察を実施した。1、2学期に研究の視点、自己評価シートを活用した授業観察を行い、双方向きをもつた振り返りと助言を実施することができた。</p> <p>□教育計画の確かな実施と質の高い活動への改善を行う。</p>	<p>○川口市教育委員会委員の学力向上の研究を軸に中間層児童をいかに授業の視点と努力調整方略を伸ばす視点を中心に児童目線の授業改善を推進し、その成果を市内外へ広く発表することができた。</p> <p>○同書教諭、学校図書館同書との連携により、学校図書館のレファレンス機能と読書環境を充実させ、学力向上につなげることができた。</p> <p>◎R7埼玉県学力・学習状況調査結果【全項目県平均値を上回る】</p> <p>◎ 学校評価20 (教職員) 【基礎的・基本的な学力の定着86.4% 昨年度比18.2%増】</p> <p>□研究授業、節範授業、プレゼン授業、日常的な教室訪問を中心に授業観察を実施した。1、2学期に研究の視点、自己評価シートを活用した授業観察を行い、双方向きをもつた振り返りと助言を実施することができた。</p>	<p>・学力、体力の向上への取り組みは結果も出ており素晴らしいと思う。国語科を中心とした学力向上と読書環境の充実を楽しみにしている。</p> <p>・前年度に引き継ぎ、中間層の引き上げが功を奏していると感じられた。読書を習慣化させる取り組みも大きな評価できる。</p> <p>・階級に置いてある図書も目につくやすく、子ども達が本を読む習慣が身につくのではと期待している。</p> <p>・見てくれているのだという意識を子ども達に確認して欲しい。一声かけることを実践してほしい。</p> <p>・教師の指導方法が学力等に大きく影響すると思われる。日常的な教室訪問等を行うことにより、きめ細かなフォローアップを実施している点が評価できる。子ども達同士で話し合い、答えを考える授業の進め方には感心している。</p>	A
	開かれた学校づくり	<p>○学校の教育活動を保護者、地域に積極的に発信し、意見を反映した、信頼され誇れる学校づくりを推進する。</p> <p>□学校の教育活動の活用等、保護者や地域、外部講師と連携した教育活動を実施していく。</p>	<p>○学校運営協議会の協議をもとに、幅広く教育活動の改善を図ることができた。</p> <p>○全学年の懇談会で目指す学校像をテーマに話し合い、子どもを育む視点を共有することができた。</p> <p>○学校公開週間、連絡アプリによる教育活動の発信、日常的な授業公開を継続して実施することができた。</p> <p>◎ 学校評価1 (保護者) 【わかりやすく伝える A + B 98.0% 昨年度比4%増】</p> <p>□上青木南町会、西町会、外部講師、学校応援団との連携を深め、総合的な学習の時間を中心に学習活動を充実させることができた。</p> <p>◎ 学校評価11 (保護者) 【教育活動に満足 A + B 96.1% 昨年度比3.2%増】</p>	<p>・学校運営協議会の議題は理解しやすく高いレベルにあると思う。連絡アプリを活用した情報発信はきめ細かでわかりやすく素晴らしい。評価も高い。</p> <p>・学校運営協議会委員に現役の町会長が2名いらっしゃることで積極的に活用してほしい。</p> <p>・学校公開週間で授業や学校生活を見ることができ保護者が増えると思う。</p> <p>・外部講師や学校応援団との連携を深め、引き続き地域の人々が誇れる学校であってほしい。</p> <p>・地域から底辺を広げていく情報提供、地域・学校・家庭で支えられている構図を広めることを意識してほしい。</p> <p>・町会の支援体制のヒントをもらった。町会、地域住民側にも出来る事が沢山ある点に気付かされた。</p>	A

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		運 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
上青木南小	教職員の資質向上	<p>重点目標</p> <p>○一人ひとりの可能性を拓く、確かな指導力を身に付けた教師を育成する。</p> <p>□組織的に指導力を高める。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○研究授業、節節授業、7月授業、日常的な教室訪問を中心に授業観察を実施した。1、2学期に研究の視点、自己評価シートを活用した授業観察を行い、双方向きをもちた振り返りと助言を実施することができた。</p> <p>□毎月、研究の視点から学習指導における具体的な手立てを学年の教職員で共有・振り返りを継続している。週に1回以上の授業公開を多様な組み合わせの教職員グループで実施し、学び合い高め合う教職員集団づくりを推進することができた。</p> <p>◎学校評価16 (教職員) 【自己研鑽・指導力の向上 100% 昨年度比同率】</p> <p>◇「業務改善スタンダード」業務改善会議「支援員の活用」を通し、業務の効率的・効果的な推進を図り、教員業務の軽減を図ることができた。</p> <p>◇倫理確立委員会で「問題提起」を含む振り返りを実施し、共通理解を図ることができた。</p> <p>◎【時間外在校時間 9カ月中6か月減】</p> <p>◎【平均時間外在校時間4月～12月30：42 昨年度比0.1：53減】</p> <p>◎教職員事故0</p>	B	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・教職員の資質向上は良き学校運営の前提条件の1つであり、引き続き業務改善を実行してほしい。</p> <p>・先生やチャプルの授業もおもしろい。様々な企業の出前授業を実施しており、上南の教育活動はレベルが高い。</p> <p>・学習指導における具体的な手立てや他校の実践など、教職員で共有・振り返りを継続し、向上を続けてほしい。</p> <p>・担任ではない先生が他の教室で本の読み聞かせをする等、工夫していると感じた。</p> <p>・具体的な手立ての共有が素晴らしい。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○老朽化による危険箇所を早期発見し、安全対策を徹底していく。</p>	<p>○今年度より、同一箇所の安全点検を2名体制・交代制により実施、不祥事防止の観点を追加、更衣場所等の重点箇所の点検を毎日実施。PTA常任理事による点検も実施し、修繕箇所の早期発見と即時対応を継続している。</p> <p>◎【施設・設備事故0】</p> <p>◎学校評価6 (教職員) 【安心・安全な学校づくり A+B100% 昨年度同率】</p> <p>○児童昇降口の施設完備をはじめとした、安全、防犯対策を計画的に推進することができた。</p> <p>○トイレ・階段・黒板等の修繕、学力向上に係る環境整備、感染症予防、熱中症予防に係る整備を計画的に進めることができた。</p> <p>◎学校評価7 (教職員) 【衛生面・健康面・非常時の対策 A+B100% 昨年度同率】</p>	A	<p>・従来同様、適切な管理がなされていると思う。</p> <p>・多くの人の目で安心・安全な学校づくりをしてほしい。</p> <p>・防災倉庫の備品の点検を町会と一緒にやりたい。ガソリンの発電機は定期的に動かさないとダメという時に動かさないかもしれない。</p>
		<p>◇学校安全・事故防止・健康維持増進を重視した、計画的・効果的な予算運用を行う。</p>	<p>○児童昇降口の施設完備をはじめとした、安全、防犯対策を計画的に推進することができた。</p> <p>○トイレ・階段・黒板等の修繕、学力向上に係る環境整備、感染症予防、熱中症予防に係る整備を計画的に進めることができた。</p> <p>◎学校評価7 (教職員) 【衛生面・健康面・非常時の対策 A+B100% 昨年度同率】</p>	A	<p>・今後も安全な学校環境の維持に努めることを期待する。</p> <p>・施設の防犯対策はよいと思う。学校周辺のプロダック麻のフェンス (工事用のフェンス) も安全なものに整備していくことができるとよい。</p> <p>・学校の昇降口の周りに花がいっぱい綺麗に咲いていて気持ちがいい。</p>

学校名	領域	学 校 標 準	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
				年 度 目 標	年 度 評 価	
根岸小	組織運営	<p>○徹底した職員による共通理解・共通行動による学校運営を行う。</p> <p>□各分掌主任が組織の中核として業務を統括し、工夫改善できる組織運営を行う。</p> <p>◇働き方改革を推進し、適切な業務精選と、教職員の負担軽減を進める。</p>	<p>○年度当初の確認を会議において確実に行った。原則から外れる場合などが生じたときは、都度見直しを行った。</p> <p>○行事については必要に応じて昨年度の反省点をもう一度見直し実施した。また実施後の反省点の集約も迅速に行った。</p> <p>□必要な分掌については、前主任サポートのもと新主任が組織運営を行うことができた。</p> <p>□例年の実施内容に加え新たな取り組みや実施方法を変更し、取り組みについて提案する分掌主任も増えてきており、各主任の自立と創意工夫がみられるようになった。</p> <p>◇在校時間の毎月調査結果から、在校時間が多い職員や多くなってきている職員について指導助言を行った。</p> <p>◇教員担任制については、アシスタントティチャーを算数に配置する措置をした。</p> <p>○基礎・基本の徹底を指示し、学年に応じた学習の取り組みを行った。</p> <p>○各分掌主任・学習状況調査等の結果を面談時に活用し、自身の学年の課題を明確にして以降の指導に当たらせることができた。</p> <p>○家庭学習強化をし、ノート一冊終えた児童が104名に達した。</p> <p>□教務主任主導のもと、時数については確実な管理ができた。</p> <p>□各学年の学習内容に応じ、外部人材を用いた学習を実施することができた。</p> <p>◇アシスタント・ティチャー、特別支援教育支援員を活用し、学習規律の指導を強化した。</p> <p>◇自己評価シートに係る面談を中間談話も全員と行い、教科指導・学級経営に係る進捗を確認し、指導・助言を行った。</p> <p>○米作りや地域の協力を得た学びを深めることができた。</p> <p>○家庭に呼びかけ協力を依頼する授業の他、給食試食会等保護者が興味関心を持つ取り組みについても積極的に実施することができた。</p> <p>□学校だよりでは毎月学校教育活動の様子を具体的に伝え、また、学校だけでなく、家庭においても大切にしてほしい内容を取り入れて作り、発信した。</p> <p>◇学校運営協議会において、学校の運営状況等について熟議していただいた。また、行事等を参観いただき、学校運営状況を実際に見て評価いただける機会となった。</p> <p>◇懇談事項についても適宜議題として協議していただいた。</p>	B	<p>・コロナ明けに比べ、かなり運営がスムーズになった。</p> <p>・異動年度を見通した校内人事に期待する。</p> <p>・人が多く、経験の浅い先生も対応することが難しくなっているように感じる。</p> <p>・幼少期をコロナ禍で過ごした児童たちにとって、必要と思われる体験を積極的に取り入れていただき、学校運営には地域の力を最大限に活用することが重要だと思う。</p> <p>・長期休業中等を活用し、地域とコミュニケーションの場などをとり、若い先生の成長の一助となるとよい。</p>	
	教育課程	<p>○児童の基礎的・基本的な学力を向上させる。</p> <p>□授業時数並びに学校行事を見直し、適正時数内で最大限の効果を発揮する教育課程を構築する。</p> <p>◇学習規律・生活規律を整え、落ち着いた環境で学習できるよう教員の学級経営力、生徒指導・教育相談力を向上させる。</p>	<p>○安全安心に係る面談は、中間談話を全教職員と行い、進捗を確認しながら見届けられた。</p> <p>○1 on 1 ミーティングを実施し、個々の職員のキャリアについて話し合うことで今後のキャリア形成について個々のキャリア段階に応じた指導・支援ができた。</p> <p>○授業研究会4回(低学年・中学年・高学年・特別支援学級)の他、一人1授業を実施した。算数科の研究の骨組みを整え、研究を推進することができた。</p> <p>○理研研修を実施し、算数指導の基礎・基本から学ぶことができた。</p> <p>○学校内を中心に不祥事防止プログラムを網羅した全体研修を行った。</p> <p>○学校内の事故につながるようなことが発生した時には臨時で職員を招集し校長が指導・指示を行い、未然防止に努めた。</p> <p>○安全主任を中心に丁寧な安全点検を行った。意図的に担当点検箇所の変更等を行いながら点検する精度を高めたが点検業務を行う。</p> <p>○教頭を中心に修繕箇所を優先順位をつけて修繕を行った。職員の安全点検とも確実に関連し、修繕の仕分けを適切に行い進められた。</p> <p>○備品の整理とともに、計画的な備品購入も行った。</p> <p>○地域の協力を得て、お米作りなどの学習を実施した。また、ビオトープを活用した生活科の自然の学習も充実させることができた。</p>	A	<p>・子どもたちが落ち着いて授業に参加している様子が見られる。・児童が積極的に家庭学習に取り組む様子が見られた。</p> <p>・家庭学習ノートの読みとその成果が素晴らしい。やっけてきたことが、重みのある形として残ることで達成感につながると思う。</p> <p>・学年の課題とは別に、評価の高い分野での学びをより深め、伸ばすことも学習の意欲を高めることにつながるのではないかな。</p> <p>・基礎基本については個別の対応を強化できれば理想。</p> <p>・高学年で起こる学級が機能しない状況にならない対策が必要ではないかな。</p>	
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	<p>○家庭・地域との連携を一層深め、学校教育活動に生かす。</p> <p>◇学校だよりの内容を充実させ、学校教育活動並びに学校の方針をわかりやすく、具体的に発信する。</p> <p>◇学校運営協議会において、学校教育活動並びに家庭・地域の教育活動への参画についての協議を深め、協議会をさらに充実させる。</p>	<p>○米作りや地域の協力を得た学びを深めることができた。</p> <p>○家庭に呼びかけ協力を依頼する授業の他、給食試食会等保護者が興味関心を持つ取り組みについても積極的に実施することができた。</p> <p>□学校だよりでは毎月学校教育活動の様子を具体的に伝え、また、学校だけでなく、家庭においても大切にしてほしい内容を取り入れて作り、発信した。</p> <p>◇学校運営協議会において、学校の運営状況等について熟議していただいた。また、行事等を参観いただき、学校運営状況を実際に見て評価いただける機会となった。</p> <p>◇懇談事項についても適宜議題として協議していただいた。</p>	B	<p>・米作りや地域の協力を得た学びを深めることができた。</p> <p>・「委員会」などの呼び名を「ボランティア」として協力の呼びかけをするのはわかりやすく身近で応えやすくと感じる。</p> <p>・サポートセンターの次のステップとして、児童への教育サポートを行ってほしい。</p> <p>・サポートセンターのボランティアについて、今後児童ももっと触れ合えるボランティアを提供してほしい。</p> <p>・ババ停前の斜面が整えられ、「地域に開かれた学校」「見守りたくなる学校」上の心象を持つ。読手も良く改善されている。</p> <p>・近隣施設の根岸公民館・体育館のオープンをきっかけにした取り組みをしてみたいかな。</p> <p>・豊かな自然がある立地を生かした活動の特徴あるものにして、子どもたちの学習意欲にもっと結び付けてほしい。</p> <p>・読み聞かせでは、普段接することのない世代に方との交流が図られている。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○人事評価制度を十分に活用し、教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上を実現する。</p> <p>□学校課題研究に全職員で取り組み、授業における指導力を向上させる。</p> <p>◇教職員の倫理意識の維持向上をし、根岸小における「教職員事故ゼロ」を継続する。</p>	<p>○人事評価に係る面談は、中間談話を全教職員と行い、進捗を確認しながら見届けられた。</p> <p>○1 on 1 ミーティングを実施し、個々の職員のキャリアについて話し合うことで今後のキャリア形成について個々のキャリア段階に応じた指導・支援ができた。</p> <p>○授業研究会4回(低学年・中学年・高学年・特別支援学級)の他、一人1授業を実施した。算数科の研究の骨組みを整え、研究を推進することができた。</p> <p>○理研研修を実施し、算数指導の基礎・基本から学ぶことができた。</p> <p>○学校内を中心に不祥事防止プログラムを網羅した全体研修を行った。</p> <p>○学校内の事故につながるようなことが発生した時には臨時で職員を招集し校長が指導・指示を行い、未然防止に努めた。</p> <p>○安全主任を中心に丁寧な安全点検を行った。意図的に担当点検箇所の変更等を行いながら点検する精度を高めたが点検業務を行う。</p> <p>○教頭を中心に修繕箇所を優先順位をつけて修繕を行った。職員の安全点検とも確実に関連し、修繕の仕分けを適切に行い進められた。</p> <p>○備品の整理とともに、計画的な備品購入も行った。</p> <p>○地域の協力を得て、お米作りなどの学習を実施した。また、ビオトープを活用した生活科の自然の学習も充実させることができた。</p>	A	<p>・子どもが少なく、教職員も数が減る中、根岸小学校では管理職が手厚くすべての教職員と向き合っている姿が素晴らしいと思う。</p> <p>・保護者から苦情や、子どもたちのSNSに触れる機会の増加等で、情報過多の時代になっていく。先生方が様々なことに疲弊していき心配。教職が加わらない職業になってほしくないし、保護者も考えなければいけないのではないかなと思うことがある。</p> <p>・根岸小に限らず、市内この小学校でも問題行動を起こす児童や保護者の対応は今後も多発すると思う。先生が疲弊して休むようなことがないよう地域の味方や応援者をつくれるような場を作り出すようにしてほしい。</p>	
施設・設備等の管理	施設・設備等の管理	<p>○教職員による安全点検の精度を上げ、複数目で確認し、未然の事故防止を行う</p> <p>◇長期・中期・短期的に計画を立て、修繕を行う。</p> <p>◇設備・備品の整理・管理の徹底と有効活用に向けた工夫改善を行う。</p>	<p>○安全主任を中心に丁寧な安全点検を行った。意図的に担当点検箇所の変更等を行いながら点検する精度を高めたが点検業務を行う。</p> <p>○教頭を中心に修繕箇所を優先順位をつけて修繕を行った。職員の安全点検とも確実に関連し、修繕の仕分けを適切に行い進められた。</p> <p>○備品の整理とともに、計画的な備品購入も行った。</p> <p>○地域の協力を得て、お米作りなどの学習を実施した。また、ビオトープを活用した生活科の自然の学習も充実させることができた。</p>	B	<p>・校内、校庭、いつもきれいに整っていて気持ちが良い。</p> <p>・エアコンのメンテナンスがどの程度行われているか気になる。</p> <p>・老木の管理が大変かと思うが、丁寧に手入れされていると感じる。</p>	
			<p>・生き物グラウンドなどのイベントによって、児童たちの豊かな成長に期待する。</p>	B		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	
芝中央小	組織運営	○目指す学校像の実現に向け、全教職員が共通理解・共通行動を取る。 □一人ひとりの教職員が、芝中央小学校のかけがえのない一員である自覚を持ち、やる気ややりがいを持つことができる雰囲気醸成する。	○目指す学校像を意識して取り組むことができよう、発信することができたが、見届けが不十分であった。 □全教職員が活躍できる場を設けること難しく、どうしても偏りが出てしまった。	達成度	B	・学校行事の変更等をすることは難しいので、きちんと説明ができるようにして欲しい。 ・職員が一致団結することが大切である。 ・学校の雰囲気がいい。 ・特になし
	教育課程	○「学力向上」の取り組みを強化する。 □「わかった」でできた「楽しかった」と児童が実感し、自信につなげることができると実践する。	○モジュールでの少人数学習は効果的であった。 □ICT機器も有効に活用し、児童の意見交流場面を多く取り入れることにより、「できた・わかった・使えた」を実感する場面が多くなりました。	達成度	B B	・特になし
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動に対する理解を得る取り組みを強化する。 □保護者や地域の方々の考えを学校の教育活動に生かす。	○SRCの協力で、学校行事等で児童の様子を公開することができた。 □スクールの活用により、情報発信ができた。	達成度	B B	・運動会の時期については相談が欲しかった。 ・リレーの復活はよかった。 ・特になし
	教職員の資質向上	○職員の使命を自覚し、教師力の向上を図る。 □主体的・対話的で深い学びとなる指導法を探究する。	○校内研修・自主研修、不登校対策委員会の設置等により、「みんなで学ぶ体制、組織で対応する体制作りが進んだ。 □教職員の個々の課題に対して取り組んだ成果を、学校全体で共有したことにより、様々な視点での授業改善方法が明らかになった。	達成度	A B	・教員が率先して挨拶をすることが大切である。 ・特になし
	施設・設備等の管理	○善段から意識して、修理・修繕箇所や危険箇所の有無に対する危機管理意識を高める。	○児童目線で安全点検を意識して実施できた。修繕も計画的に実施できた。	達成度	A	・特になし

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重点目標	年 度 評 価	重点目標の達成状況		
新御東小	組織運営	職員一人ひとりのよさを活かし経営参画意識を高め、魅力ある学校づくりを推進する。	○年度当初に示した具体的戦略を各担当を中心に共通理解を図ったことで、学校経営参画意識が高まった。 ○報連相・確認を徹底し、様々な問題を早期解決することができた。 ○具体的な目標を設定したことで、各担当を中心に工夫した取り組みが図られ、概ね目標を達成することができた。 ○ベテラン・中堅教諭のちつスキルを伝承する場を設定し、教職員の育成の一助に繋がった。	○読み聞かせや見守り活動、学校アームや様々な学習ボランティアの協力で、学数活動の充実が図られた。 ○H Pの更新、Jドモン(スクリーン)による家庭への情報発信はタイムリーに行うことができ た。 ○学校運営協議会を承認を得て、新たなシステムを導入したことは、教職員の負担軽減にもつながった。 ○学校行事等の P T A の協力の在り方を見直し縮小した。	・授業参観で先生方の熱意が伝わった。 ・校長の意図方向に職員全体が努力しているように見受けられました。 ・教職員の一体感を感じられるが、現保護者から聞く教職員の子ども達への言動・行動は疑問に思うこともあった。言葉を掛けるときは今一度考えてほしい。若い先生の社会的な経験値が低いのが、保護者との関係をうまく築いてほしい。運動会やコンサートでの子どもたちと一緒に全力で楽しむ先生方は今年も素敵でした。 ・教職員の経営参画意識が高く、やりがいを持って組織を子ども達にも達にもいい影響を与えようと思う。	A	
	教育課程	○「地域・保護者と共にある学校づくり」をめざし、保護者・地域とのつながりを広げる。	○面談時に「自己診断シート」で、「授業力」を確認する場を設けたことは、日頃の指導の在り方を見直す機会になった。 ○家庭学習は自らも目を通し、意欲の向上を促した (昨年度比2倍)。 ○体力に関する数値目標90%を達成できた(養育運動の継続・交換授業による学習指導) ○校内研修で東本郷小と連携を図り、互いの授業を見る機会は、榛松中学校区の児童育成の一助に繋がった。 ○川口市健康教育大会にて、学校安全・学校給食・学校保健・学校安全の表彰を受けた。	○校内研修では、毎回指導者を招聘し、算数科の指導力向上、非認知能力を育成に関する取り組みを継続させた。 ○交換授業は全学年で実施できた。 □業務改善スタンダードの内容についてはほぼ実施。教員の意識改革は確実に図られている。 □定期的に実施している事故防止研修の効果もあり、当事者意識は高まってきている。 □アトバーサー休暇(計画年休)も定着し、働きやすさや仕事のやりがいにも反映させることができた。	・学力向上に課題がありますが、取り組みに問題ないと思います。家庭学習の重要度を保護者に理解してもらった。 ・児童一人ひとりが生き生きと学校生活を送っているように思います。タブレットの活用により、昔とは違う学びの環境となった一方、漢字が書けなくなったり文章を組み立てることが苦手な児童が増えたように思う。自分自身で考え、それを言葉で表現する力が身につくような授業がもう少し増えたい。学校教育の中だけで知・徳・体の育成は困難なことと推察いたしますが、学級力向上プロジェクトや近隣校との連携などを通じ、引き続き児童育成に取り組んでいただけたらと思います。	B	
	開かれた学校づくり	○「地域・保護者と共にある学校づくり」をめざし、保護者・地域とのつながりを広げる。	○読み聞かせや見守り活動、学校アームや様々な学習ボランティアの協力で、学数活動の充実が図られた。 ○H Pの更新、Jドモン(スクリーン)による家庭への情報発信はタイムリーに行うことができ た。 ○学校運営協議会を承認を得て、新たなシステムを導入したことは、教職員の負担軽減にもつながった。 ○学校行事等の P T A の協力の在り方を見直し縮小した。	・不登校児童が減少したのは学校が居心地の良い場所として取り組んだからだと思います。 ・地域の連携はうまくいっているように思います。高齢化に伴い、継続して地域の協力を得ることが難しくなっている。保護者には協力的な方々が多いと思うので、学校側から協力要請をすればよいと思う。内容も見直した方がよい。引き続きHPなどを活用した情報発信、保護者、地域等との連携強化に努め言葉され児童が楽しく誇れる学校づくりを期待します。		B	
	教職員の資質向上	○学び合う機会を大切に、キャリア段階に応じた指導力を向上させる。	○校内研修では、毎回指導者を招聘し、算数科の指導力向上、非認知能力を育成に関する取り組みを継続させた。 ○交換授業は全学年で実施できた。 □業務改善スタンダードの内容についてはほぼ実施。教員の意識改革は確実に図られている。 □定期的に実施している事故防止研修の効果もあり、当事者意識は高まってきている。 □アトバーサー休暇(計画年休)も定着し、働きやすさや仕事のやりがいにも反映させることができた。	・更なる資質向上を望みます。 ・働き方改革等でこれからの時代仕方ないと思うが、育休については教職員の人数が十分に足りていないと思うが、残った教職員に負担が掛かっているように感じる。 ・多様化する時代背景や働き方改革、産休・育休職員の補充もままならない中、教職員のご苦労を察いたします。		B	
	施設・設備等の管理	○児童目線で「安全・安心」に視点をのいた安全管理の徹底をする。	○教室棟4F廊下窓の遮熱シート、ほつとルームの改修、高学年教室の昇降黒板、廊下の手すりの改修。全教室の入り口窓ガラス交換(死角を作らない) ○榛松中学校区3校で合同避難訓練を実施することができた。 ○様々な状況を想定した避難訓練を通じ、安全に対する意識は高まってきている。 ○不審者対応訓練は、想定場面を変えた内容の実施ができた。	・老朽化してきた学校施設において、災害時は避難所であることから、適時適切な修繕や必要な改築、拡充を関係各所へ不断に要望し、安心安全な施設管理に努めていただくと共に、不審者訓練や避難訓練に実施していただけたらと思う。 ・環境整備に力を入れていることがうかがえた。榛松中との合同避難訓練は、内容が理解しづらく双方に子どもがいたる家庭は困惑していた。もう少し共通理解を深めたほうがよい。		A	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	達成度	
		重点目標	重点目標の達成状況		
朝日西小	組織運営	<p>○働き方改革につながる教育活動の見直しと改善を行う。</p> <p>□ 教職員が主体的に学校運営に参画しようとする意識を向上させる。</p>	<p>○よりキャリア会議を開き、教育活動の業務改善につなげることができた。教職員の意識も高まり、業務改善について、教職員一人ひとりが主体的に考え行動することができている。</p> <p>□ 職員一人ひとりと、今年度の中心となった業務の状況と来年度へ向けての見直しを確認し、校務分掌の配置を見直し、組織体制を再構築した。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・教職員が働きがいを感じ続けられるように、メンタル面も含めてフォローし合える組織であって欲しい。</p> <p>・普段から教職員や管理職が連携をとり、急な対応を取りやすくなる意味でもふりかえる会議は有効だと思ふ。</p> <p>・ポトムアップ型を意識して実践していることが窺える。</p> <p>・教職員が個々の思いを伝えたり得意なことを生かしたりして、それを組織運営に反映できるようにしていくよ。</p>
	教育課程	<p>○教育課程を確実に実施し、教育効果を分析、見直しをする。</p> <p>□ 外部人材を積極的に活用し、教育活動を充実させる。</p> <p>◇ 地区の八小学校間、小中学校間の連携を深め、中学校との滑らかな接続を表現させる。</p>	<p>○全教職員で学力・学習状況調査の結果を分析し、方策を打ち出して、授業で実践できた。学力・学習状況調査の結果から、授業の質が保たれていることが分かった。</p> <p>□ ゲストティーチャーや外部講師等を招いた出前授業を全学年で実施し、学習を充実させることができた。</p> <p>◇ 十二月田中学校区で教職員研修を実施した。中学校入学に向けて小・中の担当教員の引継ぎや学校訪問を確実に実施し、滑らかな小・中の接続を目指す。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>・調査結果の分析に基づいた対応が行われ、それが学力として表れていることが分かった。</p> <p>・これからも、個に応じた指導を続け、学力向上を目指して欲しい。</p> <p>・シヤンブ教室(補習)はよい取り組みだが、教職員の負担が心配である。</p> <p>・外部人材を取り入れるのは、通常の授業に比べて手間がかかると思ふが、児童にとっては、刺激や緊張感があり、良い体験にもなるよ。</p> <p>・是非、今後も続けて欲しい。</p> <p>・小規模校から、何倍も大きな十二月田中学校へ入学することに不安を抱く児童も少なくない。</p> <p>・中学校との関わりを増やせよ。</p> <p>・中学校教員が小学校で授業支援等を行うことで、6年生が中学生になる心構えをもてると思ふ。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校	<p>○学校教育活動の積極的な情報発信を工夫する。</p> <p>□ 学校・家庭・地域が連携した教育活動を充実させる。</p>	<p>○学校により等で、児童の活動が見えるよう情報発信を行い、保護者・地域からの理解を高めることができた。</p> <p>□ 学校運営協議会等で意見を伺いながら、学校応援団やボランティアの方々に協力をいいただき教育活動を充実させることができた。</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・ホームページの活用は、もっと盛んに行って欲しい。ICTが得意な人材を担当とする等、工夫しながら進められるとよい。</p> <p>・保護者ボランティアが増えてきて、協力的になっているのはよい。行事に多くの保護者に参加している、学校と保護者が互いを支える機会になっている。</p> <p>・知・徳・体の「徳」については、保護者の協力を更に呼びかけるとよい。あいさつが少なくなっていると感じる。</p>
	教職員の資質向上	<p>○校内研修を蓄実に進め、教職員一人ひとりの授業力を向上させる。</p> <p>□ 学級経営や生徒指導、保護者対応など、教職員の対応力を向上させる。</p>	<p>○研修方法を工夫することで、一人ひとりの教職員が主体的に研修に取り組めた。併せて、管理職の授業参観と指導助言を行い、授業力の向上につなげることができた。</p> <p>□ 個々が研修で学んだことを共有し、共に学び合う研修や川口市発達相談センターの講師を招いた教育相談に関する研修を設定して、教職員の対応力の向上につなげた。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・小規模校ゆえに教職員から多角的な意見が出にくいかもしれない。管理職が、多角的なものの見方ができるよう声かけを意識して欲しい。</p> <p>・研究発表までは、大変な努力と時間を要するだろう。働き方改革と面立させながら研修を進めて欲しい。</p> <p>・研修の内容が校内で共有されるのはとてもよい。研修を受けてくる側も報告があると思う意識が変わると思う。</p> <p>・教職員は、自信をもって教育活動を行っているように感じる。ベテランも若手も互いに学び合つてを続けて欲しい。</p>
施設・設備等の管理	施設・設備等の管理	<p>○定期、臨時の安全点検を実施し、危険個所の即日対応、修繕を確実に行う。 【学校事故0】</p> <p>□ 危機管理マニュアルを見直し、全教職員へ周知徹底する。</p>	<p>○危機管理意識をもちながら、定期安全点検や日常点検を行い、危険個所の即日対応と修繕を確実に行うことで、事故0を達成できた。</p> <p>□ 危機管理マニュアルを見直し一部修正して、全教職員へ周知徹底、事故の未然防止と有事の際の備えにつなげた。避難所開設マニュアルは、地域の方々とも共有し、有事の際に協働できるようにした。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・教職員事故について、自分事として捉え対策しているのが安心である。</p> <p>・掲示物等の工夫があり、清掃が行き届いていて、環境が整えられている。</p> <p>・日常的な気付きを書き込みめる場所があるとよい。(児童、保護者、教職員、ボランティア、それぞれの視点で)</p> <p>・「むくの木」が剪定され安全面が確保できよかった。</p> <p>・危機管理マニュアルを学校関係者以外の方も読んでもらおう等、多くの視点から見直すよ。</p> <p>・有事の際の地域と学校の連携については模索していく必要がある。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
森林小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○目指す学校像の具現化のために教職員一人ひとりの強みや課題を明確にし、各自の授業力・学級経営力・児童保護者対応力向上のためのPDCAサイクルを確立させる。</p> <p>□児童・保護者の個々の状況を的確に分析し、不登校児童への支援率100%及びいじめに向かない児童の育成を、組織的かつ具体的に進める。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○教室訪問や放課後の対話等を通して学級の状況や担当業務の推進状況を把握し、個別の助言を行った。校内研究をはじめ、若手教員も先輩に相談しながら計画・実践・振り返りのPDCAサイクルを回しながら担当業務を進めることができた。</p> <p>※保護者学校評価 24項目中90%以上の項目が21項目</p> <p>□「ほっころ」の活用 (不登校対応) 延入5名の児童が利用し、うち1名が教室復帰、1名がわくわく教室、3名が自宅のオンライン学習となっている。</p> <p>□埼玉県家庭教育アドバイザー・S・SWの活用 (家庭支援) 平日や入学生説明会に家庭教育アドバイザー・招聘したり (年間3回)、S・SWと繋がりながら (5家庭)、子育てに不安な家庭支援を実施できた。</p>	A	<p>・学校安全を含めた4領域全ての「優良校」受賞は大変すばらしいこと。地域と教職員がよくなっている。</p> <p>・不登校支援、担任一人が抱えることがないようにする体制づくりは、管理職の責任。トラブルに対して学校の体制がどうなっているか、それが周りに伝われば教職員志望者も増えると思う。</p>
	教育課程	<p>○令和の日本型学校教育 (個別最適な学び、協働的な学び) の実現を目指し、指導計画及び指導体制、評価方法を推進する。また、年2回の通知表向上に資する具体的な取り組みを推進する。</p> <p>□算数のデジタル教科書導入 (実証事業参加) を活用し、教科書とICTのベストミックスによる指導方法の工夫改善に取り組む。</p> <p>◇安行地区小中学校5校の共通理解による学力向上を進める。</p>	<p>○教科担任制、専科指導、習熟度別学習を活用した学力向上策により、児童の学習意欲を向上させている。</p> <p>○国や県の学力調査で明らかとなった課題を、2学期以降の指導計画の見直しに生かし、児童の実態に即した指導改善に努めている。</p> <p>□児童が今後のCBT調査に対応できるよう、全学年で単元テストにCBTを導入した。今後も授業の中で端末の操作に習熟させていく。</p> <p>◇今年度より、安行地区小中学校5校で安行地区テスト (算数科・国語科 6学年対象) を導入した。2学期と3学期に実施し、伸びを図ることができた。</p>	B	<p>・道徳科研究に関わって性教育を推進してほしい。</p> <p>→体育科 (保健)、保健教育などは道徳教育にかかわるところ、家庭にも発信していく。</p> <p>・小中連携での研究はすばらしい。積極的に発信をお願したい。</p> <p>・外国籍児童、家庭への支援は？</p> <p>・学校の働き方改革と、保護者の困り感、事業と時間外の対応との兼ね合い。時間外だからと切ってしまう学校でないよう要望する。</p> <p>→家庭の支援の在り方も考える必要。教職員に過度な負担がないよう保護者に寄り添った支援をしていく。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校	<p>○学校運営協議会の活性化、学校応援団やPTAボランティア活動の充実を図り、保護者・地域との協働による開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>□「じりん子丸ファミリー」を立ち上げ、学校・家庭・地域・全員で学校を創っていく体制を構築する。</p>	<p>○定例開催となった学校運営協議会では、学校運営に対し貴重な意見を頂戴することができた。PTA総務との連携で令和8年度開校50周年事業第1回実行委員会を開催し、式典までの大まかな計画を確認することができた。</p> <p>□「じりん子丸ファミリー」(保護者ボランティア)を中心に、ピオートを整備することができた。</p> <p>□「はなも散歩」校内の樹木にプレートを設置することができた。(5年生児童製作)</p> <p>※保護者学校評価 学校・家庭・地域連携関連項目 肯定的評価97.5%</p>	B	<p>・PTAがボランティア制となったが、ボランティアの偏りの課題である。役員制を知っている保護者は楽になつたようである。若い年代の保護者は、開校50周年を知らない方も多いはずだ。“やりたいときに、やりたいひとが、やりたいこと”では回らない。どう広げていくか、が課題。50周年行事に関わつてより広げていく必要性がある。意識の2極化。</p> <p>→町会も似たような現状。</p> <p>→学校長とPTA会長が保護者の前で挨拶したり、地域や町会などをお願いしたいことは言ったりして今後連携ができるといい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○「チーム森林小」で「学校全体のWell-beingの向上」を合言葉に、働き方改革とワーク・ライフ・バランスの意識を向上させる。</p> <p>□教職員事故ゼロを継続する。</p>	<p>○限られた時間の中で成果に繋げる働き方改革 (業務改善) は、順調に進んでいる。教職員の意識改革もかなり進み、仕事とプライベートのタイムマネジメント力も高まってきた。教頭を中心に風通しの良い職場づくりが実現され、生徒指導上の事故が発生しても迅速な組織的対応で早期対応が実現している。</p> <p><令和8年2月末現在></p> <p>平均時間外在校時間 33h (昨年度 31h)</p> <p>□時機を逃さない倫理確立委員会や定例の職員集会で、教職員事故防止のための啓発や教職員事故の具体例を取り上げるなど、当事者意識を高めることができた。</p> <p>(PTA総務の協力による盗撮カメラ検査実施)</p>	B	<p>・教職員の人材育成を学校経営、学校運営を。</p> <p>→会長から市教委に要望を出すなど、学校運営協議会の機能を活用していく。</p>
施設・設備等の管理	<p>○施設設備の安全管理に万全を期す。</p>	<p>○「じりんこ丸」は、地元業者の力を借りながら、今年度夏季休業中に無事に撤去した。撤去にあたり、お別れ集会を実施し、地域の方にもご来校いただいた。また、以前使用していた卵を児童たちの手で復活させ、運動会で披露することができた。</p> <p>川口市教育委員会と速やかに連携して特別教室棟壁面工事及び体育館屋根修繕工事を実施し、無事に完成した。</p> <p>特別教室棟2階階段部分に落下防止の柵を取り付けた。</p>	A	<p>・災害時の避難場所になることから、体育館に早急にエアコン設置していただくことを強く要望する。</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重点目標	年 度 評 価	重点目標の達成状況		
差間小	組織運営	<p>○不登校児童と家庭に寄り添った支援を継続し、不登校児童への支援率100%を目指す。(R6は17名 30日以上欠席)</p> <p>※児童の学校生活満足度90%以上にする。</p> <p>□学年によって指導に差が生じないように、共通理解・共通行動を取る。</p>	<p>○不登校児童への支援は100%継続した。不登校児童は年間13名の見込みである。</p> <p>※児童の学校生活満足度は、87%で達成することができた。</p> <p>□学校全体に関わることは、学年によって指導の差が生じないように努めた。ただし、徹底できないこともあった。</p>	B	<p>・先生方の負担を減らして児童の満足度を上げてほしい。</p> <p>・カウンセラーや特別支援教育に係る職員を増員していただきたい。</p> <p>・不登校については、本人や保護者の思いや考え方が異なることが多く、登校させるのは難しいと思う。また、心の疾患のある保護者が多くなくなっている。学校第一ではなく、それに代わるものとして支援していくことが必要である。</p> <p>・職員の皆さんは働きやすい環境になっている。今後も継続してほしい。</p>		
	教育課程	<p>○本校の喫緊の課題である「学力向上」の取り組みを強化する。</p> <p>※児童の授業に対する満足度を90%以上にする。</p> <p>□「わかった」にできた「使えろ」と児童が実感する体験（成功体験）を積み重ねる。</p>	<p>○研修主任や学校課題研究主任を中心として学力調査の分析や改善に向けた手立て、算教科の指導の在り方を深めることができた。</p> <p>※児童の授業に対する満足は、89%で達成することができた。</p> <p>□見直しと振り返りを大切にした授業を展開し、児童の成功体験を積み上げてきた。</p>	B	<p>・目標に1パーセント足りなかったが、ほぼ達成しているのでは。差間小の教職員は、もっと誇りをもちたいのでは。</p> <p>・自己肯定感が高いことはよいことだと思う。引き続き伸ばして差間小の伝統、校風にしてほしい。</p> <p>・友達との関わりやグループ活動を通して、協働的な学びを重視していることは評価できる。できれば、市の委嘱等を検討してほしい。差間っ子の心を更に向上させるために德育を重視してほしい。体育の授業にOBが参加していたが、地域と共に活動することは有効である。</p>		
開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会を年間3回実施し、「学力向上」「基本的な生活習慣」「家庭学習」などの学校課題について熟議を行う。</p>	<p>○学校運営協議会での協議内容は、回を重ねるごとに充実し、学力向上や基本的な生活習慣、PTAの在り方について地域や家庭と共に考えることができるようになった。</p>	A	<p>・地域の方々が積極的に協力してくださりありがたいことだと思う。</p> <p>・コミュニティスペースとして、保護者や地域の人との交流ができるスペースを設置していただきたい。</p> <p>・PTAに変わるボランティア組織が有益なることを期待したい。</p>			
教職員の資質向上	<p>○主体的・対話的で協働的な学びとなる指導法を探究する。</p> <p>□教育公務員としての自覚を高め、職員の服務規律を徹底し、教職員事故をゼロにする。</p> <p>※教職員事故ゼロ</p> <p>※体罰報告ゼロ</p>	<p>○教科の指導法にグループ学習を適宜取り入れ、オウリングなどを有効活用して協働的な学びを確立することができた。</p> <p>□倫理確立委員会や全体研修を通して、教職員の倫理感が高まったと捉えている。</p>	B	<p>・毎回、全員の授業を参観させてもらっているが、教材の工夫やICTの効果的活用があり、どの教員も子どものために熱心に実践している。</p> <p>・若手のみならず、全員で教師力向上勉強会で研修することとはとても意義のあることだと思う。</p> <p>・倫理確立委員会や研修会を通して、教職員事故ゼロを維持してほしい。</p>			
	施設・設備等の管理	<p>○教室棟3階にある防災倉庫の物品を、1階の飼育小屋跡地に倉庫を設置して移動する。</p> <p>□美化・緑化活動を充実させる。児童に栽培や収穫の体験をさせる。耕作できる面積を増やしたい。</p>	<p>○本年度飼育小屋を撤去し、更地にすることができた。来年度に防災倉庫を設置する予定である。</p> <p>□地域の方の協力により、学校ファームは有効に活用され、児童の体験活動は充実している。</p>	A	<p>・南門の改修工事ができたことは評価できる。防災倉庫の設置に向けて、早く着工できることを期待する。</p> <p>・子どもたちの防災意識を高めることが大切である。</p> <p>・学校の周りはいづもきれいな状態になっていて気持ちが良い。</p> <p>・今後も学校ファームの有効活用をお願いしたい。</p>		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標 重点目標	年 度 評 価 重点目標の達成状況	年 度 評 価 達成度	年 度 評 価 達成度
東本郷小	組織運営	<p>○目指す学校像の実現に向け、主任を中心とした学年経営、校務分掌による教育活動の活性化を図る。</p> <p>□校内組織の活性化を図り、主任だけでなく、全職員が学校運営に参画し、教職員全体で教育活動に取り組んでいく。</p>	<p>○3年生以上の一部教科担任制を実施することができた。また、1・2年生においても道徳において交換授業を行い、学年で児童を育成することができた。5・6年生は単学級であったが、チームで担任を行うことができた。</p> <p>□各部の開催日は確保しつつ、各主任が課題意識もち部会が開催できるようになった。また、主任だけでなく、部内での分担を行い一人ひとりが積極的に学校運営に係るようになってきた。</p>	B	<p>・教科担任制や副担任、交換授業は効率の面で非常に有効であると思われる。その反面、児童に与える心理的な影響もあると思われるので、そこも配慮して推進してほしい。</p> <p>・今後、一層の職員相互の温かい人的交流や切磋琢磨により指導力向上が進むことを期待したい。</p>
	教育課程	<p>○学校の実態にあった教育課程の編成とともに教職員の授業力の向上に努め、児童の学力向上に努める。</p>	<p>○各学習状況調査の結果を分析するとともに改善策を講じて学力向上に努めた。全国学力・学習状況調査、川口市サクストにおいて成果が見られた。</p> <p>□年度初めに算数科における理論研修を行うとともに、年7回の研究授業を通して教員の指導力の向上に努めた。指導主事をはじめ、他校から指導者を招聘し、多方面からの指導をいただくことができた。</p>	B	<p>・タブレットを活用した算数検定など創専工夫が見られ成果が表れようとしている。今後もしっかりに図形や文章問題にも対応できる策を講じてほしい。</p> <p>・学習の基礎となる「計算力」の維持向上を図ることの継続は素晴らしい。</p> <p>・今年度は、研究授業と研究協議を参照して、とても参考になった。協議会では、小集団の中でペタラも若手も忘れない発言し、よいものを求めよとする熱心な姿勢を垣間見ることができた。お互いが切磋琢磨することを拒まない温かい雰囲気の中で醸成されていることがよく分かった。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○積極的に学校公開し、保護者・地域との連携をさらに図り、「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる」を合言葉にして、より地域から信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>○4月の授業参観・懇談会をはじめ、年2回の保護者と担任との面談を行うなど保護者と連携できるような努められた。また、土曜参観や計画通り年2回行うことができた。校外学習の引率だけでなく、普段の授業にも積極的に参観していただいたことも成果である。</p> <p>□学校応援団について積極的に募集し、保護者や地域の方々が多く参加していただきたい。校外学習の引率まで拡大しているのは素晴らしい。</p>	A	<p>・土曜公開と保護者面談を2回にしたのは、よい。保護者の反応や面談から得られた情報を職員間で共有し改善すべき対応を講議しておくしてほしい。</p> <p>・学校応援団が授業や校外学習の引率まで拡大しているのは素晴らしい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○教職員一人ひとりの授業力の向上に努め、互いに学び合う集団づくりを目指す。</p> <p>□保護者、地域に信頼される教職員集団づくりを目指す。</p>	<p>○全職員が、研究授業において自分事と捉え教育活動に取り組むことができていた。また授業改善に向けて積極的に協議も行うことができた。</p> <p>□教職員事故根絶のために、適宜倫理確立研修を行うとともに、ショートの研修も行うことができた。働き方改革については、今後も課題である。</p>	B	<p>・職員相互の切磋琢磨により、児童の学力向上の兆しが見られたのは大変喜ばしい。また、新たな具体的で達成可能な目標を置いた校内研修を充実させ、更なる職員の資質向上を目指してほしい。</p> <p>・信用失墜行為につながる教職員事故が起ころぬよう、相互呼びかけに努めてほしい。</p> <p>・管理職には、職員への適時、適切な声かけ等により、職員の資質向上を図ってほしい。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○児童の安全を第一に考えた施設、設備の修繕を図る。また「古くてもきれいな学校」を合言葉に校舎内外の美化と安全で潤いのある学校を目指す。</p>	<p>○日常的な安全点検や複数の目での安全点検を確実に実施することにより、施設面での事故はなかった。また、予算運用も適切に行うことができた。</p> <p>□教職員と児童とで清掃活動を行い、その際に児童への適切な声かけをすることにより、児童の愛校心が育まれている。また、黙働清掃も多くの児童ができるようになってきた。</p>	A	<p>・保護者アンケート結果でも施設・設備の評価が低いがトイレについては、においが少なくなるなど改善がみられる。</p> <p>・児童が少ない中で清掃活動も大変だが、きれいな学校を維持する為にも努力を続けてほしい。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価	年 度 評 価	運 成 度	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (技 料)
		年 度 目 標	学 校 標 準				
東 領 家 小	組織運営	重点目標 ○小規模校のよさを生かした組織運営 □年間総授業時間数適正化による働き方改革の推進	重点目標の達成状況 ○会議のスムーズ化、年間を通して計画的に放課後の時間を確保することで、情報共有しながら、コンパウンドな組織運営ができた。 □授業時数適正化、週課表の工夫により、平均時間外在在等時間が全ての月で昨年比で減少した。	重点目標の達成状況 ○会議のスムーズ化、年間を通して計画的に放課後の時間を確保することで、情報共有しながら、コンパウンドな組織運営ができた。 □授業時数適正化、週課表の工夫により、平均時間外在在等時間が全ての月で昨年比で減少した。	重点目標の達成状況 ○会議のスムーズ化、年間を通して計画的に放課後の時間を確保することで、情報共有しながら、コンパウンドな組織運営ができた。 □授業時数適正化、週課表の工夫により、平均時間外在在等時間が全ての月で昨年比で減少した。	A B	・少ない教職員数での教育活動は苦労があったと思う。心身の健康を最優先し、児童のための学校運営の工夫を行ってほしい。 ・学校教育目標に基づき計画的かつ組織的に教育活動が推進されていることが伺える。教職員の日頃のご尽力に敬意を表す。
	教育課程	○全学年教科担任制継続による質の高い授業実践と授業時数の確保 □年間を見通した各種学校行事内容の見直し	○教科担任制継続により、教育課程を適切に管理しながら、安定した学級経営が実践できた。 □各種行事の開催方法、準備等を見直すことで、ねらいに沿って円滑に進められた。	○教科担任制継続により、教育課程を適切に管理しながら、安定した学級経営が実践できた。 □各種行事の開催方法、準備等を見直すことで、ねらいに沿って円滑に進められた。	○教科担任制はさらに充実してほしい。 ・複数の教員による学習支援が安定した学級経営に繋がっていて良い。次年度もきめ細かい教育をお願いする。	A A	・学力と体力の向上に向けて、家庭・地域の教育力を高めたいことも課題である。 ・教科担任制はさらに充実してほしい。 ・複数の教員による学習支援が安定した学級経営に繋がっていて良い。次年度もきめ細かい教育をお願いする。
	開かれた学校づくり	○デジタル化を活用した持続可能な情報提供 □学習活動や行事における効果的な連携教育活動の推進	○プロジェクトチームにより、新たにスクリーンアリの導入、各種たよりの一元化を実施でき、情報量を精選し、デジタル化を進められた。 □元郷中学校、南平幼稚園と学習活動交流を継続実施した。図書館、科学館、文化財センター、領家公民館、県近代美術館とも連携できた。川口市人材バンク懸案とも新たに連携できた。	○プロジェクトチームにより、新たにスクリーンアリの導入、各種たよりの一元化を実施でき、情報量を精選し、デジタル化を進められた。 □元郷中学校、南平幼稚園と学習活動交流を継続実施した。図書館、科学館、文化財センター、領家公民館、県近代美術館とも連携できた。川口市人材バンク懸案とも新たに連携できた。	・今年度の幼小小中間の交流活動の成果をさらに伸ばし、充実したものになるよう期待する。	A A	・今年度の幼小小中間の交流活動の成果をさらに伸ばし、充実したものになるよう期待する。
	教職員の資質向上	○校内研修・教科担任制による教師の指導力の向上とミドルリーダーの育成 □ICT機器を活用した教育活動の推進	○面談を通し教職員一人ひとりの指導力を高めながら、計画通りに指導者を招聘した授業研究会を実施できた。 □教師・児童共にタブレット端末の使用率は向上している。家庭学習における端末の活用も定着しつつある。	○面談を通し教職員一人ひとりの指導力を高めながら、計画通りに指導者を招聘した授業研究会を実施できた。 □教師・児童共にタブレット端末の使用率は向上している。家庭学習における端末の活用も定着しつつある。	・教職員の心身の疲労が蓄積する前に、働き方について見直しできると良い。 ・タブレット端末を使用した学習が必要不可欠だと思うが、その流れについていけない児童への対応の難しさに、教職員の苦労を感じる。	A B	・教職員の心身の疲労が蓄積する前に、働き方について見直しできると良い。 ・タブレット端末を使用した学習が必要不可欠だと思うが、その流れについていけない児童への対応の難しさに、教職員の苦労を感じる。
施設・設備等の管理		○施設・設備事故ゼロの実現と安心・安全な教育環境の維持 □不審者学校侵入防止対策の強化	○教育活動に支障がでることなく教育環境が維持できた。また保護者による盗撮防止に関する臨時安全点検も実施できた。 □来校管理を徹底し、不審者侵入対策を強化した。また公園課と連携して掲示物を作成し、校庭の不審者対策も強化できた。	○教育活動に支障がでることなく教育環境が維持できた。また保護者による盗撮防止に関する臨時安全点検も実施できた。 □来校管理を徹底し、不審者侵入対策を強化した。また公園課と連携して掲示物を作成し、校庭の不審者対策も強化できた。	A A	・校舎内の老朽化（プール含む）に対し、毎月の点検でチェックがあった所は、早急に修繕対応してほしい。	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
安行東小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○「目指す学校像」を実現するために、教職員一人ひとりの適性を活かし、学校運営への参加意識と同僚性を高める。組織の一員として働きたい、を感じながら責任をもって取り組める学校経営を推進する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>教職員一人ひとりが資質及び能力並びにキャリア段階に応じた役割を担い、教職員が主体的に学校運営へ参画することができた。学校自己評価においても学校運営を肯定的に捉える教職員が多かったことが確認できた。</p>	<p>・教職員の働き方改革の機運が高まっており、自発・能動的に変革しようとしている。教職員一人ひとりが進んで学校運営に参加できたことは大いに評価したい。今後も働き甲斐のある組織づくりを努力してほしい。</p>
	教育課程	<p>○全ての子ども一人ひとりが分かる喜びが実感できるよう、教育課程の見直しと授業の質的改善に取り組む、資質・能力の育成を通して学力を向上させる。</p>	<p>○教育計画を子どもの実態に応じて見直し、成果と課題を定期的に検証する体制を整えた。職員評価は目標未達となったが、改善の基盤は整備できた。「聴き合い」「学び合おう」授業改善のため、校内研修や授業観察を通して教員が積極的に取り組んだ。</p>	<p>・児童の実態に即して様々な教育方針を取り入れて対応している。教職員の人的な課題があるが、不登校対策として家庭訪問を徹底したり、ICTを活用した授業を工夫する等、子ども一人ひとりが分かる喜びを実感できるよう、教育課程の見直しと授業の質的改善に期待する。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校の教育活動を積極的に発信・公開し、保護者や地域との連携を深めることで、地域に開かれた学校づくりを推進し、教育の質を向上させる。</p>	<p>○育てたい子ども像や教育ビジョンを保護者・地域と共有し、外部人材を活用して安全管理と教育の質を向上させた。ホームページで教育活動を発信し、保護者・地域の理解と信頼を深めた。</p>	<p>・学校は様々な機会に多様な方法で情報発信している。保護者の声を反映する掲示板的なものがあったりもよい。保護者や地域との連携を深めることで、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。</p>
	教職員の資質向上	<p>○定期的な研修活動を通じて、教職員の専門性を高めるとともに、不祥事防止のための予防策を講じ、安心で信頼される学校経営を実現する。</p>	<p>○指導者を招聘した授業研究会を年7回実施し、教員の資質・能力向上に取り組んだ。新しいことにチャレンジする姿勢が高評価となり、教職員の専門性向上や意欲向上に寄与した。</p>	<p>・外部指導者を招聘し計画的な授業研究会や校内研究等を実施した。授業に係る日常的な問題意識から学校の課題解決に向けた取り組みとして、教職員の専門性を高める実践的な研究を推進した。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○校舎内の教育環境を充実させ、予算を効果的に運用して安全で快適な学校環境を整備し、子どもの安心・安全を確保する。 □予算を見直し、教育環境に必要な項目に優先順位をつけて配分する。</p>	<p>○定期・日常の安全点検を行い、危険箇所を早期発見・対応して事故を防止した。予算を優先順位に沿って配分し、教育環境と子どもの安全を確保した。 □アールの過施設修繕や手摺設置等、計画的に実施することができた。</p>	<p>・日常安全点検を行い、校舎内の安全性確保や教育環境を充実させ、予算を効果的に運用して安全で快適な学校環境を整備し、子どもの安心・安全を実現していた。 ・アール施設の改修や階段の手摺り等、校舎内の安全性確保や教育環境を充実させることができた。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	連 成 度
		年 度 目 標	年 度 評 価		
在家小	組織運営	<p>○目指す学校の具現化に向け、校内組織が活性化するように見直しを行う。</p> <p>□全教職員が組織の一員としての参画意識を持ち、共通理解・共通行動を徹底していく。</p> <p>◇組織の一員としての参画意識を高め、共通理解・共通行動・共通指導をしていく。</p>	<p>○全教職員が参画意識を持ち、業務に取り組んでいた。(教職員学校評価A B 9 3%)</p> <p>□教職員は「チーム在家小」という意識を持ち、日々の業務に取り組んでいる。校内組織の見直しを行い、次年度の改編に向けて準備を進めている。</p> <p>◇年度当初に比べ、報告・連絡・相談・確認がスピーディーになり、教育活動の工夫・改善につながっている。</p>	<p>・校長の説明がよく分かった。よく動いている。</p> <p>・ついこれまでと比較してしまいが、いろいろ考えて学校を変えていこうということや実際に今年度から変えていることもあり、素晴らしいと思う。</p> <p>・校長がPTAの会議にしっかり出ていただいて、児童についてしっかりと考えていただいているのがわかり、とても安心している。</p> <p>・学校を子どもたちのために変えていこうという校長の意欲が感じられ、とてもよい。</p> <p>・コロナで教育活動が止まってきたままではいけないので、これから今今の視点で動かしていきたい。</p>	A
	教育課程	<p>○「在家小学力向上プラン」をもとに、「ワクワクする授業」を心がけ、学力・体力を向上させる。</p> <p>□道徳、特別活動及びびばくグループ交流会等を中心に、児童の心を育てながら、徳力を向上させる。</p> <p>◇家庭学習「ぐんぐん」の取り組みについて、保護者への周知を図り、理解と協力を求める。</p>	<p>○学力向上に向けた指導方法の工夫改善を進め、一定の成果が得られた。</p> <p>□人とかかわり方をはじめてとする心の教育には、課題が見られ、引き続き、徳力向上に向けた取り組みを進めていく必要がある。</p> <p>◇家庭学習の定着状況には差はあるものの、昨年度よりも取り組み状況は改善されている。</p>	<p>・学びの共同体への取り組みはよくやっている。</p> <p>・わからない子を置き去りにしないというテーマは大切だと思ふ。</p> <p>・わかる子がわからないう子を教えることは大切なことである。分かる子も説明することで理解が深まる。</p> <p>・コロナ前は学習支援を行っていた。地域の方をもっと借りていくようにしてほしい。</p> <p>・学校評価の結果を見ても、家庭の教育力、保護者の考え方に課題があることがわかる。</p> <p>・学校がいろいろがんばっているが、保護者の考えや価値観が変わっているから、なかなか難しいと思う。</p> <p>・家庭学習を親に協力してもらうのはいいが、先生の負担軽減にもつながるのではないのか。</p> <p>・児童の取り組みについて差がある。より差がついてしまっている。</p> <p>・旗本について、だんだん保護者が出てくる人が少なくなってきた。</p> <p>・学校運営協議会だけでなく、地域の民生委員などの人が来る場があったので、そういう場があった方がよいのではないかと。民生委員も学校のことを知りたがっている。長期休みに入る前にそういう場が前はあった。</p> <p>・保護者の様子は、週予定や学校ホームページでも知る事ができている。</p> <p>・保護者が必要と思うようなことは、スクリルを使って連絡があるので、とても助かっている。</p> <p>・今年度、埼玉学園大学との連携が実現したのはとても素晴らしい。学校の立地条件を生かしている。</p> <p>・ほつとルームの開設に向けて整備するなど、学校に行けない子どもたちにも目を向けていることもよい。</p>	B
開かれた学校づくり		<p>○学校運営協議会を通して、保護者・地域の声を聴きながら、学校運営に反映させていく。</p> <p>□学校より、学校ホームページ等を活用し、学校の取り組みをタイムリーに発信していく。</p> <p>◇教育相談体制を整え、個のニーズに合わせた適切な対応を行っている。</p>	<p>○学校の取り組みについてご理解いただくとともに、肯定的かつ建設的なご意見をいただき、学校運営に反映できることから取り組んできた。</p> <p>□各種手段で学校の取り組みや健全育成に向けた呼びかけを発信してきた。(保護者学校評価A B 9 9%)</p> <p>◇コースに応じた支援・指導を行っている。今年度は、スクール・ソーシャル・ワーカーや県立川口特別支援学校、市役所の関係各課と連携し、対応してきた。また、新たに埼玉学園大学と連携できるようになり、次年度開設のほつとルームの運営にもつながるものとなった。</p>	<p>・担当の先生がほめてくれることも、本人たちはそのように受け止めたいともあると思う。</p> <p>・教職員の不祥事のニュースがあまりにも多く、ほとんどの先生方は一生懸命やっているのにと先生方がかわいそうになる時もある。社会の状況が厳しくなっている。</p> <p>・年々若い先生が増え、人材育成も大変だと思ふが、在家小学校は少ない人数の中でもよくやっていると思う。</p> <p>・学校を変えていこうとする校長の思いが、先生方にも広がっているように思う。</p> <p>・学校の働き方改革を進めていかなければならぬことも理解している。先生方がやりやすいように、これからも進めていってほしい。</p> <p>・教職員アンケートにプロジェクターの要望があったが、必要なものがあれば、PTAで協力ができるとあると思う。</p> <p>・今年度の学校運営協議会では、施設・設備の修繕箇所や進捗状況について報告がされ、適切な対応がされていることがわかった。</p> <p>・昨年度は修繕されなかった音楽室のエアコンや体育館の照明など、今年度は対応してもらえただけで、子どもたちの教育環境を最優先に考えていただけたことがありがたい。</p>	A
	教職員の資質向上	<p>○不祥事根絶に向け、倫理確立委員会を中心に研修の仕方や時期に合わせた内容を工夫できるように具体的に助言する。</p> <p>□OJTによる組織の活性化、人材育成を行う。</p> <p>◇教職員の心身の健康のために、業務改善スタンダードを共通理解し、全職員で取り組む。</p> <p>○施設・設備の適切な点検・管理を行い、児童の安全確保と潤いのある教育環境を整備する。</p> <p>□終年劣化に伴う修繕箇所については、市教委への報告を適切に行い、児童の安全を確保していく。</p>	<p>○教頭を長とした倫理確立委員会を組織し、計画を立てて研修を実施してきた。また、事例をもとに情報共有を行い、教職員の意識を高めてきた。(教職員学校評価A B 1 0 0%)</p> <p>□自己のキャリアに応じ、人材育成を意識した教職員の姿が見られた。</p> <p>◇教職員一人ひとりが自己の働き方について意識して業務改善できる部分に挑戦してきた。昨年度の時間外在校時間も減少した。</p> <p>○施設・設備の点検・管理を行い、不具合箇所については早急に対応してきた。</p> <p>□児童の安全と教育活動にかかわる部分を最優先に修繕を進めてきた。(保護者学校評価A B 9 9%)</p>	<p>・内容をほめたすの今の時代は誤解を防ぐため、気を付けた方がよいのではないかと。特に高学年になると先生がほめてくれることも、本人たちはそのように受け止めたいともあると思う。</p> <p>・教職員の不祥事のニュースがあまりにも多く、ほとんどの先生方は一生懸命やっているのにと先生方がかわいそうになる時もある。社会の状況が厳しくなっている。</p> <p>・年々若い先生が増え、人材育成も大変だと思ふが、在家小学校は少ない人数の中でもよくやっていると思う。</p> <p>・学校を変えていこうとする校長の思いが、先生方にも広がっているように思う。</p> <p>・学校の働き方改革を進めていかなければならぬことも理解している。先生方がやりやすいように、これからも進めていってほしい。</p> <p>・教職員アンケートにプロジェクターの要望があったが、必要なものがあれば、PTAで協力ができるとあると思う。</p> <p>・今年度の学校運営協議会では、施設・設備の修繕箇所や進捗状況について報告がされ、適切な対応がされていることがわかった。</p> <p>・昨年度は修繕されなかった音楽室のエアコンや体育館の照明など、今年度は対応してもらえただけで、子どもたちの教育環境を最優先に考えていただけたことがありがたい。</p>	B
施設・設備等の管理					A

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	運 成 度	
戸塚東小	組織運営	○学校運営参画意識を高め、教職員一人ひとりの力を結集させた学力の向上。 □不登校児童支援の充実 (支援率100%)	○主幹教諭の適切な声掛けのもと、学年主任・分掌主任を中心とした学校運営ができた。(教職員アンケート組織運営に係る項目99%) ○人事評価中間面談を活用したフィードバックの実施した。 ○オンラインによる自宅学習やステップアップでの学習を年間で継続した支援を実施した。ステップアップから教室での授業に参加できるようになった児童もいる。家庭にSSWを派遣し支援を努めた。 ◇いじめ根絶と組織的対応。	重点目標の達成状況	A	・評価妥当である。
	教育課程	○学力の向上 □徳力の向上 ◇体力の向上	◇生活アンケート年間3回実施。実施後は、担任による個別の関わりを随時行った。 ○日々の授業改善により、授業の工夫 教職員96%、わかりやすい授業(保護者)81%となった。市内科学館、文化財課、県文書館との連携の授業の実施により興味関心を高めた。 □児童の接ぎ運動により、元気の接ぎ、さわやかな接ぎができるようになった。 □児童会でのあいさつの取り組みにより、接ぎへの意識が高まった。 ◇新体力テストA+B+Cの割合80.4%達成。(県平均76.8%) 外遊びをしている児童は多くいる。持久走や縄跳びの時期には取り組みを行い、意欲的に取り組んでいた。 ◇学校公開日、授業参観で学校医と連携した健康教室を実施した。		B	・評価妥当である。 ・教え合いをしている姿がとても良い。授業においてもよく意見を出し合い学び合っている。
開かれた学校づくり	○学校行事等の工夫・改善。 □保護者・地域との連携の更なる強化。	○学校公開、運動会、音楽会を土曜日に実施した。多くの保護者にご参観いただき、好評であった。 □12年生まち探検、3年生のフィールドワークで多くの保護者に学習支援ボランティアとして参加していただいた。特に3年生では1学期4回、2学期3回の学習支援をしていただき連携を深めた。 □5年生家庭科での保護者ボランティアの活用を図った。		B	・ホームページで公開する情報の選択については、慎重に行う必要がある。 ・評価妥当である。	
	教職員の資質向上	○学校課題研究を中心とした教職員の指導力の向上。 ◇教職員一人ひとりのワークライフバランスの充実。	○示範授業の全教科の実施。9月に1人1授業として算数の授業公開を実施した。指導主事による要請訪問9回実施。 □教職員の不在の際の補教体制を充実させた。どの教員も他学年に補教に入り、全員で見守る体制ができた。 定時退勤ワークの100%実施。 在校時間は平均で45時間は下回っている。		A	・さらなる教育の質の向上につながることを期待している。
施設・設備等の管理	○安心・安全な施設設備に向けての管理の徹底。		○施設等による重大事故0件達成。		B	・老朽化が進んでいる中、施設に関する事故が無いことは素晴らしい。事故につながる小さな芽を事前に積むことが大切。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
戸塚北小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○部会や研修を活性化、若手教員の重要ポストへの抜擢等により、全教職員の学校運営参画意識を高めさせ、学校課題解決のための協働体制を確立する。</p> <p>○組織の効率化。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○研修が活発に行われている。指導力の向上が見られる。組織力が向上しつつある。</p>	<p>保護者他地域の意見をより積極的に聴取し、学校経営にさらに反映させていくことが必要である。</p> <p>・働き方改革が管理のための管理ならぬようにする必要がある。</p> <p>・工夫された教員の研修が行われている。</p>
	教育課程	<p>○「GIGAスクール端末を活用した主体的に学ぶ児童の育成」、「書く力を高める言語活動の充実」を軸とした、授業実践と学力の向上。</p> <p>□「やりぬく力」の育成を通して目指す児童像の実現。</p>	<p>○GIGAスクール端末を活用し、主体的対話的で深い学びを表現するための授業改善が行われている。教室全体が落ち着いており、授業規律も整っている。</p> <p>□学校によりやホームページで児童の教育活動の様子を積極的に取り上げ、経営方針に導いた。</p>	<p>・やりぬく力を授業だけでなく、他の活動を通しても身につけさせてほしい。</p> <p>・主体的対話的で深い学びの実現を、より一層推進していく必要がある。</p> <p>・学校行事をおしてより集団の力を伸ばして行ってほしい。</p> <p>・特に無し。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会を活用した、保護者・地域のつながり拠点としての学校づくりの実践。</p> <p>□積極的な広報活動と保護者・地域の理解推進。校長自らが地域に足を運ぶ。</p>	<p>○学校運営協議会の積極的な活用を行うことができた。ご意見を学校運営に生かすことができた。</p> <p>□学校により、ホームページのこまめな更新、保護者メールを活用して積極的に広報を行い、保護者や地域の学校の学校に対する理解が深まった。</p>	<p>・学校運営協議会の出席率が低く、十分に意見を聴取、協議できていない。</p> <p>・PTA活動がやや希薄である。</p> <p>・東京フットボールモーター交響楽団の招致が素晴らしかった。</p> <p>・地域行事への参加。</p>
	教職員の資質向上	<p>○教職員一人ひとりの特性を踏まえ、ライフステージに応じた計画的な人材育成による、活力ある学校づくりの推進。</p>	<p>○校長、教頭、主幹教諭による教室訪問などにより、教員理解を深め、教職員の指導に役立った。</p>	<p>・校長、教頭による教職員への指導助言がまだ不十分である。実効性のある計画的な人材育成を推進していく必要がある。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○安心・安全を最優先にした潤いのある教育環境づくり。</p>	<p>○毎日の通学路点検や校内施設点検などにより、安心安全な教育環境づくりが実行できた。</p>	<p>・毎日の登校指導や一日2回の校内巡視を行っていることは高く評価できる。</p> <p>・今後も引き続き統括環境整備に尽力してほしい。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園)		自己評価		達成度	学校(幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年度目標	重点目標	年度評価	重点目標の達成状況		
木曾呂小	組織運営	<p>○教職員の共通理解に基づいた共通行動・共通指導の徹底</p> <p>□教職員個々のライフステージに応じた資質や能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修 3名 ・5年経験者研修 2名 ・中堅教諭等資質向上研修 0名 ・20年経験者研修 0名 	<p>○「学び合い」の取り組みを継続しながら、全員が公開授業に取り組んだ。基礎基本の定着に向け、朝学習の徹底、習熟度別学習に取り組むなど、さまざまな方針に着手することができた。</p> <p>□法定研修など、対象者を中心にライフステージに応じた研修を受講し、全員が修了する予定である。市教委の指導者や管理職の指導により指導力の向上に積極的に取り組めた。</p>	<p>○「学び合い」の取り組みを継続し、基礎基本の定着に向け、朝学習の徹底、習熟度別学習に取り組むなど、さまざまな方針に着手することができた。</p> <p>□法定研修など、対象者を中心にライフステージに応じた研修を受講し、全員が修了する予定である。市教委の指導者や管理職の指導により指導力の向上に積極的に取り組めた。</p>	<p>・「学びの共同体」から「基礎基本の定着」に研修体制を切り替え、学力向上に向けた取り組みが新たにスタートしたと捉えている。</p> <p>・学力向上は学級経営の充実が鍵を握っているので、そこをサンプルに丁寧に取り組みたい。</p>	A	
	教育課程	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業の展開</p> <p>□PDCAサイクルに基づいた教育計画の編成や実施</p> <p>◇GIGAスクール端末やICT機器を効果的に活用した授業の展開</p>	<p>○公開授業を積極的に実践している。学年ごとの公開週間を設けるなど、意図的・計画的な研修体制を構築している。</p> <p>□授業実践は、研修掲示板を活用して公開し、教員同士で授業を見合う体制を確立させた。授業後の協議をさらに活発化させていきたい。</p> <p>◇授業において、端末を積極的に活用する教員が多く、効果的な活用方法の共有を図っている。自主研修を企画し、さらなる活用を図り、実践につなげている。</p> <p>○各よりやホームページ等で、積極的な情報を発信できた。また、昨年度の課題であったデータと紙ベースを併用したことにより、情報を確実に伝えることができた。</p> <p>□学校運営協議会を3回実施する中で、意見を柔軟に取り入れ、改善策に反映することができた。</p> <p>◇30周年記念式典に向け、特別企画などを実行委員や児童の運営委員と計画しながら実施することができた。また、行事協力隊の積極的な応援により、新たな組織の活動を軌道に乗せていく準備が整ってきた。</p>	<p>○公開授業を積極的に実践している。学年ごとの公開週間を設けるなど、意図的・計画的な研修体制を構築している。</p> <p>□授業実践は、研修掲示板を活用して公開し、教員同士で授業を見合う体制を確立させた。授業後の協議をさらに活発化させていきたい。</p> <p>◇授業において、端末を積極的に活用する教員が多く、効果的な活用方法の共有を図っている。自主研修を企画し、さらなる活用を図り、実践につなげている。</p> <p>○各よりやホームページ等で、積極的な情報を発信できた。また、昨年度の課題であったデータと紙ベースを併用したことにより、情報を確実に伝えることができた。</p> <p>□学校運営協議会を3回実施する中で、意見を柔軟に取り入れ、改善策に反映することができた。</p> <p>◇30周年記念式典に向け、特別企画などを実行委員や児童の運営委員と計画しながら実施することができた。また、行事協力隊の積極的な応援により、新たな組織の活動を軌道に乗せていく準備が整ってきた。</p>	<p>・今年から取り組み始めている研究体制を継続してほしい。学力は今後向上していくと考えている。</p> <p>・授業における教師の指示や説明が長すぎると感じる場面がある。ポイントを絞り、短く適切に発問等するとよい。</p> <p>・外国語の学習は、もっと児童に話させるべきである。聞く学習よりも、どんどん英語を話す場面を構成するとよい。</p> <p>・特になし。</p>	B	
開かれた学校づくり	<p>○教育活動の積極的な情報発信</p> <p>□学校運営協議会の円滑な実施</p> <p>◇学校を核とし、保護者・地域・学校が一体となった協働活動の実施</p>	<p>○夏休作業を推進するための研修の実施</p> <p>□積極的な生徒指導を柱とした学年・学級経営の実施</p>	<p>○夏休作業を推進するための研修の実施</p> <p>□積極的な生徒指導を柱とした学年・学級経営の実施</p>	<p>・「ほつとルーム」を設置したことは効果的であったと思う。職員室や保健室に近く、子どもが安心して過ごせる居場所になっている。</p> <p>・今後、ほつとルームに常駐する職員が必要ではないか。教員でなくともよいと思うので、検討すべきである。</p> <p>・特になし。</p>	A		
	教職員の資質向上	<p>◇教育改善を推進するための研修の実施</p> <p>□積極的な生徒指導を柱とした学年・学級経営の実施</p>	<p>○夏季休業を活用し、北中学区の教職員による研修を実施した。児童生徒の姿の共有、課題を整理し、改善策を話し合った。不登校対策も協議し、2学期からの実践につなげた。</p> <p>□「木曾呂っ子スタダンド」の徹底を図った。生徒指導委員会での協議において、対策を練り、実践につなげた。また、不登校傾向児童について、家庭との連携(つながり)を絶やらず、登校にむけたアプローチを継続した。</p> <p>◇月1回の倫理確立委員会を確実に実施した。常に、協議スタイルと取り入れることで、当事者意識を持たせ、自分事として研修に取り組んだ。</p> <p>○定期・臨時点検、早期発見早期改善により、施設事故0である。今後も継続していく。</p> <p>□県・市教委からの規程をもとに、校内規程を作成するとともに、規程の遵守に取り組んでいる。盗撮防止に係る点検等を定期及び臨時に実施していく。</p> <p>◇会計事故0に取り組めた。しかし、集金額の誤通知などの反省をもとに、今後対策を徹底していく。</p>	<p>○夏季休業を活用し、北中学区の教職員による研修を実施した。児童生徒の姿の共有、課題を整理し、改善策を話し合った。不登校対策も協議し、2学期からの実践につなげた。</p> <p>□「木曾呂っ子スタダンド」の徹底を図った。生徒指導委員会での協議において、対策を練り、実践につなげた。また、不登校傾向児童について、家庭との連携(つながり)を絶やらず、登校にむけたアプローチを継続した。</p> <p>◇月1回の倫理確立委員会を確実に実施した。常に、協議スタイルと取り入れることで、当事者意識を持たせ、自分事として研修に取り組んだ。</p> <p>○定期・臨時点検、早期発見早期改善により、施設事故0である。今後も継続していく。</p> <p>□県・市教委からの規程をもとに、校内規程を作成するとともに、規程の遵守に取り組んでいる。盗撮防止に係る点検等を定期及び臨時に実施していく。</p> <p>◇会計事故0に取り組めた。しかし、集金額の誤通知などの反省をもとに、今後対策を徹底していく。</p>	<p>・「ほつとルーム」を設置したことは効果的であったと思う。職員室や保健室に近く、子どもが安心して過ごせる居場所になっている。</p> <p>・今後、ほつとルームに常駐する職員が必要ではないか。教員でなくともよいと思うので、検討すべきである。</p> <p>・特になし。</p>	A	
施設・設備等の管理	<p>○定期的(日常・定期・臨時)な安全点検の実施による施設・設備の現状の早期発見・早期改善</p> <p>□個人情報に関わる校内規程等の随時見直し・改善及び遵守の徹底</p> <p>◇会計事故防止規程等の随時見直し・改善及び遵守の徹底</p>	<p>○定期・臨時点検、早期発見早期改善により、施設事故0である。今後も継続していく。</p> <p>□県・市教委からの規程をもとに、校内規程を作成するとともに、規程の遵守に取り組んでいる。盗撮防止に係る点検等を定期及び臨時に実施していく。</p> <p>◇会計事故0に取り組めた。しかし、集金額の誤通知などの反省をもとに、今後対策を徹底していく。</p>	<p>○定期・臨時点検、早期発見早期改善により、施設事故0である。今後も継続していく。</p> <p>□県・市教委からの規程をもとに、校内規程を作成するとともに、規程の遵守に取り組んでいる。盗撮防止に係る点検等を定期及び臨時に実施していく。</p> <p>◇会計事故0に取り組めた。しかし、集金額の誤通知などの反省をもとに、今後対策を徹底していく。</p>	<p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p>	A		
		<p>◇会計事故防止規程等の随時見直し・改善及び遵守の徹底</p>	<p>○定期・臨時点検、早期発見早期改善により、施設事故0である。今後も継続していく。</p> <p>□県・市教委からの規程をもとに、校内規程を作成するとともに、規程の遵守に取り組んでいる。盗撮防止に係る点検等を定期及び臨時に実施していく。</p> <p>◇会計事故0に取り組めた。しかし、集金額の誤通知などの反省をもとに、今後対策を徹底していく。</p>	<p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p>	B		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
戸塚緑瀬小	組織運営	<p>○教職員の学校運営に対する参画意識を高め、組織と教育活動の活性化を図ることにより、児童一人ひとりの「生きる力」を育てる。</p> <p>□業務内容の精選をし、時間外在校等時間月4.5時間以上の教職員をゼロにする。</p>	<p>○学校評価組織運営教職員9.9%</p> <p>企画委員会前に提案資料全てに目を通し、指導助言をすることで、学校経営方針に沿った教育活動の展開を全職員で行っている。</p> <p>□日課表の変更・会議時間や内容の精選をした。しかし、管理職の仕事は減らず、毎月時間外在校等時間月8.0時間に迫る勢いであった。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の工事が多く、一層の安全対策が必要。 ・十分達成していると思います。 ・教職員の勤務時間については、保護者配付のプリントで周知されている。(定時退勤ウィークなど) ・仕事は変わらないのに、働き方改革等進めなくてはならず、大変だと思います。
	教育課程	<p>○学力向上を核とした、確実な教育課程の編成、実施、評価、改善を行い、学力を着実に向上させる。</p> <p>□授業時数を確保し、質的な保障を通し、学力向上をする。</p>	<p>○校内授業研究会の際、全ての学習指導案作成時と研究協議会時に詳細な指導をした。国語科の目標や授業構築について教師力を高められた。</p> <p>□2学期に全教員の授業を1時間以上参観し、個別指導により授業力向上を図った。授業改善6つの視点に沿った指導ができてきている。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ達成していると思います。 ・先生方が児童に真剣に取り組んでいる姿に接し、時には気分転換が必要かと思われれます。 ・学力向上に向けて、工夫された授業が行われていると感じる。 ・ほぼ達成していると思います。 ・求年度の日課表の変更についてはプリントが配布された。 ・タブレットの持ち帰りについて、低学年には重すぎ、毎日の持ち帰りは難しいと感じる。視力低下の心配もある。
	開かれた学校づくり	<p>○学校・家庭・地域の連携を深め、「信頼され安心する」学校をつくる。</p> <p>□学校運営協議会の運営方法を改善する。</p>	<p>○積極的な情報発信をした。各種会合にも参加し、声に耳を傾けてきた。</p> <p>□学校運営協議会の開催方法を、文部科学省や埼玉県教育委員会が示しているやり方へ変更した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に行き道路・公園のゴミ拾いを通し、これからの児童の公共意識の一步にしては。 ・あやっ子ブログを拜見しているが、更新が遅いように感じる。しばらく更新がない時もある。 ・十分達成していると思います。 ・あやっ子コンサートや授業の見学など、年3回の協議会が工夫されて運営されている。
	教職員の資質向上	<p>○キャリア育成の視点を含めた教職員の資質向上を図る。</p> <p>□川口市教育委員会委嘱研究の中間発表を研究途中の目標点とし、戸塚地区の学校へ広める。</p>	<p>○日々の教室訪問とともに、「エッセンス(授業改善6つの視点含む)」を活用した教室訪問の実施(通年・2学期に1時間)をした。その後の個別指導も実施した。</p> <p>□研究協議会等はワークショップ形式で実施。教職員一人ひとりが主体的に研修に取り組めた。授業研究会7回実施予定である。(すでに6回実施)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・十分達成していると思います。 ・教職員が意欲的に職務を行っていることが伝わる。 ・公開授業も参観したいです。
	施設・設備等の管理	<p>○施設設備の計画的な整備や修繕、予算運用と事務処理の最適化を通して、教育環境を改善・充実する。</p> <p>□児童・教職員にとって安全・安心な教育環境づくりをする。</p>	<p>○教育活動に支障が出ないよう、施設・設備の維持管理と修繕をした。教頭、事務主任、業務員及び各教科等主任と連携を図り、備品の修理や補填に努めてきた。</p> <p>□計画的な備品購入をした。教室掲示は、校内研修にて、令和8年度の方向性を確認中である。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を大切に使用することは大事です。新しいものを要望・要求することも特に将来の児童にとってにより大事な事と思います。 ・学校に古さを感じることはないが、昨年の水泳の授業直前のプールの改修などもあり、日々の点検は大事だと思う。 ・教室環境、掲示に関して特に問題はない。
				B	

令和7年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重 点 目 標	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
戸塚南小	組織運営	○目指す学校像の実現に向け、個々のよさを活かし組織の活性化につなげるとともに児童一人ひとりのよさを伸ばす学校をつくる。	○昨年度の反省を活かしながら継承するとともに、働き方改革の観点でも業務改善に努めることができた。 ○教職員の考えを受け止めるとともに、より良い方向について共に考え実践できた。	B	・働き方改革ということで制限のある中、大変な時代になった。昔は、ラジオ体操などにも先生方が参加して子どもたちにとって励みになっていた。
	教育課程	○授業力向上を目指した授業づくりに取り組みとともに、知・徳・体のバランスの取れた児童を育成する。	○学年内による教科担任制は、学年全体の児童との関係性を築いたり担任とは違った視点で児童のよさを伸ばしたりできるという点で有効であった。 ○体育を研修教科とし、授業改善に取り組んだ。	B	・最近の子どもたちは体幹が弱いと感じる。縄跳びや外遊びなど、日常的に教員も一緒に子どもたちと遊んでほしい。 ・教科担任制はとてよい。引き継ぎ取り組んでほしい。 ・自分の考えを進んで話すことのできる児童を育成してほしい。意識的な仕掛けを。
	開かれた学校づくり	○開校20周年に当たり、保護者・地域との連携をさらに強化するとともに信頼される学校づくりに取り組み。	○開校20周年行事として様々な企画を行った。特に南小祭りについては、保護者やポーター、地域、学校運営協議会の皆様に多くのお力添えをいただき功裏に終えることができた。 ○授業参観や学校公開には多くの保護者の方にお越しいただき教育活動の一端を見ていただくことができた。	A	・町会の行事にも子どもたちに積極的に参加してほしい。 ・20周年の行事は子どもたちにとってとても有意義であった。20周年お祝い献立もとてもよかつた。
	教職員の資質向上	○教職員の和を大切に、教職員不祥事防止に努めるとともに互いに高め合える教職員集団をつくる。	○毎月1回全教職員対象に不祥事防止の研修を行った。特に、体罰防止、盗撮、交通事故等を中心に取り組んだ。 ○若手教員を中心とした自主研修は不定期ではあったが実施できた。	B	・教員の挨拶が少ない。物の管理なども含めて引き継ぎ指導が必要である。
	施設・設備等の管理	○校舎内外の環境整備に努めるとともに、安心・安全な教育環境及び職場環境を整える。	○今年度も特にエアコンの不調が多くあり、修繕の必要が高かった。開校20周年を迎え、修繕の必要な箇所が増えている。 ○教室環境、オープンスペース環境は物が雑多にならないように気を付けるよう声掛けできた。	B	・必要な箇所から修繕を行い、子どもたちが安心して学習に取り組める環境を整備してほしい。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園)自己評価		学校(幼稚園)関係者評価(抜粋)	
		年度目標 重点目標	年度評価 重点目標の達成状況	達成度	
鳩ヶ谷小	組織運営	○いじめ及び不登校支援	○児童保護者との対話を重視し、ニーズに沿った支援を行った。 ○外部機関や外部人材との定期的な連絡を行い、支援に結びつけることができた。 ○1対1ルーム1の充実により、学びの場として教室を選択できる時間が増えた。	B	・児童、保護者との対話の重視は大事である。継続してお願いしたい。
	教育課程	○指導技術や教材の共有と伝承	○すべての学年において交換授業を実施することができた。 ○教科等別に小中学校でチームを組み教材研究や授業改善に向けた話し合いを実施することができた。	B	・どの学年、学級も落ち着いて授業に取り組んでいる。一声授業だけでなく児童の興味や関心によって自由に学べている様子が見取れた。良いと思った。
	開かれた学校づくり	○小中連携した「チーム鳩ヶ谷」の構築	○学校運営協議会を年4回実施することができた。 ○中学校における児童生徒の交流および教職員の連携を実現した。 ○様々な媒体からの情報発信を実現した。	B	・学校の様子は通っている子ども達からも情報として入ってきている。心配なことはない。 ・校内ではよく挨拶をしていくれているが、地域に出ると少ない気がする。継続指導を望む。 ・情報伝達アプリが適切に活用されている。
	教職員の資質向上	○教職員事故ゼロの学校づくり	○教職員事故はゼロであった。 ○倫理確立全体研修については時間の長短により内容を適切に選び、より効果的な研修となるよう工夫した。	B	・教職員の「褒めて、認める」という目線に感謝している。 ・教職員事故ゼロは望ましい。今後も研修を充実させ、わいせつ事故などの防止に努めて欲しい。
	施設・設備等の管理	○施設・設備等による児童事故ゼロの実現	○施設・設備等による児童の事故はゼロである。 ○今年度も児童の安全確保および教育環境改善に向けて速やかな修繕を実施することができた。	A	・校舎の建て替えがあるよよい。 ・校庭の木伐採により周囲が明るくなった。今後も児童の安全確保の観点で迅速な修繕等を実施して欲しい。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
中居小	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○学年主任を中心とした共通理解・共通行動による学年経営を実施し、全教職員が力を集結する学校運営を実現する。</p> <p>□効率的な会議・部会運営を行い、次年度を見据えた校務分掌業務を推進し、時間外在校時間月80時間未満を達成する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○学年主任を中心とした共通理解・共通行動による学年経営が達成できた。報告・連絡・相談・確認・見届けを確実に行うとともに、組織力を高め、機動的な組織「チーム中居小」を構築することができた。</p> <p>□見通しをもち、限られた時間内で効率的な会議・部会運営を行うことができ、時間外在校時間月80時間未満を全ての教職員で達成できた。授業時数の余剰が多くならないよう、1学年の月曜日を4時間授業とした。</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・組織力を高めるとともに、個々の教職員が自信が持てるよう、工夫が必要である。</p> <p>・各教職員それぞれが良さを発揮するとともに、互いにカバーしあえるような組織作りも大切である。</p> <p>・効率化により時間外勤務の減少が達成されたことは、大いに評価するべきことである。</p> <p>・効率を求めるとともに、教職員の質の高さも求めます。</p> <p>・タイムマネジメント力の更なる向上に期待している。</p>	B
	教育課程	<p>○日々「わかる、できる、楽しい」授業を実践し、個に応じた指導を充実させるとともに、基礎学力を向上を達成する。</p> <p>□家庭や関係機関との連携をより一層密にし、登校しがい児童の解消及び不登校児童への支援率100%を達成する。</p>	<p>○「ほめる教育」を推進し、「わかる、できる、楽しい」授業を実施に向けて、教室訪問・授業参観を行い、必要に応じて指導助言を行うことができた。</p> <p>□特別支援コーディネーターが中心となり、中居小c o r o プランの運用、定着を行った。生徒指導委員会時に対応策等の方針を定め、学校全体での組織的な対応をすることができた。</p>	<p>・「ほめる教育」は大切である。プラン「あきらめぬ教育」も大切である。</p> <p>・「わかる、できる、楽しい授業」を引き続き実施していただきたい。</p> <p>・支援率100%の継続を願っている。</p> <p>・学校で弾力的運用が図られていることは子どもや保護者にとってもよい。</p> <p>・家庭、地域の連携を今後も期待している。</p> <p>・ほつとルームの早期の運用に期待している。</p>	A
開かれた学校づくり	<p>○学校応援団の活動を充実させ、充実した教育活動を展開するとともに、学習環境を整備する。</p> <p>□1年間を通し、HPIにて日々の教育活動や子どもへのよさ、伸び等を積極的に保護者や地域に情報発信する。</p>	<p>○図書ボランティアや学校図書館司書との連携により、学校図書館の環境が更に整備された。学校応援団やおやしの会など地域の教育力も活用できた。</p> <p>□ドモンやHPの効果的運用について教職員と協議し、「教育活動の見える化」について、進めることができた。</p>	<p>・大いに評価する。</p> <p>・学校応援団の協力を受けて、図書館内の整備が一段と向上している様子が伺える。</p> <p>・学校応援団に期待している。</p> <p>・大いに評価する。</p> <p>・情報発信 (学校だより) は、今まで通り紙ベースが必要である。</p>	A	
	教職員の資質向上	<p>○教職員一人ひとりの資質・能力・経験や個々の長所を生かしながら授業力や学級経営力を高め、人材を育成する。</p> <p>□当事者意識を高め、教育公務員としての高い倫理観を醸成し、信頼される教職員を育成する。</p>	<p>○各学級担任が家庭との連携を図り児童一人ひとりに寄り添った学級経営を行うとともに、授業力を向上させるために、見直しと振り返りのある授業を実施することができた。</p> <p>□教頭が中心となり、倫理確立委員会だけでは「ビジネスマナー研修」や「生徒指導力向上研修」を実施した。職員の不祥事防止に対する意識を高め、大きな学校事故0を実現できた。</p>	<p>・大いに評価する。</p> <p>・見直しと振り返りのある授業は、児童の学力向上にもつながる。</p> <p>・無理のない範囲で、教育公務員として高い倫理観を醸成していただきたい。</p> <p>・事故0とともに、事故があった時の対応を迅速かつ的確に行えるようお願いしたい。</p>	B
施設・設備等の管理	<p>○整理整頓と清掃を徹底するとともに、児童の学びにつながる学習環境を整備する。</p> <p>□目に見える変化を生む迅速かつ適切な修繕を行い、安心・安全な生活環境及び豊かな学習環境をつくる。</p>	<p>○老朽化の進んでいた正門前の花壇を撤去し、駐車場を設置した。特別教室においても整理整頓を徹底させ、整然とした環境の維持管理をした。</p> <p>□教頭・事務・教務員との連携を図り、短期・中期・長期の計画のもと、施設設備を迅速かつ適切に修繕し、安心・安全な生活環境をつくることができた。</p>	<p>・設備の修繕結果を分かりやすく一覧にしてコドモンで発信したことはよかった。</p> <p>・各教職員の持ち得る知識や技能を発揮し、限られた予算の中で環境を整えていくことは、互いの信頼関係の醸成とともに経済効果もあり素晴らしい。</p> <p>・教職員の努力を大いに評価する。</p> <p>・1年生用の男女共同トイレの一日も早い工事を願う。</p> <p>・老朽化が原因で事故が起らないことを期待する。</p> <p>・避難所になっているため、老朽化は市へも要望し対策が必要である。</p>	A	
				A	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (教 師)	
		年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	連 成 度
		重点目標	重点目標の達成状況		
辻小	組織運営	<p>○自分の頭で考え、最後までやり抜く力を育てる。</p> <p>□他者との関わりで心をみかき、健康な体をもつ。</p>	<p>○高学年算数科を中心とした習熟度別学習により、一人ひとりのきめ細やかな指導・支援となり、学力向上につながった。</p> <p>□ICTの積極的活用については昨年度より進んでいる。必要感のある活用につながった。</p> <p>○合言葉「あ・な・た」は学校の合言葉として定着しつつある。特別支援教育理解研修の実施により理解も深まりつつある。</p> <p>□なわとびチャレンジやチャレンジなど時期に応じた体育を学校全体で行い、体力向上につながった。</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (教師)</p> <p>・習熟度別は良い取り組みであると思う。</p> <p>・合言葉の「あ・な・た」は子どもたちにも定着している。とても重要なポイントを中心に先生方の日ごろの努力が感じられる。</p>	A
	教育課程	<p>○国語科を基盤とした伝え合う力の育成を行い、「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成を実現する。</p>	<p>○どの教科においてもタブレットの方がよいという場面を想定しながら活用することができた。</p> <p>○国語科として「伝え合い」の質を高めるための方策を校内研修を通し、学校全体で考えていくことができた。</p>	<p>・時代の変化に学校も保護者も大変なことと思うが、継続的に進めてほしい。</p> <p>・効果的なタブレット利用について引き続き、検討してほしい。何でもかんでもにらなないようにする必要はある。</p>	B
	開かれた学校づくり	<p>○コミュニケーションを生かした教育活動を工夫・改善しながら学校・保護者・地域との連携協力をより進めていく。</p> <p>□新たな教育活動を推進するために民間との連携を積極的に行う。</p>	<p>○学校運営協議会副委員長様と連携した米作り体験、大豆作り体験は学校の教育活動の充実としてよい機会となった。引き続き、体験活動を続けていきたい。</p> <p>○地域開放団体と連携し、校庭の清掃隊を行うことができた。</p> <p>□昨年度に引き続き、各学年で対面やオンラインでの特別授業（プログラミング、空育等）を民間の機関と連携して行えた。6年生においては総合的な学習でプロバスケットボール選手や元プロ野球選手を活用した授業も行うことができた。</p>	<p>・様々な特別授業や体験を通して子どもたちが学ぶことは計り知れないものがある。ますます進めてほしい。家庭ではできない体験・経験が多いのでとてもありがたい。</p> <p>・あいさつができてきている子どもが多い。学校・保護者・地域との連携が必要。</p> <p>・校外学習は大切な経験だと思う。拡充を期待する。</p>	A
	教職員の資質向上	<p>○教職員の和を大切にし、教職員事故0を目指すとともに教職員が互いに高め合える教職員集団を育成する。</p>	<p>○若手研修「ツジナダンス」を活用し、特に今年度は研究主題を自分で考えさせ、年間を通し、実践させた。</p> <p>□4年生以上の教科担任制は2年目となり、定着してきた。担当教科を通し、指導力向上につながった。</p>	<p>・運動会や音楽会を通して先生方の努力や指導の様子を見て、感謝の念でいっぱいである。</p> <p>・学校に対する期待の大きさ、一方的なの要求なども多いと思うが、今後よろしくお願ひしたい。</p> <p>・学期はじめの登校指導に先生方の中であいさつを返さない先生がいた。</p>	B
施設・設備等の管理	<p>○児童の視点に立った定期的な施設的安全確認、環境整備を行い、事故のない教育環境、職場環境を整える。</p> <p>□計画的で効率的な予算執行を行う。</p>	<p>○今年度は学校設備の経年劣化により急な修繕が必要となることが多かった。配当予算が限られている中で環境を十分に整えるためには、計画的な修繕が必要である。</p> <p>□個人教材購入物品のインターネット販売は定着してきた。一方で販売時期がずれると販売ができないこともあるので今後も業者との交渉が必要である。</p>	<p>・必要不可欠な問題なので、日ごろの点検と安全意識の向上ということだと思う。予算との問題で優先順位を尊重することも大事だと思う。地域の皆さんと相談して修繕のお手伝いをしたい。</p> <p>・ネット販売はとても助かる。(小銭を用意する必要がない)</p> <p>・予算が厳しいと思うが、学校開放で使用している施設(体育館等)の修繕をしてほしい。</p>	B	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園)自己評価		年度評価	進成度	学校(幼稚園)関係者評価(抜粋)
		年度目標	重点目標			
里小	組織運営	○学びの場を広げ、社会とつながりながら学習する「社会に開かれた教育課程」を実現させる。	○教職員一人ひとりが創意工夫と改善の視点もち、学校運営に参画する意識を向上させる。	○各主任がリーダーシップを発揮し、新しい方法を取り入れた取り組みを実施することができた。	A	・特になし
	教育課程	○学びの場を広げ、社会とつながりながら学習する「社会に開かれた教育課程」を実現させる。	○本校の教育活動や児童の変容等について、積極的に情報を発信し、家庭・地域と連携・協働した教育活動を行う。	○読み聞かせ、図書、家庭科などで、多くの学校応援団の方に活動していただくことができました。	A	・登下校の見守りについては、自治会でも協力できることがあるので、知らせて欲しい。
	開かれた学校づくり	○本校の教育活動や児童の変容等について、積極的に情報を発信し、家庭・地域と連携・協働した教育活動を行う。	○ホームページの閲覧数を増加させることができた。	○ホームページの閲覧数を増加させることができた。	A	・芝生の管理やみどりふれあい委員会等についても、広く知らせ、協力を仰いでほしいと思う。
	教職員の資質向上	○教育公務員としての自覚と気概もち、信頼される教職員を育成する。	○県の資料を活用しながら、研修を実施することができた。	○県の資料を活用しながら、研修を実施することができた。	A	・特になし
	施設・設備等の管理	○施設設備の安全と、美しく清潔な教育環境を心掛け、安全できれいな学校づくりを行っていく。	○安全点検を校内一斉に行うことで、確実に実施することができた。	○安全点検を校内一斉に行うことで、確実に実施することができた。	B	・建て増している個所のつなぎ部分に段差があるのが気になる。平らになるとよい。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
		重点目標	重点目標の達成状況	
桜野小学校	組織運営	<p>○人材育成を目的とした校務分掌や教科担任制等役割分担の徹底。意欲喚起による教職員の経営参画意識の醸成に加え、経営方針をP D C Aサイクルに反映させて推進する活力ある学校経営の確立。</p>	<p>○ベテラン教員が持つ経験値等を活用することで、皆が責任を持って業務を完遂する等安定した学校経営に繋がった。 ○学校の充実が、教員一人ひとりに自信と責任感を育み、成長へと繋がった。 ○多くの教員がP D C Aサイクルを活用した学級経営を行い、見通しを持って様々な教育活動に取り組むことができた。</p>	<p>・限られた予算の中、継承を大切にしつつ創意工夫も重ね、大きな成果を挙げた一年間と高く評価したい。 ・若手教員の育成を図るため、複数いるベテラン教員を活用した病は良かった。ベテランの指導技術のみならず、学校文化の伝承が叶ったことは大きな成果だと感じる。</p>
	教育課程	<p>○自身の伸びや姿が見えるような授業づくり。 ◇専科教員の活用や一部教科担任制の導入による、教科指導の充実と学力向上。 ◇専科指導や教科担任制等多くの教員との関わりによる積極的な生徒指導・教育相談体制の充実。</p>	<p>○教科担任制導入による児童の学力向上・教員の専門性向上に加え、複数の目で見る体制整備、悩み等 SOS の早期発見・的確対応の実現。 □生徒指導・教育相談、インクルーシブ教育、日本語指導や地域連携の充実・機能向上。 □校則の見直しが実現した。 ◇特支との交流、安全教育についてはまだまだ改善の余地あり。</p>	<p>・ほとんどの児童が救われた。一層の充実を求める。 ・子どもたちの声が形になった校則も良い。 ・教科担任制等新たな指導体制は良い。複数の目で児童を観察するメリットは多い。次年度も一層の充実を図ってほしい。 ・文化の違う外国籍児童への指導・支援についても、継続した取り組みを。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	<p>○「学校で学び 家庭でつなげ 地域で育む さくら子」実現を目指した繋がり創出等、保護者・地域との連携の一層の強化。 □保幼小中の連携教育の推進。</p>	<p>○各家庭や地域の方々からの理解と協力が深まり、子どもたちの健やかな成長を後押しした。 ○学校によりやH P、学校公開や視察日、参観日等様々な手段で、本校の教育活動を広く広報できた。 □関係機関との連携も深まり、漏れのない支援に繋がった。 □中学校区内の小中連携、小中連携が実現し、児童の心理的安全性が高まった。</p>	<p>・P T Aの「学校と共に歩もうとする姿勢」が良かった。今後一層の連携を。 ・良好な教育環境は、地域の活力にもなる。これからも継続されるよう応援したい。 ・地域資源(学校応援団として)のより一層の活用を。もっと地域に依頼してほしい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○常に学び続ける教師を目指し、教育公務員としての幅を広げ、自覚と力量を高めることで教師力の一層の向上。 □組織として機動力を向上させるチームワークづくり。</p>	<p>○今年度、様々な教育活動の発展・深化により、教員一人ひとりが多くの業務を経験し、力量向上が図れた。 □一方、障害理解や教育相談技術の向上を目指した取り組みでは、まだやり残したことが多く、教員の資質向上・人材育成という点では課題が残った。</p>	<p>・教科指導だけでなく、教育相談の力量向上にも目を向けたことは良かった。 ・先生方の表情が明るく、良い雰囲気だったので、子どもたちも嬉しそうだった。 ・どの学級も落ち着いて授業に取り組んでいた。先生方の指導力が向上したためだろう。</p>
施設・設備等の管理	施設・設備等の管理	<p>○「安全・安心」に視点をあいた安全管理の徹底。 □効率的かつ安全な予算執行及び適切な文書管理。</p>	<p>○報告あるいは発見次第、可能な限り修繕を行った。また、毎日一回は校内を巡視し、施設の状態確認、早期発見と迅速な改善に努めた。 □施設老朽化と縮小された予算では直しきれない修繕箇所が多数ある(主に大規模修繕)。加えて、素人では判別できない危険箇所(プール等)については、どう安全を担保していくかが今後の課題。</p>	<p>・修繕箇所・件数は多いが、安全第一の中、優先順位を定めながら、漏れなく工事を進められたことは良かった。 ・プール槽など、まだ修繕に至っていない複数の危険箇所についても、年次を超えて速やかに執り進めたい。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
	年 度 目 標	学 校 標 準	年 度 評 価	連 成 度	
	重点目標	重点目標の達成状況			
南鳩ヶ谷小	<p>○多様化する諸課題を解決するために、教職員一人ひとりの力を最大限に発揮できるしなやかで強靱な組織づくりをする。</p> <p>□児童にとって安心安全な居場所づくりをする。</p>	<p>○「驚きと喜び、感動にあふれる南鳩ヶ谷小学校」を具現化するために、前年度踏襲にとられず、目的や根拠を大切にしながら教職員の主体的な学校運営参画が増えた。</p> <p>□教職員一人ひとりが主体的に取り組むことで、生徒指導上の課題に対して迅速かつ組織的に対応することができた。</p>	B	<p>・教職員の意識向上の表れが主体的な組織運営の参画へとつながっていると感じられる。近年の多様化するニーズへの対応として、どの組織も過渡期を迎えている状況である。教育現場でも教職員の仕事の質が求められ具体的な目標を設定していると思慮している。</p> <p>・子どもたちに対して笑顔と明るいあいさつで接すると同様に保護者・地域に対しても徹底してほしい。地域を巻き込むことにつながる。</p> <p>・訪問時に保護者や児童から「校長先生」と声をかけられている姿を見ることができ信頼されていると感じた。</p>	
教育課程	<p>○南鳩ヶ谷小「令和の日本型学校教育」を構築して、児童も教職員も驚きと喜び、感動にあふれる教育活動に取り組む。</p>	<p>○校内研修を通して、授業改善に向けたPDCAサイクルによる学校力、組織力の向上が図られた。</p> <p>○個に応じた支援の充実。</p> <p>・教科担任制</p> <p>・複数教員での授業</p> <p>・支援員の活用</p> <p>・ゲストティーチャーの活用</p>	B	<p>・誰ひとり取り残さない教育を旨にするが個々の特性を活かし、協働へとつながっていく難しさを感じる。教職員一丸となって子どもたちのために頑張ってもらいたい。ステップ（ほっと）ルームが必要な児童もいるので市はステップ（ほっと）ルームに予算をつけていただけたら安心して学校に通える児童がいると思います。</p> <p>・引き続き学校力の向上が図られる取組みに期待している。</p>	
開かれた学校づくり	<p>○地域や保護者との信頼関係を軸に、「地域とともにある学校」をつくる。</p> <p>□中学校区、鳩ヶ谷地区の学校の連携を進め、児童生徒の健全育成に取り組む。</p>	<p>○保護者や地域の方々との直接接をする機会を大切にできた結果、学校を応援する理解者・協力者が増えている。</p> <p>○PTA活動等、意見交流の場を設け、現状に合った持続可能な組織づくりに着目することができた。</p> <p>□八幡木中学校区小中合同研修にて、幅広い知見、義務教育9年間を見通した体系的な支援につながった。また、八幡木中、中居小の研究委発表会に参加し、本校の校内研修、校内体制に生かした。</p>	A	<p>・昨今のPTA離れの対策を現PTA会長と学校が連携して取り組んだ結果が学校応援団サポートの増加になったので情報共有として発信の継続を期待する。</p> <p>・引き続き教職員の過度な負担とならないよう、学校、地域とともにある学校づくりに期待している。</p> <p>・運営協議会は授業参観や地域安全見守り隊の会議なども重なり、少し時間が足りなかった。</p> <p>・不登校、登校しぶり、いじめに関することは、学校からの連絡がなかった。「開かれた学校づくり」ではないと感じた。</p>	
教職員の資質向上	<p>○教育のプロとしての責任と自覚、情熱をもった教職員を育成する。</p>	<p>○教職員一人ひとりが目的意識を持ち、主体的・対話的な授業改善、学校運営に関わりようとする向上心が高まった。</p> <p>○一人一授業の実施、授業を見合い、フィードバックを行った。</p> <p>○日々の校内巡視や教室訪問を実施することで、教職員が抱える課題を把握することに役立った。</p> <p>○教職員事故防止に向けた倫理確立委員会の積み重ねで事故ゼロであった。</p>	B	<p>・指導者の熱心な教職員の育成の成果を感じた。運動会、こぼれ祭等の様子を見ても先生方は、教育のプロとして情熱をもって生徒を指導していただいている。</p> <p>・他人事にならない「私のMOTTO」プロジェクトは素晴らしい。事故ゼロ研修の継続を願う。教職員のメンタルへの配慮も同時に進めたい。引継ぎ可能な範囲で取り組んでいただければと考える。教職員が疲弊している児童への影響もあるため過度な負担にならないように。</p>	
施設・設備等の管理	<p>○確実な安全点検を実施し、老朽化した施設設備を整備しなから危機管理を徹底、施設設備の事故ゼロにする。</p>	<p>○老朽化が進む施設設備の改修や改善が効果的に図られた。全教室に鍵をかけられるようにした。</p> <p>○書庫や金銭管理の事故防止に向けて、教職員が主体的に取り組むことができた。</p>	A	<p>・予算配分にも影響がある。少ない予算の中で効果的な改修に取り組むんだと感じる。予算確保の等の折衝を行わないから管理いただきたい。</p> <p>・施設老朽化が進んでいるが、校内は清掃、整理されており安心して学校生活ができてくる。古きよきものを大切にすることができたい。</p> <p>・エアコン設置、トイレの改修を進めたい。</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	運 成 度	
		重点目標	重点目標の達成状況		
東中	組織運営	<p>○生徒・保護者・地域との信頼関係を構築し、充実した教育活動を実践する。</p> <p>□教職員が笑顔を決やらず、意欲に満ちた態度で教育活動を実践する。</p>	<p>○学校評価において、生徒・保護者から概ね達成といえる評価をいただいた。</p> <p>□日課の変更を行うとともに、学校教育活動も予定通り実行できた。教職員の時間外在学等時間も縮小できてきた。</p>	<p>B</p> <p>C</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p>
	教育課程	<p>○学校研究テーマを「聞いて実践する力の向上」とし、授業改善を行いながら生徒の学力向上につなげていく。</p> <p>□教育相談体制を軸に、支援が必要な生徒への適切な教育支援を実施する。</p>	<p>○「聞いて実践」を研究テーマとし、学校全体で指導・支援を行った。学校評価も概ね達成できたといえる評価であった。</p> <p>□学習支援についての準備等はできる限り行った。しかし、学習成果の見届けの部分は不十分であった。</p>	<p>B</p> <p>C</p>	<p>・特になし</p> <p>・【意見】居場所づくりが大切。町会でも居場所づくりを考えている。また、協力をお願いしたい。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校からの情報が確実に保護者・地域の方々に伝わるように、各種手段を用いて情報発信を行う。</p> <p>□各学校の現状や課題を共有し、地区でまとまりのある指導を行い、子どもたちを育成していく。</p>	<p>○学校からの情報発信は、様々な方法を用いて、迅速に行えた。</p> <p>□小・中学校の連携は、定期的な会議を行うとともに、合同研修も行うことができた。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・特になし</p> <p>・【意見】地域社会づくりが大切であり、地域も開かれたものにしていく。</p>
	教職員の資質向上	<p>○生徒の職務教育終了後の進路実現に向け、必要な知識等を育成できる授業実践を行う。</p> <p>□教職員事故0を実現し、信頼される教職員集団とする。</p>	<p>○研究テーマによる共有認識をもち、教科の特性を感じる授業の実践が行えた。</p> <p>□規範意識・勤務規律を意識して勤務できた。</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p>
施設・設備等の管理		<p>○学校施設に関する事故0を実現し、安心・安全な学校生活を実現する。</p> <p>□避難場所としての機能が十分発揮できるよう、老朽化による大規模修繕について教育委員会と連携していく。</p>	<p>○毎日の点検、定期的な点検などにより、安心・安全な学校生活を行えている。</p> <p>□老朽化に伴う大規模修繕については、教育委員会と連携できている。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・特になし</p> <p>・【質問】老朽化に伴い、急を要するものはあるか。 →【回答】教育委員会と連携しており、大丈夫である。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域		学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
	年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	連 成 度	
西中	組織運営	<p>○目指す生徒像、目指す生徒像の具現化に向けて、教職員一人ひとりの指導力を育成する。</p> <p>□目指す教師像(生徒たちの憧れとなる教師)の実現に向け、教職員が明るく元気な働き、生徒の手本となる人間性を高める。</p>	<p>○目指す生徒像を各学年ごとに学年主任が明確化した。学年主任を支えるリーダーを育成するという目標に向け、教頭とともに教職員が自分の役割を自覚するように指導した。</p> <p>□教職員が心身ともに健康で過ごせるように管理職が率先して明るく働き、教職員の良さを引き出しなから目指す学校像の具現化を目指した。</p>	B	<p>・リーダーとなる先生方を育成した後のフォローアップの充実とチームワークの構築をこれからも続けよう。</p> <p>・それぞれの先生方の役割について「見える化」できる仕組みがあるよというのではないか。</p> <p>・計画的な人材育成とミドルリーダーの経営参画意識の向上を図る仕組みづくりを期待したい。</p> <p>・過度な負担を抱えることがないようしてほしい。先生方が明るく笑顔でいることで、生徒たちも楽しく笑顔になる。</p>	
	教育課程	<p>○年間授業時数をしっかりと把握し、行事の精選と内容を見直す。</p> <p>□教職員が「協働的な学び」と「個別最適な学び」を理解した授業が展開できるようにする。</p>	<p>○主幹教諭が授業時数を把握し、確実な授業と行事との調整を図った。来年度に向けて、今年度の課題から日課表の見直しを行った。</p> <p>□若手の教員には要請訪問を確実に実施し、全教職員の授業は管理職が参観した。また、本校が会場の市教委主催の研究授業には、教員が参観できるようにした。</p>	A	<p>・AI等の利用も含め、先生方の負担増にならないよう、更に学力向上を維持できる教育課程になることを願う。</p> <p>・学校行事は時代に即した内容に変えていくべき。それには、保護者・地域への説明や理解が必要である。</p> <p>・落ち着いた授業が行われていると感じる。</p> <p>・授業参観で先生方の熱心さを感じた。</p>	
開かれた学校づくり	<p>○これまでの地域との伝承を大切にしながら「地域とともに進めること」を柱とし、目指す学校像やビジョンを明確にすることで地域と一体となって地域学校協働活動を進めていく。</p>	<p>○学校行事には保護者・地域の方がたくさん来校した。その保護者や地域に学校の様子を伝えるすべとして、今年度ホームページをリニューアルし、1週間ごとに発信した。次年度も学校の様子を定期的に発信していく。学校運営協議会は毎学期開催し、適切な意見をいただいた。</p>	B	<p>・ホームページが新しくなり、学校の様子がわかりやすくなった。</p> <p>・地域学校協働活動として、生徒主体のポランティア活動で向かっているか、町会から意見やアンケートを取ってみてはどうか。(地域の異世代との交流、高齢者施設や保育園訪問など)</p> <p>・地域のポランティア活動について、生徒自らが地域に提案できるような企画(防災リーダーなど)を考えてみてはどうか。</p>		
教職員の資質向上	<p>○教職員の学び機会を設定することを中心掛け、積極的に研修に参加させ、教職員一人ひとりに応じた適切な指導を行うことで、指導力の向上を図る。</p> <p>□教育公務員としての意識向上を図り、教職員事故ゼロを目指す。</p>	<p>○学校訪問、管理職による授業観察等を通して、教員の授業改善、指導力の向上を図った。自己研鑽のため、学校外の勉強会に参加する職員もいた。</p> <p>□職員会議、朝の打合せ等を通して教職員事故防止への啓発を行った。教育公務員としての意識向上を図り、小さなことでも報告・連絡・相談をすることを促した。</p>	B	<p>・経費削減で研修に出る機会が減る中で、学校訪問や管理職による授業観察等で補い、指導力向上や改善が行われたのは評価に値する。</p> <p>・研修会への参加など、長期休業中を利用して希望する研修に参加できるよう研修費の確保を市や県にお願いしたい。</p> <p>・先生方の生徒への対応がとても丁寧で非常に好感が持てた。</p> <p>・体育祭では、先生方と生徒との信頼関係、先生方の熱心さ、指導力の高さを感ずることができた。</p>		
	施設・設備等の管理	<p>○学習環境に対する意識の向上を図り、実践的な安全指導の徹底を図る。教職員の危機管理意識の向上とともに、生徒の危機回避能力の向上を図る。</p> <p>□コスト意識を持ち、適正な予算執行と会計管理を行い、会計事故ゼロを継続する。</p>	<p>○職員会議や日頃の出来事等を通して、教職員の学校安全への危機管理意識が高まった。また、避難訓練等の工夫により生徒の安全意識も高まった。</p> <p>□会計処理については、計画的かつ迅速に執行できるように促し、複数の目で確認しながら適切な処理をした。</p>	A	<p>・抜き打ちの避難訓練や防災教室は重要である。引き続き実施を検討してほしい。</p> <p>・先生方の危機管理意識が高まり、生徒の安全意識も高まったのは良かった。</p> <p>・ヒヤリ/リットルの事例の共有を学校全体で行ってほしい。</p> <p>・限られた予算の中で、設備を維持していくには道具を愛する精神を持ち、雑に扱わず、不具合が出たときには早めの対応をお願いしたい。</p> <p>・年々予算が削減されているため優先順位を明確にし、限られた予算の有効活用が必要。</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	学 校 標 準	年 度 評 価	連 成 度	
南中	組織運営	<p>○目的に向かう効果的な手段について吟味し、目指す学校像の具現化に向けてチームとして最大限の成果をあげる組織運営を行う。</p> <p>□課題に応じ、臨機応変に対応できる組織を作る。</p>	<p>○学年主任、各部の主任やミドルリーダーを中心とし、最上位の目的を共有・意識したうえで方策を検討する組織となりつつある。</p> <p>□これまでの教育活動と比べられることなく、最上位の目的に基づく案や方策の提案がなされ、積極的に採用した。</p>	<p>重点目標の達成状況</p>	<p>・時代の変化に応じて、教育の在り方も変革期にある。教師も意識を変えることは大変であるが、大切である。期待が大きい。</p> <p>・相談室やスクールカウンセラーの活用の様子について、生徒がいつでも安心して相談できる仕組みの構築について、不登校生徒の保護者も悩んでいる。今年度、中央地区区合同で「不登校を考える会」を開催したことはよかった。</p>	
	教育課程	<p>○「総合的な学習の時間」及び「特別活動（学級活動）」の工夫・充実を図り、必要な資質・能力の育成につなげる。</p> <p>□生徒の学びの姿から教育課程の効果を検証し、必要に応じて見直しを図る。</p>	<p>○特に「総合的な学習の時間」「特別活動」のうち学校行事については、必要な資質・能力の育成に基づき年間指導計画・学習内容の見直し及び工夫・充実が進んだ。学級活動についても、「学級会」の研修を行い、指導力の向上を図った。</p> <p>□学校行事については、実施後に職員が振り返りを行い、目的と教育的効果を視点に、次年度の工夫・改善に活かすようになっている。部活動の終了時刻については、市の方針に伴い、10月から勤務時間終了時刻と合わせている。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・生徒の興味・関心に応じ、自身でテーマを決めて探究を進めることは、とてもよい学びである。教師の支援が効果的であり、生徒たちが自らアポをとるところから学習を進める姿が見られた。</p> <p>・外国語教育の一層の充実が求められる。小学校から学びを積み重ねている。授業は教師も生徒も全て英語で行ったり、タブレットを活用したりすることで、更に学習内容が充実するのでは。公立中学校においては、様々な学力の生徒が共に学んでいることを念頭に置くことも重要である。</p> <p>・以前に比べると、最近の生徒たちはおどおどしない傾向にある。思春期にある子どもたちがここでストレスを発散しているのが心配である。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○地域連携活動が持続可能なものとなるよう、見直しを行う。</p> <p>□幼少中の連携について、市の研究委嘱を機に、子どもの学びの姿に焦点をあてた研究に取り組む。</p>	<p>○「総合的な学習の時間」の学びに向けて、地域の方々のご協力やご支援をいただく中で、生徒たちが自ら課題解決に向けて地域で学ぶ姿が増えている。</p> <p>□幼小中の教職員が交流し、互いの園・校種における子どもの学びの姿を共有しながら教育活動の工夫・充実を図るとともに、連携教育について、指導者を招聘した研修及び研究発表会を実施することができた。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・学校におけるPTAの必要性について、保護者同士が学び合う場（講演会など）をPTA活動に位置付けることは役割なのではないか。</p> <p>・地域が学校に協力する風土があるので、総合的な学習の時間においても生徒が地域の中で学ぶことができている。</p> <p>・舟戸学園として、幼・小・中のロケーションを活かした教育活動を今後も展開してほしい。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○校内研修を更に充実させ、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>□倫理確立委員会を更に充実させる。</p>	<p>○市の委嘱を機に、全教科において「多様性」「主体的」「主体的」を視点に、研究を深めることができた。校内研修においても、指導者を招聘した特別支援教育や道徳教育、学級活動と生徒指導の関連を図った研修を行い、指導力向上が図られた。</p> <p>□教頭のリーダーシップのもと、自分事と捉えられる研修を工夫し、取り組みむことができた。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・時代の変化に応じて、教育の在り方も変革期にある。教師も意識を変えることは大変であるが、大切である。期待が大きい。</p> <p>・これまでの授業（教師が教えることが中心）から、生徒が学ぶことが中心の授業に移行する中で、何が正しいかは分からない。</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○生徒が主体的に緑化・環境美化・環境整備に取り組みめるよう工夫し、潤いのある学校を実現させる。</p> <p>□安全に教育活動を実施することを第一に、施設・設備を定期的・日常的に点検し、管理する。</p>	<p>○委員会活動を中心とし、清掃活動の充実に向けた呼びかけや緑化活動が行われた。誌書の啓発に向けた展示スペースの工夫・充実が進んだ。</p> <p>□安全・安心な教育活動に向けて、定期的・臨時的な安全点検を実施するとともに、予算と優先順位を考慮しながら環境整備を進めた。</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・図書スペースが充実している。新聞を掲示していることもよい。</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
北中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○学校が楽しいところが増えなければならないの考えから、学校が楽しいと実感できる生徒の割合を90%以上にする組織機能をさらに向上させる。</p> <p>□「誰一人取り残さない」教育活動を実現する組織機能をさらに向上させる。</p> <p>◇不登校生徒の出現率を3%未満にするとともに、不登校生徒及び休みがちな生徒への支援率を100%にする組織機能をさらに向上させる。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○第4回学校を明るくするアンケートにおいて、学校が楽しくないと回答した生徒が27名、4.7%であったことから、95.3%の生徒は学校生活を肯定的に捉えている。</p> <p>□1学期に三者面談、2・3学期は三者面談と教育相談週間を設定し、保護者や生徒から直接話を聞き、早期発見、早期対応を行った。また、学校を明るくするアンケートを実施し、生徒の声を聞き対応した。</p> <p>◇不登校生徒数(欠席30日以上)は50名を超え8.8%となった。ただし、生徒指導委員会や教育相談部会において該当の生徒については常に話し合わせ、すべての生徒について支援を行った。</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・学校生活が楽しくなるよう、行事、授業等改善していったほしい。</p> <p>・特になし</p> <p>・生徒によっていろいろな事情があるとは思いますが、ぜひ、一度しかない中学校学校生活を楽しく終わらせるようお願いしたい。</p>
	教育課程	<p>○「学びの共同体」の実践をさらに北中のものとして進化させるための研修を継続し、さらに発展させる。</p> <p>□探究と協同の学びから生徒一人ひとりの学びが定着できたか、効果の検証を行う。</p> <p>◇北中校区における小・中学校で学力向上や生徒指導、教育相談等において校区内の実態に応じた連携を行う。</p>	<p>○予定した通り、公開研究会を実施した。市内外、県外からも視察に来ていただき、研究協議を深めることができた。</p> <p>□全国・学力学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査からも生徒の学びの定着を検証した。</p> <p>◇8月のマースクール期間に、北中、木曾呂小、根岸小、神根小の管理職、教員が参集し、教科指導などの情報交換を行った。</p>	<p>・北中を大きく改善のきっかけとなった「学びの共同体」をこれからも研究して進化させてほしい。</p> <p>・特になし</p> <p>・小・中連携は大切だと思う。継続してほしい。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	<p>○本校の教育方針や教育活動の様子などを随時公開し、学校に対する理解を深め、信頼関係を構築する。</p> <p>□保護者や地域の意見を反映させ、学校経営、学校運営に繋げる。</p> <p>◇持続可能な学校とP.T.A.の在り方について再構築する。</p>	<p>○予定されていた保護者会や授業参観、行事等の学校公開を終えることができた。学校だよりや学年通信、通知などはスクリーンをフルに活用して家庭へ周知した。学校ブログに「今日の北中」を立ち上げ、毎日更新した。</p> <p>□各組織との定期的な会議を実施して学校経営に対してご理解をいただき、意見交換を行うことができた。保護者に対しては令和7年度の学校評価を実施し、評価や意見をいただいた。</p>	<p>・時代の流れなのかもしれないが、今後の経過を見守りたい。</p> <p>・今後も継続した研究を進めてほしい。</p>
	教職員の資質向上	<p>□教育公務員としての使命を自覚し、教育のプロとしての誇りを持って日々の教育活動に取り組ませ、教職員の資質の向上を実現する。 (教職員事故ゼロ)</p> <p>◇業務改善スタンダードを徹底することにより、教職員一人ひとりのワーカライバランスを実現する。</p>	<p>○P.T.A.の組織が休会の方向となったため、十分な意見交換はできなかった。</p> <p>○「学びの共同体」という共通の実践を通して、各教員が自己の授業を公開し、参観した教員と協議をすることにより授業改善を積極的に行い、教員としての資質を向上させることができた。</p> <p>□毎月の職員会議に合わせて、倫理確立委員会による教職員事故防止の研修を行った。その成果により、教職員事故をゼロとした。</p> <p>◇毎月実施する各教員の在籍時間調査結果を把握し、その都度、指導・助言を行った。</p>	<p>・教職員事故は決してあってはならないもの。今後も研修を継続してほしい。</p> <p>・生徒たちのためにも、先生方には健康であってほしい。</p>
施設・設備等の管理	施設・設備等の管理	<p>○誰もが安心して、安全に過ごすことができる環境を維持する。</p> <p>□学校施設事故をゼロとする。</p> <p>◇限のある学校施設を有効活用できるようにする。</p>	<p>○教室内の環境整備は各学級担任により適切に整備された。</p> <p>□毎日の管理職による点検や毎月行う教員の視点による安全点検を行い学校施設事故をゼロとした。</p> <p>◇学校予算を有効に活用して、修繕を随時行い教育環境を整えた。</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p> <p>・生徒たちのために、予算をしっかりとつり合わせて環境を整えてほしい。</p>
	達成度	A	A	A

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	達成度	
青木中	組織運営	<p>○帰属意識を高めた相互協働体制を推進する。</p> <p>□共通理解、共通行動がとれた積極的な生徒指導・教育相談を実施するため、組織を活性化させる。</p>	<p>○報告・連絡・相談については、昨年度からの課題であったため、教職員一人ひとりの意識は向上していたが、徹底までには至らなかった。</p> <p>□学年ごとにまとまることや多く、学年の枠を超えて共通理解や共通行動が取れなかった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模も大きくなっていてるので、当然教職員の数も多く、全体で共通理解を図ることは難しい状況もあると思いますが一枚岩として協働できるように頑張ってください。 ・学年間での情報交換を積極的に進めるようにしてください。
	教育課程	<p>○基礎的・基本的な力を身に付けさせるために、指導法の研究を進める。</p> <p>□課題を明確にし、個に応じた学習支援を行う。</p>	<p>○若手教員を中心に校外の研究授業に参加したり、研修を受けるなど自己の授業改善に取り組んだ。また、同じ教科内で授業参観を行い授業改善の一助とすることができた。</p> <p>□担当教科や担当教員による違いはあったが、多くの教員がタブレットを学習ツールとして活用し、効果的に活用することができた。</p>	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの授業を参観することはとても良いことだと思います。 ・タブレットを授業の中で積極的に活用し、学力向上につなげてください。
	開かれた学校づくり	<p>○教育活動の実践を具体的にわかりやすく情報発信する。</p>	<p>○地域のお祭りには教職員見回りを兼ね参加することができた。また、PTAの環境整備の活動には、少数であるが教員が参加することができた。</p> <p>□学校公開日を限定し、保護者の参観しやすい環境を整えた。</p> <p>◇学校ホームページの更新は定期的に更新をしていたが、内容に工夫が見られなかった。</p>	B B B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わる機会は依然と比べかなり減少している中で、できる範囲で交流できることを願っています。 ・学校公開日に参加する人が少ないのは残念です。 ・ホームページは更新頻度によって閲覧数は大幅に変わるので、大変だと思えますが更新頻度を増やすことが大切だと思います。
	教職員の資質向上	<p>○授業の質を高める研修・研究をとおして、互いに教師力を高めあう。</p> <p>□計画的、実践的な若手教員の指導育成を図る。</p>	<p>○若手教員を中心に指導者を招いた研究授業を実施することができた。また、今年度は教育委員会指導課の訪問があったため全職員が研究授業を実施した。</p> <p>□経験の浅い若手教員に対しては、授業参観後にその都度指導することができた。</p>	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業を実施することで先生方の学力向上に対する意識も増してくると思うので、今後も積極的に取り組んでください。 ・若い先生方には丁寧な指導を今後もよろしく願います。
施設・設備等の管理		<p>○安全・安心して教育活動が展開できる、心のある、あたたかい教育環境を実現する。</p>	<p>○今年度はエアコンの故障が頻出し、1学期の暑い時期の対応に苦慮したが、市教委への粘り強いアプローチにより、次年度の改修予定を得ることができた。</p> <p>□日頃から古くなった掲示物の張り替えに努めた。</p>	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のエアコン問題については、心配をしてきましたが、来年度に向けて見直しを立てたことに安心しました。 ・常に新しいものに張り替えることにより、子どもたちの心を育てることに力になるので引き続きよろしく願います。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校 (幼稚園)		自己評価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年度目標	重点目標	年度評価	重点目標の達成状況	
		達成度	達成度	達成度	達成度	
芝中	組織運営	○不登校生徒数の割合5%以内	○不登校生徒数の割合3.8%(1月末)。昨年度6.8%(複数の教員が支援してきた成果)。「ほっとルーム」は令和8年4月に開設できる見通し。	A	○不登校生徒数の割合3.8%(1月末)。昨年度6.8%(複数の教員が支援してきた成果)。「ほっとルーム」は令和8年4月に開設できる見通し。	・成果について非常に良かったが、不登校はゼロが理想。取り組みを継続してほしい。ほっとルームの実現も期待している。 ・小学校で不登校が増えるにつれて、中学校も増えるのは予想できる。現在の小学校との連携は意味がある。 ・不登校は相当減少しているが、残りの3.8%の不登校生徒の解消が難しい理由は、 →小学校からほぼ全次の生徒がおり、接点をもつ機会が少ない。
	教育課程	○授業スタイルの確立 「魅力ある学習課題→個別最適な学び→協働的な学び→個別最適な学び→学習課題に正対したまとめ→自分の学習の成果と課題を自覚する振り返り」	○端末の有効活用に関する研修会や授業研究会を実施。1月30日の指導課学校訪問にて、全教員が「芝中授業スタイル」を踏まえた授業を実施。	A	○端末の有効活用に関する研修会や授業研究会を実施。1月30日の指導課学校訪問にて、全教員が「芝中授業スタイル」を踏まえた授業を実施。	・環境が整っていれば学力は伸びてくる。端末をどう使うか、気つきを与える授業が大切。 ・芝中スタイルは強み。継続してほしい。 ・以前、端末の活用について、教員間で差があったと聞いたが、研修は行っている。 →毎年計画的に、研修を行っている。
	開かれた学校づくり	○小中連携事業の推進	1 地域学校保健委員会の実施 (1月) 2 小中合同引渡し訓練の実施 (6月) 3 【新規】芝中学校区小中合同研修会の実施 (8月) 4 【新規】特別支援学級交流会の実施 (11月) 5 【新規】不登校児童生徒の保護者対象芝地区小中合同講演会の実施 (9月、1月)	A	・不登校対策をはじめ、いろいろな成果が期待できる、非常に素晴らしい事業。芝中が先頭に立って、継続してほしい。	
	教職員の資質向上	○働きやすい職場づくりの推進	○業務改善スタンダードが機能し、在校時間が減少、教職員の平均年休取得13日 (1月7日)	A	・若い人の教員離れ、離職の問題として、進めなければならぬ。限られた時間の中でも、生徒との関係は密であってほしい。	
施設・設備等の管理	○施設管理事故0の実現	○施設管理事故ゼロを達成。予想もつかない施設設備の不具合が次々と湧き上がる中でも、迅速に対応。	A	・お金がかかると難しいところだが、校もトイレもきれいになった。校の若木の生長が楽しみ。 ・早期に見つけ、早期に直す。学校は防災の拠点でもあるので、万が一に備える必要がある。計画的な修繕を。		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
元郷中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○教職員個々の強みを生かし、フットワークとネットワークのよい組織をつくる。</p> <p>□事項時間月80時間超ゼロ。年360時間超ー10%。</p> <p>◇学年からポトムアップする参画意識と物理的な教員支援。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○職員個々の相互理解が深まり、スムーズな職員室運営機能は向上した。</p> <p>□月80時間超の職員は、のべ6人。全体的に昨年度より減少しているものの年360時間超のー10%達成は難しい。</p> <p>◇担当予算等を活用し、DX推進機器等を随時導入した。</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・職員室の剂々しさはなくなつた。お互いに支え合えるよう職員との関係性が子どもにも良い影響を与えるので引き続き頑張りたい。</p> <p>・特になし</p>
	教育課程	<p>○生徒に身に付けさせたい力を育成する学習活動の工夫と推進</p> <p>□主体的な学びにつながる学習の工夫</p> <p>◇対話的な学びを促す学習の工夫</p>	<p>○全体的に計画が後ろ倒しとなり、綿密な改善や効果検証は継続が必要とおつた。</p> <p>○学習アプリを導入し、自学習の促進・課題の配信と教員の負担減の双方を目指し取り組んだ。</p> <p>◇教科の特性に合わせ改善。</p>	<p>・小学校で教科担任制を取り入れているが、中学校の方が専門的である。小学校での取り組みは中学校としてはどう見ているか。</p> <p>・特になし</p> <p>・特になし</p>
	開かれた学校づくり	<p>○積極的な情報発信</p> <p>□中学校区における、幼少中の連携活動の推進</p> <p>◇地域の資源を効果的に活用した幅広い教育活動の推進</p>	<p>◇HPP内を整理し、定期的な情報発信に努めるとともにDX化を進め紙の削減をした。</p> <p>□行事や諸活動を絡めた交流や連携を積極的に行つた。</p> <p>◇公的機関を含め、本校に必要な講演や体験学習を推進した。</p>	<p>・町会長向けに、授業参観日に合わせて見学会などをやってみてはどうか。</p> <p>・特になし</p> <p>・学校運営協議委員会を使って、眠っている地域人材を掘り起こし、教育活動につなげてほしい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○教職員のキャリア、ワークライフバランスに配慮した資質・能力の向上</p> <p>□GIGAスクール構想の推進による指導力の向上</p> <p>◇タイムパフォーマンスを意識し、優先順位を吟味して処理する技術を身に付ける</p>	<p>○各分掌での取り組みから、報告・連絡・相談のうえ任せて見届けることまでを一連し、教員個々の資質向上につなげた。</p> <p>□特にGIGA端末を効果的に授業で使つたことを念頭に、授業改善を指導し、推進した。</p> <p>◇組織全体を回すことを最優先に、見通しをもった業務遂行を推進した。</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p> <p>・特になし</p>
施設・設備等の管理	<p>○学校における施設・設備事故ゼロの実現</p> <p>□教育活動を止めない長期的な修繕計画の作成</p>	<p>○点検により修繕個所の早期発見ができたが、老朽化の方が早く対処に苦労した。</p> <p>□屋上防水、体育館壁、南校舎床、職員玄関前スロープ等順調に施工できた。</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p>	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	達成度
		年 度 目 標	年 度 評 価		
上青木中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○全教職員が学校教育目標に向けて自覚と責任をもって主体的に教育活動を進める組織づくりを行う。</p> <p>□学校外部機関などと連携、協力し、個に応じた対応を丁寧に行うことで、不登校生徒への支援を行う。(支援率100%)</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○新たに設定した目指す学校像の達成を目指し、個々の校務分掌組織が主体的に提案し、実践することができた。また、来年度に向けて、今年度の成果と課題を振り返り、対策を考えたことができた。</p> <p>□教育相談委員会を中心に、事態に合わせた支援を行うことで、学校・本人・家庭とつながりをもてるようにした。相談室が不登校傾向の生徒の居場所となることができた。子育て相談課・主任児童委員・警察とも連携できた。</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・これから目指す学校像の達成に向け、教職員が一丸となって学校教育の推進に取り組んではいる。</p> <p>・ほととリズム (校内支援センター) を必ず再開するとともに、自分の学校だけでなく、中学校の児童生徒が登校できるような支援センターを目指してほしい。また、ICTを活用した不登校対策についても考えてほしい。</p>	B
	教育課程	<p>○「考える力」を育成し、自分の考えを進んで表現できる生徒を育成する学習スタイルを築く。</p> <p>○ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、生徒全員が参加し、理解を深めることができる教育活動を徹底する。</p>	<p>○相互授業参観を実施することで、「毎授業の見直しと振り返り」「ペア学習・グループ学習の充実」「協働する場を増やすことの人間関係づくり」の3点を意識した学習スタイルが確立しつつある。</p> <p>○年度初めにユニバーサルデザインの考えについての研修を実施し、特別支援教育の視点も踏まえながら実践することで、生徒全員が参加し、理解を深める教育活動を展開できた。指導課訪問でも評価を受けた。</p>	<p>・どのような取り組みを実施して、「考える力」を育む生徒を育成しているのか、授業公開や学校公開等の公開を通して、具体的な生徒の姿が見えるようにしてほしい。</p> <p>・これから時代は、「コミュニケーション能力」の育成が不可欠である。「ペア学習・グループ学習の充実」をさらに発展させ、将来に渡って役立つ力を育成してほしい。</p>	B
	開かれた学校づくり	<p>○家庭との連携の在り方について学校と家庭が互いに理解を深め、協力し合う組織環境づくりを行う。</p> <p>□学校・家庭・地域が連携、協働する「チーム上青木」としての教育を充実させる。</p> <p>◇家庭・地域と連携し、学校が援団を充実させる。</p>	<p>OPTA執行部や行事サポーター、卒業準備委員との連携を深めて、共に学校行事を創り上げることができた。保護者参加型の授業参観も実施することで、学校と保護者の協力を深めることができた。</p> <p>□後援会や地域の方々から地域人材を紹介していたが、学校が援団を新設し直すことができた。しかし、一人ひとりの教職員と地域の繋がりについては深まることできなかった。</p> <p>◇外国語ボランティアと図書整理ボランティア、植木等の環境整備ボランティアの活動を実施することができた。図書整理ボランティアにより、古い倉庫を学習室として展開できるようになった。</p>	<p>・行事サポーター等の活動は、上青木中学校としての組織として確立しつつある。PTA活動が縮小する中でも続けられてほしい。</p> <p>・小学校、中学校9年間を見据えて教育活動を行ってほしい。具体的には、中学校区内の学校で算数、数学の連携を実施するなど、小中連携を深めてほしい。</p> <p>・地域学校協働活動については、PTA、後援会、学校が援団が別に活動するのではなく、それぞれが連携して活動できるように組織の見直しをしてほしい。</p>	B
	教職員の資質向上	<p>○教員一人ひとりの指導力を向上を実現する。</p> <p>□上青木中学校の教職員であることへの自覚と誇りをもたせる。</p> <p>◇教職員の心身の健康維持・増進のため、ワークライフバランスの理念を浸透させ、業務改善を図る。</p>	<p>○指導課指導主事と連携し、若手教職員の授業力向上を図るため、要請訪問を実施した。さらに、相互授業参観とすることで、全体の指導力向上につなげることができた。若手研修を実施できたが、次年度は更に機会を増やしたい。</p> <p>□埼玉県だけでなく、他県の事例も交えて研修することで、事故を起こしてしまつた場合の厳しい状況について考えることができた。また、事故につながるような教職員のちよとした行為については適宜、個別に指導を行った。</p> <p>◇連絡アプリ(スクリレ)の導入や採点ソフトの導入により、校務の電子化を推進し、長時間勤務の解消に一部つなげた。様々に変化する教育情勢への対応のため、新しい業務も生まれ、抜本的な改善とはならなかった。</p>	<p>・上青木中学校生徒の学力向上が図れるように、教職員の資質向上、学習スタイルの構築を図ってほしい。</p> <p>・事故関係については、教職員はもちろん、生徒も含めて自転車乗りの心が心配である。継続的に指導を行い、法を守った適切な行動ができるようにしてほしい。</p> <p>・生徒が早く下校できるように日課表を見直したことは大変よいことである。生徒が早く下校できるように工夫し、教職員も早い時間に退勤できるように、業務の改善を図ってほしい。</p>	B
	施設・設備等の管理	<p>○計画的な修繕により、安心安全な学習環境を整える。</p> <p>□適切な予算の執行と会計処理、正確な文書管理を徹底する。</p>	<p>○教育委員会教育総務課と連携を図り、長年課題であった不具合箇所について修繕することができた。教職員の安全に関する意識も高まり、不具合が抑えられるように報告することができた。</p> <p>□事務職員と連携し、会計・文書の管理や処理を効率的かつ適正に作業を行うことができた。また、令和9年度に向けて、新入生が購入する学用品の見直しを行うことができた。</p>	<p>・朝会や後援会、PTA執行部や地域の方々十十分に打ち合わせをした上で、来年度の学校が援団の活動を行い、適切な校内整備活動を行ってほしい。</p> <p>・小学校では、教材費の集金を電子化している学校もある。他校のシステムを調査しながら、適切な会計処理ができるようにしてほしい。</p>	B
					A

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
幸並中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○「チーム幸並」として校内組織力を強化し、全教職員が学校教育目標の具現化に取り組む教育活動を展開する。</p> <p>□若手教員やミドルリーダーの指導力を向上させる。</p> <p>◇不登校生徒への支援率（専門機関との連携、週1の連絡、月1の面談等々）100%、いじめ解消率100%を達成する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○人事評価面談は当初面談と最終面談の2回実施している。全体の会議は月1回の職員会議のみだが、学年ごとに毎朝打ち合わせを行い、学年内で連携し、日々の教育活動を進めている。</p> <p>□今春も主任レベルの異動が複数あったが、昨年来からの引継ぎが円滑にできた。分掌や学年においてそれぞれが責務を果たすことができた。</p> <p>◇100日以上の不登校生徒数が、昨年29名から10月末現在15名、また、30日以上欠席の不登校生徒は昨年9%が、現在約5.1%、43名→26名。</p> <p>・担任副担任相談室SRとの連携、</p> <p>・外部機関との連携、週1の連絡等。</p>	<p>学校関係者評価（抜粋）</p> <p>・チーム幸並の取り組みが責任感を育むとても良い取り組みだと感じました。</p> <p>・私学は土曜授業を行ったけれど余裕がある。ゆとりがないことは生徒も教員も可哀そう。先生が教師をやっているよかったですと思えるようにしてほしい。</p> <p>・不登校率が減少しています。素晴らしい、支援による対応、今後も宜しく願います。外国籍生徒の課題はないのか？</p>	<p>達成度</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>
	教育課程	<p>○「期待の登校 満足の下校」の実感をもてる学校の実現ができる教育課程を検討する。</p> <p>□日本語指導の充実。</p> <p>◇一時間一時間の授業を大切に、より充実させる。</p>	<p>○12月から16時50分完全下校の試行ができた。部活動の活動時間の減少が不可避。</p> <p>○合唱コン10月6日 体育祭11月1日 気温的には良かったが、2学年は水上自然教室もあり、多忙であった。</p> <p>・現在、定数2、(3名の教員)と支援員1名で日本語指導。</p> <p>・日本語指導を必要とする生徒の生徒指導についてその対応に苦慮している。</p> <p>◇サマースクールは学年ごとに活用し、授業数の確保に繋がった。学校のホームページで各授業の様子を紹介中。</p> <p>◇生徒の生活振返りアンケートでは、ほぼ全ての授業で「意欲的に参加した」「内容が分かった」の肯定的評価が9割超であった。</p> <p>○学年部・専門部を廃止して3年目。ボランティアもだいぶ安定してきたがまだ模索しているところである。</p> <p>○学期末に三役会を開き、意見交流し、各行事に備えた。体育祭、合唱コン、制服販売、トイレボランティア掃除大会、料理教室、奉仕活動等々実施した。</p> <p>○生徒の町会行事への参加は今年も実施できた。</p> <p>□町会長会議、民生委員会議、主任児童委員の校内会議への参加等、地域と連携することができた。</p> <p>◇合同引き取り訓練、不登校を考える保護者会、教職員校内授業研修(小学校は有志参加)を合同で実施することができた。</p>	<p>・教育課程の課題はそれぞれの教員がもつ、「チーム幸並」でがんばってもらいたい。</p> <p>・外国籍生徒のウエイトが高まる中、少人数での対応、ありがとうございます。多くの外国人生徒がおり、大変だと思うが、親への指導もあると良い。</p> <p>・時間内に教育課程を遂行するには何が必要か、今一度DXを含め検討してほしい。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>
開かれた学校づくり	教職員の資質向上	<p>○PTA役員と協働し、保護者と教職員の連携を深める。</p> <p>□地域との連携を深める。</p> <p>◇学区小学校との連携を深める。</p>	<p>○学年部・専門部を廃止して3年目。ボランティアもだいぶ安定してきたがまだ模索しているところである。</p> <p>○学期末に三役会を開き、意見交流し、各行事に備えた。体育祭、合唱コン、制服販売、トイレボランティア掃除大会、料理教室、奉仕活動等々実施した。</p> <p>○生徒の町会行事への参加は今年も実施できた。</p> <p>□町会長会議、民生委員会議、主任児童委員の校内会議への参加等、地域と連携することができた。</p> <p>◇合同引き取り訓練、不登校を考える保護者会、教職員校内授業研修(小学校は有志参加)を合同で実施することができた。</p>	<p>・PTA活動が減少する中、代替活動等が順調に育っていると感じます。</p> <p>・ラジオ体操等、生徒に参加いただき助かりました。ありがとうございました。近隣町会の行事や公園清掃等のボランティアに参加するとより強い結びつきになるのかなと思います。</p> <p>・連携良く出来ている。引き続き地域を含めいろいろな活動を願いたい。平日が多いことが難点。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>
	教職員の質向上	<p>○生徒の学力・体力向上を目指し、一人ひとりの教職員の授業力・指導力を高める。</p> <p>□勤務時間外在校時間、月45時間以内100%の達成。</p> <p>◇教職員事故0の達成。</p>	<p>○校内研修は道徳・ライフスキル・模擬授業研修・評価研修等、外部講師を招聘し充実することができた。</p> <p>○相互授業参観の実施が難しく、課題である。</p> <p>□時間外在校時間80時間以上は激減したが、45時間以内100%は達成できなかった。</p> <p>◇時事ニュースの周知等の注意喚起を通して、事故の意識を高くもっている職員は多い。引き続き、事故0を目指して、対応できることを検討していく。</p> <p>○教室報と管理棟を結ぶ工事を実施した。</p> <p>○定期的な安全点検を行い、施設事故0を継続できた。</p> <p>□事務職員を中心に、学年会計担当が連携し、複数チャックで事故なく会計事務を進めている。</p> <p>◇危機管理マニュアルの見直しはできなかった。</p> <p>◇小学校と連携しての引き取り訓練や川口警察の指導を受けながらの不審者対応訓練は実施できた。</p>	<p>・不登校生徒の進路指導等々、顔を突き合わせて意思疎通しおがら指導することが大切。時間がないで済ませることがないようしてほしい。相互授業見学会や研修会の開催が良い向上心を持てるのかなと思います。</p> <p>・時間外を減らすのは何か必要か検討すべき。本来やるべきことを減らすのはおかしい。</p> <p>・専門外副業者による校内盗撮点検の必要性は今感じませんが、予算が許すならば検討事項。定期的にできれば、保護者の安心につながる。</p> <p>・定期的な点検により、ゼロが保たれています。今後よろしく願います。あとは管理棟の改修が建て替えを願いたい。</p> <p>・校内の安全面で、スクールサポーターの存在はとて心強い。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>
施設・設備等の管理	<p>○非常時の対応について見直しを検討する。</p>	<p>○非常時の対応について見直しを検討する。</p>	<p>・災害はいつ来るかわかりません。早めの対応、地域防災組織との連携強化をお願いします。大人が市外で仕事をしている場合、中学生が大ききお力になる。</p>	<p>B</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
		重点目標	重点目標の達成状況	
十二月田 中	組織運営	<p>○若手教職員の育成</p> <p><input type="checkbox"/>不登校生徒支援</p> <p>◇働き方改革の推進</p>	<p>○先着教職員の指導を仰ぎながら、行事・分掌を中心と成り取り組み姿勢が概ね見られた。</p> <p><input type="checkbox"/>「不登校を考える保護者の会」を開催したり、本校のS・C・相談員を含めた教育相談部会中心に常に情報交換・情報共有しながら支援はしてきたが、成果をあげることが難しかった。</p> <p>◇日課表（生徒の最終下校時間）の変更・日曜の校外学習を勤務時間内実施をして、一定の成果はあったものの、8月を除いた毎月、在校時間外80時間超が2人いた（昨年度4人）。</p> <p>○年度当初4月に指導者を招聘して、ICT校内研修を実施したことで必要に応じてGIGAスクール端末を用いた授業力向上に取り組み教員が増えた。また、教育委員会の学校訪問で、全教職員が授業公開し指導いただいた。</p> <p><input type="checkbox"/>主幹教諭が理科を数学教員が算数を校区内小学校に出向きT2で行き実態を把握することはできた。</p>	<p>・若手教職員の教員としての意欲を損なわないためにも通材通所を見極めた配置を行うてほしいです。</p> <p>・地域とのつながりを若手先生方に積極的に望む。</p> <p>・不登校生徒支援は、継続することにより成果をあげることができると思います。</p> <p>・不登校は、小学校からの延長である場合も多く、民生委員としての家庭へのサポートの難しさを実感している。</p> <p>・難しい問題だと思います。引き続き、情報交換情報共有しながら支援を願っています。</p> <p>・教職員の健康管理が大切で、一人ひとりがワークライフバランスを心がけ業務負担軽減を図る必要がある。</p> <p>・どの職場においても無理のない仕事量がベストであるが、対応に欠けないことを望む。</p>
	教育課程	<p>○よい授業・よい学びの実践による教育活動の展開（相互授業参観・ICT有効活用）</p> <p><input type="checkbox"/>小中連携を活かした学力向上</p>	<p>○年度当初4月に指導者を招聘して、ICT校内研修を実施したことで必要に応じてGIGAスクール端末を用いた授業力向上に取り組み教員が増えた。また、教育委員会の学校訪問で、全教職員が授業公開し指導いただいた。</p> <p><input type="checkbox"/>主幹教諭が理科を数学教員が算数を校区内小学校に出向きT2で行き実態を把握することはできた。</p>	<p>・ICT校内研修を行った成果が表れていると思います。</p> <p>・生徒たちの成長に小中連携はとても良いことで感謝します。</p> <p>・近隣の小中学校との交流は素晴らしいと思います。今後も積極的に行ってほしいです。</p>
開かれた学校 づくり	<p>○地域に開かれ信頼される学校づくりに向けた取り組みの拡充</p> <p><input type="checkbox"/>保護者・地域への積極的な情報発信</p> <p>◇校区内小学校の教員・児童との交流及び連携の充実</p>	<p>○PTA総務会・学校運営協議会（各学期）、民生委員会議（4回）、地域施設会議（1回）、町会とは夏秋祭り等で連携した。</p> <p><input type="checkbox"/>学校公開（各学期）、学校より（毎月）、ホームページ（随時）を発信した。</p> <p>◇校区内小学校での相互授業参観、校区内小学校教職員同士で交流研修（夏季休業中）ができた。</p>	<p>・地域あつての学校であり、地域との連携は重要で、将来の地域活動に繋がるものと思います。</p> <p>・今後も地域連携を図るため様々な会議を行うてほしい。</p> <p>・地域やPTAなどの交流もとても良いと思います。</p> <p>・昨今、PTAとの関係性に苦勞されている風潮が他校で見受けられるが、お互いの意思確認を大切に運営されることを望む。</p> <p>・学校をよく知る上で、魅力ある情報発信の継続が必要。</p> <p>・運動会、合唱祭、授業等に参観し学校や生徒の様子を知ることができた。</p> <p>・校区内小学校の連携により、単一校では学べない教育を行えると思います。</p> <p>・合唱コンクールを鑑賞させていただき、とても素敵でした。上級生の頼もしさを感じました。</p>	
教職員の資 質向上	<p>○勤務規律の確立</p> <p><input type="checkbox"/>キャリアに応じた資質向上</p>	<p>○職員会議、校内研修、日報で機会あることに実施できた。教職員事故ゼロ。</p> <p><input type="checkbox"/>新任5年目までの教職員には、市教委指導主事を招聘して指導を仰ぐことができた。</p>	<p>・率先したキャリアアップができるよう門戸をあけていただくことは大切なことだと思う。</p> <p>・教職員の事故ゼロによる勤務規律の保持は大いに評価できます。</p> <p>・経験年数の少ない教員に限らず、積極的な研修会等への参加をお願いします。</p> <p>・忙しい先生方には本当に頭が下がります。</p>	
施設・設備等 の管理	<p>○計画的・組織的な安全点検実施（定期・日常・臨時）</p> <p><input type="checkbox"/>計画的な施設改善の取り組みと迅速な修繕対応</p>	<p>○定期的な安全点検や校内巡視で、日常の教育活動の安全が保たれた。体育館の天井・電気工事は予定より早く工事を完了。</p> <p><input type="checkbox"/>教師先生を中心に、スピード感をもって対応し、場合によっては市教委へ要望して対応することができた。</p>	<p>・生徒のケガ抑制のための通時の対応に感謝する。</p> <p>・不具合が生じている場所への改築修繕は継続していただき安全な学校生活が送れるように希望します。</p> <p>・定期的な安全点検や校内巡視は良いことで修繕改修等の早期発見に繋がる。</p> <p>・生徒が安心安全に学校生活を送れるように、施設設備等の管理は重要であり、学校の素早い対応には感謝します。</p> <p>・体育館の天井と照明がとも明るくきれいでうれしい驚きです。</p>	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学 校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	達成度	
		重点目標	重点目標の達成状況		
仲町中	組織運営	<p>○「学力向上、多文化共生、不登校生徒学習支援」という学校課題を全教職員で確実に共有し、組織的に目指す学校像実現による課題を解決する。</p> <p>□不登校生徒・保護者の気持ちを支え、個に応じた支援率100%を実現する。</p> <p>◇不登校生徒・保護者の居場所づくりを拡充し、学習支援、進路支援を実施する。</p> <p>◇不登校生徒・保護者の居場所づくりを拡充し、学習支援、進路支援を実施する。</p>	<p>○教職員のキャリア段階と特性、自分らさ、自身の良さに気付き、自信をもって対応できる指導を個々に行なった。【学校評価 学校組織運営 よい、大変よい94%】</p> <p>□全生徒生徒対象実施。3年は複数回実施。不登校生徒の個々の対応や学習支援の様子を確認、適宜指示し、よい支援の在り方を検討する材料となったが、全てのケースに応じられなかったとすると課題が残る。</p> <p>◇ほっとルームは週2の開設を試行し、継続的開設に向け、課題を整理した。保護者対象の座談会は年間を通じて2か月おきに実施、定着した。</p> <p>【座談会参加者アンケート 満足率94%】</p> <p>○若い教職員を中心に定期的に授業観察実施。要請訪問も活用し、課題を共有し改善にあたった。道徳では学年ローテーションを担当が割り振り、情報共有と指導力向上へ繋がった。</p> <p>□校内検討委員会を開き、今後の在り方について検討(8月)3年をわけて精査し2部活減とした。</p>	B	<p>・学力向上においては、外国籍生徒の学習が課題であることがよくわかった。進路指導を含め引き続き家庭への協力、少人数や特別な学級編成等、日本人の生徒へもメリットがあるような対応ができるよう、現状を更に教委へ要望していく必要がある。</p> <p>・不登校支援、外国籍の日本語支援のみならず、この地域ならではの特別な課題や事情がある。今後マンパワーを生かし取り組んで欲しい。</p>
	教育課程	<p>○本校の実態を踏まえた、学力の定着と学力向上を達成するために、教職員の授業力を向上させる。</p> <p>□部活動について、県や川口市の方針を鑑み、働き方改革の視点や本校の実態に合った課題解決に向けた取り組みを行う。</p>	<p>○若し教職員を中心に定期的に授業観察実施。要請訪問も活用し、課題を共有し改善にあたった。道徳では学年ローテーションを担当が割り振り、情報共有と指導力向上へ繋がった。</p> <p>□校内検討委員会を開き、今後の在り方について検討(8月)3年をわけて精査し2部活減とした。</p>	B	<p>・授業観察を経て、明るく、熱心に授業に取り組み様子が見られた。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○多文化共生を実現する学校づくりの推進と、地域の宝であり未来を担う子どもたちを育成し、地域と一体となった学校づくりを推進する。</p> <p>□日本語指導初期指導拠点校として、円滑な運営と実践を行う。</p> <p>◇国際的な視点を大切に、仲間中のメリットとなる、多文化共生の取り組みを行う。</p>	<p>○周年行事について、地域や保護者の協力を得て、意義ある取り組みができた。生徒が主役となる様々な準備や取り組みを行い、地域に愛される学校として、生徒の成長を見ることができた。</p> <p>□市教委はもちろん、他校の日本語担当教員や地区、地域と協議しながら試行錯誤を重ねて取り組んだ。7期間、日本語指導担当や学年と対応について連携、協議しながらよりよい運営を図った。</p> <p>◇生徒を中心に、多文化共生を念頭に交流や取り組みを、学校行事に加えて複数回(年3回以上)実施する計画であったが、生徒会による多言語による朝の挨拶運動は実施したものの、全校あげた取り組みは難しく、生徒を巻き込むことができなかった。</p>	A	<p>・特になし。</p>
	教職員の資質向上	<p>○目指す学校像をキーワードとして、ウェルビーイングの視点をもち、この仕事への誇りとやりがいを感じ、一致団結して一人ひとりの笑顔が輝く教職員集団を創る。</p> <p>□教職員不祥事根絶、教職員事故ゼロを実現する。</p>	<p>○教職員の一人ひとりのやりがいに関わる機会に注視、見届け、声かけを意識して行った。各主任や養護と情報共有する。チーム仲間として良い教育活動ができた。【学校評価 学年職員や仲間と恵まれ、教職にやりがいを感じる 100%】</p> <p>○校長室たよりを継続して発行し、想いを伝えながら、事故防止の抑止とした。【学校評価 不祥事根絶、事故ゼロを実現するために使命感と誇りをもち自分ごととして捉える意識をもって職務にあたった。100%】</p>	C	<p>・他校生の受け入れも踏まえ、舌舐めながら学校一丸となって丁寧に取り組んでいる様子が見られた。</p> <p>・外国籍生徒だけでなく、日本人の生徒たちへの様々な支援も引き続き取り組んでいただきたい。</p>
	施設、設備等の管理	<p>○適切な学校施設、設備、備品を含めた継続的な管理を徹底し、災害等有事に備えた安全指導を確実に身に付ける。</p> <p>□適正な予算配分、確実な会計管理、複数チェックを徹底し、会計事故をゼロとする。</p>	<p>○特別教室の危険な備品について、毎月確実な定期的管理までには至らなかった。災害、不審者対応等は安全担当を中心に、細かく検討、実施し、本校の大枠を形にすることができた。</p> <p>□担当、学年会計、事務主任、管理職との連携がスムーズで、明細会計、事故防止ができた。</p>	B	<p>・引き続き安全管理徹底をお願いしたい。</p>
				B	<p>・特になし。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	年 度 目 標		年 度 評 価	達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
			年 度 目 標	重点目標の達成状況			
			重点目標	重点目標の達成状況			
安行中	組織運営	<p>○目指す学校像、目指す生徒像の具現化に向けて、教職員一人ひとりの指導力・課題解決能力を育成する。</p> <p>□目指す教師像に向けて、教職員一人ひとりがチームの一員として意欲的に協働し、責任をもって校務分掌を遂行することで、学校運営の参画意識を高める。</p>	<p>○管理職が各主任と連携しながら、課題及び課題解決状況の把握、方策の調整・改善・見届けを行うことで、目指す学校像の具現化に向けて、課題意識をもって学校運営、学年経営を行うことができた。</p> <p>□目指す教師像に向けて、教職員が互いにリスベントし、各主任の参画意識を高めたが組織的な学校運営を行うことができた。責任をもって職務を遂行する教職員が増えた。</p>	B	<p>・学校教育目標の充実に図るため、校長先生指導の下、教頭・幹事教諭・学年主任の先生が心を一つにして、深く慮しなが努力している。非常に心強く感じる。</p> <p>・課題意識を持ちつつ、学校運営への参画意識をより高める事と同じに教職員一人ひとりの能力、意識の向上に期待したい。</p> <p>・教職員一人ひとりの能力アップは大切だと思う。その上で、チームとして互いにリスベントし、物事に取組むことはよいことと思う。</p> <p>・先生方が連携を取るために努力されているのを感じた。先生同士の繋がりもしっかりと気づいていると感じる。</p> <p>・まずは教員自身が自分に自信をもち、その上でお互いをリスベントすることが大切だと思う。</p> <p>・様々な課題がある中で、先生方が苦勞されていると思う。今、世の中が情報に溢れていてやりにくい場面もあると思う。いつも応援しているので、頑張ってもらいたい。</p>		
教育課程	<p>○昨年度、県の学方向上重点支援校として、研修を重ねた成果を継承し、指導方法の工夫改善を進める。</p> <p>□市教委の指導主事を積極的に招聘し、研究授業においての指導助言を今後活かすとともに、教員間で授業を見合うことで指導力向上・学方向上に向けた授業改善を図る。</p>	<p>○昨年度の研修の成果を活かした授業改善については、教員間でその取り組みに差があった。一方、歯科保健教育を教育課程に位置付け、教科横断的な視点から特色ある教育を実施することについては、成果が見られた。</p> <p>□研究授業を複数回実施するとともに、教員同士の授業参観を実施した。研究授業前後には、ベテラン・中堅教諭が若手教諭に適切な助言をしながら、組織的に授業改善を進めることができた。</p>	B	<p>・学方向上という課題に対し、組織的に互いの助言等により授業改善を進めていただきたい。</p> <p>・高校受験があるため、学方向上は必要などと思う。生徒一人ひとりの考え方やなぜそうなのかが興味をもてるような授業ができるよと思う。</p> <p>・子どもたちの学習意欲を全員に求めるのは難しいかもしれないが、先生方が努力をしているのを感じる。また、保健教育を通して集中力を伸ばしていることや生徒の意欲が上がっている子もいると感じた。</p> <p>・家庭学習に取り組み生徒が少ないので、学習をする習慣をつけた方がよいと思う。</p>			
開かれた学校づくり	<p>○地域とともにある学校を推進することを柱とし、目指す学校像やビジョンを明確にして、地域一体となって地域学校協働活動を進めていく。</p> <p>□日頃の教育活動について、学校だよりやホームページで発信する。</p>	<p>○生徒が地域の方々に支えられながら、地域の祭やふゆさとの森の整備に参加したり、特別支援学級の生徒が販売学習を実施したりすることができた。</p> <p>□生徒の様子や保護者・地域の方々の認識が低い内容について、学校だよりやホームページ等で意図的に発信をした。情報発信の充実と発信内容の改善を図ることで、内容については保護者から一定の評価を得ることができた。</p>	B	<p>・本校の誇る点は教育の真目的 (学校・家庭・社会) 三位一体の充実している所だと思う。ところが、最近PTA活動の見直しにより、保護者の学校に対する協力意識が希薄になりつつある。地域の人たちもこのことを憂慮している。これを良い方向にしていく責任を感じている。</p> <p>・地域の行事や活動に参加し、地域の人の運の環境整備に關しての行動を共に体験し、住んでいる町を見、地域を理解することは意義がある。</p> <p>・地域の団体にもいろいろな役割があり、地域から情報を学校に提供してもらおうとしてもよいのではないだろうか。</p> <p>・個人情報情報等では生徒の情報が昔に比べて見られなくなっていることは残念であるが、地域のサポートとしていつでも応援したいと思う。</p> <p>・保護者が地域の行事や活動に参加しなくなっている。</p> <p>・HPは見る人が少ないため、HPに導くために連絡アプリを使用し誘導していくのはどうか。もしくは、連絡アプリと分担するよ。</p>			
教職員の資質向上	<p>○若手教員の学び機会を設定することを心掛け、積極的に研修に参加させ、教職員一人ひとりに応じた適切な指導を行うことで、指導力向上を図る。</p> <p>□教育公務員としての意識向上を図り、不祥事及び教職員事故ゼロを目指す。</p>	<p>○市教委の訪問や管理職による授業観察等を通して、教員の授業改善、指導力の向上を図った。また、若手教員が、先輩から学びながら教材研究や授業改善を進めることができた。</p> <p>□職員会議、朝の打ち合わせ、研修のみでなく、教頭が普段から最新のニュースを周知するとともに、メールや校内掲示等で全教職員にその時機に合った注意を呼びかけることで、日頃から事故防止に係る啓発活動を行うことができた。</p>	B	<p>・素晴らしい生徒を育成するには、教職員の人格的感化が必要であると思う。</p> <p>・教職としての意識や責任感の向上、一社会人としての意識、心構えを再確認してほしい。</p> <p>・働き方改革で少しは先生方に自分の時間ができたよ。気分転換を促したり、自主的な勉強をしたりする時間があると良いと思う。</p> <p>・先生方に気持ちの余裕を大切にしたいと思う。</p> <p>・保護者の方々から、心配になる発言のある先生が聞いている。よい先生が多いのに、心配に感じることがたまにある。</p> <p>・他校の研究発表に参加できないのは、教養を空けられないからだろうか。チャンスを与えられないのは、残念である。</p>			
施設・設備等の管理	<p>○年間行事計画、指導計画に基づき、実践的な安全指導の徹底を図る。また、生徒の危険回避能力の向上とともに、教職員の危機管理意識の向上を図る。</p> <p>□コスト意識をもち、適正な予算執行と会計管理を行い、会計事故ゼロを継続する。</p>	<p>○全職員による定期点検を実施するとともに、点検項目の改善や管理職等による臨時点検を実施し、安全管理を徹底した。また、計画的に施設・設備を修繕し、安全な環境を整備し、施設設備に係る事故をゼロにした。</p> <p>□予算管理及び会計処理については、複数の目で確認をしながら適切に処置をすることで、会計事故をゼロにした。</p>	A	<p>・安全な学校にするため、引き続き取り組んでほしい。</p> <p>・あるものを丁寧に使用し、事故防止にはしっかりと経費を当ててほしい。</p> <p>・今年はマイアアで盗難などのニュースが有り、気苦労が多かったと思う。生徒が安全で安心して学校作りをサポートできればと思う。</p> <p>・不審者対応は、生徒を守るためにも大切なので、引き続き実施してほしい。</p> <p>・〇〇対応訓練など、自分でおこなう判断できないようなことを訓練しておくことはよいと思う。</p>			

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
		年 度 目 標 重点目標	年 度 評 価 重点目標の達成状況	年 度 評 価	運 成 度
芝 東 中	組織運営	○一人ひとりが学校参画の意識を持ち、組織的・計画的に学校経営を行う。	○教職員の育成の観点からも適材適所の配置をすることができた。 ○いじめ対策委員会や部活動検討委員会の立ち上げることができた。 ○校長室を中心とした計画的な運営を行うことができた。 ○校長室の常時開放し、生徒下校後など意識的に職員室での時間を増やした。 ○昨年度に引き続き掲示を続けることができた。 ○校長室より、学力向上、不祥事根絶、働きがい改革について発信した。	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋) ・本校はこれまで部活動を盛んに行ってきた。今後は、教員の働き方改革もあるが、子どもたちのために思いで部活動改革も進めてほしい。	A
	教育課程	○よい授業、よいワラス、よい学び (3つのY) を実践し、学力の向上を図る。 □つながり・かかわり100%とし、不登校支援・生徒指導・教育相談の充実を図る。	○自己評価シートへの位置付けを文文化している教職員は少なかつたが、面談の際には意識していることは伝わり、授業改善の意識も向上した。 ○校内研修については、全校を挙げての取り組みが見られなかった。 □教育相談主任を中心に、部会でのニューリアル・効率化を図った。 □ステップアップを準備することで、ホットルームとしての位置づけで相談室との差別化を図った。 □不登校親の会 (ハンジーの会) を開催することができた。	・発達の課題をしっかりと把握するためにも生徒で検査を実施することはできないのか。 ・一方で、検査の結果で線引きをすることが絶対にあってはならない。	B A
開かれた学校づくり	○地域の学校へと学校組織を変換する。	○HPの在り方について検討することとした。 ○PTAが主体となり、PTA改革を進めることができた。 ○祭りなどの行事には積極的に参加した。 ○研究協議会の場で、学校内外の情報について共有することができた。	○HPの在り方について検討することとした。 ○PTAが主体となり、PTA改革を進めることができた。 ○祭りなどの行事には積極的に参加した。 ○研究協議会の場で、学校内外の情報について共有することができた。	・県外ではあるが高等学校で校内カワエとして地域に学校の施設を開放している事例を聞いた。中学校では難しいかもしれないが、子どもたちが地域とつながる機会となると感じた。 ・中学生の登下校の見守りは地域ではなかなかやりにくい。中学生に自助の意識を高める上で、生徒自身で通学路の点検を実施し、安全マップのようなものを作って把握したらどうか。	A B
	教職員の資質向上	○よい授業、よいワラス、よい学び (3つのY) を実践し、学力の向上を図る。【再掲】 □「働きがい改革」を推進する。	○自己評価シートへの位置付けを文文化している教職員は少なかつたが、面談の際には意識していることは伝わり、授業改善の意識も向上した。 ○校内研修については、全校を挙げての取り組みが見られなかった。 □作成したものの、細分化しているため、意識づけまではできていない。 □リスクマネジメントや自身の業務管理については、若手と中堅教員など、個人差があることは否めない。 □年齢差を超えて職員の雰囲気は良好である。	・特になし	B B
施設・設備等の管理	○快適な教育環境とするため、適切な施設管理を行う。 □透明性のある予算執行を行う。	○施設の老朽化による破損・故障など、やむを得ない修繕をせざるを得ない状況である。 ○日帯的な点検については、随時実施することができた。 ○学校どこからでも報告できる安全点検システムを構築した。 □事務担当・会計担当との綿密な話し合いを行い、随時、予算の見直しを行うことができた。 □教頭を中心に倫理確立委員会を行った。 □部活動会計については、部活動検討委員会でも協議した。	○施設の老朽化による破損・故障など、やむを得ない修繕をせざるを得ない状況である。 ○日帯的な点検については、随時実施することができた。 ○学校どこからでも報告できる安全点検システムを構築した。 □事務担当・会計担当との綿密な話し合いを行い、随時、予算の見直しを行うことができた。 □教頭を中心に倫理確立委員会を行った。 □部活動会計については、部活動検討委員会でも協議した。	・環境は学びに大きく影響する。今後も生徒たちが気持ちよく学べる環境の維持をお願いする。	B A

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)		
		年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 評 価	連 成 度	
		重点目標	重点目標の達成状況			
芝西中	組織運営	○学校総合力を向上させるため、一人ひとりの教職員に活躍の場を得させ、教職員が生徒の目となるように全教員が夢中になって働ける経営を行う。(学校評価で夢中になって働けたが100%)	○第2回教職員学校評価の結果、両校で「夢中になって働いている」が91%だった。 □第2回教職員学校評価で学びの保証は89%、つなぐは100%になった。 ◇第2回教職員学校評価で93%が肯定的な意見だったが、学級活動の時間にあまり取り組めなかった。 ○「生徒が夢中になって活動する」に向け授業改善を進めている94%になった。「学びに向かう力」に対する共通理解を深められた。 □芝西中・陽春分校の授業スタイルを意識したが94%になった。 ◇日本語指導の工夫・充実には取り組めた。	○第2回教職員学校評価の結果、「できた」は82%だった。保護者の学校評価では、学校の教育活動の様子が分かるが93%だった。 □第2回教職員学校評価の結果、「できた」は82%だった。保護者の学校評価では、学校からの通知を確認しているが80%だった。 ◇参加者が最大7名の地域があった。 ○概ね取り組むことができた。 □10%減は達成できなかった。 ◇教職員が企画運営する倫理確立委員会を教頭が委嘱し、先生方の意識を高揚した。	○第2回教職員学校評価の結果、「できた」は95%だった。 □第2回教職員学校評価の結果、「できた」は95%だった。 ◇第2回教職員学校評価の結果「活用できた」が66%だった。	<ul style="list-style-type: none"> ・働きた改革も進められている中、夢中になって子ども向き合えない先生がいるのが残念です。 ・不登校生徒が増える中、支援率89%をあげている工夫が素晴らしい。 ・個々の生徒に目標設定をさせるという点がたいへん参考になりました。 ・陽春分校に通う生徒について、進路指導・キャリア教育はたいへん重要であると考えます。学校評価の結果に取り組みの成果が表れていると感じました。 ・「学びに向かう力・人間性」への全教職員の共通理解や高めるための取り組みがすばらしいと思います。 ・新しく入った先生方にも授業における共通理解が浸透しているのが素晴らしい。 ・日本語指導の充実について、日本で生活する外国籍生徒に対する日本文化への理解に着目した点がすばらしいと感じました。
	教育課程	○「生徒が夢中になって活動する」授業の実現。(生徒の学校評価で、授業に夢中に取り組めたが90%以上)	○保護者・地域との活動を通して、保護者・地域から信頼され、誇りに思われる学校にする。(学校評価において、学校の様子がわかり、誇りに思うが80%以上)	○生徒、保護者、地域から誇りに思われる教職員に育成し、教職員事故ゼロを達成する。 □「働き方改革」の推進・徹底をする。(負担感が軽減した職員が90%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学校評価では、学校の教育活動の様子が分かるが93%は高い。 ・保護者が学校の取り組みをきちんと理解している点がすばらしいと思います。 ・小中連携で挨拶運動などを通して、つなぐができているのがいい。 ・今年もあまり増えていない。来年度こそ多くの生徒に参加してもらいたい。 ・教職員事故があったのが残念だった。 ・「安全・安心」は学校教育の基盤であると考えます。学校評価の結果に日頃からの取り組みの成果が表れていると感じました。 ・授業へのICTの利活用を継続して取り組んでいただきたいと思っています。 	
教職員の資質向上	○適切に予算執行と会計事故ゼロ。 □安全・安心を最優先とした施設・設備事故ゼロ。 ◇GIGAタブレットPCを更に有効活用する。	○適切な予算執行と会計事故ゼロ。 □安全・安心を最優先とした施設・設備事故ゼロ。 ◇GIGAタブレットPCを更に有効活用する。	○適切に予算執行と会計事故ゼロ。 □安全・安心を最優先とした施設・設備事故ゼロ。 ◇GIGAタブレットPCを更に有効活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・転出入者が多い学校で、会計事故防止に取り組むのは容易ではない。 ・施設・設備事故ゼロは続けて欲しい。 ・他校からも有効活用事例を導入してください。 		
施設・設備等の管理						

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園)自己評価		達成度	学校(幼稚園)関係者評価(抜粋)
		年度目標	重点目標の達成状況		
岸川中	組織運営	<p>○分掌等の大幅な見直し。 ○学校運営を自分事として捉え、各自カリキュラムマネジメントを行う。 ○OJTにより経験豊富な教職員から、知識技能の伝承を行い、不易流布な学校運営を行う。</p> <p>□不登校出現率を8%、不登校支援率100%とする。 □支援率100%の内容を重視する。 □学習保障において、効果的な支援方法を確立する。</p>	<p>○分掌等の見直しを行うことはできた。 ○各自のカリキュラムマネジメントにおいては、意識は上がっているが、一人ひとりが理解して、積極的に取り組む段階にはない。 ○数少ないベテランの経験を生かすことはできている。</p> <p>□不登校出現率は現在7.5%となっているが、目標値より低いが、不登校が多い。小中連携を密に行っているが、個別の学習保障は難しい状況にある。ウエルカムスクール及びとまり木ルームの充実を果たしている。</p>	B	<p>・教職員が共に学びながら意識を高める努力が必要。 ・若手教職員の社会人としての意識向上をどのようにしていくか。 ・課題解決のため、各主任を中心に組織的な対応をする必要がある。 ・とまり木ルームの生徒の表情が明るく変化していくのは嬉しい。自己肯定感の育成に一役を果たしている。 ・生徒理解が必要。 ・とまり木ルームの認知度を上げる。</p>
	教育課程	<p>○小中連携において9年間を通して学力向上を行う。 ○思考を止めない授業及び生きた知識の習得を行う。</p>	<p>○小中連携全体会議、生徒指導担当者会議、学力向上担当者会議をそれぞれ設け、9年間を通しての学力向上を図る第一歩は踏み出した。 ○互いの授業を参観することは教員の人員不足もあり、思うようには実行できなかった。 ○生きた知識の習得については、教員が意識しながら授業改善を行っている。</p>	B	<p>・外国籍生徒に対し、何か地域で協力できれば。 ・小中連携はとてても意義がある。 ・児童生徒の交流が増えたと良い。 ・教員不足に対し、社会全体で向き合う必要がある。</p>
	開かれた学校づくり	<p>○保護者・地域の方々の学校行事への参加率を高める。 ○魅力あるHPの作成。</p>	<p>○学校運営協議会において、様々な貴重な意見をいただき、学校運営に反映させることができた。 ○HPの更新においては、教員及び生徒会などが昨年以上にいった。</p>	B	<p>・地域の方が学校に足を運んでもらえることを考えていきたい。 ・ボランティアで地域の行事に参加してくれている生徒は積極的に協力している。</p>
	教職員の資質向上	<p>○生徒理解を深め、授業・生徒指導・教育相談の力を高める。 ○社会人として当たり前のことを身に付けさせる。 □働き方改革への意識付けと、ワークライフバランスを考え豊かな人生を送るための視野を広げ、そこで学んだことを生徒に還元する。</p>	<p>○生徒理解に関する研修を本年度も行った結果、教員の生徒理解力は高まっている。 ○若手教職員の社会人としての視野は、昨年度と比べ向上しているが、まだ視野が広いとは言えない。 □計画年休を取得する教職員が増えているが、いまだタイムマネジメントへの意識が薄く、在校時間が非常に長い教職員もいる。</p>	B	<p>・一般社会人の感覚を教員が身に付ける必要がある。 ・視野を広げるためには地域のボランティア活動に参加すると良いのでは。 ・経験豊富な先生からの技術の伝承が必要。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○生徒が安全な中で学習に取り組むことができる環境づくり。</p>	<p>○アレルギの取壊しや木工室・金工室・音楽室・トイレにおける改修は計画的に行うことができたが、予算の関係上、LED化や木工室における机の修繕にはいたっていない。</p>	B	<p>・日々の安全チェックをお願いします。 ・生徒たちの安心安全を守ってください。 ・校内がいっつも清潔に保たれている。校務員さんに感謝します。プリンターの花が減っているように見受けられる。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重 点 目 標	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
榛松中	組織運営	<p>○目指す学校像「笑顔があふれる、学びと感動のある榛松中学校」の実現に向けて、教職員の意識と組織力を向上させる。</p> <p>□安心・安全が居場所としての学校づくりを推進し、新規不登校生徒の抑止と継続不登校生徒への支援率100%とする。</p>	<p>○教職員との面談で、個別目標や達成状況を確認した。様々な場面を通じて定期的に啓発したことで、生徒・教職員とも目指す学校像プラス評価90%以上と、学校全体の意識向上が図れた。</p> <p>○学年副主任の導入により役割が明確化され、組織対応力が高まった。</p> <p>□個別学習支援体制の構築をはじめ、1年生4月の校外学習、交流教育の充実、いじめ対策会議の開催、デジタル生活ノート導入など、人間関係作り、いじめ問題の未然防止・早期対応を進めた結果、生徒の安心・安全な学校づくりを推進できた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の間で統一され、概ね同じ方向に進むことができている。 ・子どもを放っておかない体制作りを意識してほしい。 ・デジタル生活ノートは、子どもに即時性を求められると、先生の働き方改革に逆行する可能性がある。また、子どもと教員のやりとりを保護者が知ることができない可能性はある。 ・書く練習とICT活用の上手なバランスを考えてほしい。
	教育課程	<p>○自主性・協調性・実行性のある活動を通して、社会の中でよりよく生きる力の育成を図る教育を実現する。</p>	<p>○年間計画に位置付け、全学年でデジタル教材を活用したキャリア教育の授業を展開した。また、地区の小中学校と算数・数学を中心とした小中連携に取り組み、授業見学、協議を重ねた。</p> <p>○他校の研究授業を広く周知し、職員を積極的に参加させることができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での取り組みをもっと保護者が見える形にすると、学校評価の生徒と保護者の差が縮まる。 ・「非認知能力」の評価も取り入れてみてはどうか。 ・家庭学習の不足が明らかであり、目標設定と意欲向上に向けた手立てが大事である。
	開かれた学校づくり	<p>○教育活動の公開や紹介などの情報発信を定期的に行い、家庭・地域との連携を強化する。</p>	<p>○学校HP、学校よりやメール配信をはじめ、4月・3月の授業公開、10月の体育祭、11月の合唱コン等、教育活動の情報発信を定期的に行い、保護者・地域の方の理解促進につなげた。</p> <p>○職員玄関に大型モニター設置、学校紹介動画で来校者を迎える体制を整えた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と教員の連絡方法がメールメインになり、学校の意図や活動が正しく家庭や地域に伝わりにくくなっている。これからもアナログでの生徒・保護者との対話は必要。
	教職員の資質向上	<p>○教育公務員としての高い倫理感を持った教職員の育成と、教師集団の形成を実現する。</p> <p>□計画的、実践的な若手教員の指導育成を図る。</p>	<p>○率先垂範、服務の基本、情報管理を意識して指導育成ができた。特に「服務の基本」については、繰り返し全体指導を重ね、自覚向上と共通理解を図った。</p> <p>○教職員事故根絶に向けて、不祥事防止研修を定期的に実施した。</p> <p>□指導主事を招聘した授業研究会や校内教職員での相互授業参観、教頭による若手研修会等を実施し、若手教員の指導育成を図ることができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の背景を理解することで、教員の指導の幅も広がる。 ・働き方改革もあるが、教員として本質的なところは削ぎ落してはいけない。教育は人と人が向き合っで初めて成立する。生徒・保護者と直接つながることを大事にしてほしい。 ・若い先生方には電話を苦手とする先生もいるようだが、学校で心配な様子を感じたら、保護者に一報入れることで、家庭との連携強化を図って欲しい。
施設・設備等の管理	<p>○子どもにとって安心・安全で学びやすい学校、教職員にとって働きやすい職場環境を実現する。</p>	<p>○管理職の日常点検や教職員の定期点検等、危機管理を徹底した。盗撮防止カメラの作成、生徒昇降口への防犯カメラ設置など、生徒の安心安全の確保に努めた。来校者向けで職員玄関に大型モニターを設置、教職員の働きやすさ向上のため、電話の録音機能を導入した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化は進んでいるが、外壁修繕が行われており、しばらくは大丈夫そうに感じた。 	

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)		自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	重 点 目 標	年 度 評 価	重 点 目 標 の 達 成 状 況	
小谷場中	組織運営	重点目標 ○埼玉県学力学習状況調査で、全教科、全クラスで県平均を超える。 □不登校生徒の割合の減少を表現する。(8%→5%)	重点目標の達成状況 ○埼玉県学力学習状況調査で、全教科とはいかなかったが、概ね県平均を超えることができた。また、学力の伸びほどの教科も確実に伸びてきている。教科担任の授業改善の効果が出ている。 □生徒指導委員会を中心に不登校生徒の支援を組織的に言い不登校の割合5%以下に減少することができた。	達成度 B	達成度 B	・相談室登校から、登校復帰について、なかなか難しいところもあるが、相談室登校の充実を、 ・風通しのよい職場が1番。今後も継続してほしい。 ・芝西小学校との連携について、効果もでてきているので、今後も充実にしてほしい。
	教育課程	○教育活動のなかで、行事等の精選をさらに進める。また、年間授業時数1015時間を維持しながら、質の高い授業を実践し学力向上を目指す。 □教職員をはじめ、相談員、支援員、A T等総力をあわせて、学習支援体制の構築を図る。	○勤務時間の範囲で最終下校時刻を設定したので、勤務時間内に生徒が学校にいることが多くなり、教員の事務処理の時間も確保できた。今後も業務の効率化を図っていきたい。 □ステップルームを利用する生徒は、少ないながらも一定の効果は見られた。相談室登校が増えたので、支援の方法を今後検討していきたい。	B	B	・芝西小学校では、体力向上の研究発表を行った。中学校でもそれを生かしてほしい。 ・学年会計に事務職員が関わっているため、事故が0。継続してほしい。 ・地域にあいさつをしない職員がいる。改善してほしい。
	開かれた学校づくり	○必要な情報発信ができるよう工夫し、地域や保護者への理解を深める工夫をする。	○ホームページ等を活用し、適宜情報発信することができた。スクリーンを活用することで、配布文書をデジタル化できた。行事については、今後もよりよいものを目指して検討していきたい。	B	B	・中間テストをなくした。家庭で勉強しなくなったという地域の声がある。
	教職員の資質向上	○「個別支援が必要な生徒へのチーム小谷場としての実践」を実現する。(本校研修テーマ) □風通しのよい職場をつくり、教職員の負担感を軽減し、働き方改革を進める。	○計画的に校内研修を実施し、テーマ実現に取り組みすることができた。小中連携も夏季休業を利用し、芝西小と充実した研修が定着してきている。6年生の授業参観等も計画的に行うことができた。 □相談しやすい雰囲気づくりに努め、学年関係なく風通しのよい職場の手ごたえを感じた。教頭と連携し、適切なタイミングで声掛け等も行うことができた。	B	B	・特になし。
	施設・設備等の管理	○安全・安心な学校を目指し、施設・設備事故0を達成する。 □安全・安心な学校を目指し、会計の適正な執行及び会計事故0を達成する。	○施設・設備の事故0を達成した。しかし、施設の老朽化も含めて、計画的に修繕に取り組み必要がある。 □事務職員との連携を大切にしながら、会計事故0を達成した。事務職員の負担が大きいので、今後改善していきたい。	B	B	・特になし。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価			学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)	
	領 域	年 度 目 標	年 度 評 価	連 成 度	
神根中	組織運営	<p>○中・長期的な目標設定や計画の立案を通して、参画意識を向上させ、指導体制の確立を実現する。</p> <p>□いじめ・不登校等の諸課題の未然防止と早期発見・早期解消を積極的に推進し、いじめ解消率と不登校支援率を100%にする。</p>	<p>○報告・連絡・相談と確実な見届け・確認のもと、参画意識の高揚を図りながら組織的・機動的な指導体制を概ね実現することができた。</p> <p>□解消率・支援率100%は概ね達成できたが、長欠生徒については他機関との連携を図り、個に応じた支援を行ってきたものの、人数は高止まりのままであった。</p>	A	<p>・若手教員も多年齢の偏りはあるが、人柄や誠意など年齢に関係なく生徒を導く力があると感じている。</p> <p>・相談室など長欠生徒・保護者が対応してもらえらる環境があるのはよい。</p> <p>・長欠対象の保護者会は、知識やチャネルを広げてあげられ、学校側からの良い発信である。</p> <p>・入学当初のいじめの防止・対応が肝心なのでお願いしたい。</p>
	教育課程	<p>○「学びに向かう力・人間性」の育成を基盤とし、主体的な学び合いのもと、知識・技能の定着を促す指導方法の工夫・改善を実践する。</p> <p>□補習や家庭学習の充実を図り、基礎的・習得・定着に重点をおいた学力向上を実現する。</p>	<p>○全校で安心して学べる集団を形成することができたとともに、主体的な学びを促す授業展開も定着しつつあり、個々の学ぶ意欲の向上につなげることができた。</p> <p>□家庭学習を促しながら、テスト前に計画的に補習を行うなど、基礎的・習得・定着に重点をおいた取り組みを行うことができたが、教科によって偏りがあった。</p>	A B	<p>・タブレットや大型TV、映像等を用いた授業が浸透している。</p> <p>・ペアやグループ活動で自分の考えをタブレットでできているが、書くこともアウトプットできると考え、書きさせる時間が少ないように感じる。</p> <p>・タブレットを用いた宿題を出すことで、家庭学習の定着率は増加するのではないかと感じる。</p>
開かれた学校づくり		<p>○継続事業の活性化とともに新規事業を立案・計画・開催し、開かれた学校づくりをさらに推進する。</p> <p>□タイムリーな情報提供を行うとともに、保護者・地域のニーズの把握に努め、双方方向の情報連携・行動連携を実現する。</p>	<p>○制服のリニューアルなど新規事業を行うことができたとともに、継続事業についてもボランティア形式で見直し・改善を図ることができたが、執行部に負担がかかってしまった。</p> <p>□タイムリーな情報を保護者・地域に届けることができたとともに、学校への意見や要望について、来年度へ活かせるように計画的に検討を行うことができた。</p>	B A	<p>・PTAが縮小してきている中、自主的・自発的な活動の在り方を新たに見つけ出していかねばならない。</p> <p>・小学校での保護者の活動が中学校につなげてくるため、小学校での活動が大切である。</p> <p>・地域にも情報は届いているため情報連携はできているが、地域とコミュニケーションをとる機会が減っているため行動連携は十分ではない。</p> <p>・例えば地域防災訓練などの大きな行事を実施して、まずは意識づけから行うことも大切である。</p>
	教職員の資質向上	<p>○高い使命感と倫理感をもち、チームの一員として職務を遂行し、常に学び続ける教職員を育成する。</p> <p>□若手教員に対し、相談・支援を含めた適切な指導・助言を行い、ベテラン教員とともに学校全体で指導育成に努める。</p>	<p>○計画的な倫理確立委員会の実施やタイムリーな情報提供、教職員への面談や声掛け、講師を招聘した実践的な教員研修等により教職員の育成を図ることができた。</p> <p>□日常的な教室訪問や指導・支援等を通して、全教職員が関わり合いながら若手教員への指導育成を行うことができたが、研修については初任者中心となってしまう。</p>	A B	<p>・保護者アンケートでも、誠意をもって保護者に対応している割合が高く、教職員が寄り添っている姿勢は素晴らしい。</p> <p>・若手教員も良い授業をしており、生徒を引っ張っていくという雰囲気を感じる。</p>
施設・設備等の管理		<p>○学級経営を基盤とした心の教育を充実させ、清掃指導や掲示・教育を徹底し、良好な教育環境を維持する。</p> <p>□関係機関や各種業者と折衝し、改善策や対応策を検討するとともに、全教職員の目で確認しながら教育環境の整備に取り組み。</p>	<p>○心の醸成を基盤とした学年経営・学級経営のもと、全校一丸となって校内掲示の整備・充実を図り、週3回の清掃活動ながら、積極的に美化活動を推進することができた。</p> <p>□全教職員が危機意識をもって点検等を行うことで、危険事象の早期発見に努め、不要物の計画的な廃棄や迅速な修繕、文書等の適切な管理を行うことができた。</p>	A A	<p>・廊下の床が奇麗で、よく清掃している様子が伝わってくる。</p> <p>・清掃がない日は、休み時間ゴミを拾うなど、環境整備への意識づけを行ってほしい。</p> <p>・体育館の雨漏りの修繕やグラウンドの土の入れ替えなど、生徒に危険が及ばないよう、施設面の整備・改修については市へ要望し続けてほしい。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園)	自 己 評 価		学 校 (幼 稚 園) 関係者評価 (抜粋)
			年 度 目 標	年 度 評 価	
			重点目標	重点目標の達成状況	
領家中	組織運営	○「学校が楽しい」と心から思える生徒の育成。(生徒学校評価「十分あてはまる」への回答80%)	○【達成状況】 ○達成できなかった。 ※46期 R6:61.9% R7:72.9% 47期 R6:54.3% R7:49.1% (A:B:94.8%→96.5%)	B	・「学校が楽しい」という生徒の思いの定性的目標を定量的評価に置き換え、定期的に把握していることが素晴らしい。 ・学校経営及び運営に当たって、各先生がウースタディとして「教え上手な先生」の良さとご取組をされていることは素晴らしい。 ・行事に取組む中で生徒の非認知能力の上昇も伺うことができた。これが学校全体に広まると良い。
	教育課程	○領家中「あいうえお」を実践する生徒の育成。(生徒学校評価95%)	○【達成状況】 ○達成できなかった。 あ：R7 94.7% (R6 91.9%) い：R7 97.0% (R6 92.9%) う：R7 91.8% (R6 89.1%) え：R7 90.3% (R6 92.5%) お：R7 96.3% (R6 93.7%)	B	・目標に対して数値化できていることが良いと思う。評価尺度が数値化できていることで、学校のPDCAサイクルが出来る上上がったと思う。 ・重点目標の数値が95%であり、数値が届いていないものもあるもので達成度はBに納まっている。しかし項目の平均をとると94%であり、1%の差で達成できなかったというような評価(達成度のB)をしなくても良いのではないかと。 ・領家中「あいうえお」を実践する生徒の育成の学校の取組みには頭が下がる。
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会を核とした生徒のための持続可能な取組みの推進。(継続取組の組み込み含む三つ以上)	○【達成状況】 ○概ね達成できた。 ・生徒にとって意義のある持続可能な取組みが複数表現した。	B	・「開かれた学校づくり」という領域で、領家中学校は1つ1つの行事を丁寧に取組む良い。よって、これ以上何かと連携してこの学校を、これ以上忙しい所にするべきではない。学年や担任の先生が生徒の身近にいれば、それで良い。 ・祭礼や領家中フアンクションナーでは、多くの生徒に参加してもらった。PTAバザーでも時間帯の工夫をすることで、多くの保護者に来校してもらった。このことから、達成度はAで良いのではないかと。
	教職員の資質向上	○一人も取り残さず学びに向かう力を引き出す授業改善。(生徒学校評価95%)	○【達成状況】 ○達成できなかった。 「すべての授業において、居眠りをしたり「学んでいるふり」をしたりすることなく、思考を働かせて参加できていますか」 R7: AB90.9% C6.7% D2.3% R6: AB91.6% C5.7% D2.6% ※い：R7 97.0% (R6 92.9%)	B	・(生徒学校評価より「家庭での自主的な学習」の評価が低かったことについて) 家庭でも学習する力をつけることは大切だと思うが、夜遅くまで塾に行く生徒や、其働きの両親を考えると、評価の文言を変えるべきではないかと。 ・生徒自身の社会を広げるものを選択して取組むを行えばよい。 ・中根校長が3年間一貫して「アローシップ」を伝えることで、その大切さが教員、生徒に刷り込まれている。
	施設・設備等の管理	○施設・設備等の事故0の達成。	○【達成状況】 ○完全に達成できた。 ・施設・設備等の事故0。	A	・この1年間事故がなかったのは本当に素晴らしいこと。 ・今後も事故0の継続は難しいと思うが、より充実した取組みをお願いする。

学校名	領域	学校(幼稚園)		自己評価		達成度	学校(幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年度目標	重点目標	年度評価	重点目標の達成状況		
戸塚中	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員一人ひとりの職務能力を向上させる。 □全体の推進力となる教職員の育成する □組織力の向上 ◇働き方改革の推進すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から同一の分掌で充てることにより、一定のレベルまで育成できた。 ○人事異動もあり、校内体制も変わったことから主体的な研修を積極的に実施するまでには至らなかった。 □業務改善シートを一部ではあるが活用し運用することはできた。 □分担の明確化を意識することができた。 ◇勤務時間を意識した働き方に取り組めるようになってきた。1月の時間外在校時間は約2.5時間であり、県目標4.5時間以内であった。8.0時間オーバーした者はいない。 ◇効率的・計画的な勤務に向けて、引き続き業務改善シートを活用し、先を見通して仕事に取り組めるようにする。 	A	・異動もめり維持することは大変だと思いが、しつかり取り組んでほしい。		
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○非認知能力を向上させる指導の工夫 主体的で対話的な学習活動の充実 □学習内容を定着させ、一人ひとりの学力を向上させる。 ◇指導内容の系統性を確立し、学習内容を着実に定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □学習形態を工夫し、学習者主体の学びに近づけるよう取り組んでいた。 □授業改善週間と併せて、相互に授業参観を実施した。 □学力P Cの個人活用から、全体の意見集約などに活用する幅を広げることができた。 □5年経歴未満の教員を中心に、法定研修以外にも他校の授業研究会等に参入して参加した。 □毎時間の振り返りの実施には至らなかったが、単元ごとや定期考査ごとに振り返りを行うことができた。 □不登校生徒への形成的評価を実施することができた。 ◇板書やノートづくりの工夫や、授業のその時に身につける授業改善にも取り組ませたい。 ◇今まで積み重ねてきた研究を今後も継続して行っていく。 	A	・今後も、キミツなど効果的な指導法の工夫など、子どものわかる「J」できる「を実感させられる指導力のある教師を育成して欲しい。		
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人材を学校の教育活動に生かす。 ○学校運営協議会を定期的に開催し、学校経営に生かす。 ○学校運営協議会の活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □SNS教室、防災訓練ともに、地域の方に参加していただき、指導講評等を行っていた。 □不登校支援の一環として、ほっとタイムの講師としてご協力いただいた。ほっとタイムに参加がきっかけで、欠席が減った生徒もいた。 ◇更新が遅れてしまっ時もあったが、年間の計画に基づいてほぼ実施できた。 ◇保護者あてメールは、積極的に活用できた。 ◇保護者あて配布プリントの保護者メールでの添付送信が実施できた。 	A	・よい取り組みを継続してほしい。		
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○研修受講を充実させる。 □O J Tを充実させる。 ◇ベテラン教職員の豊かな経験を伝達させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人事評価制度に基づく「自己評価シート」に他校研修への参加を位置付けた教員も多いた。 ○校内研修の回数、および講義型から協議型の研修にするなど効果的な内容に充実させていく。 □多くの教職員に主となる分掌を充てることができた。 ◇主に学年主任に対してベテランの教員を補佐役に充て、時に校長からベテラン教員に指示を出して育成した。 ◇ベテランという捉えよりも、各個人の活躍の場の設定をした。 	A	・経験不足を補うためにも、効果のある研修を進めてほしい。		
	施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な点検ならびに臨時点検により、修繕箇所の把握をする。 □G I G A スクール構想に基づく授業実施に必要な機材適宜を購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期の安全点検は実施できた。 ○定期点検等で把握できた修繕箇所をすべて改善するには至らなかった。次年度は照明等を中心に、修繕を進めていく。 □端末の管理は、担当を中心として適切に行うことができた。市教委に対して、継続的にICT関連機器の設置を働き掛けていく。 □情報設備(大型ディスプレイ、キーボード)などの故障が相次ぎ、最適な環境設定を維持することが難しかった。今後も、計画的に購入を進めていく。 	B	・引き続き計画的に進めてもらいたい。		

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)		
			年 度 目 標	年 度 評 価	
在家中	組織運営	<p>年 度 目 標</p> <p>重点目標</p> <p>○学校教育目標の達成に向けた方向性について共通理解を図り、教職員一人ひとりの学校運営への参画及び協働意識を高める。</p> <p>□不登校生徒をはじめ、支援が必要な生徒への迅速かつ効果的な支援ができるように環境及び支援体制の整備と充実を進める。(支援が必要な生徒の支援率100%、改善率を40%以上)</p> <p>◇生徒の安全・安心を第一とした教育活動を実施する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○学校評価アンケートの項目を学校教育目標等を具現化した姿を表す内容に全面改訂し、実施することができた。具現化した姿の共通理解により、教職員が実現に向けた指導・支援の方向性を揃え、学校運営により一層参画・協働できる体制へと整えることができた。</p> <p>□支援が必要な生徒への支援率100%に努め、改善率が40%となった。積極的な授業言語の実施、関係諸機関やS Cの活用とともに「ほっとルーム」の環境整備、組織的な対応ができる体制づくりを進め、生徒・保護者の支援を進めることができた。</p> <p>◇感染症拡大防止の適切な実施、熱中症・食物アレルギー等による事故ゼロを実現できた。全職員で共通理解を図りながら、協働的に学習活動を実施した。</p> <p>○生徒自身が学力の定着度の確認や、学び直す・学び方を学ぶ機会として活用する学習單元ごとのテストや、現在実施している定期テストの在り方について研究、検討を進めている。</p> <p>□配慮を要する生徒や不登校生徒の多様な学びへの支援として「ほっとルーム」における学習支援の在り方、授業及び自学学習でのGIGAスクール端末PCの活用について研究を進めている。</p> <p>◇小中の接続や系統的な連携によって解決できる学校課題への対応に向けて、合同の研修会と連絡協議会を実施した。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>	<p>学校評価アンケートもおおむね評価できていたので良かった。課題がある点は来年度に期待します。</p> <p>・改訂した学校評価アンケートの結果をもとに、今以上に共通理解の話し合いを重ね、組織として学校全体の底上げを期待したい。</p>
		<p>教育課程</p> <p>開かれた学校づくり</p> <p>○「学びの共同体」による学びを活用するほか、基礎学力の定着と学習意欲の向上をうながす授業改善の研究と実践を進める。</p> <p>□不登校生徒や特別な配慮を要する生徒への学習支援体制を整える。</p> <p>◇系統的かつ具体的な小中連携の見直しを図る。</p> <p>○より効果的な情報発信ができる体制を確立する。</p> <p>□保護者と連携した効果的な教育活動の検証及び改善ができる体制の確立と指導や支援の改善を進める。</p> <p>◇P T A や地域と連携した教育活動のより一層の充実を図る。</p>	<p>○教育活動の意図や生徒の様子等をより一層理解していただけるように、必要は情報及びその情報発信の方法等を見直し、改善を図った。</p> <p>□学校教育目標等を具現化した内容に学校評価アンケート項目を全面改訂して実施し、生徒・保護者・教職員の達成度へのとらえ等をもとに本年度の教育活動の成果と課題を振り返り、次年度への改善策を検討することができた。</p> <p>◇今後の保護者と連携した教育活動の在り方について検討を進めるとともに、学校運営協議会開催数と委員数を増やして組織の強化を図り、地域教育資源を活用した連携について協議を進めている。</p>	<p>B</p>	<p>・学力の向上には基礎があつてこそなので、益々小学校との連携が重要になると思われる。</p> <p>・長期欠席の生徒等、地域の民生委員と連携してもよいのでは。</p> <p>・地域から中学校に声掛けするのは難しいです。逆に中学校が中心になり、地域に発信していただけで協力しやすいと考えます。</p> <p>・学校評価アンケートを改訂したことにより、家庭の学校に対する関心度が今までより高くなると思うので、より見える化“具体的な発信”を続けていきたい。</p> <p>・学校運営協議会のメンバーを増員し、多方面からの意見、助言が増え、たくさんの大人の目で生徒たちを見守ることができるので、地域のつながりが大いに利用して欲しい。</p> <p>・新しいPTAの形が問われる時期に来ていると感じている。学校運営に協力的な保護者もいると思うので先生方も応戦してあげて欲しい。</p> <p>・共通テーマに関しては良い対応と思います。教員一人ひとりの資質の向上に関しては一人ひとりの目標を設定させ、達成するための具体策と期日を管理職と共有することが大切かと思えます。</p> <p>・先生方があつての学校だと思つて、先生方の職場環境の充実にはぜひ続けて取り組んで欲しい。</p> <p>・働き方改革の一環として、ビジネス上の知見としての業務改善フレームワーク等の導入も検討してください。</p>
職員の資質向上	施設・設備等の管理	<p>○授業力向上のための学び合い・高めあいの充実を図る。</p> <p>□心身ともに健康な教育集団を作るために、勤務時間外の在籍時間のタイムマネジメント強化を図る。</p>	<p>○共通テーマとして「学習單元」といったまとまりを意識した授業改善について各教科、全教職員で意見交換及びテストの在り方への検討等を行い、授業力向上に努めた。</p> <p>□「業務改善スタンダード」での取り組みは部分的には一定の成果が得られている。タイムマネジメントへの意識醸成や業務量や質による負担感軽減等に関して、組織的な改善を進めていく。</p>	<p>B</p>	<p>・「立派な学校」において老朽化の修繕はすぐに直していただくのは難しいと思われが生徒の安全第一を考えた早期の発見、補修をしていただくことはこれからはこれからも続けて頂きたい。すでにあるかもしれないが、チェック項目を設け、点検し教職員全員が共有出来るようにと思う。</p> <p>・特になし。</p>
		<p>○生徒の安全を最優先に、学校の状況に即した安全管理の維持・徹底を図る。</p> <p>□生徒一人ひとりの多様な学びが実現できる環境整備を計画的に進める。</p> <p>◇エビデンスデザイン（U D）に配慮した教育環境の整備を推進する。</p>	<p>○生徒の安全・安心を第一に考え、不断の見直しを図りながら教育環境の維持、組織的な安全管理と計画的な修繕を行うことができた。</p> <p>□「ほっとルーム」の生活及び学習環境はほかの整備を進めることができた。GIGAスクール端末PCの家庭利用に関わる規定整備を進めることができた。</p> <p>◇外部講師による小中合同校内研修を実施し、U Dの視点を取り入れた授業改善、教室等の学習環境の見直しを進めることができた。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>	<p>・「立派な学校」において老朽化の修繕はすぐに直していただくのは難しいと思われが生徒の安全第一を考えた早期の発見、補修をしていただくことはこれからはこれからも続けて頂きたい。すでにあるかもしれないが、チェック項目を設け、点検し教職員全員が共有出来るようにと思う。</p> <p>・特になし。</p> <p>・「立派な学校」において老朽化の修繕はすぐに直していただくのは難しいと思われが生徒の安全第一を考えた早期の発見、補修をしていただくことはこれからはこれからも続けて頂きたい。すでにあるかもしれないが、チェック項目を設け、点検し教職員全員が共有出来るようにと思う。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
安行東中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○目指す学校像の具現化に向け、教職員の資質及び能力の育成。教職員経歴に応じた学校運営参画意識の向上を図ることにより、教職員一人ひとりの指導力を高める。</p> <p>□不登校生徒の実態に応じた個別最適な支援及び教育相談部会を中心とした組織的な対応により、不登校生徒出現率を削減する。(不登校支援100%、不登校出席率2%以内)</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○年度当初による学校経営方針の説明を行い、今年度の重点課題について共通理解を図った。</p> <p>○教職員との面談で、キャリアに応じた目標を明らかにし、教室訪問を実施した上で、助言と評価を行い教職員の指導力を高めることができた。</p> <p>□12月現在で新たな不登校生徒の出現率は1.6%で7名であった。</p> <p>□教育相談主任及び学生主任と連携を図り、SCやSSW、子育て相談課などを積極的に活用するなど、組織的な支援を実施することができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりの指導力の向上も大切であるとともに、チームとしての組織力を相互に理解し、リズバウトすることで高めてもらいたい。 ・ほつとルールーム及びGIGAスクール端末の活用、不登校生徒対策については、大いに評価できる。 ・不登校生徒の対応に苦慮しているが、家庭訪問を増やすことは難しいのか。 ・不登校生徒を無くすのは大変であるが、これから更なる愛情をもって根気強く対応してほしい。
	教育課程	<p>重点目標</p> <p>○単元テスト等を活用し、生徒一人ひとりに応じた基礎学力の定着及び教員の授業改善における研究と実践を進める。</p> <p>□小中学校が連携し、9年間を見通した学力向上、進路指導、教育相談等を行っていく。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○単元テストを実施することにより、生徒は短い範囲内での学習の振り返りをする機会をつくることができた。</p> <p>○単元テストを通して、自分の課題を理解することができ、課題克服に向けた学習方法への習得につながることができた。</p> <p>□安行地区校長研究協議会で学力向上を共有課題とし、安行地区として学力向上に努めた。</p> <p>□夏季休業中に不登校生徒対象の進路説明会や小中学校連携研修会を実施し、9年間を見通した児童生徒の育成について取り組むことができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストは勉強をするに当たり、不得意な所をすぐ見つけ出せる点で、大変良いと思う。 ・学習に対して生徒が受動的ではなく、考える力や教科の特性を味わえる授業改善を。 ・単元テストのシステムが定着してきたので、生徒がテストの結果をどのように理解、活用できているのか教えてほしい。 ・地区校長研究協議会は、有意義な会であり、小中学校も通じて教育の推進が期待される。 ・小中学校の連携は今後もどんどん進めてほしい。
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	<p>重点目標</p> <p>○学校により、学校公開、ホームページ等による「学校の見える化」を実現する。</p> <p>□学校運営協議会及び民生委員児童委員協議会との連携を図った安全・安心な学校教育活動の推進。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○学校によりや学校公開を通して、多くの保護者に校長としての教育方針及び学校教育活動について理解いただく機会を作った。</p> <p>○12月保護者学校評価アンケート(適切な情報提供)において肯定評価は86%で、昨年度よりも下回ってしまった。</p> <p>□学校運営協議会を通して、学校の教育方針や生徒の実態についての周知と、委員からの評価と意見をいただくことで、学校運営の改善が努められた。</p> <p>□夏季休業前に民生委員児童委員との連絡会を開催し、地域と連携した生徒指導を行うことができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の様子を更新されているが、その他の学校情報があり更新されていないので、「学校の見える化」を推進してほしい。 ・学校によりや学校の様子が見られることはありがたいと思う。 ・PTAとして1回1回のあいさつ運動を行い、挨拶を返してくれる生徒や自ら挨拶できる生徒が増えた。 ・地域との関係は大切であり、今後も学校運営協議会や民生委員との連携を推進してほしい。 ・管理職と民生委員でもよいので、情報交換する機会を増やしてほしい。
	教職員の資質向上	<p>重点目標</p> <p>○「授業が命」を合言葉として、授業力向上のための教員間の学びあいを高めあいの充実を図る。</p> <p>□教職員の資質向上を推進し、教職員が笑顔で生徒・保護者・地域から信頼される学校を経営していく。</p> <p>◇事務職員と連携を図る。</p> <p>◇教職員におけるワークライフバランスへの意識と働き方の改善を図る。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○単元テストの結果を基に教員は生徒の学習理解度及び定着度を把握するとともに、今後の授業改善につなげることができている。</p> <p>○研究推進委員会を中心となり、全国・県学力学習調査の分析を行い、研修を通して授業改善に努めた。</p> <p>□倫理確立委員会の研修だけでなく、日常で感じるヒヤリッとした状況などを教職員に伝えることにより、事故防止の意識向上に努めることができた。</p> <p>□教室訪問を通して気づいたことをフィードバックすることで、教職員の資質向上へとつながった。</p> <p>◇事務職員と連携を図り、休暇の取得状況について把握に努めることができた。しかし、取得の難しい教員への改善については難しいかった。</p> <p>◇休養及び睡眠の必要性について教職員研修を実施し、働き方に対する意識の改善を図った。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による単元テストの理解、活用方法を教えてほしい。 ・特になし。 ・先生方について、自分の時間も大切に、気持ちに余裕をもって指導に取り組んでほしい。 ・教職員は特別な職業に見られる所がある。勤務時間も言ってもっと改善されるべきだと思う。過剰な負担のかからないよう管理をお願いする。 ・教職員の働き方改革は、ムードとして高まりつつある。実効に期待している。 ・使えるものは丁寧に使用し、安全・安心のために、限定的な予算で対応してほしい。 ・HUGゲームを行うことで、学校内の意識が高まり、危険箇所等の認識が高まる。ぜひ来年度も継続してほしい。 ・予算的な制限はあるが、問題箇所を改善してほしい。 ・中学校は地域の避難所となっている事もあり、整備などについても、町会として協力できればと考えている。
施設・設備等の管理	<p>重点目標</p> <p>○生徒の安全を最優先に、学校の状況に即した安全管理の維持・徹底を図る。</p> <p>□本校の実態やユニバーサルデザインに配慮した教育環境及び避難所として活用するための必要な整備を進める。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○毎日の教室訪問と同時に校内の危険箇所や修繕箇所がないかを確認することで、学校施設による事故を防ぐことができた。</p> <p>○限りのある修繕費を有効に活用するため、生徒の安全面を鑑みながら計画的に活用することができた。</p> <p>□教室については、前面にはできるだけ掲示物を減らすなど、ユニバーサルデザインを意識した教室設置ができています。</p> <p>□教室棟1階に多目的トイレの設置が決まるなど、避難所として活用するための整備も進んでいる。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・予算的な制限はあるが、問題箇所を改善してほしい。 ・中学校は地域の避難所となっている事もあり、整備などについても、町会として協力できればと考えている。 	

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
戸塚西中	組織運営	<p>○教職員一人ひとりが組織人として個々の特性を認め互いに尊重し協働しながら、学校組織の円滑な運営を担う教職員集団の一員として主体的に教育活動に参画することができる教職員集団を構築する。(組織人の自覚と目的意識をもって業務を遂行できた職員以上90%以上)</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>B</p>	<p>このような視点でこのような業務を行うて欲しいと明確(具体的)に伝えてあげること、自分のやるべき方向が見えてくると思います。この結果(話した内容)を教務主任・学年主任にも共有しておきたいとは思いますが、</p> <p>・意識の向上がもっと進めば、負担軽減等の良い意見がたくさん出てくるのではないかと。今年度の達成は評価されると思う。</p> <p>・職員育成に重点を置き様々な学校行事に取り組みされていることが分かります。明確な目標および具体的な方策により良い方向に進んでいると感じ取ることができそうです。</p>
	教育課程	<p>○非認知能力向上から円滑な学級経営、学力向上につながる教育活動の推進と生徒が自分自身や自分の成果をしっかりと表現し、自己肯定感を向上させることができるように育成できる教職員集団をつくる。(非認知能力に関する質問項目において生徒の肯定度90%以上)</p> <p>□不登校支援率100%にする。(地域ハートフルサークルの年3回の開催 アンケート満足評価90%以上)</p>	<p>B</p>	<p>・授業中の生徒達は落ち着いて真剣に取り組んでいる姿は素晴らしい。校長が掲げている非認知能力の向上については大賛成です。この取り組みを通して人生の豊かさや成功につながる力を育てていきたい。</p> <p>・全国学力学習状況調査などの結果から市内では高い学力水準であることはとても誇らしく常日頃からの教職員の努力の成果だと評価できると思います。相互授業参観などの取り組みにより教員の授業力向上意欲が高まったこともよいと思います。一方で低学力層に対する補習などをもっと充実させ高学力層との差を埋めたいと考えています。</p> <p>・上位のみでなく学力の底上げに努めるとともに、文化行事にも高い意識をもって取り組まれています。さらに非認知能力の向上、豊かな人格形成への意識を、当館の児童健全育成のお手本としております。</p> <p>・不登校生徒の数が年々増えており、保護者と学校がうまく連携を取り生徒の学力をサポートしていくことが重要であると考えられている中で、地域ハートフルサークルの開催などを通じて教職員の対応力や各家庭の現状を把握できたのは評価に値すると思います。</p> <p>・課題に沿って確実に改善されていると思う。ハートフルサークルでの保護者へのアプローチは取の残される不安感を払拭できずに素晴らしい。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	<p>○開校30周年行事を成功させる。(学校評価生徒、保護者、地域において行事を通し生徒が満足感や成功を味わえるようつとめている90%以上)</p> <p>□地域の学校として、広く活動が認められ、応援される学校をつくる。(学校は信頼できる95%以上)</p>	<p>A</p>	<p>・学校が地域の人々をつなぐ取り組みを行う事で信頼が生まれ応援される学校づくりができると思っています。体育祭や合唱コンクールでの生徒達の取り組みに大変感動しました。</p> <p>・町会との防災訓練や講演会の取り組みは素晴らしいです。</p> <p>・町会との防災訓練の取り組みは良かったと思うが、町会の人数があまり集まらなかったため、何か策があったらと思う。(生徒が保護者を誘うなど)</p> <p>・町会と連携した行事の実施や、定期的な学校公開、周年行事への招待など、学校は開かれた学校づくりに尽力していると思われそうです。</p>
	教職員の資質向上	<p>○教員自身がウロビエイングの向上を重要性を認識し、やりがいをもつて業務に邁進できる環境をつくる。(やりがいをもって仕事ができることができていた教員100%、教師といふ職業を選んでよかったと感じる100%)</p> <p>□授業力の高い教師集団をつくる。(生徒、保護者の授業が分かりやすい評価90%以上)</p>	<p>A</p>	<p>・お金を貰っている以上はプロである。まず原点はそこにある。一人ひとりにそこをしっかりと自覚させる。その上で個々に応じた働き方や一人ひとりの成果をしっかりと認めて、ちよと大袈裟なくらい褒めてあげることが大切だと考えます。</p> <p>・先生方が時間のゆとりをもてるような取り組みは生徒にも良い関わり方ができるようなことだと思います。小学校との連携は勉強会だけでなく生活面でもキヤップの出来ないような取り組みを望みます。</p> <p>・教職員の勤務環境を整えることは重要な課題の一つだと思われ、フレックス制の導入など積極的に取り組まれている様子が良いと思います。</p>

令和7年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)	
		年 度 目 標	年 度 評 価		
戸塚西中	施設・設備等の管理	<p>重点目標</p> <p>○「美しくしている学校」「安全な学校」の確立 (学校評価の安全項目の質問において安全であるから9割以上)</p> <p>□地域の活動に視点を置いた学校施設の整備</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○・清掃時間の短縮により、やらされる清掃ではなく「主体的にきれいにする」活動として、無言清掃を常態化する努力が見られた。 ・職員室の美化、安全について、定期的に教頭を中心に声をかけ整理整頓を徹底した。</p> <p>□地域連携防災訓練時に指摘された校内案内を設置した。 □施設利用の整備を行い、地域クラブ化に向けた環境整備を行った。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)</p> <p>・校内はいつもきれいにされていると思います。</p> <p>・校内案内板でとてもわかりやすくなったと感じます。</p> <p>・学校を安全な施設にするためには、施設・設備の整備は必要不可欠です。生徒の安全確認と いっしょ点においてもこの予算は削るべきではないと思います。予算を削ったことにより何が事故が起 きたら又問題につながると思いますので、市の予算として、施設設備が十分にできるような予 算を確保してもらいたいと思います。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価	年 度 評 価		達成度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
			年 度 目 標	年 度 評 価		
鳩ヶ谷中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○ 校長の当事者意識の醸成と逆ピラミッド型の組織づくり</p> <p>□ 体験活動を通して実感の伴った学びを充実</p> <p>◇ 不登校生徒の学びへの接続 100%の実現</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○ 校外学習や宿泊行事をはじめとする学校行事において、学年や担当から新たな企画を提案、検討し、実施することができた。</p> <p>□ 修学旅行や水上自然教室では、生徒の想いを形にする学びや体験活動が展開された。特に、2 学年の校外学習では、エリアを拡大し、新たな実施方法で実施し、生徒の満足度も高かった。</p> <p>◇ ほとんどの利用について、教育相談部会を中心に検討し、1 学期に開設した。地域の主任児童委員による支援や、10 月から時間割による担当教員配置制に移行する等、状況に応じて整備した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が同じ方向を向き、自信をもって取り組んでほしい。 ・教職員一人ひとりがアイデアを出し合って検討し、今の時代に対応した教育活動を展開してほしい。 ・学校行事や校外学習において、生徒からのアイデアを実現するために、より良い体験活動とする体制がきている。 ・今後とも生徒に立案・検討・実行する経験を積ませてほしい。 ・価値観の多様性を認めつつも、不登校生徒を減少させてほしい。 ・不登校対策においても、小学校との連携を強化していくことが望ましい。 ・ほとんどの利用については、目的や運用が分かりやすい面があるので、より広く、柔軟に考えていく必要がある。 	
		<p>教育課程</p> <p>○ 個別最適な学びと協働的な学び</p> <p>□ 学習者自身の P D C A</p> <p>◇ 生徒同士の教え合いや対話的な活動</p> <p>◇ 授業開始時のトレーニング活動</p>	<p>○ 各教科において、ICT 機器を効果的に活用し、対話や協働の場を意図的に設定したりする授業が展開された。</p> <p>□ 1 学期の中間テストを廃止したことにより、単元テストに対する教員の意識は高まったが、年間を通じて取り組みも教員は限られた。今後、成果と課題を明らかにし、次年度以降の在り方に反映していく。</p> <p>◇ 多くの教科で対話型の授業が展開され、ICT を活用したドリル学習も積極的に活用した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応した学びを展開するのは、大変だと思うが、令和の時代に沿いながら、生徒に自信をもたせる指導をお願いしたい。 ・グループごとの対話的な授業や、目的をもった ICT 機器の活用を進めてほしい。 ・生徒の理解度を確保できる単元テストの良さも踏まえつつ、学習の定着を確認できる定期テストも重要である。 ・対話的な学びは、生徒同士が教え合うことで理解を深めることができ、学力向上につながるかと考える。 ・ICT を効果的に活用することも重要であるが、時には、慎重に進めることも大切である。 	
開かれた学校づくり		<p>○ 機能的な学校運営協議会の開催及び研究委嘱を通じた小中連携の強化</p> <p>□ 子どもの力を地域に還元し、地域の活性化につなげる</p> <p>◇ H P の最大限の活用</p>	<p>○ 学校運営協議会では、事前アンケートを元に熟議を展開し、地域での生徒の生徒の活躍促進に向けたアイデアや教職員の任用について意見を交わした。</p> <p>2 年に渡る小中連携の委嘱研究では、成果と課題を2月に市内外に発表することができた。</p> <p>□ 12月に自治会や関係機関の協力を得ながら、地域合同防災訓練を実施した。一方、地域の祭りの実施時期が、定期テストの直前に変更となったことで、生徒に積極的に働きかけすることができなくなった。</p> <p>◇ 日々の教育活動における生徒の活動や宿泊行事の様子等、積極的にWEBサイトを更新することができた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの小中連携の研究を生かして、今後も9か年を見通した教育を目指してほしい。 ・学校運営協議会とPTAの意見交換や自治会との連携を強化し、学校を核とした地域づくりを進められると良い。 ・地域合同防災訓練をはじめ、お祭り等の地域のイベントを通して、地域と学校の交流を深めることができた。 ・鳩ヶ谷公民館の文化祭に参加するなど、地域と交流する機会が増えるといい。 ・今後ともWEBサイトや庁中だまりの回覧で、学校の様子が見える学校づくりをお願いしたい。 ・保護者や地域に向けた積極的な情報発信を望む。 	
		<p>○ 教職員事故、不祥事、ハラスメントゼロ</p> <p>□ 自己研鑽の時間を確保することで人材育成に努める</p> <p>◇ 指導力、授業力の向上</p>	<p>○ 教頭を中心とし、短時間の倫理確立委員会を毎週実施したり、職員会議後に不祥事防止プログラム研修や情報提供を毎月実施したりした。職員の啓発は校長だよりから職員会議の指示・伝達資料へと形式を変更した。</p> <p>□ 各種研修への積極的な参加を促すとともに、校内研修で、校内の教員が講師を務める等、教員同士が学び合う環境が整っている。また、次年度に向けて、総合的な学習の時間の指導計画を見直している。</p> <p>◇ 小中連携推進協議会を中心に、3 校合同研修を年2回(8・12月)に実施した。</p> <p>取組みを推進するために、教科や領域ごとに3 校交流グループを編成し、実践することで、授業や学校行事で連携する機会が増えた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による不祥事報道が後を絶たないが、引き続き、校長を軸とした教職員の連携体制を継続し、生徒が安心して通える学校であってほしい。 ・教職員が研修に積極的に参加したり、校内研修の講師になって学び合うことができ、生徒の学力向上につながる。 ・小中一貫教育への取り組みを継続し、連携を強化してほしい。 ・指導力や授業力の向上のため、小中連携による授業参観等を継続し、良い取り組みを互いに取り入れ、実践していきると良い。 ・生徒の個性豊かな作品展示、学年や学級の良さを生かした校内掲示、廊下等への生花等、校内環境の整備を継続してほしい。 	
施設・設備等の管理		<p>○ 豊かな情報への醸成</p> <p>□ 機能的な防災拠点としての学校づくり</p> <p>◇ 子どもたちの安全と安心づくり</p>	<p>○ 生徒の作品を展示したり、生徒の活躍が分かる学校行事の写真や階段に掲示したりすることで、学年や学級への所属意識を高めた。</p> <p>□ 1 学年の防災学習として、避難所設置や避難所運営ゲームに取り組み、生徒の防災意識を高めた。また、施設面では、体育館出入口の階段の改修を行った。</p> <p>◇ 盗撮事件を受け、安全点検体制を強化したり、安全・安心上の配慮から教室等の施設体制を見直した。部活動の練習中、救急搬送となる重大事故が起きませんでした。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・鳩ヶ谷公民館の文化祭に参加するなど、地域と交流する機会が増えるといい。 ・災害発生時、中学生の力が頼りになる。また、鳩ヶ谷中学校が避難所となるので、生徒の防災意識を高める取組みを今後も継続してほしい。併せて、少しずつでも良いので、リアプリー七も進めてほしい。 ・生徒の安全・安心のため、破損箇所や危険箇所、施設の点検等、引き続き、事故防止に努めてほしい。 ・部活動の練習においても、生徒の注意力等、学校全体で危機管理意識を高める指導をお願いしたい。 	
		<p>○ 豊かな情報への醸成</p> <p>□ 機能的な防災拠点としての学校づくり</p> <p>◇ 子どもたちの安全と安心づくり</p>	<p>○ 生徒の作品を展示したり、生徒の活躍が分かる学校行事の写真や階段に掲示したりすることで、学年や学級への所属意識を高めた。</p> <p>□ 1 学年の防災学習として、避難所設置や避難所運営ゲームに取り組み、生徒の防災意識を高めた。また、施設面では、体育館出入口の階段の改修を行った。</p> <p>◇ 盗撮事件を受け、安全点検体制を強化したり、安全・安心上の配慮から教室等の施設体制を見直した。部活動の練習中、救急搬送となる重大事故が起きませんでした。</p>	D		

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		運 成 度	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重 点 目 標	重 点 目 標 の 達 成 状 況		
八幡木中	組織運営	<p>○若手、ベテランそれぞれの良さを生かし、チーム八幡木中としてスピリット感をもった機動的な組織を確立する。</p> <p>□不登校生徒やその保護者と積極的につながり、信頼関係を構築して社会的自立を促していく。旭ヶ台地区の教育相談におけるセンター機能として、ほっとルームの運用を進める。</p>	<p>○教職員とのコミュニケーションを基本に、月1回の若手研修会や三研修会等を実施し、教育公務員としての自尊を高めた。</p> <p>○「道徳の八幡木中」として機運を高め、学校公開日で道徳の授業を全学年で実施した。</p> <p>□地域人材による不登校支援センターとしてとまり木ルームを1月に開設した。日々の適切な対応で不登校生徒支援率100%達成。</p> <p>□旭ヶ台地区の不登校児童生徒及び保護者の教育相談会を2回実施し、つながりを持った。</p>	A	・八幡木中の道徳の授業を参観すると、大人になっても大事なルールを意識して、生徒同士でデイスカッションしていることが良かった。
	教育課程	<p>○学習に高い意識を持っている生徒とそうでない生徒の差を小さくするため、授業が楽しい自分もやれればという経験を授業中に味わわせる。</p> <p>□チーム八幡木中で市委嘱研究において道徳の研究を進め、授業力の向上を図り生徒の道徳力を高める。</p>	<p>○数学で昼休みに生徒の学び合いを取り入れた学習機会を設け、教科担当と学年職員で基礎定着の成果を挙げる。定期テスト前の補習や冬休み中に3年生対象の学力アップ教室を実施し、一人ひとりの学習状況の改善を図る。</p> <p>□道徳の授業で発問を吟味するなど指導方法の工夫改善を進めた。語合い、学び合い活動等を積極的に取り入れるなど方策を示し、改善を図った。</p>	A	・八幡木中で次年度準備をしている学習計画を立てて定期テストに取り組むことは、素晴らしい。一般社会で仕事ができる人は、段取りや計画を立てることを一番大事にしている。中学時代に教えて、学習以外でも計画性をもって取り組むことのできる生徒を育てて欲しい。
開かれた学校づくり		<p>○地域と学校が目標を共有し、WIN-WINな関係を築けるように、学校の様々な教育活動について保護者や地域の方に参加していただく。</p> <p>□学校HPの積極的な更新を行い、保護者・地域に公開していく。</p>	<p>○岸川中ととまり木ルームの担当者、本校の学校運営協議会委員、民生委員、主任児童委員、保護司、元PTA会長等が運営スタッフとしてとまり木ルームが開設した。川口市内の不登校児童生徒とその保護者相談会を継続して行った。</p> <p>□日々の活動状況や行事の様子をHP等を使い広く広報できた。HPの更新やメール配信も積極的に行うことができた。</p>	A	・不登校生徒や保護者の居場所としてのとまり木ルームを、次年度以降も継続して設置して欲しい。(回答) 次年度以降の運営について、3月18日9時よりスタッフと管理職で打ち合わせをする予定。
	教職員の資質向上	<p>○教師として生徒を伸ばすことのできる力を身に付ける。外部講師を指導者として教員以外の社会を学び、社会人としての素養を身に付ける。</p> <p>□様々な経験をし、指導の幅を広げるためにも、ワークライフバランスを考慮し、視野を広げる時間を作る。</p>	<p>□日頃の活動状況や行事の様子をHP等を使い広く広報できた。HPの更新やメール配信も積極的に行うことができた。</p> <p>○教員が互いの授業を見合う機会や他校の働いた実践を見る機会が増えている。授業参観後、参観者が若い教員に指導をする機会が増えた。若い教員のICT活用方法をベテラン教員が学ぶ機会になった。</p> <p>□先輩から若手への助言のもと、健康第一に、時間を意識した勤務を進めた。今年度より下校時刻を16時50分にしたこと、学期末に5時間授業を1週間設けたことで、時間のゆとりができて働き方の改善を進めた。</p>	B	・とまり木ルームの構造上、隣のステップルームに声が響き学習に支障があった。とまり木ルームは、いつ来てもよい、誰が来てもよい、しゃべらなくてもよい、それが生徒にとっての居心地のよさになる。スタッフの心構えとして、三たがり(関わりたがり、知りたがり、教えたがり)を気を付けたい。
施設・設備等の管理		<p>○老朽化が激しい箇所、特にグラウンド改修、ほっとルームの整備に見直しを付ける。</p>	<p>○旧金工室をほっとルーム、教育相談室、ステップルームに改修し運用した。生徒用トイレ改修が次年度以降に延期した。代わりに業者によるトイレのクリーニングと換気扇の設置を行った。計画的に素早い修繕を徹底し事故ゼロ。</p>	B	・今年度の不登校生徒数といじめ認知件数について教えて欲しい。(回答) 2月20日現在、不登校生徒数は33名、いじめ認知件数は18件である。
			<p>○旧金工室をほっとルーム、教育相談室、ステップルームに改修し運用した。生徒用トイレ改修が次年度以降に延期した。代わりに業者によるトイレのクリーニングと換気扇の設置を行った。計画的に素早い修繕を徹底し事故ゼロ。</p>	B	・備置倉庫の移動場所は校舎内か、外に専用高庫を設置するのか、川口市に確認して欲しい。
				B	・川口市としてクラウドファンディングで改修できないのか。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
		重点目標	重点目標の達成状況	
里中	組織運営	○不登校生徒を減少させるとともに、学びの保障に向けた支援率を100%にする。 (令和6年度不登校生徒数の割合4.8%)	○ステップルームを活用したり、家庭訪問を実施したり、オンライン授業を実施したりしながら、不登校生徒の学びの保障に向けた支援を100%できたが、不登校生徒数の割合は5.1%となった。 また、ステップルーム登校の生徒には、通知表とは別に文書表記による評価を実施した。	・地域人材が生かされている。 ・ステップルームをもっと生徒に利用してほしい。 ・ステップルームを利用している生徒の成績と進路が心配である。
	教育課程	○端末の更なる活用と効率的な活用を推進する。 他教科との関連を意識した授業展開を推進する。	○授業の内容等にに応じて、各先生方が効率的に一人一台端末を活用でき、また、他教科との関連を意識した授業を実践でき、個別最適な学びと協働的な学びを実現できた。	・wi-ri環境を良くし、生徒にとって、使いやすい状況にしてほしい。 ・アナログとデジタルの面立が必要であると思う。
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりを推進する。	○地域連携美化活動やステップルームの運営など地域の人材を生かした取り組みができた。 小学校での挨拶運動や学習支援を生徒が行い、小中連携を実現できた。また、夏季休業中に小中の教員の合同の研修を実施できた。	・地域連携の取り組みを増やしたほうが良い。 ・美化活動に民生委員に声をかけてほしい。
	教職員の資質向上	○生徒・保護者が一層相談しやすく、教職員の働き甲斐のある学校づくりを推進する。	○研修したことを踏まえ、組織的に生徒指導、教育相談にあたることができた。学校評価アンケートの保護者からの回答では、ほとんどの項目で、肯定的な回答75%を超えることができた。	・先生方の連携ができてよいと思う。 ・働き方改革をもっと推進したほうが良いと思う。 ・若い先生にベテランの先生が教えなければならぬと感じる。
	施設・設備等の管理	○危機管理意識を高め、安心安全な学校づくりを推進する。	○毎月の安全点検を確実にを行い、生徒にとって安心・安全な環境を保持することができた。 今年度は、大規模なグラウンド改修の工事を実施した。	・プールは今後改修されるのか。 ・水泳の授業は今後どうなるのか。

令和7年度 学校評価のまとめ (学校別)

学校名	領域	学校(幼稚園) 自己評価		評価	学校(幼稚園) 関係者評価(抜粋)
		年度目標	年度評価		
附属中	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○高校や市教委との連携を更に強化し、中高一貫校としての学校運営の軸を確立する。</p> <p>□高校との連携において、教員レベルでの連携を強化し、一貫校としての魅力アップにつなげる。</p> <p>◇募集拡大に向けて、見直しを持った準備を行う。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○定時の打ち合わせに限らず、日常のコミュニケーションを意識して行うことで、中高の連携が深まった。</p> <p>□教科指導の面においても、昨年度よりも連携が深まった。特に、探究学習においては、定期的担当者会議の開催により、6年間を見通した学びや、ゼミ形式の学習など、具体的な成果が上がった。</p> <p>◇教室配置計画策定のための検討会議を定期で開催し、共通理解を図った上で計画を策定できた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>・中高連携は大切なので、今後も進めてほしい。</p> <p>・今後10年を見通した計画を策定してほしい。</p> <p>・引き続き、十分な教員数を確保すべき。</p>
	教育課程	<p>○「よき学習者」としての資質を育成する教育活動を行う。</p> <p>□中高一貫校として、6年間を見通したカリキュラム作りを更に推進する。</p> <p>◇生徒を主語にした教育活動を展開することで、生徒一人ひとりに自己効力感を育み、附属中生としてのプライドを持った状態で高校へ繋ぐ。</p>	<p>○対話的な学びが本校の特色として、どの教科でもスタンダードになり、学校訪問でも高い評価をいただいた。学習面談の効果もあり、全体の学力向上につながった。</p> <p>□高校と連携した学びを創り始めることができた。</p> <p>◇生徒を真ん中に置いた活動を徹底することで、埼玉県学力・学習状況調査における「自己効力感」の向上につながった。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・生徒が生き生きと学ぶ姿が素晴らしい。</p> <p>・掲示等の工夫も見られ、学習環境が整っていた。</p> <p>・一貫生と高入生が織り合っような教育課程を策定してほしい。</p> <p>・特になし。</p>
開かれた学校づくり		<p>○より多くの市民に本校の魅力を知ってもらうため、積極的な情報発信を行う。</p> <p>□市内児童に直接本校の魅力を伝える。</p>	<p>○ホームページの更新は頻繁に行い、閲覧数が大幅に伸びた。学校説明会では、生徒による相談コーナーを設置し、好評をいただいた。</p> <p>□母校訪問については、計画通りに実行し、小学校の先生方からも温かい言葉をいただいた。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>・特になし。</p> <p>・本校で学ぶ意欲のある川口市の児童が、今後ますます入るようしてほしい。</p> <p>・施設、設備、備品等の環境の良さを、更に積極的に周知すべき。</p>
	教職員の資質向上	<p>◇川口市外の児童に本校の魅力を伝える。</p> <p>○校長の「目指す学校像」の具現化に向け、教職員一丸となって取り組む。</p> <p>□学習に軸足を置いた本校の特色を共通理解することで、自覚をもって自己研鑽に取り組む教職員を育成する。</p> <p>◇誰からも信頼される教職員集団を育成する。</p>	<p>◇市外への募集拡大に伴い、塾を中心媒体として周知活動を行った。</p> <p>○機会を捉え継続的に啓蒙を行った結果、教職員の意識の向上につながり、チームとしての一体感が感じられた。</p> <p>□限られた時間内ではあるが、以前よりも教科ごとに話し合う場面が多く見られるようになった。時間外に、個人の教科研究等に取り組み教職員もいた。</p> <p>◇ペクトルは抑えつつも、各教員の特色・持ち味を生かした教育活動が展開できた。ストレスリワークでも、良好な結果が得られた。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p>
施設・設備等の管理		<p>○中高一貫校としての持続可能な施設、設備の活用並びに管理方法を確立する。</p> <p>□募集拡大に向けた施設、設備の計画的な準備。</p>	<p>○定期の管理職の打ち合わせ等を通じて、連携を密にし、施設の円滑な活用・管理を行うことができた。</p> <p>□教頭を中心に高校との連携をした会議を設置し、教室配置計画を策定することができた。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・特になし。</p> <p>・特になし。</p> <p>・安全担当の指導になるが、道交法の改正や募集拡大に伴い、自転車の安全指導については更に徹底してほしい。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
川口市立 高	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○「進学校・SSH指定校として飛躍する」 ○各学科・コースの教育活動の発展とより一層の特色化を打ち出す。 □管理職と教職員の意思疎通のもと、各部署の目標を連携させ、教育活動を飛躍させる。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>OSSH事業を学校づくりの中核とした教育活動を展開し、理数科だけでなく普通科への探究活動の充実とともに、各次・各分掌がそれぞれ特色ある事業を実施した。 □企画委員会を中心に、管理職と主任との意思疎通を密にし、教育活動の推進を図った。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・開校10年に向け、教育課程等変化をつけて教育活動を充実させてほしい。 ・附属中との連携に6年間を見通して取り組まれている。さらに次のステージを見据えた学校経営をお願いする。 ・川口市立高校のブランドを一層高める教育活動を。
	教育課程	<p>重点目標</p> <p>○「国公立大学進学に対応する教育課程の展開とSSH事業を実施する」 ○国公立大学の現役合格者60名以上、共通テストフル出願率30%以上を目指す。 □生徒の進路実現に向け、授業の質を高め、学力向上につながる教育活動を展開する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○国公立大学を第一志望とする33年生徒数は96名 (R6:104名) ○共通テストのフル受験率(出願時)は26.01% (R6:29.8%、R5:25.8%) □授業研究週間を活用し、各教科で授業研究を推進し授業改善を図った。 □夏季休業中の進学補講93講座実施、冬季休業中の進学補講、ブレンド実施等。(各年次で実施)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫生と高校から入学した生徒、それぞれの学力を伸ばしてほしい。 ・共通テストのフル受験について、受験生徒について様々な観点からの分析をしてほしい。 ・「情報」をはじめ共通テストの難化が感じられた。共通テスト対策も充実させてほしい。
川口市立 高	開かれた学校 づくり	<p>重点目標</p> <p>○「地域に関わられた学校づくりを行うとともに、中学校や関係者に積極的に広報する」 ○各学科・コースの魅力・特色を発信する学校案内、ホームページの充実を図る。 □近隣の小中学校や塾との情報交換と連携を図る。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○刷新した学校案内で本校の魅力を、広く近隣中学校に広報した。また、年2回の公開授業を実施した。 HP更新回数:448回 (12/4現在 R6:587回) 部活動発信:関東出場7部活動、IH出場4部活動 □PTA上級学校訪問や近隣中学校、塾主催説明会等に23回参加し、近隣中学生や塾担当者への広報と情報交換を行った。 10/1希望倍率:普通科3.01倍、スボ科1.66倍、理数科1.35倍</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・理数科の魅力のさらなる発信を。 ・将来、地元の生徒が地元の企業に就職するよう地元愛を育てる教育を推進してほしい。
	教職員の資 質向上	<p>重点目標</p> <p>○「学校全体で授業第一主義を徹底する」 ○授業時数の確保に向け、学校行事を精査する。 □探究的な学習を意欲した授業を実践するため、指導方法を研究し、授業力を向上させる。 ◇関係機関の協力を仰ぎ、教職員の資質向上に向けた各種研修会を実施する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○授業時数確保に向けた職員アンケートを実施し、来年度に向けて検討した。また、その他学校行事においても企画委員会を中心として検討を進めた。 □探究活動発表会に向けて、先進校視察を実施するなど、授業力向上を図った。 ◇市教委主催の研修会による資質向上と授業力向上に向けた研修会を実施した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が生き生きと授業に参加している様子が見られよかつた。 ・川口市をリードする教育を展開してほしい。
川口市立 高	施設・設備等 の管理	<p>重点目標</p> <p>○「施設を有効活用するとともに、学校生活及び登下校時の安全に配慮する」 ○登下校時の交通事故防止に向け、立哨指導や注意喚起に取り組む。 □附属中と定時制と連絡を密にし、施設の有効活用を行う。 ◇ICT環境を整備し、効率良く、かつ効果的に教育活動を展開する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○来年度からの自転車に関する法令改定に向け、定期的な注意喚起、立哨指導、自転車点検を実施し、生徒の安全に資する取り組みを実施した。 □全定中委員会や管理職の調整会議を定期的の実施し、施設利用の重複を避けるよう調整している。 ◇グループウェアを活用した授業展開や課題提出、採点返却また会議運営などが、概ね日常化された。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の法令改定に向け、生徒への交通安全指導をお願いしたい。 ・電子顕微鏡など設備が充実してきている。設備面のP Rもしてはどうか。 ・ICTを活用した教育に加え、情報モラル教育もお願いしたい。

学校名	領域	学校(幼稚園) 自己評価		学校(幼稚園) 関係者評価(抜粋)	
		年度目標	重点目標	年度評価	達成度
定時制	組織運営	<p>○「教員数の減少を見据えた効果的な学校運営の組織及び方法を検討し推進する」</p> <p>①定時制の今後について定時制全教員で検討し、解決を図る。</p> <p>②効果的かつ効果的な組織運営を行うとともに働き方改革を継続し、教育の質を向上させる。</p>	<p>○①③市教委、全日制・附属中とともに今後の公務運営の課題を整理し、課題解決に向けた検討を継続している。</p> <p>①③外部機関と連携し「多文化共生に係る教員研修を実施した。」</p> <p>②生徒算集停止後の教員数減少を見据え、カリキュラムを検討した。</p>	<p>○①②教員数の減少による影響の課題があるので、市教委と緊密に連携し、効果的な学校運営を推進しつつ、教育の質の維持・向上に努めることを期待します。支援が必要な生徒、繊細な特性を持っている生徒が増加傾向にあります。職員間で情報を共有し、連携を強化することで、個々の生徒の進路実現に向けた支援体制の構築をお願いします。</p> <p>・近隣中学校、他の高校との情報共有を積極的にを行い、共通課題の解決に向けた連携体制を構築することが良いと思います。</p>	A
	教育課程	<p>○「新教育課程の円滑な実施を進める」</p> <p>③教育内容の保障について、市教委に働きかけ、教育活動の維持、充実を図る。</p> <p>④生徒が主体的な教育を推進し、何事にもあきらめずチャレンジし続ける生徒を育てる。</p>	<p>○④進路希望の未決定者数は「0」である。</p> <p>④「進路の手引き」を活用したキャリア教育(外部講師講演等)を着実に実施した。生徒満足度は85%(昨年度84%)である。</p> <p>④「産業社会と人間」における生徒満足度78%(昨年度78%)、「総合的な探求の時間」における生徒満足度52%(昨年度は40%)である。</p> <p>④授業における生徒満足度は78%(昨年度84%)である。</p> <p>④校外行事を例年以上に実施した。情操教育だけでなく公民共マナー意識を啓発することができた。生徒満足度は73%(昨年度73%)である。</p>	<p>・生徒アンケートにおいて、学校生活の充実度や友人関係の良否、授業の分かりやすさなどは非常に高い水準であることがわかりました。この高い満足度を維持し、教育活動の維持・充実を引き続き努めてください。カリキュラムマネジメントを行い、生徒にとって魅力的でワクワク感のある教育を実践することを期待します。教員の相談対応において、生徒と教員との間に高い信頼関係が構築されており、生徒が学校生活を送るうえで精神的なサポートが十分に提供されていて良いと思います。</p>	A
	開かれた学校づくり	<p>○「積極的に広報するとともに外部組織や地域とWin-Winな関係づくりを構築する」</p> <p>⑤外部組織との連携を一層強化し、生徒の将来を見据えた様々な学びを推進し進める。</p> <p>⑥様々な媒体、機会を活用し定時制の魅力を発信する。</p>	<p>○⑤同窓会(生徒会行事)、全日制(文化祭)、他校(インドネシアの高校、所沢高校(定)、陽春分校)など連携事業を実施した。</p> <p>⑥学校HP更新回数57回(昨年同時期51回)、SNSを活用した情報発信をした。</p>	<p>・生徒が高い満足度で学校行事に参加している現状を踏まえ、今後は教員が支援に回り、生徒が主体的に活動できる場を増やすことで、生徒の居場所づくりやコミュニケーションを活性化させることを期待します。</p>	A
	教職員の資質向上	<p>○「教職員の資質向上を推進させる」</p> <p>⑦校内研修を計画的に行い、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>⑧校外研修への教職員の積極的な参加を推奨する。</p>	<p>○⑦⑧公開授業見学者数13人、保護者から直接意見をうかがうことができました。</p> <p>⑦⑧成績優秀者は1学期62名、2学期47名(昨年度1学期61名、2学期56名)であった。教科指導研究など職員との地道な研鑽による学びなおしの成果があがってきている。</p> <p>⑦⑧様々な行事実施により若手教員の資質向上ができた。</p>	<p>・保護者を交えた公開授業や三者面談など保護者と連携した指導体制は高く評価できる。ICT機器が不足しているにもかかわらず、ICT機器を活用した授業も進んでいることから、引き続き教職員間の教材の共有や研修を通して、より良い授業実践を追究することを期待します。</p>	B
	施設・設備等の管理	<p>○「施設設備の効果的な活用と安心安全な学校生活を保障する」</p> <p>⑨定時制特有の課題に対して安心・安全を確保する。</p> <p>⑩施設・設備を活かした教育活動を展開する。</p>	<p>○⑨防災訓練を2回実施した。</p> <p>⑨防災マニュアルの見直しを行い、追加修正した。</p> <p>⑨校内の防犯対策の見直し、年3回の自転車点検、登校指導を実施するなど安全指導を実施するほか安全指導を実施するなど安全指導を行った。</p> <p>⑩ICTを活用した授業における生徒満足度76%(昨年度85%)である。</p>	<p>・防災訓練、自転車通学の指導など十分に行っており、生徒の安全を第一に考えた指導が十分行われている。今後は特に自転車通学の指導を今まで以上に指導をお願いしたい。</p>	B

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		連 成 度	学 校 (幼 稚 園) 関 係 者 評 価 (抜 粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価		
舟戸幼	組織運営	<p>重点目標</p> <p>○目指す幼稚園像及び幼児像の共有化</p> <p>□ P D C A サイクルの推進</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>○園長の経営方針を周知し、各自の自己評価シートで具体化させた。年間計画、週報等を通して見直しをもち、共通行動をすることができた。</p> <p>○週案や週日案に園児の実態や課題を記録し、個に応じた丁寧な保育を行うことを援助することができた。</p> <p>□ 指導計画の反省の機会をもち、今後の運営の工夫や改善に生かすことができた。</p> <p>□ 教職員の自己評価シートに反映し、工夫や改善をすることができた。</p> <p>□ 年度の途中で校務分掌を見直し、調整した。目標の達成につながった。</p>	A	<p>・教育環境や園児の実態に応じて計画的に丁寧な保育を実践している。今後も継続してほしい。</p> <p>・特になし。</p>
	教育課程	<p>○舟戸学園の連携教育と豊かな自然環境の特色を生かす保育の推進</p> <p>□ 小学校との連携による幼小の滑らかな接続</p>	<p>○舟戸学園の2年間の委嘱研究の成果を発表会を機に発言することができた。</p> <p>○舟戸学園の連携教育を精選しながら充実させることができた。</p> <p>○自然体験活動を計画的に実施することができた。</p> <p>□ 舟戸小学校と連携を図り、アプローチャカリコラムとスタートカリコラムを作成し、幼小の滑らかな接続を図ることができた。</p>	B	<p>・いろいろな経験ができるようにバランスよく計画的に実施している。自然環境が良く、計画的に栽培活動など自然体験活動ができる。PTAのボランティアにより、保育環境や保育内容が充実していることが素晴らしい。一層推進してほしい。</p> <p>・教職員やスタッフが一生懸命がんばっている。そのことを広報し、園児数が増えるように願っている。</p> <p>・月刊誌を親達の段階に応じて読み物にするのも検討してほしい。</p> <p>・ブログで保育の様子がよく分かる。</p> <p>・舟戸学園での連携により子どもたちが互いに育ち合うことができることが素晴らしい。一層推進してほしい。</p>
開かれた学校づくり	幼稚園の保育内容と幼児の姿の積極的な発信	<p>□ 保護者・地域等からの情報の収集による連携の強化</p>	<p>○幼稚園だよりやHPで保育活動を保護者や地域に積極的に発信することができた。</p> <p>□ 保育参観、保護者会、教育相談、個人面談等を計画通り実施することができた。</p> <p>□ 保護者との連携とともに保育の質の向上に生かすことができた。</p>	A	<p>・小学校への接続が滑らかになるように年長組が小学校を探検したり、一緒に遊ぶ機会をもっと増やすとよいのではないか。</p> <p>・園だよりやホームページなどで幼稚園の取り組みや園児の遊びの様子がよく分かる。</p> <p>・地域のリーダーとして美津を幼稚園や保育所に提供してほしい。</p> <p>・特になし。</p>
	教職員の資質向上	<p>○研修の充実による指導力の向上</p> <p>□ 市立幼稚園教育研究協議会の研究の充実</p>	<p>○研修では、様々な事例研究や外部講師の講演を通して学び合い、指導力の向上を図ることができた。</p> <p>□ 2 園が実践事例研究等を通して学び合いを推進し、指導力の向上を図ることができた。</p> <p>□ 指導案や事例集の記述の仕方を見直し、教員が互いに学び合える場にした。</p>	A	<p>・年間を通じて教員が学び合いながら資質を向上させるように計画的に進められている。保育の内容が一層充実するように研究を推進してほしい。</p> <p>・特になし。</p>
施設・設備等の管理	○安全管理の徹底		<p>○日常の安全点検や毎月の定期点検、各行事の事前点検、盗難防止を徹底したことで、事故0を達成することができた。</p> <p>○園児の遊びの広がりに合わせて担任、特別支援教育子ども支援員、ATの配置を柔軟に行い安全の確保に努めた。</p>	A	<p>・避難訓練を計画的に行い、園児の安心安全につなげているところが多い。</p> <p>・盗難防止を今後も徹底してほしい。</p>
	□安全管理の徹底		<p>□ 様々な事態を想定した避難訓練を計画的に実施することができた。</p> <p>□ 教職員事故防止は具体的な事例で当事者意識をもてた。</p>	A	<p>・設備の安全が守られている。年数を重ねているので修繕等により園児の安全を一層強化してほしい。</p> <p>・遊びの場面で危険箇所の認識や教員の配置に死角や不備がないように確認してほしい。</p>

学校名	領域	学 校 (幼 稚 園) 自 己 評 価		学校 (幼稚園) 関係者評価 (抜粋)
		年 度 目 標	年 度 評 価	
南平幼	組織運営	<p>○一人ひとりの園児に対する理解に基づき、その学年に応じた育みたい資質・能力が展開される指導計画を立て、日々の保育を行う。</p> <p>□南平幼稚園「幼保小の架け橋プログラム」の編成をする。</p> <p>◇幼稚園教育要領の趣旨に基づき、遊びを通じた学びを実践する。また「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の姿などを、地域保護者に情報発信する。</p>	<p>重点目標の達成状況</p> <p>B</p>	<p>・少人数での一人ひとりの見守り指導が細やかである。</p> <p>・幼稚園生活で「やってみたい」とする気持ちを大切にしながら、友達と関わる経験が積み重ね、トランプが生活した際も自分の気持ちを伝え、折り合いをつけようとする力が、小学校へ行って育ってほしいかと思う。</p> <p>・幼保小の架け橋プログラムに、新たな展開を期待したい。</p>
	教育課程	<p>○友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、達成感を味わう。</p> <p>□幼児一人ひとりを大切に保育を行う。また、教師との信頼関係を基盤として、友達との関わりを深め、一人ひとりの思いを伝え合ったり考えたりしながら、楽しい、楽しいなどの感情体験を味わい、友達との関わりを深めていきます。</p> <p>□運動会や劇遊びなどのごっこ遊びが大好きで、友達と一緒に「ごっこ」を考えたり工夫したり楽しんでいます。校外の遠足などでは、行く前に図鑑や絵本などを見たり、話を聞いたりします。帰りに、わくわくしながら宇宙の絵を描いたり話を聞いて、みんなで一緒に大きな紙に絵を描いたり、イメージを膨らませて作ることを楽しみました。</p> <p>◇公立幼稚園は、全ての幼児に高い教育の機会を保障する役割があるとされており、母国の絵本を購入するなどして、工夫で親しみました。</p> <p>○祝50周年運動会では、お祝いケーキを作るきっかけ、祝50周年誕生会では、考えて工夫して作った折り紙が遊戯室にひろがらぬ、みんなでお祝いすることができました。「川口の教育10月号」の表紙にもなりました。さらに式典では、実行委員の方々に協力していただき、多くのご来賓の方にご出席賜り感謝いたします。</p> <p>□50周年祝賀会で、子どもたちの幼稚園生活の写真に、BGMではピアノ演奏を行いました。本園のYouTubeチャンネルを流すことができました。</p> <p>◇大分大会や東京大会の全国園長会、夏季教育課程研修会、理事会などに参加。文科科学省の最新資料についても、本園委嘱発表資料として情報発信しました。また各省市庁へ向かい、幼児教育の現状を伝えることができました。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・保育を参観して、同じ学年の友達だけでなく、他学年の子とも遊ぶことができていた。日ごろから交流していることがわかる。</p> <p>・好きな遊びを学びの分野として導いているのが、南平幼稚園（公立幼）の一番だと感じる。またその後を見据えて待つ、その待ちが自立を育てている。</p> <p>・運動会でも、子どもたちの成長に合わせて競技が工夫されていた。</p> <p>・劇遊びでは、子どもたちが楽しみながらやっていた姿を観てこちらも笑顔になりました。子どもの考えや思いを取り入れながら、みんなが工夫して楽しんでいて感じます。また、友達の様子を気にかけながら行動したり、「がんばれ」「がんばれ」などの励ましの言葉を自然に掛けられる子がたくさんいると感じました。</p> <p>・園児数だけ目を向けるのではなく、公立幼稚園は、保育に関わる方々の研修の場、教育の場としての存在である。</p>
開かれた学校づくり	<p>◇特別な配慮を必要とする幼児が、共生社会の担い手として育てられるようにする。</p> <p>○今年度の幼稚園行事は、すべて50周年行事とし、お祝いをする。</p> <p>□50周年実行委員と協力し、11月22日の式典を地域・保護者・園児とともにお祝いをする。</p> <p>◇全国公立幼稚園・子ども園長会での情報は、埼玉県や川口市に向けて迅速に情報発信する。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・地域が幼稚園に何を望んでいるかも、町会長等にリサーチして生かしてほしい。</p> <p>・50周年祝賀会では、南平幼稚園が多くの人に愛され支えられているのがわかりました。</p> <p>・実行委員のメンバーとして、50周年式典・祝賀会と一緒にお祝いすることができました。</p> <p>・県や全国からの情報を得て、伝え、実行する姿勢は得難いもの、このチャンスを活用して生かしてほしい。</p>	
教職員員の資質向上	<p>○昨年度より川口市教育委員会の委嘱により「幼稚園教育」の研修を行っており、令和8年1月21日本発表となる。</p> <p>□川口市立幼稚園教育研究協議会では、市立幼稚園と南平幼稚園の2園で、研修主題「感じて 考えて 友達との関わりを楽しむ」幼児の育成とした研修を深める。</p> <p>◇幼小中の連携を充実させる。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・幼稚園の大切さをアピールして、感謝する場があればと思う。一番最初の社会性を学ぶ場が幼稚園である。団体の生活の好き嫌いも幼稚園の先生方で変わる。とても大切に指導している。</p>	
施設・設備等の管理	<p>○開園50年目となり、老朽化の箇所を含め、日々の安全点検を徹底する。</p> <p>□日々の巡回や毎月の安全点検での修繕箇所について、迅速に対応。少破修繕で、保育室の可動式屋根の修理や一部LEDに交換しました。</p> <p>◇川口市委員会より、不祥事防止についての周知があったが、早急に安全点検項目を修正対応しました。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・老朽化だからこそ、細やかに安全を考慮することが大切である。子どもの目線で目配り、気配りその心を育てる場。しかし危険なところは早急に対応を行ってほしい。</p> <p>・とても清潔にして安全に配慮されていた。</p>	

教育長報告（7）

令和7年度川口市立高等学校卒業者の進路状況について

（令和8年3月31日現在）

川口市立高校(全日制)	令和7年度		
	進路決定者数		
項目	男子	女子	計
国公立大学	19	17	36
私立大学	148	148	296
文部科学省所管外大学校	0	1	1
短期大学（公立・私立）	0	1	1
専門学校等	4	14	18
就 職	0	2	2
進学・就職の準備等	31	9	40
留学、海外の大学日本校	0	0	0
その他	0	1	1
計（卒業生数）	202	193	395
在籍者数	202	193	395

※未定者は「進学・就職の準備等」

川口市立高校(定時制)	令和7年度		
	進路決定者数		
項目	男子	女子	計
国公立大学	0	0	0
私立大学	0	3	3
文部科学省所管外大学校	0	0	0
短期大学（公立・私立）	0	0	0
専門学校等	5	3	8
就 職	4	2	6
進学・就職の準備等	4	8	12
留学、海外の大学日本校	0	0	0
その他	2	4	6
計（卒業生数）	15	20	35
在籍者数	15	21	36

※未定者は「進学・就職の準備等」

※在籍者のうち1名は、引き続き学習中

令和7年度 川口市立高校合計

項 目	進路決定者数			割合 (%)	前年比
	男子	女子	計		
国公立大学	19	17	36	8.4%	-3.8%
私立大学	148	151	299	69.5%	7.5%
文部科学省所管外大学校	0	1	1	0.2%	0.3%
短期大学（公立・私立）	0	1	1	0.2%	-0.2%
専門学校等	9	17	26	6.1%	0.9%
就 職	4	4	8	1.9%	-2.8%
進学・就職の準備等	35	17	52	12.1%	-2.1%
留学、海外の大学日本校	0	0	0	0.0%	0.0%
その他	2	5	7	1.6%	0.3%
計（卒業者数）	217	213	430		
計（在籍数）	217	214	431		

※未定者は「進学・就職の準備等」

※在籍者のうち1名は、引き続き学習中

<参考>

令和6年度 川口市立高校

項 目				割合 (%)
	男子	女子	計	
国公立大学	36	19	55	12.9%
私立大学	154	133	287	67.4%
文部科学省所管外大学校	0	0	0	0.0%
短期大学（公立・私立）	0	2	2	0.5%
専門学校等	7	9	16	3.7%
就 職	8	6	14	3.3%
進学・就職の準備等	33	19	52	12.2%
留学、海外の大学日本校	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0.0%
計（卒業者数）	238	188	426	
計（在籍数）	238	188	426	

※未定者は「進学・就職の準備等」

教育長報告（8）

令和8年度川口市立高等学校入学者選抜結果について

令和8年度 合格発表 令和8年3月6日
 令和7年度 合格発表 令和7年3月6日

全日・定時	学科等	募集人員	性別	令和8年度					令和7年度				
				一般募集			市内中学校出身者		一般募集			市内中学校出身者	
				受検者 572	合格者 366	倍率	計	比率 %	受検者 565	合格者 365	倍率	計	比率 %
全日制	普通	募集人員 R8 240 R7 240	男	219	137	/	66	48.2%	196	124	/	43	34.7%
			女	161	106	/	48	45.3%	205	120	/	53	44.2%
			計	380	243	1.56	114	46.9%	401	244	1.64	96	39.3%
	スポーツ科学コース	募集人員 R8 80 R7 80	男	86	50	/	12	24.0%	75	55	/	15	27.3%
			女	47	32	/	9	28.1%	38	25	/	7	28.0%
			計	133	82	1.62	21	25.6%	113	80	1.41	22	27.5%
	国際 ビジネス	募集人員 40	男			/					/		
			女			/					/		
			計	0	0		0		0	0		0	
	理数	募集人員 R8 40 R7 40	男	39	28	/	10	35.7%	34	27	/	15	55.6%
			女	20	13	/	8	61.5%	17	14	/	5	35.7%
			計	59	41	1.44	18	43.9%	51	41	1.24	20	48.8%

教育長報告（9）

令和8年度川口市学校図書館司書について

1 趣旨

児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成や豊かな人間性を醸成するため、司書教諭と連携して学校図書館に関する活動を行い、学校図書館教育の充実を図るもの。

2 採用人数 44名

3 配置	1人2校兼務	70校
	※1人単独配置校	9校
	合計	79校

4 勤務条件

原則火曜日から金曜日の週4日 1日あたり4時間 年間160日以内

5 業務内容

- (1) 学校図書館の環境整備
- (2) 図書館資料の整理
- (3) 読み聞かせ等、読書活動に関する行事や児童の活動に関する支援 等

6 採用者

別紙のとおり

7 任期

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

令和8年度 川口市学校図書館司書 配置一覧

新規

令和8年4月1日現在

	氏 名		経験年数	配 置 校 (○本務校)					
				在 校 勤務曜日			在 校 勤務曜日		
1	浅香 裕子	アサカ ユウコ	11	差間小					3
2	阿部 雅之	アベ マサユキ	2	○ 東領家小	2	水・金	領家中	2	火・木
3	飯田 貴子	イダ タカコ	10	○ 慈林小	3	水・金	安行小	1	火・木
4	五十嵐 瑠美	イガラシ ルミ	5	○ 幸町小	2	水・金	仲町中	1	火・木
5	一世 和代	イチセ カズヨ	11	○ 芝樋ノ爪小	3	水・金	小谷場中	3	火・木
6	稻留 麻子	イナトメ アサコ	6	○ 辻小	2	水・金	鳩ヶ谷中	3	火・木
7	岩上 由貴	イワカミ ユキ	2	中居小	2	水・金	○ 幸並中	2	火・木
8	宇田川 美奈	ウダガワ ミナ	2	鳩ヶ谷小	2	水・金	○ 榎松中	2	火・木
9	海野 祐子	ウミノ ユウコ	8	芝小					5
10	岡部 さかえ	オカベ サカエ	9	○ 桜町小	3	水・金	神根中	3	火・木
11	歌岡 智子	カオカ トモコ	1	○ 新郷南小	1	水・金	里小	1	火・木
12	熊井 朋美	クマイ トモミ	7	安行東小	3	水・金	○ 戸塚小	1	火・木
13	熊田 真智子	クマダ マチコ	3	青木北小					3
14	倉持 貴子	クラモチ タカコ	10	柳崎小	3	水・金	○ 前川東小	1	火・木
15	小沼 和美	コヌマ カズミ	6	○ 本町小	1	水・金	青木中	3	火・木
16	小山 未来	コヤマ ミキ	7	元郷南小					2
17	今 宏美	コン ヒロミ	5	○ 上青木南小	5	水・金	舟戸小	3	火・木
18	佐藤 久美子	サトウ クミコ	3	○ 木曾呂小	3	水・金	北中	3	火・木
19	佐藤 伸子	サトウ ノブコ	7	○ 領家小	2	水・金	里中	2	火・木
20	篠 里花	シノ リカ	3	芝富士小	3	水・金	○ 芝西中	3	火・木
21	篠原 由紀	シノハラ ユキ	1	○ 戸塚南小	1	水・金	安行東中	1	火・木
22	園部 さおり	ソノベ サオリ	6	○ 並木小	1	水・金	上青木中	1	火・木
23	高田 信一郎	タカダ シンイチロウ	5	戸塚北小	2	水・金	○ 戸塚中	2	火・木
24	竹内 芳夫	タケウチ ヨシオ	1	○ 仲町小	1	水・金	岸川中	1	火・木
25	田中 麻里	タナカ マリ	1	在家小	1	水・金	○ 東中	1	火・木
26	土屋 賢治	ツチヤ ケンジ	4	十二月田小	1	水・金	○ 朝日東小	1	火・木
27	中宇彌 弘子	ナカウネ ヒロコ	9	神根小	3	水・金	○ 神根東小	3	火・木
28	中川 真由美	ナカガワ マユミ	10	戸塚綾瀬小	3	水・金	○ 在家中	3	火・木
29	中山 優子	ナカヤマ ユウコ	3	新郷小					3
30	夏目 章絵	ナツメ アキエ	10	南鳩ヶ谷小	3	水・金	○ 安行中	3	火・木
31	南戸 綾	ナンド アヤ	4	青木中央小					1
32	西岡 裕子	ニシオカ ユウコ	8	○ 根岸小	1	水・金	八幡木中	1	火・木
33	信田 千絵	ノブタ チエ	1	○ 戸塚東小	1	水・金	戸塚西中	1	火・木
34	馬場 千尋	ババ チヒロ	5	飯塚小					2
35	平野 玲子	ヒラノ レイコ	2	芝園学園中					1
36	堀田 伊里子	ホリタ イリコ	11	○ 朝日西小	1	水・金	十二月田中	3	火・木
37	前川 恭子	マエカワ キョウコ	8	○ 元郷小	1	水・金	上青木小	2	火・木
38	増田 知佳	マスダ チカ	11	元郷中					1
39	松澤 美月	マツザワ ミツキ	9	芝中央小	2	水・金	○ 芝東中	1	火・木
40	松本 実咲	マツモト ミサキ	1	○ 芝南小	1	水・金	芝中	1	火・木
41	水野 綾	ミズノ アヤ	7	飯仲小	1	水・金	○ 西中	1	火・木
42	南 歩美	ミナミアユミ	2	○ 新郷東小	2	水・金	東本郷小	2	火・木
43	山下 美穂	ヤマシタ ミホ	1	○ 前川小	1	水・金	南中	1	火・木
44	山下 良恵	ヤマシタ ヨシエ	7	○ 芝西小	3	水・金	原町小	1	火・木

合計配置校数 小52校 中27校 合計79校 ※内)単独配置9校

・根拠：川口市学校図書館司書配置事業実施要綱 第2及び第3により任用をする。

教育長報告（10）

令和8年度川口市教育相談支援員について

1 趣旨

いじめ・不登校等児童生徒の心の問題の重要性に鑑み、児童生徒・保護者との相談等に応じるとともに、学校・家庭・地域社会との連携を図るため、川口市教育相談支援員を設置し、健全な児童生徒の育成を図るもの。

2 採用人数

すこやか相談員 28名

サポート相談員 28名

3 配置

全中学校にすこやか相談員1名、サポート相談員1名を配置
令和8年度より設置された「芝園学園中学校」にも配置

4 勤務条件

すこやか相談員：原則週5日 1日5時間 年間196日以内

サポート相談員：原則週5日 1日3時間 年間147日以内

5 業務内容

(1) 相談室の運営

(2) 所属校の生徒及び学校区の児童並びに保護者を対象とした、いじめや不登校等に関する相談・援助

(3) 児童生徒とのふれあいを通じた、日常の悩みの相談

(4) 民生委員、児童委員など地域の青少年育成関係者等との連携 等

6 採用者

別紙のとおり

7 任期

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

令和8年度教育相談支援員配置

番号	学校名	すこやか相談員	サポート相談員
1	東中	和田 芙美子	芦田 芳枝
2	西中	金子 厚子	村上 明子
3	南中	石黒 智子	後藤 小夜子
4	北中	松苗 郁子	下田 和子
5	青木中	佐々木 隆美	小堀 美緒
6	芝中	大谷津 和子	澁谷 美貴
7	元郷中	小田長 幹夫	大竹 敦子
8	上青木中	成田 弥寿子	内野 未穂
9	幸並中	濱田 清市	石井 美栄
10	十二月田中	戸簾 暢宏	海宝 一恵
11	仲町中	大野 幸子	井上 多恵
12	安行中	問田 真未子	積田 吉枝
13	芝東中	森元 秀樹	三ツ橋 由香
14	芝西中	近藤 玲子	坂井 恵実
15	岸川中	若林 協子	池上 真由子
16	榛松中	根岸 仁美	浅田 京子
17	小谷場中	佐藤 俊博	田邊 真佐子
18	神根中	田邊 美香	小泉 淳子
19	領家中	川瀬 明子	山田 美奈子
20	戸塚中	弓削田 美幸	駒崎 昌枝
21	在家中	石井 理恵	森田 あけみ
22	安行東中	川田 博史	丸山 雅子
23	戸塚西中	嶽本 美智子	中村 真由美
24	鳩ヶ谷中	宮城 里奈	原 昌子
25	八幡木中	松本 倫子	東宮 有希
26	里中	齋藤 綾子	ブレイクスリー直子
27	附属中	丁野 薫	松村 順子
28	芝園学園中	児成 寿実江	田北 眞美子

教育長報告（11）

令和8年度川口市特別支援教育こども支援員について

1 趣旨

幼稚園、小・中学校において特別な支援を要する幼児児童生徒に対し、学校生活や学習活動などの支援及び幼児児童生徒の健康面の把握や安全面の確保を行うことにより、適切な教育の充実を図るもの。

2 採用人数 160名（長時間勤務：130名 短時間勤務：30名）

3 配置

1名配置校 : 小学校9校 中学校27校

2名配置校（園）: 幼稚園2園 小学校20校

3名配置校 : 小学校12校

4名配置校 : 小学校11校

4 勤務条件

長時間勤務 原則週5日 1日あたり5時間 年間200日以内

短時間勤務 原則週4日 1日あたり4時間 年間140日以内

5 業務内容

（1）特別な支援を要する幼児児童生徒に対する学習活動などの支援

（2）特別な支援を要する幼児児童生徒の健康面の把握及び安全面の確保 等

6 採用者

別紙のとおり

7 任期

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

令和8年度 特別支援教育こども支援員の配置校

番号	配置校	長・短	氏名
1	本町小	長	高橋 彩加
2	本町小	長	加藤 桂子
3	幸町小	長	長野 真理
4	幸町小	長	森野 志津江
5	幸町小	長	鈴木 瑠美
6	幸町小	短	金子 優子
7	仲町小	長	長谷川 泰久
8	上青木小	長	堀井 健二
9	上青木小	長	高橋 直香
10	上青木小	長	三上 秀樹
11	上青木小	短	倉林 洋子
12	元郷小	長	工藤 千春
13	元郷小	長	武居 利江
14	飯塚小	長	米沢 暁子
15	芝小	長	金子 夕子
16	芝小	長	佐藤 玲子
17	新郷小	長	トルオン 直子
18	新郷小	長	吉岡 せい子
19	新郷小	短	今井 由美子
20	神根小	長	小池 久美子
21	神根小	長	石井 修
22	神根小	長	伊藤 百合子
23	神根小	短	高際 みどり
24	青木北小	長	石井 洋子
25	青木北小	長	中島 緑
26	青木北小	長	富士原 正子
27	青木北小	短	原 ゆう子
28	領家小	長	平野 英恵
29	領家小	長	齋藤 まゆみ
30	領家小	短	小川 美穂
31	舟戸小	長	越智 美穂
32	十二月田小	長	杉原 温子
33	飯仲小	長	坂本 仁美
34	飯仲小	長	本多 久男
35	飯仲小	短	岡村 紀子
36	並木小	長	増田 紀子
37	並木小	長	國分 紫津子
38	並木小	短	齊藤 その
39	安行小	長	谷平 美穂
40	安行小	長	西山 真由美

番号	配置校	長・短	氏名
41	安行小	長	猪俣 あすか
42	安行小	短	星川 恵
43	原町小	長	神山 春美
44	原町小	長	星野 綾子
45	原町小	短	古賀 正恵
46	前川小	長	渡邊 智佳子
47	前川小	長	千葉 朋子
48	前川小	短	根岸 由幸
49	戸塚小	長	伊東 真由美
50	戸塚小	長	花岡 麻希
51	戸塚小	長	齋藤 博之
52	戸塚小	短	塩見 裕史
53	青木中央小	長	表 久美子
54	青木中央小	短	樋口 史子
55	元郷南小	長	植松 節子
56	元郷南小	長	黛 淳子
57	元郷南小	短	前川 梢枝
58	芝西小	長	中保 千恵
59	芝南小	長	山本 珠美
60	芝南小	長	島根 綾香
61	神根東小	長	菊地 さと美
62	神根東小	短	浅子 薫
63	朝日東小	長	出羽 奈保子
64	朝日東小	長	片岡 由美子
65	芝富士小	長	平出 美香
66	芝富士小	長	水野 陽子
67	前川東小	長	八藤後 友子
68	前川東小	長	織田 夏織
69	柳崎小	長	前野 雄吉
70	柳崎小	長	臼倉 緒美
71	柳崎小	短	田中 明子
72	芝樋ノ爪小	長	石松 智美
73	芝樋ノ爪小	長	堀江 由紀
74	芝樋ノ爪小	短	内藤 康子
75	新郷南小	長	真庭 泰子
76	新郷南小	長	前田 由紀子
77	上青木南小	長	岡野 和世
78	根岸小	長	信國 優子
79	根岸小	長	杉本 明香
80	芝中央小	長	高木 梨衣

令和8年度 特別支援教育こども支援員の配置校

番号	配置校	長・短	氏名
81	芝中央小	長	加藤 由美子
82	新郷東小	長	小宮 順子
83	新郷東小	長	宮田 美奈子
84	朝日西小	長	長門 成美
85	朝日西小	長	伊藤 みさえ
86	慈林小	長	樋口 玲子
87	慈林小	長	櫻井 昌子
88	差間小	長	本間 光紀
89	差間小	長	佐藤 律子
90	東本郷小	長	高森 利津子
91	東本郷小	長	石澤 雅子
92	東領家小	長	山際 由美子
93	安行東小	長	亀山 晴代
94	安行東小	長	鈴木 亜希子
95	安行東小	長	篠原 直美
96	安行東小	短	瓜生 いずみ
97	在家小	長	有馬 智子
98	戸塚東小	長	小林 恭子
99	戸塚東小	長	長谷河 美幸
100	戸塚北小	長	佐藤 摩耶
101	戸塚北小	長	嗟峨 博美
102	戸塚北小	長	鈴木 直美
103	戸塚北小	短	柳原 温子
104	木曾呂小	長	宮園 綾子
105	木曾呂小	長	菅野 絵美
106	木曾呂小	長	柴崎 由紀江
107	木曾呂小	短	都木 明日香
108	戸塚綾瀬小	長	三浦 由貴
109	戸塚綾瀬小	長	伊賀 朋子
110	戸塚綾瀬小	長	安田 里佳
111	戸塚綾瀬小	短	飯坂 透
112	戸塚南小	長	渡邊 聡子
113	戸塚南小	短	原田 由紀子
114	鳩ヶ谷小	長	片岡 由香
115	中居小	長	藤倉 恵子
116	中居小	長	伊藤 智章
117	中居小	長	高島 いづみ
118	中居小	短	小谷 明美
119	辻小	長	永田 真菜美
120	辻小	短	石渡 悟

番号	配置校	長・短	氏名
121	辻小	短	長谷川 もも子
122	里小	長	服部 香里
123	里小	長	酒井 妙子
124	里小	短	金田 知美
125	桜町小	長	清水 明枝
126	桜町小	長	梅田 要子
127	桜町小	短	近江 里奈
128	南鳩ヶ谷小	長	渡邊 美佐枝
129	南鳩ヶ谷小	短	金子 千夏
130	舟戸幼稚園	長	武藤 麻莉
131	舟戸幼稚園	短	山下 いづみ
132	南平幼稚園	長	脇山 美穂
133	南平幼稚園	短	吉田 スミ
134	東中	長	佐川 富士夫
135	西中	長	辻村 優平
136	南中	長	高木 俊宏
137	北中	長	星野 真琴
138	青木中	長	大山 幸子
139	芝中	長	松尾 和朋
140	元郷中	長	今泉 沙弥香
141	上青木中	長	齋藤 園枝
142	幸並中	長	塩入 良江
143	十二月田中	長	昆野 亮子
144	仲町中	長	岩井 素子
145	安行中	長	佐藤 智子
146	芝東中	長	成田 聖子
147	芝西中	長	佐々木 一二
148	岸川中	長	岡村 初枝
149	榛松中	長	河野 邦夫
150	小谷場中	長	野邊田 淳子
151	神根中	長	長谷川 はるみ
152	領家中	長	荒木 ひとみ
153	戸塚中	長	星川 希
154	在家中	長	真殿 愛弓
155	安行東中	長	上野 麻理
156	戸塚西中	長	秋田 幸代
157	鳩ヶ谷中	長	佐藤 和子
158	八幡木中	長	二渡 麻喜
159	里中	長	小杉 千絵
160	芝園学園中	長	早川 裕子

教育長報告（12）

令和8年度ほっとルーム支援員について

1 趣旨

不登校や不登校傾向の児童生徒への支援の充実を図るため、校内教育支援センターを拠点として補助を行う「ほっとルーム支援員」を配置するもの。

2 採用人数

11名（地域教育支援センター3名、小学校5名、中学校3名）

3 配置

配置校	支援員名	配置校	支援員名
舟戸小学校	大越 章子	芝園学園中学校	石田 友里
上青木小学校	浅田 民子	芝小学校	千葉 由美子
朝日教室	橋本 千絵	安行東中学校	本間 望
十二月田小学校	宮里 智子	戸塚中学校	鈴木 陽子
東本郷小学校	木島 孝雄	中居小学校	平澤 多恵子
神根東小学校	武井 慶子		

4 勤務条件

- (1) 勤務時間：1日4時間 月曜日～金曜日
- (2) 勤務日数：年間140日
- (3) 任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

5 業務内容

- (1) 校内教育支援センター「ほっとルーム」を拠点とした不登校児童生徒支援
- (2) 「ほっとルーム」を利用する児童生徒の学習活動の支援、安全確保
- (3) 「ほっとルーム」の運営について管理職・教職員等との連携 等

6 その他

- ・令和8年度は、ほっとルームの全校設置を目指す。
- ・令和6年度はモデル校へほっとルーム支援員を配置。令和7年度からは、校内教育支援センターの活用状況等、実態を把握しながら、市内全体での不登校支援体制を検討し支援員を配置している。

教育長報告（13）

令和8年度川口市外国人児童生徒支援員について

1 趣旨

外国人児童生徒や帰国児童生徒のうち、日本語が理解できないことで学校生活に支障をきたしている児童生徒を対象に、日本語指導の補助等を通じて学校生活への適応を図るもの。

2 採用人数 6名

3 配置

日本語指導が必要な外国人児童生徒の占める割合が高い市内小中学校

4 勤務条件

原則週4日 1日あたり4時間 年間140日以内

5 業務内容

- (1) 日本語指導の必要な児童生徒に対する学習活動などの支援
- (2) 日本語指導の必要な児童生徒の健康面の把握及び安全面の確保に関する支援

6 採用者

No.	氏名	配置校
1	黄 学清	並木小学校
2	保科 頼江	仲町小学校
3	鐘 麗	芝富士小学校
4	周 萍	青木北小学校
5	鄭 曼梨	芝東中学校
6	叶 林琴	仲町中学校

7 任期

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

議案第 34 号

川口市社会教育委員を委嘱することについて

川口市社会教育委員に別紙の者を委嘱するため、川口市社会教育委員設置
条例（昭和 24 年告示第 85 号）第 3 条の規定により議決を求める。

令和 8 年 4 月 24 日提出

川口市教育委員会教育長 井上 清之

1 委嘱をする者

No.	氏名	委員構成	現在の公職	再・新	条例第3条該当者
1	織本 寛之	小学校校長会	川口市立差間小学校長	新	学校教育関係者
2	森田 吉信	中学校校長会	川口市立高等学校附属中学校長	再	学校教育関係者
3	吉野 浩一	川口市立高等学校校長	川口市立高等学校長	再	学校教育関係者
4	渡辺 浩子	川口市美術家協会	川口市美術家協会会員	再	社会教育関係者
5	兼先 勇	川口市文化団体連合会	文化団体連合会常任理事 写楽会代表	新	社会教育関係者
6	山野 栄三郎	放課後子供教室運営団体	集まれ並木っ子チャレンジ教室コーディネーター 主任児童委員 並木小学校学校運営協議会委員	再	社会教育関係者
7	井口 琴美	はたちの集い関係協力団体	川口茶道会 幹事	新	社会教育関係者
8	松戸 博子	公民館活動団体	青木東公民館利用団体連絡協議会幹事 琴美会責任者	再	社会教育関係者
9	前田 純二	人材バンク魅学登録講師	日本地質学会会員 石油技術協会会員	新	社会教育関係者
10	武内 豊	川口市青少年団体連絡協議会	川口市青少年団体連絡協議会 事務局次長兼会計	新	家庭教育の向上に資する活動を行う者
11	岡田 真理子	川口市民生委員児童委員協議会	川口市民生委員児童委員協議会	新	家庭教育の向上に資する活動を行う者
12	中山 明広	川口市退職校長会	埼玉県弘済会参事	新	知識経験者
13	石原 真由美	川口市食生活改善推進員協議会	川口市食生活改善推進員協議会副会長	新	知識経験者
14	佐内 信之	埼玉学園大学	埼玉学園大学人間学部子ども発達学科専任講師 埼玉学園大学大学院子ども教育学研究科専任講師	新	知識経験者
15	大井田 弘子	川口市視覚障害者福祉協会	川口市視覚障害者福祉協会会長 身体障害者相談員	再	知識経験者

2 任期

令和8年5月16日から令和10年5月15日まで

議案第35号

川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて

川口市学校運営協議会委員に次の者を委嘱・任命するため、川口市学校運営協議会規則（平成21年教育委員会規則第1号）第6条の規定により議決を求める。

記

1 委嘱をする者

(1) 川口市立芝中央小学校

No.	氏名	規則第6条関係
1	澤田 ひろみ	民生委員・児童委員
2	岡島 美絵	SRC相談役
3	塚田 真由美	SRC相談役

(2) 川口市立小谷場中学校

No.	氏名	規則第6条関係
1	加藤 美佐子	教務主任

2 任期

(1) 令和8年4月24日から令和10年3月31日まで

(2) 令和8年4月24日から令和9年3月31日まで

令和8年4月24日提出

川口市教育委員会教育長 井上 清之

学校施設開放事業について

（1）新しい学校施設開放事業の背景及び目的

学校の施設は、社会教育法上、学校教育上支障がないと認める限り、社会教育のための利用に供するよう努めることとされていることから、一般市民の利用については、これまで学校長の判断のもと学校開放事業として運営してきた。

一方で、市全体にわたる統一的で詳細な仕組みがなかったことから、利用団体に偏りが生じ、公平公正な取り扱いとは言えない状態、また、近隣住民との良好な関係性が築けず、学校運営に支障をきたすことが一部生じていた。

さらに、中学校の体育館に設置された空調施設についても、一般団体等の利用に制限があるなど、利用者の健康面での安全性の観点からも、新しい学校施設開放事業の仕組みの構築が望まれていた。

こうしたことから、令和7年12月議会において、「川口市学校施設の使用料に関する条例」を制定（令和8年6月1日施行）し、使用料を徴収することで、中学校体育館の空調の使用や、運動場の夜間照明利用など、施設の適切な管理と安定的な学校施設開放事業の運営を図るとともに、全ての学校施設利用において、利用団体と教育委員会及び学校のかかわりを明確化し、学校施設利用の詳細な取り扱いを明らかにすることで、市全体にわたる公平公正で統一的な仕組みの構築を図るもの。

（2）新しい学校施設開放事業の仕組み

ア 川口市学校施設開放事業に関する規則の制定（資料1）

（ア）学校施設の定期的な利用は教育委員会が許可

（イ）一時的な利用（町会・自治会、PTA等の季節催事など）は校長が許可

（ウ）利用団体により構成される学校施設開放に関する協議会等による事前日程調整（従来通り）

（エ）使用料の納付はオンライン決済か納付書払い（金融機関窓口のみ）

（オ）利用時間制限の設定（週18時間まで）※令和8年度のみ28時間

イ 川口市学校施設開放事業に係る使用料の減免に関する要綱の制定（資料2）

学校施設開放の減免の基準は、スポーツ施設及び公民館の減免基準に準ずることとしたことに加え、学校施設という観点から、小・中学生が中心となって活動する団体については、一定の条件を満たした上で、必要な手続きをすれば免除となる。

ウ 川口市学校施設開放事業に関する運用要綱の制定（資料3）

（ア）利用可能な各学校施設と時間の詳細

（イ）団体登録及び利用申請の取消しに関わる規定

（ウ）電子申請的手続きに関わる規定（インターネット上）

(3) 川口市学校施設申請システム

令和8年度は、「L o g o フォーム」を使用して、団体登録及び各学校施設の利用状況を管理。カスタマイズ機能が限定的であるため、利用者にとっては多少手間が掛かる仕様となっている。

令和9年度から運用を開始する申請システムと鍵管理システム（資料4）を、令和8年度中に導入予定で、施設利用者と学校現場の負担軽減を図るとともに、利用の適正化と、鍵の適切な管理を進めて行く。

システムの利用状況

- ア 団体登録 821 団体（令和8年4月13日現在）
- イ 利用申請 のべ31,000 件以上（令和8年4月13日現在）

(4) 今後のスケジュール

- 令和8年5月 川口市学校施設申請システム及び鍵管理システム導入業務委託契約（公募型プロポーザル）
- 令和8年6月 川口市学校施設の使用料に関する条例施行
運動場夜間照明操作盤修繕契約
- 令和8年8月 鍵管理システムキーボックス設置工事開始
- 令和8年12月 運動場夜間照明操作盤修繕開始
- 令和9年1月 鍵管理システムキーボックス設置工事完了
「川口市学校施設申請システム及び鍵管理システム」説明会の実施
- 令和9年3月 「川口市学校施設申請システム及び鍵管理システム」試験運用
L o g o フォームによる申請終了
- 令和9年4月 「川口市学校施設申請システム及び鍵管理システム」本格運用

川口市学校施設開放事業に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、市民の自主的な社会教育活動及び公共のための地域活動の振興を目的として川口市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する学校施設開放事業に関し、川口市立小・中学校管理規則（昭和32年教育委員会規則第2号）の特例及び必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 学校施設開放事業 学校教育に支障のない範囲内において、自主的な社会教育活動又は公共のための地域活動を行う団体に対し、教育委員会が、学校の施設等を学校教育法（昭和22年法律第26号）第137条、社会教育法（昭和24年法律第207号）第44条第1項及びスポーツ基本法（平成23年法律第78号）第13条第1項に規定する利用に供する事業をいう。
- (2) 施設等 川口市立小・中学校の運動場、体育館、武道場、テニスコート及びその他の学校の施設並びに附帯施設をいう。

(教育委員会及び学校の責務)

第3条 教育委員会は、第1条の目的に資するため、施設等の管理運営体制の整備を図るものとする。

2 学校は、学校施設開放事業の趣旨を十分に踏まえ、市民による施設等の利用を推進するものとする。

(施設等の利用)

第4条 教育委員会は、当該施設等の存する学校の校長（以下「校長」という。）の意見を聴き、学校教育上支障がないと認める場合に限り、教育委員会が別に定める施設等を利用させることができる。

(施設等を利用することができる日等)

第5条 施設等を利用することができる日は、通年（1月1日から同月4日までの日及び12月28日から同月31日までの日を除く。）とし、利用することができる時間は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める時間の範囲内で、

校長の意見を聴いて、施設等ごとに教育委員会が別に定める。

(1) 川口市立小・中学校管理規則第3条に定める休業日 午前7時から午後9時まで

(2) 平日（前号に掲げる日を除く。） 午後5時から午後9時まで

2 施設の利用は2時間を単位として行うものとし、附帯施設の利用は1時間を単位として行うものとする。

（利用できるものの範囲）

第6条 施設等を利用することができるものは、5人以上の団体であつて、その代表者が成年に達している者であるものとする。

（団体登録の申請）

第7条 施設等を利用しようとするものは、一の学校について年間を通じ毎月1回以上定期的に施設等を利用しようとするとき、又は年間12回以上利用しようとするときは、団体の登録（以下「団体登録」という。）を受けなければならない。

2 一の団体において団体登録の申請が可能な学校の数は、2校までとする。

3 団体登録の申請をしようとするものは、利用する年度ごとに、教育委員会が定める期日までに、次に掲げる書類を教育委員会に提出しなければならない。

(1) 川口市立学校施設利用団体登録申請書（様式第1号）

(2) 団体構成員名簿（様式第2号）

(3) その他団体登録の審査に必要な書類

（団体登録の承認等）

第8条 教育委員会は、前条第3項の申請があつたときは、校長の意見を聴いて当該申請に係る事項を審査し、その結果を様式第3号の承認（不承認）書により当該申請をしたものに通知するものとする。

2 前項の承認書の交付を受けたもの（以下「登録団体」という。）は、教育委員会が必要と認めて資料の提出を求めたときは、これを提出しなければならない。

3 登録団体は、団体名、代表者、構成員その他の申請内容の変更があつたときは、様式第4号の変更届を教育委員会に提出しなければならない。

4 校長は、教育委員会が指定する電子申請システムの利用その他の方法により、登録団体の構成員その他登録団体に関する情報を確認するものとする。

(団体登録の廃止)

第9条 登録団体は、団体登録を廃止しようとするときは、様式第5号の廃止届を教育委員会に提出しなければならない。

(団体登録の取消し)

第10条 教育委員会は、登録団体が偽りその他不正な手段により団体登録の承認を受けたとき、又は登録団体として適当でないと認めるときは、団体登録を取り消すことができる。

2 教育委員会は、前項の規定により団体登録を取り消すときは、様式第6号の取消書により登録団体及び校長に通知するものとする。

(協議会)

第11条 登録団体は、施設等の円滑な利用を図り、施設等の利用の予定等に係る調整を行うため、学校ごとに学校施設開放に関する協議会（以下「協議会」という。）を組織しなければならない。

2 協議会は、前項の調整を行うため、毎年度1回以上会議を行うものとする。

3 協議会に属する登録団体は、前項の会議にその構成員（成年に達している者に限る。）を1人出席させなければならない。

4 協議会は、校長又は校長から委任を受けた者の意見を聴き、校長が認める範囲内で第2項の調整を行わなければならない。

5 校長は、管理上必要な条件について、登録団体に対し、あらかじめ提示するものとする。

6 この規則に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(利用許可の申請及び許可)

第12条 施設等を利用しようとする登録団体は、教育委員会が指定する期日までに、様式第7号の申請書により教育委員会に申請しなければならない。

2 一の登録団体が施設等を利用することができる時間は、一の学校につき週18時間以内とする。

3 教育委員会は、第1項の申請に対し許可をするときは、様式第8号の許可証を交付するものとする。この場合において、教育委員会は、校長に対しその旨を通

知するものとする。

- 4 前項の許可を受けた登録団体（以下「利用者」という。）は、施設等の利用に際し、前項の許可証を携帯し、必要に応じて提示しなければならない。
- 5 教育委員会は、第3項の許可に際し、あらかじめ校長の意見を聴き、管理上必要な条件を付することができる。

（利用の不許可）

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用を許可しない。

- (1) 公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 学校教育上支障があるとき。
- (3) 施設等を毀損するおそれがあるとき。
- (4) 物品の販売等営利又は有料の興行を目的とした催し等が行われるおそれがあるとき。
- (5) 政治的又は宗教的な活動が行われるおそれがあるとき。
- (6) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (7) 管理上支障があるとき。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、利用が適当でないと教育委員会が認めるとき。

（夜間及び夏季における特例）

第14条 夜間に夜間照明施設の附帯する運動場を利用しようとするものは、当該夜間照明施設を併せて利用しなければならない。

- 2 夏季に空調施設の附帯する体育館を利用しようとするものは、当該空調施設を併せて利用しなければならない。

（利用者の遵守事項）

第15条 利用者は、施設等が学校教育の場であることを踏まえ、これに支障のないよう常に善良な管理者の注意をもって施設等を利用しなければならない。

- 2 利用者は、校長が指定する範囲内において施設等を利用しなければならない。
- 3 利用者は、小学校にあっては放課後児童クラブの活動を、中学校にあっては学校部活動を妨げてはならない。
- 4 利用者は、川口市子どもの遊び推進条例（令和6年条例第49号）に基づく施

策による施設等の利用を妨げてはならない。

5 利用者は、第2項から前項までに掲げるもののほか、学校内において、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、第1号から第3号までに掲げる行為のうち、校長の許可を受けたものにあつては、この限りでない。

- (1) 物品の販売その他商行為をすること。
- (2) 火気を使用すること。
- (3) 飲食をすること。
- (4) 喫煙をすること。
- (5) その他他人に迷惑を与える行為をすること。

6 利用者は、その責めに帰すべき事故について、責任を負うものとする。

(利用権の譲渡等の禁止)

第16条 利用者は、施設等の利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備の設置又は変更等の禁止)

第17条 利用者は、施設等に特別の設備を設置し、又は変更等をしてはならない。ただし、一時的な設備の設置について、あらかじめ校長の許可を受けたときは、この限りでない。

(利用許可の取消し等)

第18条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用の許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止させることができる。

- (1) 利用者がこの規則に違反し、又は教育委員会若しくは校長の指示に従わないとき。
- (2) 利用者が第10条第1項の事由に該当したとき。
- (3) 利用の許可の申請に偽りがあつたとき。
- (4) 利用の許可の条件に違反したとき。
- (5) 納期限までに使用料が納付されなかつたとき。
- (6) 第13条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (7) 公職選挙法（昭和25年法律第100号）第39条並びに災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第49条の4及び第49条の7その他法令に基づき他に使用させるとき。

(8) 市又は官公署が緊急に使用するとき。

(9) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の許可を取り消すときは、様式第9号の利用許可取消書により当該許可を受けた団体及び校長に通知するものとする。

3 利用者が第1項各号のいずれかに該当することにより同項の処分を受け、これによって損失が生じた場合であっても、教育委員会はその責めを負わない。

(原状回復の義務)

第19条 利用者は、施設等の利用を終了したときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。前条第1項の規定により利用の許可の取消し又は利用の制限を受けたときも、同様とする。

(損害賠償)

第20条 利用者は、故意又は過失により、施設等若しくは備品等を毀損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(事故報告等)

第21条 利用者は、施設等若しくは備品等を毀損し、若しくは滅失したとき、又は利用者の負傷その他の事故があったときは、直ちに様式第10号の事故報告書に教育委員会が必要と認める書類を添えて、教育委員会に提出しなければならない。この場合において、教育委員会は、校長に対しその旨を通知するものとする。

(使用料等)

第22条 施設等の利用に係る使用料については、川口市学校施設の使用料に関する条例（令和7年条例第96号。以下「条例」という。）の定めるところによる。

2 前項の使用料を納付した利用者は、施設等の利用等に際し、当該使用料の領収証を携帯し、請求があったときは、これを提示しなければならない。

(使用料の減免)

第23条 条例第4条に規定する使用料の減額又は免除については、教育委員会が別に定めるところによる。

(使用料の還付)

第24条 利用者は、条例第5条に規定する還付を受けようとするときは、様式第11号の還付申請書兼請求書を教育委員会に提出しなければならない。

(実費負担)

第25条 利用者は、運動場夜間照明施設又は体育館空調施設の管理を怠ったこと
によって生じた電気料金があるときは、その費用を負担しなければならない。

2 利用者は、利用者の責めに帰すべき事由により警備等にかかる費用が生じたときは、その費用を負担しなければならない。

(校長への委任)

第26条 教育委員会は、施設等の利用が一時的であるときは、施設等の利用の許可に関する権限を校長に委任するものとする。

2 前項の場合において、施設等の利用等については、第4条から第6条まで、第13条から第17条まで、第18条第1項及び第3項並びに第19条から前条までの規定を準用する。

(校長による優先利用の許可)

第27条 校長は、その必要があると認めるときは、一時的な利用を申請したものに対し、登録団体に優先して利用を許可することができる。

(施設等の利用に関する事務)

第28条 教育委員会は、施設等の利用に関する事務の一部を校長に行わせることができる。

(電子申請システムを使用した申請等)

第29条 この規則に定める申請及び届出等は、教育委員会が指定する電子申請システムを使用して行うことができる。

2 前項の申請に対する許可の通知等は、電子メールを送信する方法により行うものとする。この場合において、教育委員会は、校長に対しその旨を通知するものとする。

(その他)

第30条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和8年6月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 第11条第2項の規定にかかわらず、令和8年度の利用の予定等に係る調整については、教育長が別に定めるところによる。
- 3 令和8年6月1日から令和9年3月31日までの間の施設等の利用に係る第12条第2項の規定の適用については、同項中「週18時間」とあるのは、「週28時間」とする。

(施行前の準備)

- 4 この規則を施行するために必要な準備行為は、この規則の施行の日前においても行うことができる。

○川口市学校施設開放事業に係る使用料の減免に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川口市学校施設開放事業に関する規則第23条に基づき、川口市学校施設の使用料に関する条例(以下「条例」という。)第4条に規定する使用料(第2条第1号及び第2号並びに第3条第1号及び第2号に掲げる以外の団体については、附帯施設の利用に係る使用料を除く。以下同じ。)の減額又は免除について必要な事項を定めるものとする。

(免除)

第2条 次の各号に掲げる団体が当該各号に定める利用をする場合に限り、使用料を免除することができる。ただし、構成員個人が支払う会費が1月あたり1万円を超えない団体に限る。

- (1) 市立の教育機関がその目的を遂行するために利用する場合。
- (2) 市の行政機関がその目的を遂行するために利用する場合。
- (3) 公益財団法人川口市スポーツ協会、川口市レクリエーション協会、川口市スポーツ推進委員協議会、川口市学校体育協会及び川口市スポーツ少年団が各団体の規約等に規定する事業を遂行するために利用する場合。
- (4) 市内の町会・自治会を統合する連合町会が季節催事等を行うために利用する場合。
- (5) 施設の存する学校において地域と学校とが協働して行う活動に取り組むPTA等の団体が学校支援活動等を行うため、年に数回程度利用する場合。
- (6) 障害者及びその介護者によって構成された団体(障害者の数が団体の構成員の数の2分の1以上である団体に限る。)が、障害者の生涯学習活動や社会参加を推進する活動を実施するために利用する場合。
- (7) 市内の中学校部活動の地域展開に係るモデル事業に参加する団体が当該モデル事業の実施のために利用する場合。
- (8) 小・中学生が中心となって活動する団体(小・中学生の数が団体の構成員の数の2分の1以上であって、そのうち2分の1以上が市内に在住又は在学である団体に限る。)が、国の「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」(令和7年12月文部科学省)の趣旨に沿った地域クラブ活動又はこれに準ずる活動として利用する場合。ただし、免除する額は、構成員の健康上の安全及びバランスの取れた生活の確保に鑑み、中学校部活動の活動上限時間に準じ、週12時間(6単位)の利用に係る額を限度とする。

(減額)

第3条 次の各号に掲げる団体が当該各号に定める利用をする場合に限り、使用料の2分の1を減額することができる。ただし、第7号に掲げる団体を除き、構成員個人が支払う会費が1月あたり1万円を超えない団体に限る。

- (1) 埼玉県内に所在する教育機関(第2条第1号の教育機関を除く。)がその目的を遂行するため利用する場合。
- (2) 埼玉県の行政機関がその目的を遂行するために利用する場合。
- (3) 公益財団法人川口市スポーツ協会、川口市レクリエーション協会又は川口市スポーツ少年団に加盟している団体が各団体の規約等に規定する事業を遂行するため利用する場合。
- (4) 公益財団法人埼玉県スポーツ協会(加盟団体を含む。)がその定款に規定する事業を遂行するため利用する場合。

- (5) 市内の町会・自治会が年間事業計画に位置付けた地域振興に資する取組みとして利用する場合。ただし、継続的に行う趣味・実務実技・体育レクリエーション活動等を除く。
 - (6) 構成員（代表者及び指導者を除く。）が市内に居住する65歳以上の者で構成される団体が、健康の維持・増進のために利用する場合。
 - (7) 前条第1号又は第2号に掲げるものを除き、施設の存する学校の近隣に存する幼稚園及び保育園が運動会等の季節催事のために利用する場合。
 - (8) 前条第8号に掲げるものを除き、小・中学生が中心となって活動する団体が（小・中学生の数が団体の構成員の数の2分の1以上であって、そのうち2分の1以上が市内に在住又は在学である団体に限る。）、小・中学生の心身の健全な育成のために利用する場合。
- 2 前項の規定により、使用料等を減額して算定する場合において、当該金額に10円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

（減免の申請及び承認）

第4条 施設等を利用しようとするものが使用料の減額又は免除を受けようとするときは、登録団体又は登録をしようとするものにあつては団体登録の申請の際に、それ以外の利用者にあつては施設等の利用の申請の際に、川口市立学校施設使用料減額・免除申請書に第2条及び前条各号のいずれかに該当することを証する書類を添えて教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

（その他）

第5条 第2条及び第3条に定めるもののほか、教育委員会が公益上必要と認められる場合には、使用料を減免することができる。

附 則

（施行期日）

この要綱は、令和8年6月1日から実施する。ただし、第4条の規定は、公布の日から実施する。

新しい学校施設開放事業の減免の概要

※ 減免要件のいずれの場合においても、構成員個人が支払う会費が1月1万円を超えない団体に限る。

免除要件

- (1) 市立の教育機関または市の行政機関がその目的を遂行するために利用する場合。
- (2) 公益財団法人川口市スポーツ協会、川口市レクリエーション協会、川口市スポーツ推進委員協議会、川口市学校体育協会及び川口市スポーツ少年団が主催する大会・イベント等。
- (3) 市内の町会・自治会を統合する連合町会が行う運動会・文化祭・盆踊り等。
- (4) P T A等の団体が学校支援活動等を行うためのバザー・文化祭等
- (5) 障害者及びその介護者の団体（障害者等の人数が団体の構成員の数の2分の1以上）が、障害者の生涯学習活動や社会参加を推進する活動を実施するために利用する場合。
- (6) 市内の中学校部活動の地域展開に係るモデル事業に参加する団体が当該モデル事業の実施のために利用する場合。
- (7) 小・中学生が中心となって活動する団体（小・中学生の数が団体の構成員の数の2分の1以上であって、そのうち2分の1以上が市内に在住又は在学である団体に限る。）のうち、中学校部活動改革の一環である、地域クラブ活動の推進に資する場合、構成員の健康上の安全及びバランスの取れた生活の確保に鑑み、中学校部活動の活動上限時間に準じ、週12時間までの活動。

※ 別紙「活動確認書」の提出が必要。

※ 活動時間が週12時間を超えた場合、以降の金額は減額要件に該当すれば減額（半額）となる。

減額（半額）要件

- (1) 埼玉県内の教育機関（市立教育機関を除く。）または埼玉県の行政機関がその目的を遂行するため利用する場合。
- (2) 公益財団法人川口市スポーツ協会、川口市レクリエーション協会又は川口市スポーツ少年団に加盟している団体が利用する場合。（例 〇〇スポーツ少年団の活動等）
- (3) 公益財団法人埼玉県スポーツ協会（加盟団体を含む。）がその定款に規定する事業を遂行するため利用する場合。
- (4) 市内の町会・自治会が年間事業計画に位置付けた地域振興に資する取組みとして利用する場合。ただし、継続的に行う趣味・実務実技・体育レクリエーション活動等を除く。
- (5) 市内に居住する65歳以上の者で構成される団体が、健康の維持・増進のために利用する場合。
- (6) 施設の存する学校の近隣に存する幼稚園及び保育園が運動会等の季節催事のために利用する場合。
- (7) 小・中学生が中心となって活動する団体が（小・中学生の数が団体の構成員の数の2分の1以上であって、そのうち2分の1以上が市内に在住又は在学である団体に限る。）小・中学生の心身の健全な育成のために利用する場合。

活動確認書

当団体は、「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」(文部科学省 令和7年12月)に基づき、川口市が推進する地域クラブ活動推進事業の趣旨に賛同し、中学生の活動機会確保につながる活動に取り組みます。

令和 年 月 日

団体名

所在地

代表者氏名 (署名)

○川口市学校施設開放事業に関する運用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川口市学校施設開放事業に関する規則（以下「規則」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用可能な施設及び時間)

第2条 規則第4条に規定する施設等、規則第5条に規定する施設等を利用することができる日等は、別表のとおりとする。

(団体登録の取消し)

第3条 規則第10条第1項に規定する、団体登録を取り消すことができる場合は、次の各号のいずれかに該当したときとする。

- (1) 学校教育上支障がある行為をしたとき、またはその恐れがあると教育委員会及び校長が認めたとき。
 - (2) 複数の団体が継続的に合同で利用している場合等、事実上、二重に団体登録をしていると教育委員会及び校長が認めたとき。
 - (3) 規則並びにこの要綱に違反し、教育委員会または校長が促したにもかかわらず、是正しなかったとき。
 - (4) 教育委員会及び校長の指示に対し、正当な理由もなく繰り返し違反したとき。
 - (5) 利用の申請をしていないにもかかわらず利用したとき。
 - (6) 前5号のほか、公序良俗に反する行為があったとき。
- 2 前項の規定により、登録を取り消された団体は、登録を取り消された年度を含め3年度の間に於いて、市内全ての小・中学校において団体の登録を行うことができない。

(校長への委任)

第4条 規則第26条に規定する施設等の利用が一時的であるときは、次の各号に掲げる場合とする。

- (1) 市内の町会・自治会及び連合町会が会員全員を対象とした季節催事等の町会行事に利用する場合
 - (2) 施設を供する学校において、地域と学校とが協働して行う活動に取り組むPTA等の団体がバザー等、学校支援活動等を行うため、年に数回程度利用する場合
 - (3) 規則第8条第1項で規定する団体登録を必要としない場合
 - (4) 第2条で規定する以外の施設又は時間において利用する場合
- 2 施設等を一時的に利用しようとするものは、川口市立学校施設一時利用申請書を、施設を供する学校の校長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、市立の教育機関及び市の行政機関がその目的を遂行するために利用する場合を除く。

(利用許可の取消し等)

第5条 規則第18条に規定する利用の許可を取消し、制限し、又は停止する場合の期間は、次の各号によるものとする。

- (1) 規則第18条第1項第1号又は第4号に該当する場合の利用を停止する期間は、3月とする。
- (2) 規則第18条第1項第5号に該当する場合は、利用を許可された日の許可を取り消すものとする。
- (3) 規則第18条第1項第6号に該当する場合の利用を取り消し又は停止する期間は、規則第13条各号に該当しないことが見込めると教育委員会が認めるまでの期間。
- (4) 規則第18条第1項第7号から第8号に該当する場合の利用を取り消し又は停止する期間は、

教育委員会が相当と認める期間

- (5)規則第15条から第17条に違反した場合の利用を停止する期間は、教育委員会が相当と認める期間。
- (6)規則第21条に規定する事故報告の遺漏があった場合の利用を停止する期間は、1月とする。
- (7)利用を終えた後に施設の施錠を怠った場合の利用を停止期間するは、1月とする。
- (8)施設等の工事及び修繕などにより利用範囲を制限する場合の期間は、教育委員会が個別に審査し、相当と認める期間

(電子申請的手続き)

第6条 規則に規定する手続きを行うために使用する電子申請システムは、次の各号のとおりとする。

- (1)規則第7条から第8条(同条第3項を除く。)に規定する団体登録等及び規則第23条に規定する使用料の減免を行うために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業団体登録申請システムとする。
- (2)規則第8条第3項に規定する団体登録の申請内容に変更があった場合、規則第23条に規定する使用料の減免の申請内容に変更があった場合及び減免の申請を取り下げの場合、並びに規則第9条に規定する団体登録の廃止を行うために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業団体登録変更届システムとする。
- (3)規則第12条に規定する利用許可の申請を行うために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業施設利用申請システムとする。
- (4)規則第21条に規定する事故報告を行うために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業事故報告システムとする。
- (5)川口市学校施設の使用料に関する条例に規定する使用料の納付を行うために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業使用料納付システムとする。
- (6)規則第24条に規定する使用料の還付を受けるために使用する電子申請システムは、川口市学校施設開放事業使用料還付申請システムとする。

附則

この要綱は、令和8年6月1日から実施する。ただし、第3条から第6条の規定は、公布の日から実施する。

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
1	本町小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
2	幸町小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午前7時～午後7時	340円	
3	仲町小学校	体育館	平日	午後7時～午後9時	1,100円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	1,100円	
4	上青木小学校	体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前9時～午後9時	550円	
5	元郷小学校	運動場	平日	午前7時～午後5時	550円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	340円	
6	飯塚小学校	運動場	平日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	340円	
7	芝小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	340円	
8	新郷小学校	運動場	平日	午前7時～午後5時	550円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
9	神根小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午前7時～午後7時	550円	
10	青木北小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後7時	340円	
11	領家小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前9時～午後9時	550円	
12	舟戸小学校	運動場(河川敷)	休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
13	十二月田小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午前7時～午後5時	340円	
14	飯仲小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	550円	
15	並木小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	340円	
16	安行小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	550円	
17	原町小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前9時～午後7時	550円	
18	前川小学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	340円	
19	戸塚小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前7時～午後7時	550円	
20	青木中央小学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	680円	
		体育館	休日	午前9時～午後9時	550円	
21	元郷南小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	340円	

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
22	芝西小学校	運動場	休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
23	芝南小学校	運動場	休日	午前7時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午前9時～午後5時	340円	
24	神根東小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前9時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	340円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				1,830円	
25	朝日東小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				300円	
26	芝富士小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
27	前川東小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
28	柳崎小学校	運動場	平日	午前9時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				1,320円	
29	芝樋ノ爪小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	340円	
30	新郷南小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				1,080円	
31	上青木南小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
32	根岸小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
33	芝中央小学校	運動場	平日	午前9時～午後9時	340円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
34	新郷東小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
			休日	午前9時～午後7時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前9時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				1,440円	
35	朝日西小学校	運動場	休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
36	慈林小学校	運動場	平日	午前7時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明				150円	
37	差間小学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
38	東本郷小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	340円	
39	東領家小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前9時～午後9時	550円	
40	安行東小学校	運動場	平日	午後5時～午後7時	340円	
		体育館	休日	午前7時～午後7時	340円	
			平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
41	在家小学校	運動場	休日	午前7時～午後7時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
42	戸塚東小学校	運動場	休日	午前7時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
43	戸塚北小学校	運動場	休日(日・祝のみ) (4～10月)	午前9時～午後5時	340円	
		体育館	休日(日・祝のみ) (11～3月)	午前9時～午後3時	340円	
44	木曾呂小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前9時～午後9時	550円	
45	戸塚綾瀬小学校	運動場	休日	午前7時～午後7時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
46	戸塚南小学校	運動場	休日	午前7時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
47	鳩ヶ谷小学校	運動場	休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
48	中居小学校	運動場	休日	午前7時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
49	辻小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	550円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
		運動場の夜間照明				960円
50	里小学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午前7時～午後9時	550円	
51	桜町小学校	運動場	休日	午前7時～午後7時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	1,100円	
52	南鳩ヶ谷小学校	運動場	休日	午前9時～午後9時	1,100円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	340円	
			休日	午前9時～午後9時	550円	

※ 学校の長期休業中の使用時間は、休日の使用時間に準ずる。
(上青木小学校(体育館のみ)、上青木南小学校及び新郷東小学校を除く。)

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
1	東中学校	運動場	休日(日のみ)	午前7時～午前9時	680円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
		休日	午後5時～午後9時	610円		
	体育館の空調施設					730円
2	西中学校	運動場	休日	午前9時～午後5時	680円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後9時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午前9時～午後9時	610円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午前9時～午後9時	610円	
テニスコート(4面)	休日	午前9時～午後5時	820円			
	体育館の空調施設					730円
3	南中学校	運動場(河川敷)	平日	午後5時～午後7時	680円	
			休日	午前7時～午後7時	680円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午前7時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後5時～午後9時	1,220円	
			休日	午前7時～午後9時	1,220円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	1,220円	
			休日	午前7時～午後9時	1,220円	
		テニスコート(7面)	平日	午後5時～午後7時	820円	
			休日	午前7時～午後7時	820円	
		音楽室1	平日	午後5時～午後7時	730円	
			休日	午後1時～午後5時	490円	
		音楽室2	平日	午後5時～午後7時	730円	
			休日	午後1時～午後5時	490円	
	体育館の空調施設					730円
4	北中学校	体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館の空調施設				
5	青木中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後5時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	1,220円	
			休日	午後5時～午後9時	1,220円	
		テニスコート(3面)	平日	午後7時～午後9時	820円	
			休日	午後5時～午後9時	820円	
音楽室	平日	午後7時～午後9時	730円			
休日	午後5時～午後9時	730円				
	体育館の空調施設					730円
6	芝中学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	340円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		音楽室	平日	午後5時～午後9時	730円	
			休日	午前9時～午後1時	240円	
	休日	午後1時～午後3時	490円			
	運動場の夜間照明					1,320円
	体育館の空調施設					730円
7	元郷中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午後5時～午後7時	610円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午後5時～午後7時	610円	
	運動場の夜間照明					840円
8	上青木中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後1時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
			運動場の夜間照明			
	体育館の空調施設					730円

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
9	幸並中学校	運動場	平日	午後5時～午後7時	340円	
			休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	1,220円	
			休日	午後5時～午後9時	1,220円	
テニスコート(2面)	平日	午後7時～午後9時	820円			
休日	午前7時～午後5時	820円				
		体育館の空調施設				730円
10	十二月田中学校	体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	1,220円	
			休日	午後7時～午後9時	1,220円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午後7時～午後9時	610円	
卓球場	平日	午後7時～午後9時	730円			
休日	午後5時～午後9時	730円				
11	仲町中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後5時～午後7時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午後5時～午後7時	610円	
剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円			
	休日	午後5時～午後7時	610円			
テニスコート(1面)	休日	午後5時～午後7時	820円			
		体育館の空調施設				730円
12	安行中学校	運動場	休日	午前9時～午前11時 午後1時～午後5時	340円	
			平日	午後7時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午後7時～午後9時	550円	
			平日	午後7時～午後9時	1,220円	
		柔道場・剣道場	休日	午後7時～午後9時	1,220円	
			平日	午後7時～午後9時	1,220円	
美術室・陶芸庫	休日	午前9時～午後1時 午後1時～午後5時	240円 490円			
					730円	
13	芝東中学校	運動場	平日	午後5時～午後7時	680円	
			休日	午前9時～午後7時	680円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後7時	550円	
		柔道場	平日	午後5時～午後9時	1,220円	
			休日	午後5時～午後9時	1,220円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	1,220円	
			休日	午後5時～午後9時	1,220円	
		テニスコート(2面)	平日	午後5時～午後9時	820円	
			休日	午前9時～午後5時	820円	
音楽室	平日	午後5時～午後9時 午前9時～午後1時 午後1時～午後5時	730円 240円 490円			
	休日	午後5時～午後7時	730円			
					730円	
14	芝西中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日(日のみ)	午前7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
			休日	午前7時～午後9時	610円	
剣道場	平日	午後5時～午後9時	610円			
	休日	午前7時～午後9時	610円			
		体育館の空調施設				730円
15	岸川中学校	運動場	休日	午前7時～午後5時	340円	
			平日	午後5時～午後9時	550円	
		体育館	休日	午後5時～午後9時	550円	
			平日	午前7時～午後9時	610円	
		柔道場	休日	午後5時～午後9時	610円	
			平日	午後5時～午後9時	610円	
剣道場	休日	午後1時～午後9時	610円			
	平日	午後3時～午後5時	820円			
		テニスコート(2面)	休日	午後3時～午後5時	820円	
		体育館の空調施設				730円

No.	学校名	利用施設・附帯設備	使用時間	使用時間	施設 使用料 (2時間)	附帯設備 使用料 (1時間)
16	榛松中学校	運動場	休日	午前7時～午後5時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
			休日	午後5時～午後9時	610円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
			休日	午後5時～午後9時	610円	
		テニスコート(2面)	休日	午前7時～午後5時	820円	
卓球場	平日	午後5時～午後9時	730円			
休日	午後7時～午後9時	730円				
	体育館の空調施設					730円
17	小谷場中学校	運動場	平日	午後5時～午後9時	680円	
		休日	午前7時～午後9時	680円		
		柔道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
		剣道場	平日	午後5時～午後9時	610円	
18	神根中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	680円	
		運動場の夜間照明				
19	領家中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	1,220円	
			休日	午前9時～午後9時	1,220円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	1,220円	
			休日	午前9時～午後9時	1,220円	
		テニスコート(1面)	平日	午後7時～午後9時	820円	
休日	午後7時～午後9時		820円			
音楽室	平日	午後7時～午後9時	730円			
休日	午後7時～午後9時	730円				
	体育館の空調施設					730円
20	戸塚中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後1時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
			休日	午後7時～午後9時	550円	
		テニスコート(2面)	平日	午後7時～午後9時	820円	
			休日	午後1時～午後9時	820円	
	運動場の夜間照明					1,200円
	体育館の空調施設					730円
21	在家中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午前7時～午後9時	340円	
		柔道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午前7時～午後9時	610円	
		剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
			休日	午前7時～午後9時	610円	
テニスコート(2面)	平日	午後7時～午後9時	820円			
	休日	午前7時～午後9時	820円			
	運動場の夜間照明					60円
22	安行東中学校	運動場	休日(日のみ)	午後1時～午後5時	680円	
		体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
		柔道場・剣道場	平日	午後7時～午後9時	610円	
		体育館の空調施設				
23	戸塚西中学校	体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
		休日	午後5時～午後9時	550円		
	体育館の空調施設					730円
24	鳩ヶ谷中学校	体育館	平日	午後7時～午後9時	550円	
		休日	午後7時～午後9時	550円		
	体育館の空調施設					730円
25	八幡木中学校	運動場	平日	午後7時～午後9時	340円	
			休日	午後7時～午後9時	340円	
		体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
			休日	午後5時～午後9時	550円	
	運動場の夜間照明					600円
	体育館の空調施設					730円
26	里中学校	体育館	平日	午後5時～午後9時	550円	
		休日	午後5時～午後9時	550円		
	体育館の空調施設					730円

※ 学校の長期休業中の使用時間は、休日の使用時間に準ずる。
(元郷中学校、安行中学校、安行東中学校及び神根中学校を除く)
※ テニスコートの使用料は1面あたりの金額とする。

学校施設開放鍵管理システム

鍵管理システムとは

令和9年度に運用開始予定の鍵管理システムは、ハード面において、学校の校門付近等にキーボックスを設置し、学校職員と施設利用者が相対することなく、鍵を貸借するシステムです。

ソフト面としては、まず、インターネット上で団体登録を済ませた後、各学校での日程調整会議に参加し、利用したい日時を確保することになります。その上で、学校施設申請システムにより、確保した日程の日付と時間帯を選択して、申請が許可されれば、暗証番号又はQRコードが発行されます。

当該暗証番号又はQRコードを入力することにより、キーボックスを解錠し、キーボックスの中に格納されている鍵で施設を開場することができます。施設の利用後は、鍵をキーボックスに戻すことで次の利用者に引き継ぎます。

なお、暗証番号又はQRコードは、学校施設申請システムで申請した利用時間及び前後30分間のみ有効なものであり、鍵の使用時間が記録されるため、利用の適正化に加え、鍵の適切な管理をすることができます。

SECOM製キーボックス（川崎市採用）



閉錠時

解錠時

KUMAHIRA製キーボックス（三芳町採用予定）



閉錠時

解錠時

小中学校の施設改修について

（１）小学校体育館空調機設置事業

夏季において子どもたちが継続的かつ安全に体育の授業ができる環境を整備するとともに、災害時の避難所としての機能向上を図るため、小学校体育館に空調機を設置するもの。

ア 事業の概要

（ア）整備の考え方

熱源が市内10地区の中で偏らないよう、中学校26校に設置している空調機の熱源の種類とのバランスなどを踏まえ、整備を進める。

（イ）空調機の熱源

電 気 式 → 教室空調を電気式の学校に16校程度導入

都 市 ガ ス 式 → 教室空調をガス式の学校に16校程度導入

プロパンガス式 → 災害時の拠点を考慮して、市内各地区に20校程度導入

（ウ）工事費に係る財源

a 学校施設環境改善交付金

b 算定割合：1/2

c 補助要件：体育館の屋根や壁などの断熱性が確保されること。

（エ）今後のスケジュール

年度	内容	対象校
令和 8年度	実施設計	本町小学校ほか6校
令和 9年度	設置工事	本町小学校ほか6校予定
	実施設計	15校予定
令和10年度	実施設計	15校予定
令和11年度	実施設計	15校予定

（２）小中学校照明LED改修事業

児童生徒が安全・安心に快適な環境で学校生活が送れるよう、幸町小学校を除く77校の小中学校において、LED照明への切り替えを行うもの。

ア 事業の概要

（ア）工事場所

校舎、体育館等

（イ）整備の考え方

改修を進めるにあたり、地域のバランスを考慮するとともに、校舎の規模や体育館のLED化の状況を踏まえながら費用の平準化にも配慮して整備を進める。また、他に予定している改修工事や学校の授業、行事などを考慮して整備を進める。

(ウ) 工事費に係る財源

- a 学校施設環境改善交付金
- b 算定割合：1/3
- c 補助要件：なし

(エ) 今後のスケジュール

年度	対象校
令和 8年度	上青木小学校ほか12校、神根中学校ほか6校
令和 9年度	小学校13校、中学校6校予定
令和10年度	小学校13校、中学校6校予定
令和11年度	小学校12校、中学校7校予定

（仮称）神根総合運動公園整備事業について（現地視察）

（1）事業概要

埼玉県内の屋内総合プール整備に併せ、川口市立北スポーツセンター及び神根西公民館の建て替えを含む周辺施設を、多様な世代が集う新たなスポーツ拠点として一体的に整備するもの。

令和7年度から令和9年度の3カ年継続事業として、北スポーツセンター及び神根西公民館改築工事、（仮称）神根総合運動公園整備工事に着手し、令和9年7月の供用開始を予定している。

（2）北スポーツセンター及び神根西公民館改築工事

ア 施設概要

（ア）構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

（イ）規模 地上2階

（ウ）建築面積 4,206.11 m²

（エ）延床面積 5,531.20 m²

（オ）北スポーツセンター

1階 体育館、トレーニングルーム、会議室、事務室 ほか

2階 多目的室、体育館観覧席 ほか

（カ）神根西公民館

2階 ホール、講座室、日本間、料理実習室、ミーティング室 ほか

（キ）その他

エレベーター、多目的トイレ、授乳室、キッズルーム、駐車場 ほか

イ スケジュール

（ア）工期 令和7年6月～令和9年6月

（イ）供用開始 令和9年7月（予定）

（3）（仮称）神根総合運動公園整備工事（屋外施設建設工事含む）

ア 公園概要

（ア）種別 運動公園

（イ）面積 16.3ha

（ウ）屋外運動施設 1～4

（エ）遊びの広場、芝生広場、イベント広場

（オ）東西貫通園路、南北貫通園路

（カ）駐車場、ロッカー棟、倉庫 ほか

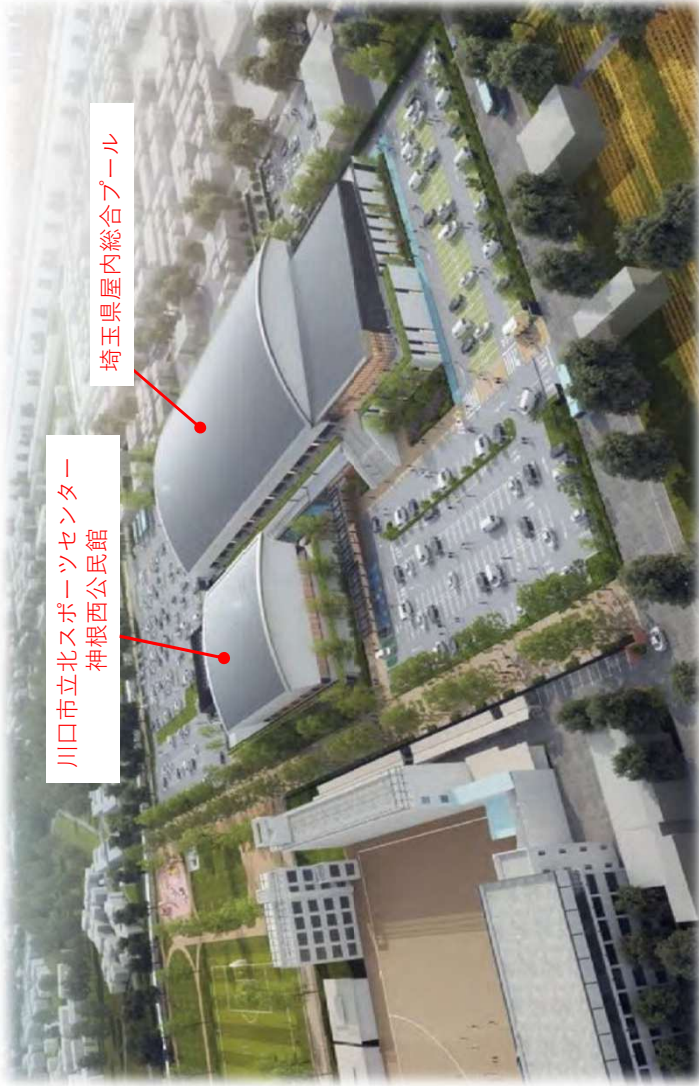
イ スケジュール

（ア）工期 令和8年3月～令和9年6月

（イ）供用開始 令和9年7月（予定）

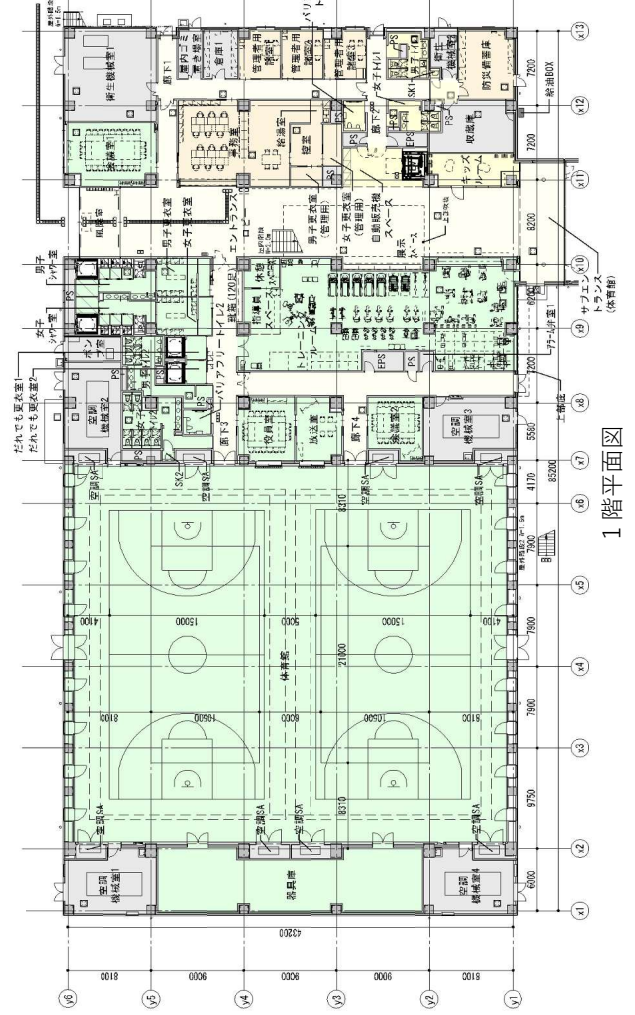
(仮称) 神根総合運動公園整備事業について (現地視察)

1 北スポーツセンター及び神根西公民館改築工事

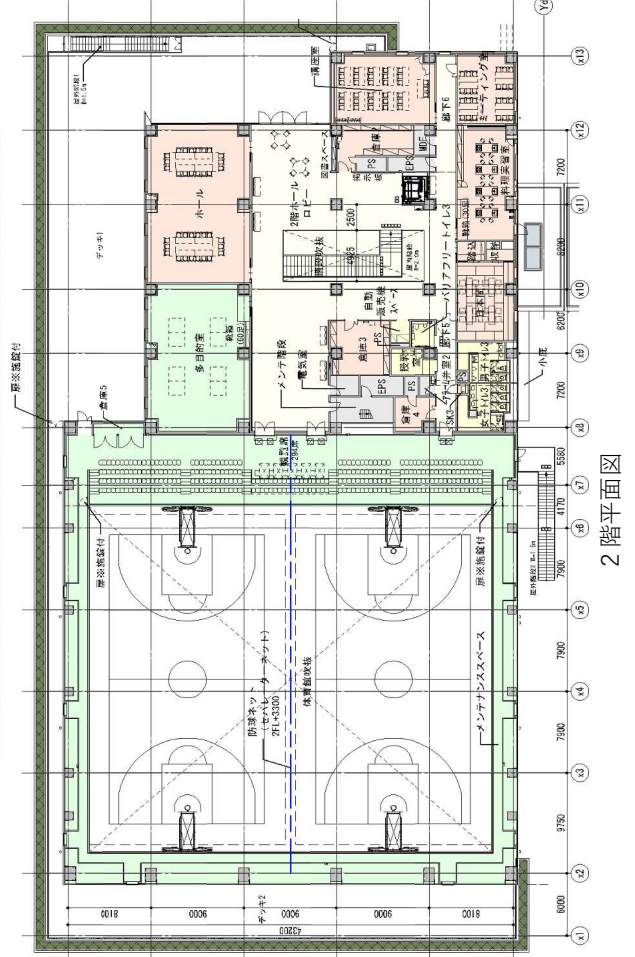


埼玉県屋内総合プール

川口市立北スポーツセンター
神根西公民館



1 階平面図



2 階平面図

